令和7年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事

図面番号	図　面　名　称
	表紙・図面リスト
RA-001	改修工事特記仕様書（１）
RA-002	改修工事特記仕様書（２）
RA-003	改修工事特記仕様書（３）
RA-004	改修工事特記仕様書（４）
RA-005	改修工事特記仕様書（５）
RA-006	建築材料等品質性能表（１）
RA-007	建築材料等品質性能表（２）
RA-008	施工条件特記仕様書
RA-009	工事区分表（１）
RA-010	工事区分表（２）
RA-011	案内図・配置図
RA-012	記号凡例
RA-013	仕上特記・仕上材料表・仕上表
RA-014	西館３階平面図【改修後】・天井改修範囲図
RA-015	西館４階平面図【改修前】
RA-016	西館４階平面図【改修後】・天井改修範囲図
RA-017	平面詳細図【改修前】
RA-018	平面詳細図【改修後】
RA-019	天井伏図【改修前】【改修後】
RA-020	天井架台図（1）・アンカー図(参考図)
RA-021	天井架台図（2）・断面図(参考図)
RA-022	床詳細図【改修前】【改修後】
RA-023	建具特記
RA-024	建具表
RA-025	工事手順図・仮設配置図（参考図）
RA-026	ユニット設備 工事区分リスト（参考図）
RA-027	ユニット設備 既存平面図、天伏図、展開図（参考図）
RA-028	ユニット設備 改修後平面図、天伏図、展開図(参考図)
RA-029	ユニット設備 電気配線図・盤結線図(改修図)
RA-030	ユニット設備 各種姿図（改修図）

図面番号	図　面　名　称
RE-001	電気設備工事特記仕様書１
RE-002	電気設備工事特記仕様書２
RE-003	既設高圧受変電設備　単線結線図
RE-004	塔屋機器配置図
RE-005	既設分電盤結線図リスト（参考図）
RE-006	動力制御盤代表結線図
RE-007	動力制御盤結線図
RE-008	既設照明器具リスト（参考図）
RE-009	幹線設備　４階平面図
RE-010	幹線設備　５階平面図
RE-011	幹線設備　６階平面図
RE-012	動力設備　西館　４階平面図【改修前】
RE-013	動力設備　西館　４階平面図【改修後】
RE-014	コンセント設備　西館　４階平面詳細図【改修前】
RE-015	コンセント設備　西館　４階平面詳細図【改修後】
RE-016	電灯設備　西館　４階平面図【改修前】
RE-017	電灯設備　西館　４階平面図【改修後】
RE-018	非常照明・誘導灯設備　西館　４階平面図【改修前】
RE-019	非常照明・誘導灯設備　西館　４階平面図【改修後】
RE-020	弱電設備１　西館　４階平面図【改修前】
RE-021	弱電設備１　西館　４階平面図【改修後】
RE-022	弱電設備２　西館　４階平面図【改修前】
RE-023	弱電設備２　西館　４階平面図【改修後】
RE-024	自動火災報知設備　西館　４階平面図【改修前】
RE-025	自動火災報知設備　西館　４階平面図【改修後】
RE-026	電灯設備 西館 3階平面図【改修前】【改修後】天井改修範囲
RE-027	非常照明・誘導灯設備 西館 3階平面図【改修前】【改修後】天井改修範囲
RE-028	情報通信 西館 3階平面図【改修前】【改修後】天井改修範囲
RE-029	自動火災報知設備 西館 3階平面図【改修前】【改修後】天井改修範囲

2023年　3月

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

建築改修工事特記仕様書

第１　工事概要

1　工事名称　　令和７年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事
2　工事場所　　静岡市葵区漆山　地内
3　敷地面積　　115,213.19 ㎡
4　都市計画　　○ 都市計画区域内　・ 準都市計画区域内　・ 都市計画区域外
　　○ 線引　（・ 市街化区域　○ 市街化調整区域　）　・ 非線引
5　用途地域　　○ 指定なし
6　防火地域　　・ 防火地域　・ 準防火地域　○ 指定なし
7　その他の地域・地区　○ 風力係数算定のための地表面粗度区分　（・ Ⅱ　○ Ⅲ）
　　○ 風圧力算定のための基準速度　Vo＝　32 m/s
　　・ 垂直積雪量　（　m）
　　○ 騒音規制法に基づく指定区域　（・ １種　○ ２種　・ ３種　・ ４種）
8　建物概要

建物名称	構造・階数	工事種別	建築面積㎡	延べ面積㎡	備考
こども病院	RC・８階	改修	11,577.14	36,585.22	※既存建物：西館
					延べ面積　13,597㎡のうち
					４階約80㎡の改修工事

9　工事内容

ＣＴ撮影室をクリーン化し、ハイブリッドオペ室として整備する。
なお、同室にはアンギオ装置１台を設置する予定であるため、その準備工を含むものとする。
本工事：建築工事＋電気設備工事+機械設備工事

第２　仕様

○1　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和４年版」(以下「改修標準仕様書」という。)によるほか、下記仕様書のうち、○印を付けたものを適用する。
　◉ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和４年版(以下「標準仕様書」という。)
　◉ 建築工事標準図(令和４年版)（以下「標準詳細図」という。）
　◉ 建築物解体工事共通仕様書(令和４年版)(以下「解体共通仕様書」という。)
　・

○2　仕様書に用いられている用語を次のとおり読み替える。
(1)「契約書」を「静岡県建設工事執行規則(昭和50年3月25日規則第16号)第11条の静岡県建設工事請負契約約款（以下「約款」という。）」に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「検査職員」を「検査技監」、「検査監」及び「検査員」に読み替える。

○3　電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は電気設備図、機械設備工事の特記仕様書は機械設備図による。

○4　本特記仕様書の表記
(1)項目は、番号の前に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
　○印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。
　○印と※印の付いた場合は、共に適用とし、適用範囲は図示とする。
(3)特記事項に記載の(．．)の表示番号は、「標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)[G]印は「静岡県環境物品等の推進に関する基本方針」の公共工事に関わる特定調達品目を示す。
(5)受注者は南海トラフ地震に関連する情報（地震）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
　上記事実が発生した場合は、約款第26条(臨機の措置)の規定による。
(6)標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な方材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令(条例を含む)の改正等により抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

第３　適用基準等

※ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部(令和５年版)）
・

１章　各章共通事項

○1　**工事実績情報ｼｽﾃﾑ（CORINS）への登録**　(1.1.4)
受注時又は契約変更時に工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報ｼｽﾃﾑ(CORINS)に登録すること。また、契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、すみやかに契約変更前の工事登録を削除すること。なお、契約金額の変更登録は、完成時のみとする。

○2　**工事の一時中止**　(1.1.9)
※ 静岡県設計変更ガイドライン（建築・建築設備工事編）に定めるところによる。
約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

○3　**施工図等の取扱い**　(1.2.3)
施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

○4　**設備工事との取合い**　(1.2.3)
施工範囲　○ 図示　・
施工図　　電気設備機器、機械設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

○5　**施工条件**　(1.3.5)
工事用車両の駐車場所　○ 図示
資機材置場　○ 図示

6　ｼｰﾘﾝｸﾞ材の調査及び撤去
・ 第一次判定(ｼｰﾘﾝｸﾞ材種の判定)
日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会に次のｼｰﾘﾝｸﾞ材のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞを送付し、材種の判定を行う。
判定結果については、監督員に速やかに報告する。
ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ採取箇所　※ 監督員との協議による　・ 図示
採取箇所数　※ 監督員との協議による　・ 箇所
採取方法は「PCB含有判定ｼｰﾘﾝｸﾞ材ｻﾝﾌﾟﾙ採取ﾏﾆｭｱﾙ(日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会)」を参考にすること。

・ 第二次判定　（・ PCB含有量の判定　・ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有量判定　）
専門分析機関に次のｼｰﾘﾝｸﾞ材のｻﾝﾌﾟﾙを送付し、含有量の分析を行う。なお、分析ｻﾝﾌﾟﾙの四隅は除去し、採取部の内部(大気にさらされていない部分)を取り出して分析する。判定結果については、監督員に速やかに報告する。
ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ採取箇所　（　）　採取箇所数　（　）

撤去方法
・「標準施工要領書(日本ｼｰﾘﾝｸﾞ工事業協同組合連合会/日本ｼｰﾘﾝｸﾞ材工業会)」による。
・ 石綿含有成形板の除去に準じる
撤去範囲　※ 図示　・

○7　**発生材の処理等**　(1.3.12)
※ 引渡しを要するもの　（※ 無し　・ PCB含有物　・　・　）
○ 特別管理産業廃棄物　（○ 廃石綿　○ 鉛含有物　・　・　）
　処理方法　※ 解体共通仕様書5.4.1による
　・
　・
・ 現場において再利用を図るもの　（・　）
○ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ
ⅰ）　廃せっこうﾎﾞｰﾄﾞの裏面の表示を確認し、石綿、ヒ素、ﾎｳ素(ﾎｳ ﾐｸﾘｳﾑ)を含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問合せの上、適切に処理する。
ⅱ）　石綿含有せっこうﾎﾞｰﾄﾞ　9年による
・ その他の含有物質　（　）　搬出先　（　）
・ 特殊な建設副産物　・ ﾌﾛﾝ　・ ﾊﾛﾝ　・ 六ﾌｯ化硫黄(SF6)ｶﾞｽ　・ PFOS(ﾍﾟﾙﾌﾙｵﾛ)　・ ｲｵﾝ化式感知器
　位置　（※ 図示　・　）

○8　**産業廃棄物管理票**
(財)日本産業廃棄物処理振興ｾﾝﾀｰ（http://www.jwnet.or.jp）が運営する「情報処理ｾﾝﾀｰの登録（電子ﾏﾆﾌｪｽﾄ）」により行うこと。これにより難い場合は監督員と協議する。

○9　**建設副産物情報交換システム**
本工事の情報を「建設副産物情報交換ｼｽﾃﾑ（COBRIS）」へ登録するものとし、総合施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合には、それぞれ速やかにﾃﾞｰﾀ入力を行う。また、同ｼｽﾃﾑにより、工事着手時に再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書及び建設副産物情報交換ｼｽﾃﾑ工事登録証明書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督員に提出する。

○10　**特定建設資材の処理**
本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定していた条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。
また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督員に報告する。
・ 分別解体等の方法（解体工事）

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	(1) 建築設備、内装等	建設設備、内装材の取り外し　・ 有　・ 無	※ 手作業 ・ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（　）
	(2) 屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し　・ 有　・ 無	※ 手作業 ・ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（　）
	(3) 外装材、上部構造の取壊し	外装材、上部構造の取壊し　・ 有　・ 無	・ 手作業・機械作業の併用
	(4) 基礎、基礎ぐい	基礎、基礎ぐいの取壊し　・ 有　・ 無	・ 手作業・機械作業の併用
	(5) その他（　）	その他の取壊し　・ 有　・ 無	・ 手作業・機械作業の併用

○ 分別解体等の方法（新築、修繕、模様替え工事）

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	(1) 造成等	造成等の工事　・ 有　・ 無	※ 手作業 ・ 手作業・機械作業の併用
	(2) 基礎、基礎ぐい	基礎、基礎ぐいの工事　・ 有　・ 無	※ 手作業 ・ 手作業・機械作業の併用
	(3) 上部構造部材、外装の工事	上部構造部材、外装の工事　・ 有　・ 無	※ 手作業 ・ 手作業・機械作業の併用
	(4) 屋根	屋根の工事　・ 有　・ 無	※ 手作業 ・ 手作業・機械作業の併用
	(5) 建築設備、内装等	建築設備、内装等の工事　・ 有　・ 無	※ 手作業 ・ 手作業・機械作業の併用
	(6) その他（　）	その他の工事　・ 有　・ 無	※ 手作業 ・ 手作業・機械作業の併用

・ 特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の名称	所在地
・ ｺﾝｸﾘｰﾄ		
・ ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ ｱｽﾌｧﾙﾄ、ｺﾝｸﾘｰﾄ		

通知に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

○11　**環境への配慮**　(1.4.1)
建築物内部に使用する材料等は、設計図書に所要の品質及び性能を有すると共に、次のアからエを満たすものとする。
ア　合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
イ　接着剤及び塗料は、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ及びｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝの含有量が少ない材料を使用する。
ウ　接着剤は、可塑性(ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｰnｰﾌﾞﾁﾙ及びﾌﾀﾙ酸ｼﾞｰ2ｰｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
エ　アの材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

○12　**材料の品質等**　(1.4.2)
(1)本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2)備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。
(3)標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4)本工事に使用する材料のうち(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たす**ものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける、ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。**
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5)製造業者等に関する資料の提出を求める材料
・ 鉄骨柱下無収縮ﾓﾙﾀﾙ　・ 無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材　・ 乾式保護材(防水立上り部)
・ 既調合ﾓﾙﾀﾙ(ﾀｲﾙ工事用)　・ 既調合目地材　・ ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾍﾞﾙ　・ 吸水調整材
・ 錠前類　・ ｸﾛｰｻﾞｰ類　○ 自動扉機構　・ 自閉式上吊り引き戸機構(手動開き式)
・ 重量ｼｬｯﾀｰ　・ 軽量ｼｬｯﾀｰ　・ ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ　・ 防水剤
・ 現場発泡断熱材(特定ﾌﾛﾝによるものを除く)　・ 煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材　・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ　・ 可動間仕切り
・ 移動間仕切り　・ ﾄﾗﾝｸﾞｰｽ　・ 屋上緑化用ｼｽﾃﾑ　・ ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ　・ 天井点検口　・ 床点検口
・ ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ　・ ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾙﾓﾙﾀﾙ　・ 鋳鉄製ふた

○13　**材料の検査等**　(1.4.4)
現場に搬入したすべての材料について、自主検査記録(任意様式)を提出すること。ただし、次表に掲げる材料については監督員の検査を受ける。
なお、監督員の検査の結果、合格した材料と同じ種別の材料は以後原則として抽出検査とする。

材料名称

仮設工事
・
・
土工事
※ 埋め戻し、盛土材
・
・
地業工事
・ 砕石
※ 杭
・ 杭施工混和材
・ 溶接材料
・ 杭頭補強筋
・ 地盤改良材
・
・
鉄筋工事
※ 鉄筋
・ 溶接金網
・ ｽﾗｰﾌﾞ補強筋(既製品)
・
・
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事
・ 型枠
・ 特殊型枠(ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷ他)
※ ｺﾝｸﾘｰﾄ
・ ｾﾒﾝﾄ
・ 骨材
・ 水
・ 混和材
・
・
鉄骨工事
※ 鋼材
・ 高力ﾎﾞﾙﾄ、普通ﾎﾞﾙﾄ
・ ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
・ ｽﾀｯﾄﾞ
・ ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ
・ 溶接材料
・ 耐火被覆材
・ 溶融亜鉛めっき
・
・
ｺﾝｸﾘｰﾌﾞﾛｯｸ他工事
・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ
・ ALCﾊﾟﾈﾙ
・ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板
・
・
・

防水工事
・ 防水材
・ 断熱材、接着剤
○ ｼｰﾘﾝｸﾞ材（鉛入り）
・
・
石、ﾀｲﾙ工事
・ 石材
・ 取付金物
・ ﾀｲﾙ
・ ﾀｲﾙ張付け用材料
・
・
木工事
・ 木材
・ 集成材
・
・
屋根、とい工事
・ 長尺金属板
・ 折板
・ 粘土瓦
・ とい
・
・
金属工事
・ 金属製品
・ 軽量鉄骨天井下地
・ 軽量鉄骨壁下地
・ あと施工ｱﾝｶｰ
・
・
左官工事
・ ﾓﾙﾀﾙ
・ ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材
・ 仕上塗材
・ ﾛｯｸｳｰﾙ
・
・
建具工事
○ ｱﾙﾐ製、鋼製建具
・ 木製建具
・ 建具用金物
○ ｶﾞﾗｽ（鉛入り）
・ ｼｬｯﾀｰ
・
・
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事
・
・
・

塗装工事
・ 塗料
・
・
内装工事
・ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ
・ ｶｰﾍﾟｯﾄ
・ 合成樹脂塗床材
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
・ 畳
○ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ
・ 壁紙
・ 断熱、防露材
・
・
ﾕﾆｯﾄ、その他工事
・ ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ
・ 可動間仕切
・ ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
・
・
排水工事
・ 排水管
・ 排水桝
・
・
舗装工事
・ 路床
・ 路盤材
・ ｱｽﾌｧﾙﾄ
・ ｺﾝｸﾘｰﾄ
・ ﾌﾞﾛｯｸ系舗装材
・
・
植栽工事
・ 樹木
・ 芝、吹付けは種、地被類
・ 支柱材
・ 肥料、土壌改良剤
・
・

監督員の検査を受けて使用すべきとされた材料であっても、設計図書に定める JIS又はJASのﾏｰｸ表示のある材料並びに規格、基準等の規格証明書が添付された材料で、監督員の承諾を受けた場合は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとして、取り扱うことができる。

○14　**調査のための破壊部分の補修**
補修方法　※ 現状復旧　・ 図示

○15　**石綿含有建材の調査**　(1.5.1)
受注者は石綿含有建材の事前調査を行う。なお、建築物の改修工事で請負代金額の合計額が100万円以上であるもの及び建築物の解体工事で解体部分の床面積が80㎡以上であるものについては、原則として「石綿事前調査結果報告ｼｽﾃﾑ」を用いて調査結果の報告を行い、内容を監督員へ提出すること。
※石綿事前調査結果報告ｼｽﾃﾑには「gBizID(https://gbiz-id.go.jp)」への登録が必要となる。

調査範囲　※ 図示　・
既存の設計図書　○ 有　・ 無
石綿含有建材の調査報告書の貸与　・ 有　○ 無
調査方法　○ 定性分析　・ 定量分析
分析による石綿含有建材の調査
　分析対象：ｱｽﾍﾞｽﾄﾌｨﾗｲﾄ、ｱﾓｻｲﾄ、ｸﾘｿﾀｲﾙ、ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾚﾓﾗｲﾄ
　分析方法(ｻﾝﾌﾟﾙ数：3ｻﾝﾌﾟﾙ/箇所)

材料名	定性分析(JISA1481-2)	定量分析(JISA1481-3)
岩綿吸音板、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	○（ 箇所数 ： 2 ）	・（ 箇所数 ： ）
ビニル床シート	○（ 箇所数 ： 2 ）	・（ 箇所数 ： ）
	・（ 箇所数 ： ）	・（ 箇所数 ： ）
	・（ 箇所数 ： ）	・（ 箇所数 ： ）

採取箇所　・ 図示　○ 監督職員との協議

○16　**埋設配管・配線および鉄筋調査**
あと施工アンカー工事
6章および8章による
コア抜き、はつり工事等
※ 既存資料調査
・ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
　配管　・ 配線等の位置の墨出を行う
　範囲
　※ 図示による　・
・ 放射線透過試験
　労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規則」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
　1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督員に提出する。
　2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
　3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
　4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
　5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
　撮影枚数　　枚
　フィルムサイズ　　コンクリート厚さ　　cm

○17　**地場産品**
静岡県中小企業の受注者機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき地場産品の使用促進を図ることで地域経済の活性化に寄与することを目的とする。受注者は工事に使用する建設資材等について契約図書に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。
「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。
「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第２条に掲げるものをいう。
「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。

○18　**技能士**　(1.7.2)
一級技能士又は単一等級の資格者を有する者の配置を適用する作業種別

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	型枠施工	型枠工事作業
	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	構造物鉄工作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ、ALCﾊﾟﾈﾙ、押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	ﾌﾞﾛｯｸ建築	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業
	ｴｰｴﾙｸｫｰﾊﾟﾈﾙ施工	ｴｰｴﾙｸｫｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	防水施工	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業
		ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業
		ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業
		合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
		塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業
		ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業
		ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
		改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業
		改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業
		FRP防水工事作業
石工事	石材施工	石張り作業
ﾀｲﾙ工事	ﾀｲﾙ張り	ﾀｲﾙ張り作業
木工事	建築大工	大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	内外装板金作業
	ｽﾚｰﾄ施工	ｽﾚｰﾄ工事作業
金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業
	建築板金	内外装板金作業
左官工事	左官	左官作業
建具工事	ｻｯｼ施工	ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ｶﾞﾗｽ施工	ｶﾞﾗｽ工事作業
	自動ﾄﾞｱ施工	○ 自動ﾄﾞｱ施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工	金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業
	ｻｯｼ施工	ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ｶﾞﾗｽ施工	ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	塗装	建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業
		ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業
		ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業
	表装	壁装作業
排水工事	配管	建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	溶解ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業
		加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	造園	造園工事作業

配置できない場合は、監督員の承諾を得ること。

○19　**化学物質の濃度測定**　(1.7.9)
施工完了後、完成届の提出前に次により室内空気中の化学物質の濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。
　測定対象室及び測定箇所数
　測定対象室　※ 全ての居室、常時換気しない書庫、倉庫　○ 血管撮影室２、操作室
　測定箇所数　：

室の床面積A(m2)	A≦50	50＜A≦200	200＜A≦500	500＜A
測定箇所数	1	2	3	4

使用した材料、室の形状、換気設備等の仕様が類似しており、同様の測定結果となることが予想される複数の室については、監督員と協議の上、そのうちの１室以上を測定する。
測定方法　※ ﾊﾟｯｼﾌﾞ採取による蒸気拡散式分析法　・ 厚生労働省の標準法
測定物質　ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ

対象物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	0.08ppm(　100μg/m3)
ﾄﾙｴﾝ	0.07ppm(　260μg/m3)
ｷｼﾚﾝ	0.05ppm(　200μg/m3)
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.88ppm(3、800μg/m3)
ｽﾁﾚﾝ	0.05ppm(　220μg/m3)

測定者　専門測定機関による測定　※ 現場作業員による測定　・
測定前準備　測定対象室を30分換気し、その後5時間閉鎖する。
測定時　測定前準備・測定時は換気設備又は空気調和設備を稼動させたまま行う。ただし、局所的な換気扇で常時稼動させないものは停止させたままとする。測定時間は、原則として24時間とする。ただし、24時間測定が行えない場合は8時間測定(10時30分～18時30分)とする。
　測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。
測定後　測定年月日、測定時刻、測定時の室温・湿度・天候、及び内装仕上げ工事の完了した年月日等を記載すること。

○20　**検査**
中間検査　※ 対象工事　（実施は中間検査実施基準による）　○ 対象外工事

○21　**完成時の提出図書**　(1.9.1)
※ 現場説明書による。

22　**設計GL**
設計GL　※ 図示　・

○23　**既存部の汚損等**
工事施工に際し、既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造、仕上げ共、既存にならい補修する。

○24　**事故報告**
工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。

○25　**異常気象時の報告**
異常気象時（大雨警報、暴風警報、大雪警報）及び震度4以上の地震発生時には、現場点検を行い速やかに監督員に報告する。

地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	株式会社　横河建築設計事務所		検図	作図	日付

建設工事名 令和7年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事(建築・電気設備)	建築工事改修特記仕様書(R07.4)　1 / 7	図番 RA-O01

○ 28　公共事業労務費調査に対する協力

受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
(1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
(2) 調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
(3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
(4) 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

29　建設発生土の処理　[3.2.5]

・ 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。
　搬出場所　（　　）
　受入条件　（　　）
　仮置き場　（　　）
　土壌汚染のおそれ　・無　・有
　分析調査　・無　・有　　該当有害物質　（　　）
　調査対象　※　静岡県盛土等の規則に関する条例施行規則 別表第1の29物質
・ 場内指定場所に敷き均し　（・図示　・　　）
・ 場内指定場所に堆積　（・図示　・　　）

静岡県建設発生土マッチングシステム等により他工事現場との調整を行うこと
なお、受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。

2章　仮設工事

○ 1　足場その他　(2.1.3)(2.2.1)(表2.2.1)

内部足場の種別　※　脚立、足場板等　・
外部足場の種別　・　枠組足場　・くさび緊結式足場　・単管本足場
　・　仮設ｺﾝﾊﾟﾗ　・移動式足場　・
手すり先行足場の設置　※行う　○行わない
工事で設置する足場については、標準仕様書2.2.4(b)によるほか、「手すり先行工法等に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（厚生労働省平成21年４月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立てや解体等の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971（屋根工事用足場及び施工方法）に基づき、建方作業台や墜落防護さく等を設置する。
・ 外部足場の防護ｼｰﾄによる養生
　・養生ﾈｯﾄ　・養生ｼｰﾄ　（・Ⅰ類 ・Ⅱ類）　・ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ　（・Ⅰ類 ・Ⅱ類）
騒音・粉じん等の対策　・防音ｼｰﾄ　・防音ﾊﾟﾈﾙ　・
　設置範囲　・図示　・

○ 2　材料、搬出材等の運搬　(2.2.1)(表2.2.1)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
　C種　利用可能なエレベーター　（○図示による　・　）
　D種　利用可能な階段　（○図示［RA-024］による　）

○ 3　既存部分の養生　(2.3.1)

○ 既存部分の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ、合板等　・
○ 既存家具、既存設備等の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等　・
○ 工事用通路の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等　・
・ 固定された備品、机、ﾛｯｶｰ等の移動　※図示
・ 既存ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞ、ｶｰﾃﾝ等の養生　※図示
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

○ 4　仮設間仕切り　(2.3.2)

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　○図示　・
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填
・A種	○ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ　両面 種類　○ GB-R 厚さ　○ 12.5mm　※ 9.5mm	○ 無し ・ 片面	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ32K厚さ50mm以上
○ B種	・ 合板 種類　・ 厚さ　・　※ 9mm		
○ C種	仮設間仕切り下防塵シート養生		

仮設間仕切りに設ける扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※ 木製	※ 合板張り程度	○ 無し	・　箇所
○ **アルミ製**	○ **アルミ製**	・ 片面	○ 図示

○ 5　監督職員事務所　(2.4.1)

規模、仕様　・　10㎡程度　・既存建物利用　○設けない
備品等(標準仕様書によるほか下記による)
　・机　・椅子　・ｺﾞﾑ長靴　・雨がっぱ　・保安帽　・墜落制止用器具　・更衣ﾛｯｶｰ
　以上は監督職員　4 人分
　・書籍　・白板　・掛時計　・寒暖計　・懐中電灯　・受注者加入電話の子機　・消火器
　・冷暖房機器　・ﾊﾟｿｺﾝ　(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続：　)
　以上は各１ヶ

○ 6　監理事務所

規模、仕様　○ 10㎡程度　・既存建物利用　・
備品等
　○ 机　○ 椅子　・ｺﾞﾑ長靴　・雨がっぱ　・保安帽　・墜落制止用器具　○ 更衣ﾛｯｶｰ
　以上は　4　人分
　・書籍　○ 白板　・掛時計　・寒暖計　○ 懐中電灯　・受注者加入電話の子機　・消火器
　○ 冷暖房機器　○ ﾊﾟｿｺﾝ　(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続：　)
　以上は各１ヶ

○ 7　工事用水

構内既存の施設　・　利用できない
　○　利用できる（※有償 ・無償 ※利用可能口径　φ　本）

○ 8　工事用電力

構内既存の施設　・　利用できない
　○　利用できる（※有償 ・無償 ※利用可能電力　W　回路）

○ 10　シーリング　(3.1.4)(3.7.2～8)

ｼｰﾘﾝｸﾞ改修工法の種類
　○ ｼｰﾘﾝｸﾞ充填工法
　・ ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法
　・ 拡幅ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法
　・ ﾌﾞﾘｯｼﾞ工法　・ ﾎﾞﾝﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄ張り
　　・ ｴｯｼﾞｼﾝｸﾞ材張り

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類、施工箇所
下記以外は(表3.7.1)による

施工箇所	ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類(記号)
血管撮影室２　壁・天井	変性シリコーン系

仕上げを行わない施工箇所　・図示による
シーリング材の目地寸法　※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による
　・図示による
目地寸法
　打継ぎ目地　・幅　㎜ × 深さ　㎜ 以上　・
　ひび割れ誘発目地　・幅　㎜ × 深さ　㎜ 以上　・
　ｶﾞﾗｽ回り目地　・幅　㎜ × 深さ　㎜ 以上　・
　その他の箇所　○ 幅　6 ㎜ × 深さ　6 ㎜ 以上　・
目地位置　※ 図示

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の試験
　※ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験

11　とい　(3.8.2、3)(表3.8.1)

といその他の材種
　・ 配管用鋼管　・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　・ ﾙｰﾌﾌﾄﾞﾚﾝ
　・ 表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　）
という受金物
　材種
　　※ 改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
　　・
　形状
　　※ 市販品(とい径100以下)
　　※ 25㎟以上(とい径100を超えるもの)
　取付け間隔
　　※ 改修標準仕様書3.8.2による
　　・
足金物
　材種
　　※ 改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
　　・
　形状
　　※ 市販品
　　・
　取付け間隔
　　※ 改修標準仕様書3.8.2による
　　・
・ 多雪地域の適用
防露材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※ F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・図示による
鋼管製といの防露巻き　※ 改修標準仕様書表3.8.4による

ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝの種類及び呼び

種類		呼び				施工箇所
・ ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ ねじ込み式	・ 80	・ 100	・ 125	・ 150	
・ ろく屋根用横形Ⅰ型	※ ねじ込み式	・ 80	・ 100	・ 125	・ 150	
・ ﾊﾞﾙｺﾆｰ中雌用	※ ねじ込み式	・ 50	・ 80	・ 100		
	・ 差し込み式	・ 50	・ 75	・ 100		
・ ﾊﾞﾙｺﾆｰ用	※ ねじ込み式	・ 50	・ 80	・ 100		
	・ 差し込み式	・ 50	・ 75	・ 100		

たてどい受金物の取付け　※ 図示による
ルーフドレンの取付け　※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

12　アルミニウム製笠木　(3.9.2、3)

種類　・ｵｰﾌﾞﾝ形式　（・ 押出250形　・ 押出300形　・ 押出350形　・ 図示 ）
　・ 板材折曲げ形　（・ ｵｰﾌﾞﾝ形式　・ ｼｰﾙ形式 ）
　本体幅　（　） ㎜　板厚　（※ 2.0㎜　・　㎜ ）
表面処理　種別　（・　）
　色合等　・ 標準色　（　）　・ 特注色　（　）
・ 既存笠木等の撤去　範囲　※ 図示
下地補修の工法　※ 図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付け方法　※ 図示　・
笠木の固定金具の工法等
　1章 適用区分による風圧力の　（ ※1 ・1.15 ・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法

5章　建具改修工事

設計図の内容に明記がない場合、又は相違ある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
(1) 質問回答書((2)から(6)までに対するもの)　(2) 現場説明書　(3) 特記仕様書
(4) 別冊の図面の建具特記仕様書　(5) 別冊の図面　(6) 標準仕様書・改修標準仕様書

○ 1　改修工法　(5.1.3)

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具		・	・	・ 建具表による　・
・ 樹脂製建具			・	・ 建具表による　・
○ 鋼製建具	・ 外部	・	・	・ 建具表による　・
	○ 内部	・	○	○ 建具表による　・
○ 鋼製軽量建具		・	・	・ 建具表による　・
・ ｽﾃﾝﾚｽ製建具		・	・	・ 建具表による　・
・ 木製建具		・	・	・ 建具表による　・

新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方　※ 図示　・
　新規建具周囲の補修工法及び範囲　※ 図示　・
建具周囲のｼｰﾘﾝｸﾞは、改修特記仕様書3章防水改修工事による

2　防火戸　(5.1.4)

・ 指定する　適用箇所　（・建具表による　・　）
・ 指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及びﾋｭｰｽﾞ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
　○ 連動させる（○ 建具表による　・　）
　・ 連動させない

○ 3　見本の製作等　(5.1.5)

・ 建具見本の製作　建具符号：　○ 行なわない
・ 建具見本の目的等
　・ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
　・ 納まり等が分かる程度のもの
・ 特殊な建具の仮組　建具符号：

4　防犯建物部品　(5.1.7)

・適用する　（※ 建具表による　・　）　・適用しない

5　アルミニウム製建具　(5.2.2～5)(表5.2.2)

性能値等
　耐風圧性の等級　（　・　）
　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　気密性の等級　（　・　）
　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　水密性の等級　（　・　）
　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　外部に面する建具の種別
　　・A種　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　　・B種　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　　・C種　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　枠の見込み寸法
　（・建具表による　・
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ
　　遮音性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]
　　断熱性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　材料
　　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI　・
　　ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ　※ HL
　形状及び仕上げ
　　表面処理
　　外部に面する建具
　　種別　・BB-1　・BB-2(改修標準仕様書表5.2.2)
　　着色　・標準色　・特注色
　　屋内の建具
　　種別　・BC-1　・BC-2(改修標準仕様書表5.2.2)
　　着色　・標準色　・特注色
　　結露水の処理方法
　　・水貯め式　・排水式
　工法
　　水切り板、ぜん板　※ 図示による

網戸等　(5.2.3)(5.3.3)

種類	材種	線径	網目
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ（SUS316）製	※ 0.25mm以上 ・	※ 16～18ﾒｯｼｭ ・
・ 防鳥網	ｽﾃﾝﾚｽ（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法　15mm

6　樹脂製建具　(5.2.2)(5.3.2～5)

性能値等
　耐風圧性の等級　（　）
　気密性の等級　（　）
　水密性の等級　（　）
　外部に面する建具の種別
　　・A種　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　　・B種　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　　・C種　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ
　　遮音性の等級　（　・T-1　・T-2　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]
　　断熱性の等級　（　・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　外部に面する建具の日射熱取得性の等級
　　・
　枠の見込み寸法
　　・建具表による
　　・
　材料
　　ガラス　※ 複層ガラス　・
　　ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ　※ HL　・
　形状及び仕上げ
　　表面色　・標準色　・特注色
　工法
　　水切り板、ぜん板　※ 図示による

○ 7　鋼製建具　(5.2.2)(5.4.2～4)(表5.4.2)

性能値等
　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ　○ 適用する　（ 建具符号　○ 建具表による　）
　　・ 適用しない
　外部に面する鋼製建具の耐風圧性　耐風圧性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ　遮音性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]　断熱性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　耐震性能
　　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
　ｽﾃﾝﾚｽ製くつずりの仕上　※ HL
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1　・
形状及び仕上げ
　鋼板の厚さ　※ 改修標準仕様書5.4.2による　・　mm
標準型鋼製建具の形式及び寸法
　※ 建具表による

○ 8　鋼製軽量建具　(5.2.2)(5.5.2～4)

性能値等
　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ　○ 適用する　（ 建具符号　・建具表による　）
　　・ 適用しない
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ　遮音性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]　断熱性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　耐震性能
　　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
　鋼板の種類　※ 亜鉛めっき鋼板　・ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板　・ｶﾗｰ鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1　・
　召合せ、縦小口包み板の材質　※ 鋼板　・
　ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ　※ HL　・
形状及び仕上げ
　鋼板の厚さ(㎜)
　　・ 改修標準仕様書表5.5.1による
　　・　㎜　使用箇所（　）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
　※ 建具表による
　・

9　ステンレス製建具　(5.2.2)(5.4.2)(5.6.2～5)

性能値等
　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ　・適用する　（適用箇所　※ 図示 ）
　　・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　耐風圧性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　防音ﾄﾞｱ・防音ｻｯｼ　遮音性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　断熱ﾄﾞｱ・断熱ｻｯｼ[G]　断熱性の等級　（　・　）
　　（ 建具符号　・建具表による　・　）
　耐震性能
　　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1　・
　ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ　※ HL　・
形状及び仕上げ
　表面仕上げ　※ HL　・鏡面仕上げ　・
工法
　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の曲げ加工　※ 普通曲げ　・角出し曲げ

10　木製建具　(5.7.2～4)

建具材の加工、組立時の含水率　※ A種　・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※ F☆☆☆☆

・ ﾌﾗｯｼｭ戸
表面材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量等　※ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・ 普通合板[G]	表面の樹種　・ 板面の品質（※ 広葉樹1等　・　） 接着の程度（・1種 ・2種 ）	
・ 天然木化粧合板[G]	樹種名　（　） 接着の程度（・1種 ・2種 ）	
・ 特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法 ※ プリント ・ ポリエステル化粧合板 ・ メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1種 ・2種 ）	
・ MDF[G]		

表面板の厚さ　※ 改修標準仕様書表5.7.6による
・ 引戸の召合わせかまちのいんろう付きの適用

・ かまち戸　樹種　（　）　鏡板樹種　（　）
　見込み寸法　※ 36mm　・ 建具表による
・ ふすま　張りの種別　（・Ⅰ形　・Ⅱ型 ）
　上張り（押入等の裏側以外）　・ 鳥の子　・ 新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度
　縁仕上　・ 塗り縁　・ 生地縁（素地）　・ 生地縁（ｳﾚﾀﾝｸﾘﾔｰ塗装）
　見込み寸法　※ 19.5mm　・建具表による
・ 戸ぶすま　表面板の仕上　・ 建具表による
　見込み寸法　※ 30mm　・ 建具表による
・ 紙張り障子　見込み寸法　※ 30mm　・ 建具表による

枠、くつずりの材料　・ 建具表による

○ 11　建具用金物　(5.8.2、3)

金物の種類・見え掛り部の材質等　※ 改修標準仕様書表5.8.1による
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ　※ 改修標準仕様書表5.8.2による　・ 建具表による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ　※ 改修標準仕様書表5.8.3による　・ 建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※ 改修標準仕様書表5.8.4による　・ 建具表による
木製建具に使用する戸車及びﾚｰﾙ　※ 改修標準仕様書表5.8.5による　・ 建具表による
握り玉、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｸﾚｾﾝﾄの取付位置　建具表による
・ 錠前類【ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠及びｼﾘﾝﾀﾞ本締り錠】　別表による
・ ｸﾛｰｻﾞ類　別表による

○ 12　鍵　(5.8.4)

ﾏｽﾀｰｷｰ　・ 製作する　○ 既存のﾏｽﾀｰｷｰに合わせる　・ 製作しない
その他の鍵の製作本数　※ 3本1組　・
鍵箱　・ 有　○ 無

○ 13　自動ドア開閉装置　(5.9.2、3)

戸の開閉方式
○ 建具表による
○ 引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5.9.1による　(　・ 防錆の適用　)
・ 以下による
種類・開閉方式　(　)
耐電圧　(　)
温度上昇　(　)
耐久性(ｻｲｸﾙ)　(　)
防錆　(　)
電源　(　)
・ 多機能ﾄｲﾚ出入口引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5.9.2による　(　・ 防錆の適用　)
・ 以下による
耐電圧　(　)
温度上昇　(　)
耐久性(ｻｲｸﾙ)　(　)
防錆　(　)
電源　(　)
・ 引き戸用検出装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5.9.3による　(　・ 防錆の適用　)
・ 以下による
耐電圧　(　)
温度上昇　(　)
防錆　(　)
電源　(　)
引き戸用検出装置の種類
・ 建具表による
・
タッチスイッチの種類
・ 無線式タッチスイッチ
・ 光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・ 大形押しボタンスイッチ
・ 非接触スイッチ
凍結防止措置　・ 行う　・ 行わない

○ 14　自閉式上吊り引戸装置　(5.10.3)

性能値等
※ 改修標準仕様書表 5.10.1 による
・ 以下による　(　)
手動開き力　(　)
手動閉じ力　(　)
閉じ速度の調整　(　)
制動区間　(　)
開閉繰返し　(　)
耐衝撃性　(　)

15　重量シャッター　(5.11.2、3)

ｼｬｯﾀｰの種類　・ 管理用ｼｬｯﾀｰ
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ
外壁開口部に設ける重量ｼｬｯﾀｰの耐風圧強度　(　) Pa
開閉方式の種類　※ 上部電動式(手動併用)　・ 手動式
安全装置
電動ｼｬｯﾀｰの急降下停止装置、急降下制動装置　(設置個所　・ 建具表による　・　)
電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置
※ 設ける　(設置個所　・ 建具表による　・　)
・ 設けない　(設置個所　・ 建具表による　・　)
屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止機構
※ 設ける　(設置個所　・ 建具表による　・　)
・ 設けない　(設置個所　・ 建具表による　・　)
管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ
・ 設ける　・ 設けない
ｽﾗｯﾄ及びｼｬｯﾀｰｹｰｽ用鋼板
鋼板の種類
・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)
めっきの付着量
※ Z12またはF12
・
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ類のふたの材質
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

16　軽量シャッター　(5.12.2～4)

開閉方式の種類　※　手動式　・ 電動式(手動併用)
耐風圧強度(　) Pa
安全装置
電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置　(設置個所　・ 建具表による　・　)
ｽﾗｯﾄの材質の種類　・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量(※ Z06またはF06　・　)
・ JIS G 3322(塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量(※ AZ90　・　)
ｽﾗｯﾄの形状　・ ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形

17　オーバーヘッドドア　(5.13.2、3)

ｾｸｼｮﾝ材料による区分	耐風圧性能の区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙの材料
※ ｽﾀｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ ﾁｪｰﾝ式 ・ 電動式	・ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ ﾊﾟｰｺﾅﾙ形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

障害物感知装置を設けた電動式ｼｬｯﾀｰの設置箇所　・ 図示　・

○ 18　ガラス　(5.14.2～4)

ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽの品種及び厚さの呼びによる種類　※ 建具表による
・ 型板ｶﾞﾗｽの厚さによる種類　※ 建具表による
・ 網入板ｶﾞﾗｽ及び線入板ｶﾞﾗｽの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類　※ 建具表による

・ 合わせｶﾞﾗｽ
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びにｶﾞﾗｽの合計厚さによる種類　※ 建具表による　・
落球衝撃はく離特性並びにｼｮｯﾄﾊﾞｯｸ衝撃特性による種類
・ Ⅰ類　・ Ⅱ-1類　・ Ⅱ-2類　・ Ⅲ類
・ 強化ｶﾞﾗｽ
形状による種類、材料板ｶﾞﾗｽの種類による名称　※ 建具表による
破片の状態及びｼｮｯﾄﾊﾞｯｸ衝撃特性による種類　・ Ⅰ類　・ Ⅲ類
・ 熱線吸収板ｶﾞﾗｽ
板ｶﾞﾗｽによる種類、厚さによる種類　※ 建具表による
性能による種類　・ Ⅰ類　・ Ⅱ類　・
・ 複層ｶﾞﾗｽ
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びに複層ｶﾞﾗｽの厚さ　※ 建具表による　・
断熱性による区分　・ T1　・ T2　・ T3　・ T4　・ T5　・ T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分　・ G　・ S
乾燥気体の種類　・ 空気　・ ｱﾙｺﾞﾝ
・ 熱線反射ｶﾞﾗｽ
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さによる種類　※ 建具表による　・
日射遮蔽性による区分　・ 1種　・ 2種　・ 3種
耐久性による区分(日射遮蔽性による区分が2種の場合)　・ A類　・ B類
・ 倍強化ｶﾞﾗｽ
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さによる種類　※ 建具表による　・

ｶﾞﾗｽの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ｶﾞﾗｽ留め材	ｶﾞﾗｽ溝の大きさ(mm)
ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・ ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による ・
ｽﾃﾝﾚｽ製	・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による
樹脂製	・ ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞｶﾞｽｹｯﾄ ・	・ 図示 ・ **建具の製造所の仕様による**

19　ガラスブロック　(5.14.5)

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・ 160×160	・ 95 ・				
・ 200×200	・ 95 ・				

壁用金属枠及び補強材　※ 図示
力骨　材質　※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)　・
寸法　※ 5.5mm　・
形状　※ はしご形状複筋及び単筋
化粧目地ﾓﾙﾀﾙの色　(　・ 白　・ グレー　)
ｼｰﾘﾝｸﾞの種類　・ SR-1　・ PS-1
金属製化粧ｶﾊﾞｰ　材質　・ ｽﾃﾝﾚｽ製　・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製
寸法　※ 図示　・
形状　※ 図示　・
目地部の横力骨の納まり　※ ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ製造所の仕様による
・ 図示　・
工法　適用区分による風圧力の　(　※ 1　・ 1.15　・ 1.3　) 倍の風圧力に対応した工法

20　ガラス用フィルム

種類	記号		性能等
	内貼り用	外貼り用	
・ 日射調整ﾌｨﾙﾑ[G]	・ SC-1	・ SC-2	
・ 低放射ﾌｨﾙﾑ	・ LE		
・ 衝撃破壊対応ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・ GI-1	・ GI-2	
・ 相関変位破壊対応ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・ GD-1	・ GD-1	
・ ｶﾞﾗｽ貫通防止ﾌｨﾙﾑ	・ SF		

品質　JIS A 5759による。

6章　内装改修工事

○ 1　改修範囲　(6.1.3)

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま　・ 図示

○ 2　既存床の撤去及び下地補修　(6.2.2)

ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ等の除去　・ 仕上材のみ(接着剤とも)　○ 下地ﾓﾙﾀﾙとも　(　・ 図示　○ 除去範囲全て　)
合成樹脂塗床材の除去　・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法
既存のｺﾝｸﾘｰﾄ又はﾓﾙﾀﾙ面の下地処理に用いるｶﾞﾘｰｾﾝﾅﾝﾄﾓﾙﾀﾙ及びｽﾎﾟｷﾝ樹脂ﾓﾙﾀﾙは、4 章外壁改修工事による改修後の床の滑掃
※ 図示

○ 3　既存壁の撤去及び下地補修　(6.3.2)

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
・
※ 改修標準仕様書4.3.10によるﾓﾙﾀﾙ塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置　※ 図示　）

○ 4　施工一般　(6.5.2)

材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｲ)(b)による

5　製材[G]　(6.5.2)

県内産木材の適用がない場合でも可能な範囲で県内産オ・ 市販品
報告：静岡県産材証明制度の「県産材販売管理票」により報告すること
・ 合法的に生産された木材を使用すること。
報告：木材・木製品の合法性、持続可能性の証明のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ(平成18年2月15日林野庁作成)に準拠した証明書により報告すること
造作材の材面の品質の基準　※ A種　・ B種

・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※ 2級　・		※ A種　・ B種　・		・ 有　・ 無
			※ 2級　・		※ A種　・ B種　・		・ 有　・ 無
			※ 2級　・		※ A種　・ B種　・		・ 有　・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見掛面			※ 上小節 ・		※ A種　・ B種　・		・ 有　・ 無
見掛面以外			※ 小節以上 ・		※ A種　・ B種　・		・ 有　・ 無
			※ 2級		※ A種　・ B種　・		・ 有　・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※ 1等　・		※ 10%以下 ・ A種　・ B種　・		・ 有　・ 無
			※ 1等　・		※ 10%以下 ・ A種　・ B種　・		・ 有　・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・ JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		(　) 造作材の場合 ※ A種　・ B種	・ 適用する ・ 適用しない	※ A種 ・ B種	・ 有　・ 無
		(　) 造作材の場合 ※ A種　・ B種	・ 適用する ・ 適用しない	※ A種 ・ B種	・ 有　・ 無
		(　) 造作材の場合 ※ A種　・ B種	・ 適用する ・ 適用しない	※ A種 ・ B種	・ 有　・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

6　造作用集成材[G]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※ 1等　・ 2等	・ 有　・ 無
					※ 1等　・ 2等	・ 有　・ 無
					※ 1等　・ 2等	・ 有　・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ・ 2等	・ 有　・ 無
		化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ・ 2等	・ 有　・ 無
		化粧薄板： 芯材：				※ 1等 ・ 2等	・ 有　・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・ 有 ・ 無
		化粧薄板： 芯材：				・ 有 ・ 無
		化粧薄板： 芯材：				・ 有 ・ 無

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・ 有　・ 無
	化粧薄板： 芯材：				・ 有　・ 無
	化粧薄板： 芯材：				・ 有　・ 無

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※ 15%以下 ・	・ 有　・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※ 15%以下 ・	・ 有 ・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

7　造作用単板積層材[G]　(6.5.2)

・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 有 ・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
				※ 14%以下	・ 適用する ・ 適用しない	・ 有 ・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・ JAS 3079に基づく直交集成板 [G]

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・ 有 ・ 無

8　合板等　(6.5.2)

・ JAS 0360に基づく構造用パネル
・「合板の日本農林規格」による普通合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防煙処理	間伐材等の適用
	※ 5.5 ・		※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※ 2等以上　・ 1等 ・ 針葉樹 ※ C-D以上　・	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板[G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	防虫処理	間伐材等の適用
	※ 2級以上 ・ 1級		※ 1類 ・ 特類	※ C-D以上 ・	※ 12 ・	・ 有 ・ 無	・ 有 (　) ・ 無	・ 適用する ・ 適用しない	・ 有 ・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・ 1類　・ 特類	・ 有　・ 無	・ 有　・ 無
			・ 1類　・ 特類	・ 有　・ 無	・ 有　・ 無
			・ 1類　・ 特類	・ 有　・ 無	・ 有　・ 無

県産木材の適用　・ 適用する　・ 適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・ 1類　・ 2類	・ 有　・ 無
			・ 1類　・ 2類	・ 有　・ 無
			・ 1類　・ 2類	・ 有　・ 無

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		・ 1類　・ 2類			・ 有　・ 無
		・ 1類　・ 2類			・ 有　・ 無
		・ 1類　・ 2類			・ 有　・ 無

・ ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ[G]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※ 13ﾀｲﾌﾟ ・	※ PまたはM ・		※ 15 ・
		※ 13ﾀｲﾌﾟ ・	※ PまたはM ・		※ 15 ・

・ JAS 0360に基づく構造用ﾊﾟﾈﾙ

施工箇所	寸法(mm)

・MDF[G]

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9 接合具等 (6.5.3)

造作材の化粧面の釘打ち　※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し

諸金物　※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
・　(　形状：　寸法：　材質：　)

○10 接着剤 (6.5.3、4)

接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・

11 防腐・防蟻処理 (6.5.5)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：(　)
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分	
	・K2　・K3　・K4	
	・K2　・K3　・K4	
	・K2　・K3　・K4	

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位：(　)
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位：(　)

12 内部間仕切軸組及び床組み (6.5.6)

間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合)　※杉又は松　・
床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合)　※杉又は松　・

13 窓、出入り口その他 (6.5.7)

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉　・

○14 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2～4)

特定天井　・有（仕様、位置は図示による）○適用しない
野縁等の種類　屋外　(※25形　・19形)
屋内　(※19形　・25形)
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ及びｲﾝｻｰﾄの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　・図示　・
野縁の間隔　・図示　・

既存の埋込みｲﾝｻｰﾄ　○使用する　・使用しない

○あと施工ｱﾝｶｰの引抜き試験
(試験箇所数：　箇所)　※屋内の場合、当該階において3箇所
引張試験にて確認する強度　※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・(　N)
○吊りﾎﾞﾙﾄの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強　補強箇所　※図示　・
補強方法　※図示　・

○15 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3、4)(表6.7.1)

ｽﾀｯﾄﾞ、ﾗﾝﾅｰの種類
※改修標準仕様書表6.7.1によるｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分に応じた適類
・
ｽﾀｯﾄﾞの高さが5mを超える場合　※図示　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強　※改修標準仕様書6.7.4(5)による　・図示

○16 ビニル床シート[G] (6.8.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	○無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理　※熱溶接工法　・

17 ビニル床タイル張り[G] (6.8.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

○18 特殊機能床 (6.8.2)

○帯電防止床ｼｰﾄ
種類　(　)　性能　(　)
厚さ　(　2　mm)　○　図示
・帯電防止床ﾀｲﾙ
種類　(　)　性能　(　)
寸法　(　×　)　厚さ　(　mm)
・視覚障害者用床ﾀｲﾙ
視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類　(　)　形状　(　)
・耐動荷重性床ｼｰﾄ
種類　(　)　厚さ　(　mm)
・防滑性床ｼｰﾄ
種類　(　)　厚さ　(　mm)
・防滑性床ﾀｲﾙ
種類　(　)　寸法　(　×　)
厚さ　(　mm)

19 ビニル幅木 (6.8.2)

材質　・硬質　・軟質
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ　※1.5mm以上　・

20 ゴム床タイル (6.8.2)

種類　・単層品　・積層品
色柄　(　)
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)　(　)

21 カーペット敷き (6.9.2、3)(表6.9.1)

・織じゅうたん

織り方	ﾊﾟｲﾙ形状
・ｳｪﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ
・ﾀﾌﾃﾌﾄﾞｾｰﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ	・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ
・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用

色柄　※模様の無い無地　・
ﾊﾟｲﾙ糸の種類等　※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
帯電性　・適用する　・適用しない
織りじゅうたんの接合方法　※ﾋｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ工法　・
下敷き材　※反毛ﾌｪﾙﾄ(JIS L 3204)の第2種1号　呼び厚さ 8mm　・

・ﾀﾌﾃﾌﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・5～7　・	※全面接着工法	・適用する	
・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・4～6　・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法		
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・		・適用しない	

ﾀﾌﾃﾌﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
下敷き材(ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法の場合)　※反毛ﾌｪﾙﾄ(JIS L 3204)の第212号　呼び厚さ8mm　・

・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

ﾊﾟｲﾙの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物　材質　(　)　種類　(　)
形状等　※図示

22 合成樹脂塗床 (6.10.2、3)

種別	施工箇所	工法	仕上の種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ 工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆

23 フローリング張り (6.11.2～6)

ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※改修標準仕様書6.11.2(2)による
各工法に使用する接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※F☆☆☆☆

・単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等)
工法　・釘留め工法（・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・
・間伐材の適用
・単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ１等)
樹種　※なら　・
厚さ　・　大きさ　・
・間伐材の適用
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
工法　・釘留め工法（・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・
種別　・A種　・B種　・C種
・間伐材の適用

接着工法の場合の裏面緩衝材　※合成樹脂発泡ｼｰﾄ　・
現場塗装仕上げ　※ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜｰｽ塗り　・ｵｲﾙｽﾃｲﾝの上、ﾜｯｸｽ塗り・生地のままﾜｯｸｽ塗り

24 畳敷き (6.12.2)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種(畳床KT－　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・K　・N)
下地の種類　・標準仕様書様12.6.1による床組み
・ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地(ﾉﾝﾌﾛﾝ[G])
・
畳表及び畳床はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びﾍﾟｽﾃｨﾝを発散しないか、発散がきわめて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳　表畳　・C1　・C2

○25 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2、3)

MDF及びﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量　※改修標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか

種類等		厚さ(mm)、規格等
・木毛セメント板	・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)	※図示による　・15　・20　・25
・木片セメント板	・硬質(HF) ・普通(NF)	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
○けい酸カルシウム板(ﾀｲﾌﾟ2) 普通ボード 0.8FK		※図示による　・6　・8
・火山性ガラス質複層板 種類　※図示による		※図示による
繊維板	・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による　・3　・7　・9　・12
繊維板	・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(無処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE)	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7
繊維板	・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ(A-IB) ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
パーティクルボード	・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板(VN) ・研磨板(VS)	※図示による　・10　・12　・15　・18
パーティクルボード	・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板オーバーレイ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC)	※図示による　・10(難燃)　・12(難燃)
吸音材料	○ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR) ○フラットタイプ ・凹凸タイプ	・9（不燃）　○12(不燃) ・12(不燃)　・15(不燃)
吸音材料	・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(1号)	※図示による　・25
吸音材料	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(32K)	・25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み)
せっこうボード	○せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R)	※12.5(不燃)　・15(不燃)
せっこうボード	・ｼｰﾄﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)	・12.5（・不燃　・準不燃）
せっこうボード	・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-F)	・12.5(不燃)　・15(不燃)
せっこうボード	○化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)	・木目 12.5(不燃) 幅 440mm程度 模様（・柾目 ・板目）専用下地有 ・ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 9.5(準不燃)　○図示による
せっこうボード	・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ(GB-L)	・9.5
せっこうボード	○不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC) ○化粧無(下地張り用) ・化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	○9.5

合板類

種類等		厚さ(mm)、規格等
・普通合板 表板の樹種名（　） 板面品質　(　) 防虫処理　・行う ・行わない		※図示による ・
・天然木化粧合板 化粧板の樹種名（　） 防虫処理　・行う ・行わない		※図示による ・
・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法　・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 表面性能　・ 防虫処理　・行う ・行わない		※図示による ・

天井のﾎﾞｰﾄﾞ類(ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板を除く)の重ね張りを行う場合　※図示による
合板類の張付け　・A種　※B種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法等
目地工法の種類　※改修仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類　・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

26 壁紙張り (6.14.2、3)

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類						防火種別	備考
	紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	

ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ　※B種　・A種
ｺﾝｸﾘｰﾄ、ALC面の素地ごしらえ　※B種　・A種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ　※B種　・A種

27 モルタル塗り (6.15.3、5、6)

モルタル　・現場調合材料
・既調合材料
・既製目地材　(施工箇所　:　)
(形状　:※図示による　)
・床目地　(目地の種類　:※押し目地　・　)
(目地割り　:※2m程度　・　)
(最大目地間隔　:※3m程度　・　)
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理　※図示による

7章 塗装改修工事

○1 材料 (7.1.3)

屋内で使用する塗料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする　(箇所：　)

○2 下地調整 (7.2.1～7)

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲　※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示
・既存錆止め塗料の除去　鉛含有分析　分析方法　:(　)
箇所　:(　箇所)
除去方法：鉛作業主任者を選任し、湿式により除去すること。

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	
鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具等)	・RA種 ※RB種 ・RC種	
ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・RA種 ※RB種 ・RC種	・行う ・行わない
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP以外)、ALCﾊﾟﾈﾙ面	・RA種 ※RB種 ・RC種	・行う ・行わない
押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP)	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	・RA種 ※RB種 ・RC種	

○3 素地ごしらえ (7.3.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗料塗りの場合	・A種 ※B種
鉄鋼面(DP以外)		・A種 ・B種 ※C種
鉄鋼面(DP)		・A種 ※B種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種
モルタル面及びプラスター面		・A種 ※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種 ※B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)		・A種 ・B種
コンクリート面(DPのみ)		・A種 ※B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・B種
	目地：継目処理工法以外	・A種 ※B種

4 錆止め塗料塗り (7.4.2、3)

錆止め塗料塗りの種別

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.3)	塗替え	※A種	※C種
		新規見え掛り	※A種	※A種
		新規見え隠れ	※A種	※B種
	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え	・A種 ※B種	※C種
		新規見え掛り	・A種 ※B種	※A種
		新規見え隠れ	・A種 ※B種	※B種
	DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b)による	・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(ｲ)(a)による	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	※A種 ・B種	※C種
		新規 鋼製建具等	※A種 ・B種	※A種
		規 その他	※B種	※B種
	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	※C種	※C種
		新規 鋼製建具等	※C種	※A種
		規 その他	※C種	※B種
	DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え	※B種	－
		新規	※B種	－

○5 塗装 (7.5.2～7.13.2)

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
○ 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り(SOP) 塗料の種類 ※ 1種 ・ 2種	木部(外部)	※ B種 ・	※ A種 ・
	木部(内部)	※ B種 ・	※ B種 ・
	鉄鋼面	※ B種 ・	・ A種 ※ B種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※ A種 ・	※ B種 ・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※ B種 ・	※ B種 ・
・ ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り(CL)		・ A種 ※ B種 (着色塗料の種類：)	・ A種 ※ B種 (着色塗料の種類：)
・ ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種
・ 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A種 ・ B種 ・ C種	※ A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A種 ・ B種 ・ C種	※ A種
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種
・ つや有り合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	屋内木部	※ B種 ・	※ A種 ・
	屋内鉄鋼面	※ B種 ・	・ A種 ※ B種
	屋内亜鉛めっき鋼面	※ A種 ・	※ A種 ・ B種
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	※ B種 ・	・ A種 ※ B種
○ 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)		※ B種 ・	・ A種 ※ B種
・ 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T)		※ B種 ・	・ A種 ・ B種
・ ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り(UC)		・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種
・ ｽﾃｲﾝ塗り		・ ピグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り(OS)	
・ 木材保護塗料塗り(WP)		・ A種 ※ B種	・ A種 ※ B種

つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面)の塗替えの場合のしみ止め
※ B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・

合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗りの塗替えの場合のしみ止め
※ B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・

・ 高日射反射率塗料塗り[G]
下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種

工程	塗料その他				塗付け量
	規格番号	規格名称	種類	等級	(kg/㎡)
塗料塗り	JISK5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・ 適用する (着色剤： ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)
・ 適用しない
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色適用
・ 適用する
・ 適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

10章 ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・ 500×500		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000 ・ 5000	・ 帯電防止床ﾀｲﾙ ・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	

寸法精度
※ 標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)(a)～(c)による ・
・ 以下による
ﾊﾟﾈﾙ長さの寸法精度 :
ﾊﾟﾈﾙの平面形状(角度)の寸法精度 :
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの高さの寸法精度 :
帯電防止性能 ・ 評価値(U)≧0.6以上 ・ 評価値(U)≧1.2以上
感電防止性能 漏えい抵抗(R)≧1×10^6Ω
(品質・性能、試験方法は別表による)

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		パﾈﾙ表面仕上げ	遮音性(db/500Hz)	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ			
・ ｽﾀｯﾄﾞ式(内臓) ・ ｽﾀｯﾄﾞ式(露出) ・ ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 ・ ﾊﾟﾈﾙ式			・ ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36	・ 不燃

ﾊﾟﾈﾙ内に取付ける建具 ・ あり
※ 図示 ・
・ なし
ﾊﾟﾈﾙ内に取り付ける家具のﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
ﾊﾟﾈﾙ材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放出量 ※ F☆☆☆☆

3 移動間仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	ﾊﾟﾈﾙ圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面材		遮音性(db/500Hz)
				材質	仕上げ	
・ 平行方向移動式 ・ 二方向移動式	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ ﾌﾟｯｼｭ式 ・ ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		・ 鋼板 ・	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り ・	・ 36未満 ・ 36以上

ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙの取付け下地の補強
※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・ 図示
ﾊﾟﾈﾙをﾗﾝﾅに取り付ける部品
※ ﾗﾝﾅに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ及びﾗﾝﾅ
※ ﾊﾟﾈﾙ重量の5倍の荷重を、ﾊﾟﾈﾙ1枚に使用するﾗﾝﾅ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・
(品質・性能は別表による)

4 トイレブース (20.2.5)

表面材の材料	脚部	ﾄﾞｱｴｯｼﾞ
	種類	材質
・ ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ ｶﾞﾗｽｴﾎﾟｷｼ樹脂系化粧板 ・	・ 幅木ﾀｲﾌﾟ ・	・ 製造所の仕様による ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製

(品質・性能、試験方法は別表による)

○5 手すり (20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・ SUS304
表面処理 ※ HL程度 ・
・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
表面処理(標準仕様書表14.2.2による種別) ・
・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ
表面処理(標準仕様書表14.2.1による種別) ・
色合等 ・ 標準色 : ・ 特注色 :
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・ 集成材 材種 :	・ ｸﾘｱﾗｯｶｰ ・	・ 35程度 ・ 45程度 ・		
○ ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ	○ 図示	○ 35程度 ・ 45程度 ・	○ 図示	

6 階段滑り止め (20.2.7)

材種 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ 黄銅製押出型材 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製押出型材 ・
形状 ※ ﾀｲﾔ型(ﾀｲﾔの材質：ｺﾞﾑ又は合成樹脂) ・ ﾀｲﾔﾚｽ型
端部の形状 ・ ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞあり ・ ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞなし
寸法(幅) ・ 35mm程度 ・ 40mm程度 ・ 50mm程度
取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋め込み工法

7 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

・ 黒板
区分 ※ 焼き付け
種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 ・
色 ※ 緑 ・
・ ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ

8 鏡 (20.2.10)

取付箇所 :
寸法(mm) ・ 図示 ・
厚さ(mm) ※ 5 ・

9 表示 (20.2.11)

衝突防止表示
・ 設置する
設置場所 ※ 図示 ・
形状・寸法 ・ 30φ ・
材質 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・
・ 設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※ 消防法に適合する市販品
室名札、ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※ 図示

10 タラップ (20.2.12)

材質及び仕上げ ・ SUS304
スリップ止め加工 ※ あり ・ なし
・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
※ 標準仕様書表14.2.2による種別
※ C種 ・

11 煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ (20.2.13)

適用安全使用温度 ・
工法 ※ 鋼製ﾕﾆｯﾄ煙突(煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材) ・

12 ブラインド (20.2.14)

形式	操作方式	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ・取付箇所
・ 横形	・ 電動	―				
	・ 手動	※ ｷﾞｱ式 ・ ｺｰﾄﾞ式 ・ 操作棒式	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製[G] ・	※ 25 ・	※ 鋼製 ・	※ 図示 ・
・ 縦形	・ 電動	―				
	・ 手動	※ 1本操作ｺｰﾄﾞ式 ・ 2本操作ｺｰﾄﾞ式	・ ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・ 80 ・ 100	・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※ 図示 ・

縦型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞのｽﾗｯﾄの材質
・ ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ 焼付け塗装仕上げ
・ ｸﾛｽｽﾗｯﾄ 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。

13 ロールスクリーン (20.2.15)

操作方法	ｽｸﾘｰﾝの材質	その他の材料	幅・高さ、取付箇所	品質
・ ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式 ・ ｺｰﾄﾞ式 ・ 電動式	・ ｶﾞﾗｽ繊維製 ・ 合成、天然繊維製 ・ 木製	※ 製造所の仕様	・ 図示	・

14 カーテン (20.2.16)

形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ ｼﾝｸﾞﾙ ・ ﾀﾞﾌﾞﾙ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ ﾌﾗﾝｽﾋﾞﾀﾞ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ ﾌﾟﾚｰﾝﾋﾞﾀﾞ		・ 図示	

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。
暗幕ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上 ・

15 カーテンレール (20.2.16)

材料による区分 ※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ又はｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出成型材
・ ｽﾃﾝﾚｽ製
強さによる区分 ※ 10-90 ・
仕上げ ※ ｱﾙﾏｲﾄ ・
形状 ※ 角形 ・

16 ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型x深さ(mm) ・ 90x150 ・ 120x80 ・ 120x150 ・ 150x80 ・ 図示
材種 ・ 集成材
仕上げ :
・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 押出し型材(市販品)
標準仕様書14.2.1による種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種
色合い ・ 標準色 : ・ 特注色 :
・ 鋼製
仕上げ :

○17 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・	○ 450×450 ・ 600×600	○ 一般形	・ 屋内外用 ○ 屋内用	○ 額縁ﾀｲﾌﾟ ・ 目地ﾀｲﾌﾟ	・ 額縁ﾀｲﾌﾟ ○ 目地ﾀｲﾌﾟ
		○ 気密形			

(品質・性能、試験方法は別表による)

18 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ 鋼製	・ 450×450 ・ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き

密閉形とはﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ等ﾒｶﾆｶﾙ構造にﾊﾟｯｷﾝを装着したものとする。
(品質・性能、試験方法は別表とする)

19 耐震ｽﾘｯﾄ

方向	幅(mm)	ﾀｲﾌﾟ	耐火性能	防水性能	備考
・ 垂直	・ 25 ・	・ 完全(全貫通型) ・	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し	
・ 水平	・ 25 ・				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材(見え掛かり部のみ) ・	・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材(見え掛かり部のみ) ・ ｼｰﾘﾝｸﾞ材(内外共)
目地寸法	・ ｽﾘｯﾄ幅×深さ10 ・	・ ｽﾘｯﾄ幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

20 止水板

形式 ・ 差込式 ・ 据置式 ・ 壁張り式
施工箇所 ・ 図示

21 エキスパンションジョイント金物

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

22 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ又はｺﾞﾑ製 ・ 硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)製 ・	・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)製 ・ 硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・	

23 流し台ユニット

材種	寸法(mm)			備考
	W	D	H	
・ 流し台	・ 1200 ・ 1500 ・ 1800	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 800 ・ 850	市販品 ﾄﾗｯﾌﾟ付き 天板ｽﾃﾝﾚｽ製
・ ｺﾝﾛ台	・ 600	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 620 ・ 670	市販品 ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ有り 天板ｽﾃﾝﾚｽ
・ つり戸棚	・ 1200 ・ 900	・ 450	・ 500 ・ 700	市販品
・ 水切り	・ 1200 ・ 900 ・ 600	―	―	市販品 ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ 1段式 ・

品質・性能 外観は、JIS A 4420「ｷｯﾁﾝ設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状 ※ 図示

24 旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・ ﾃｰﾊﾟｰ式 ・ 同一断面式		・ ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・ ﾛｰﾌﾟ式	・ 埋込式 ・ ﾍﾞｰｽ式 ・ ﾊﾟﾝﾄ式	

25 旗竿受金物

・ ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS304) ・

26 車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)
・ 上下式鎖内蔵式	・ 標準品 ・ ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式	・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・	・ ・	・ GL+700 ・
・				

27 フェンス

ﾌｪﾝｽの種類 ・ ﾋﾞﾆﾙ被覆ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ ・ 樹脂塗装ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ ・ 鋼管ﾌｪﾝｽ ・ ｱﾙﾐﾌｪﾝｽ
高さ ・ 図示

28 プレキャストコンクリート (20.3.3)(20.3.4)

ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度
※ 水ｾﾒﾝﾄ比55%以下、単位ｾﾒﾝﾄ量の最小値300kg/m3を満足する調合強度
・ 図示
配筋
※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・ 図示
取付け方法
※ 図示

29 間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ積み

	種別	種類	質量区分	備考
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩			
・ ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ			・ A ・ B	

積み方 ※ 谷積み ・ 布積み
目地り ・ 図示
伸縮調整目地
材種 ・ 図示
厚さ ・ 図示

30 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・ 鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種

31 屋内掲示板

枠の材質 ※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・
表面の材質 ※ 塩ﾋﾞ発泡ｼｰﾄ張り ・

32 洗面カウンター

材種 ・ ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板張り(芯材：集成材) ・
奥行き(mm) ・ 約450 ・ 約600

33 防煙垂れ壁

・ 固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨き板ｶﾞﾗｽ	※ 6.8	※ 500	ｱﾙﾐ製枠付き
・ 線入り磨き板ｶﾞﾗｽ	・	・	

・ 可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・ 垂直降下式(巻取り型)	・ 不燃布(不燃認定品)	・ 500 ・ 800 ・	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ ※ 固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)
・ 回転降下式	鋼板製又はｱﾙﾐ製	・ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)

34 屋外掲示板

照明器具 ※ 有り ・ 無し
施錠 ※ 有り ・ 無し
製造所 ・

35 収納家具

合板類、MDF及びﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量 ※ F☆☆☆☆
材質、形状、寸法 ※ 図示

建築材料等品質性能表（改修）

この建築材料等品質性能表は、特記仕様書記載の材料の品質、性能、試験方法を詳細に示したものである。

３章　防水工事

ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

（乾式保護材）

（品質・性能）

分類・規格		・窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）	・窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）	・金属複合板
寸法(mm)	厚さ(mm)			
	幅(mm)			
寸法の許容差		厚さ：+10%、−5%、幅：±1%		
出荷時の含水率		出荷時において10%以下		―
曲げ強さ・曲げﾓｰﾒﾝﾄ（N・cm）（ｽﾊﾟﾝ50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げﾓｰﾒﾝﾄ）	標準時	550以上	450以上	300以上
	凍結融解完了時（試験サイクル数）	400以上（300）	320以上（200）	250以上（300）
吸水率（%）		20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率(%)		0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性		不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能		曲げ強さ、曲げモーメントの凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと		
耐衝撃性能		質量500g（窯業系パネルⅠ類は1.000g）のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。		質量500gのおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下
剛性(E×I)スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性		―	―	80000N・cm　以上

（試験方法）

（１）寸法の測定方法

（厚さ）供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。

（２）曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は３号試験体とする。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。）

（３）吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。

（４）難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

（５）吸水による長さ変化率試験は、試験体（幅40 mm×長さ160 mm×素材厚さ）を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム（試薬）」に規定する塩化カルシウム又は JISK 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140 mmになるように標線を刻む。

その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準（L1）とする。次に試験片の長さ方向を水平にこば立てて、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。

24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ（L2）を測る。

吸水による長さ変化率（ΔL）は、次式によって求める。

（ΔL）＝（L2 − L1）/ L1 ×100　ΔL ：吸水による長さ変化率（%）

L1：乾燥時の標線間の長さ（mm）　L2：吸水時の標線間の長さ（mm）

（６）耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。）−20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。

（７）耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S　対辺単純支持方法による。

試験体の大きさは、4号（長さ400 mm，幅300 mm）とする。おもりは記号（W1−1000又はW2−500）とする。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

４章　外壁改修工事（共通）

ポリマーセメントモルタル

（ポリマーセメントモルタル）

（品質・性能）

項目			品質・性能
だれ	下がり量（mm）		5以内
	表面の状態		ひびわれの発生が無いこと。
曲げ強さ（N/mm²）			6.0以上
圧縮強さ（N/mm²）			20.0以上
接着強さ（N/mm²）	標準条件		1.0以上
	特殊条件	湿潤時	0.8以上
		低温時	0.5以上
透水性 その他			裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。 １）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ２）高分子ﾏｯｼｭは、常温常湿において製造後６か月保存しても、変質しないこと。

ポリマーセメントスラリー

（ポリマーセメントモルタル）

（品質・性能）

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）（%）	引張接着性（材齢28日）（N/mm²）	曲げ性能（材齢28日）（N/mm²）	吸水性（72時間）（%）	耐久性（劣化曲げ強さ）（N/mm²）
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

既調合モルタル

（既製調合モルタル）

（品質・性能）

項目		品質・性能
保水率		70.0%以上
単位容積質量		1.8kg/L以上
接着強さ	標準時	0.6N/mm　以上
	温冷繰り返し後	0.4N/mm　以上
長さ変化率		0.2%以下
曲げ強さ		4.0N/mm　以上

（試験方法）

（１）試料の調製

製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。

練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。

（２）保水率の試験方法

JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定するみがき板ガラス（ 厳150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 A ろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3 mm）を設置し、（１）で調製した試料を金べらで平滑に詰込む。

その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。 60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、１mmの単位まで測定する。試験は３回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。

保水率＝50/平均値×100　　（注）　50：リング型わくの内径　mm

（３）単位容積質量の試験方法

JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

（４）接着強さ（標準時）の試験方法

イ）適用タイルが「モザイクタイル」の場合

（試験体の作製）JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N−300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（１）で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで 乾式成形の１類 （旭ゆう）「50角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）」を圧着する。

その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。

（試験方法）JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び 抜き取る。（全てが0.6N/mm　以上）

ロ）適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合

（試験体の作製）JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N−300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（１）で 調製した試料を厚さ7mmになるよう 塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出またはプレス成形施ゆうの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。

その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。

（試験方法）「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

（５）接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法

（試験体の作製）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々（４） 接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。

（温冷繰返し試験）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909に規定する「建築用仕上塗材」の7.11温冷繰返し試験に準じて行う。

試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに−20±2℃の 恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間 を１サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れ の有無を目視によって調べる。

（温冷繰返し後の接着強さ試験方法）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置後した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm　以上）

（６）長さ変化率の試験方法

JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。

（７）曲げ強さの試験方法

JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。

試験室の状態 ： 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

５章　建具工事

建具用金物

（錠前類）【シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠】

（品質）

デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。

（性能）

使用頻度による性能	1）（シリンダ箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。
	2）キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。（シリ ンダ本締り錠のみ）シリンダ単体の施解錠繰り返しの評価は、シリンダ だけの回転トルクが10N・cm以下とする。
	3）キーによる施錠機構の施解錠繰り返し試験（10万回）を行なった後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。
	4）キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10 N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回 転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが 回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする）
外力に対する性能	1）ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びボルトの出寸法は8mm以上 であること。
	2）デッドボルトの側圧強度試験（10 KN）を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。
	3）デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験（58.8J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。
	4）デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。
	5）（シリンダ本締り錠はグレード3以上の彫込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度を持つものする。

使用扉の質量に対する性能（ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠のみ）	1）ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びボルトの出寸法は8mm以上 であること。
	2）レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
	3）握り玉のねじり強度試験（3KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
	4）ハンドルの引張強度試験（2 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
	5）ハンドルの垂直荷重強度試験（2 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
鍵	1）かぎ（鍵）数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。
	2）同一タンブラーの使用数は、60 % 以下とする。また、6 本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大２連続までとしていること。

試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物−錠−第１部：試験方法）による。

（錠前類）【レバーハンドル】

（性能）

ねじり強度	レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
引張り強度	ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル が正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、 施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
垂直荷重強度	ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハン ドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠 は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物−錠−第１部：試験方法）による。

（クローザ類）

（品質・性能）

区分 性能試験項目			① ドアクローザ		② ヒンジクローザ		③ フロアヒンジ	
		参考	閉じモーメント（N・m）	効率(%)	閉じモーメント（N・m）	効率(%)	閉じモーメント（N・m）	効率(%)
初期値	閉じ力及び効率による区分	1	5以下	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上
	（注−1）Grade2（注−2）	2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上
		3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上
		4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上
		5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上
		6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上
閉じ速度（秒）		常温（5〜35℃）無風状態において、開扉（70°）から全閉（0°）までの時間を5〜8秒に調整できること。						
温度依存性(℃)		緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法）により測定し、−15℃以下であること。						
ストップ力	ストップ入力		60 N・m以下 但しｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は200N・m以下		100 N・m以下		100 N・m以下	
	ストップ解除力		8 N・m以上		3 N・m以上		10 N・m以上	
バックチェック性能（秒）（バックチェック機能を有する機種のみ適用）			ドア開扉方向に荷重60N/㎡を開扉50°から負荷する。ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ開始角度（70〜85°）から更に2°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。		―		―	
ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ性能（秒）ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ解除角度（60〜75°）（ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ機能を有する機種のみ適用）			開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10 秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。		―		―	
戸の閉鎖位置（中心吊り込み両自由のみに適用）			―		―		±3mm以内	
耐久性	繰返し開閉後の閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の効率（%）	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の閉じ速度（秒）		耐久試験後も上記初期値を満足していること。					
	繰返し開閉後のバックチェック性能（秒）		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		―		―	
	繰返し開閉後のディレードアクション性能（秒）		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		―		―	
繰り返し開閉後の戸閉鎖位置（mm）			―		―		耐久試験後±6mm以内	
耐久性の試験回数（繰り返し開閉回数）		Grade2	20万回		10万回		30万回	

注１.ﾊﾟﾗﾚﾙ取付けは、右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの70%程度までとする。

注２.ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの50%程度までとする。

Grade1を選定する場合は、図示による。

（試験方法）

１）性能試験は、JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法−第３部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ）に規定する試験方法による。

２）試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。

自閉式上吊り引戸装置

（自閉式上吊り引戸装置）

（試験方法）

（１）耐久性（開閉繰り返し）試験

閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。

同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。

適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置については メーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。

（２）耐衝撃性試験

落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。

（３）気密性能試験

JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

（錠前類）【レバーハンドル】

（性能）

ねじり強度	レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
引張り強度	ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル が正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、 施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
垂直荷重強度	ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハン ドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠 は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物−錠−第１部：試験方法）による。

（クローザ類）

（品質・性能）

区分 性能試験項目			① ドアクローザ		② ヒンジクローザ		③ フロアヒンジ	
		参考	閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	効率(%)	閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	効率(%)	閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	効率(%)
初期値	閉じ力及び効率による区分	1	5以下	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上
	（注−1）Grade2（注−2）	2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上
		3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上
		4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上
		5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上
		6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上
閉じ速度（秒）		常温（5〜35℃）無風状態において、開扉（70°）から全閉（0°）までの時間を5〜8秒に調整できること。						
温度依存性(℃)		緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法）により測定し、−15℃以下であること。						
ストップ力	ストップ入力		60 N・m以下 但しｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は200N・m以下		100 N・m以下		100 N・m以下	
	ストップ解除力		8 N・m以上		3 N・m以上		10 N・m以上	
バックチェック性能（秒）（バックチェック機能を有する機種のみ適用）			ドア開扉方向に荷重60N/㎡を開扉50°から負荷する。ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ開始角度（70〜85°）から更に2°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。		―		―	
ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ性能（秒）ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ解除角度（60〜75°）（ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ機能を有する機種のみ適用）			開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10 秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。		―		―	
戸の閉鎖位置（中心吊り込み両自由のみに適用）			―		―		±3mm以内	
耐久性	繰返し開閉後の閉じﾓｰﾒﾝﾄ（N・m）	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の効率（%）	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の閉じ速度（秒）		耐久試験後も上記初期値を満足していること。					
	繰返し開閉後のバックチェック性能（秒）		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		―		―	
	繰返し開閉後のディレードアクション性能（秒）		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		―		―	
繰り返し開閉後の戸閉鎖位置（mm）			―		―		耐久試験後±6mm以内	
耐久性の試験回数（繰り返し開閉回数）		Grade2	20万回		10万回		30万回	

注１.ﾊﾟﾗﾚﾙ取付けは、右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの70%程度までとする。

注２.ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの50%程度までとする。

Grade1を選定する場合は、図示による。

（試験方法）

１）性能試験は、JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法−第３部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ）に規定する試験方法による。

２）試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。

自動ドア開閉装置

（自動ドア開閉装置）

（品質・性能）

項目	品質・性能
作動電圧	定格電圧に対し90%〜110%の電圧で作動に異常がない
適用使用周囲温度（℃）	−10℃〜40℃
電動機の焼損防止措置	電動機にサーマルプロテクターを内蔵、 又は制御装置に保護回路を設置

６章　内装改修工事

モルタル塗り

〈防水剤〉

〔品質・性能〕

項目	品質・性能
防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	（凝結）JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の8の規定によって行う。凝結時間　始発：1時間以上　終結：10時間以内
	（安定性）JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9の規定によって行い、収縮性、膨張性のひび割れ及びそりについて観察する。
曲げ及び圧縮強度比	70%以上
吸水比	95%以上
透水比	80%以上

壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25㎜を超える場合の下地処理

〔試験方法〕

JIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による。ただし、透水試験における水圧は、294.0kPaとし1時間行う。

タイル張り

〈既製調合モルタル〉

〔品質・性能〕

項目		品質・性能
保水率		70.0%以上
単位容積質量		1.8kg/L以上
接着強さ	標準時	0.6N/㎟　以上
	温冷繰り返し後	0.4N/㎟　以上
長さ変化率		0.2%以下
曲げ強さ		4.0N/㎟　以上

〔試験方法〕

（１）試料の調製

製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。

練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する練り混ぜ機を使用し,練りぱちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。

（２）保水率の試験方法

JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定するみがき板ガラス（ 縦150㎜、横150㎜、厚さ5㎜）の上にJIS P3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 A5ろ紙（直径11㎝）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50㎜、高さ10㎜、厚さ３㎜）を設置し、（１）で調製した試料を金べらで平滑に詰込む。

その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。 60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、１㎜の単位まで測定する。試験は３回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。

保水率＝50/平均値×100　　(注)　50：リング型わくの内径　㎜

（３）単位容積質量の試験方法

JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

（４）接着強さ（標準時）の試験方法

イ）適用タイルが「モザイクタイル」の場合

（試験体の作製）JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B－1に規定する普通平板N－300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（１）で調製した試料を厚さ5㎜になるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで 乾式成形の１類 （施ゆう）「50角ユニットタイル（外のり寸法約300㎜×300㎜）」を圧着する。

その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。

（試験方法）JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.9付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で調製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び 抜き取る。（全てが0.6N/㎟　以上）

ロ）適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合

（試験体の作製）JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B－1に規定する普通平板N－300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用 いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（１）で 調製した試料を厚さ7㎜になるよう 塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで 乾式成形の１類（施ゆう）「小口タイル108㎜×60㎜×12㎜」を4枚2列、計8枚を圧着する。

その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。

（試験方法）「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

（５）接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法

（試験体の作製）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々（４） 接着強さ（標準時） の試験方法の「試験体」と同様とする。

（温冷繰返し試験）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10温冷繰返し試験に準じて行う。

試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに－20±2℃の 恒温器中で3時間冷却し、次いで50±2℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間 を１サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れ の有無を目視によって調べる。

（温冷繰返し後の接着強さ試験方法）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」 とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/㎟　以上）

（６）長さ変化率の試験方法

JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。

（７）曲げ強さの試験方法

JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。

試験室の状態 ： 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

〈既製調合目地材〉

〔品質・性能〕

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下（収縮）
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

〔試験方法〕

（１）試験の条件

試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具など、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。

（２）試料の調整

正味質量と標準練り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。

練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」10.1に規定する練り混ぜ機を使用し、練りぱちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。

（３）保水性（ろ紙法）

JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦200㎜、横200㎜、厚さ5㎜）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 A5ろ紙（直径18.5㎝）をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく（内径50㎜、高さ10㎜、厚さ3㎜）を設置し、２）で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて１㎜まで測定する。

試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。

保水率（%）＝50/平均値×100　　注）50：リング型わくの内径（㎜）

（４）単位容積質量

（２）で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.3に規定する方法で求める。

（５）長さ変化率

（２）で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.6長さ変化率試験に従って行う。

（６）吸水量

（３）で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」10.に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。

９章　環境配慮改修工事

断熱・防露改修工事

〈現場発泡断熱材〉

〔品質・性能〕

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること （１）JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試 験に適合していること。 （２）法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（ｺｰﾝｶﾛﾘｰ試験）に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分として次の（１）～（３）に適合していること。 （１）総発熱量が8MJ/㎡以下であること。 （２）防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 （３）最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/㎡を超えないこと。

〔試験方法〕

（１）原液試験（原液粘度試験）

JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ」に規定する6.1による。

（２）発泡品試験

1）試料の作成は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。

2）試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作成はJIS A 9526の6.2.3による。

3）試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。

（３）圧縮強さ試験

JIS A 9526の6.2.5による。

（４）熱伝導率試験

JIS A 9526の6.2.6による。

（５）接着強さ試験

JIS A 9526の6.2.7による。

（６）透湿率試験

JIS A 9526の6.2.8による。

（７）難燃性の表面加熱試験

JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。

（８）発熱性試験

建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

保水率（%）＝50/平均値×100　　注）50：リング型わくの内径（㎜）

（４）単位容積質量

（２）で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.3に規定する方法で求める。

（５）長さ変化率

（２）で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.6長さ変化率試験に従って行う。

（６）吸水量

（３）で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」10.に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。

９章　環境配慮改修工事

断熱・防露改修工事

〈現場発泡断熱材〉

〔品質・性能〕

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること （１）JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試 験に適合していること。 （２）法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（ｺｰﾝｶﾛﾘｰ試験）に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分として次の（１）～（３）に適合していること。 （１）総発熱量が8MJ/㎡以下であること。 （２）防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 （３）最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/㎡を超えないこと。

〔試験方法〕

（１）原液試験（原液粘度試験）

JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ」に規定する6.1による。

（２）発泡品試験

1）試料の作成は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。

2）試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作成はJIS A 9526の6.2.3による。

3）試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。

（３）圧縮強さ試験

JIS A 9526の6.2.5による。

（４）熱伝導率試験

JIS A 9526の6.2.6による。

（５）接着強さ試験

JIS A 9526の6.2.7による。

（６）透湿率試験

JIS A 9526の6.2.8による。

（７）難燃性の表面加熱試験

JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。

（８）発熱性試験

建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

屋上緑化改修工事

〈屋上緑化軽量システム〉

〔品質・性能等〕

項目	品質・性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。（保水層を有する場合は、保水層共）
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡・h以上
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10⁴ N/㎡以上の載荷重で破損・有害な変形がないこと。
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して３年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護ｺﾝｸﾘｰﾄ（絶縁ｼｰﾄも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。

〔試験方法〕

（１）排水基盤の耐荷重性能

（イ）3×10⁴ N /㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み（%）を測定する。

（保水層を有する場合は保水層も対象とする。）

（ロ）試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井 典之
一級建築士登録　第280645号　大貫 崇司

施工条件特記仕様書

下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。
なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。

		明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容
1 工程関係	1	関連工事との調整	○	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分	
					影響を受ける工事内容	機械設備工事　　別発注の放射線メーカー工事（天井内鉄骨架台新設）
					関連する工事内容	令和５年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（機械設備）
					関連する工事の開始又は完了の時期	別発注の放射線メーカー工事と調整をとること。
	2	施工時期、時間の制限	○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容	平日医療業務に支障にある振動、騒音、粉塵、臭気等を発生させる工程を伴う工事。 3階、4階（改修範囲）共通事項。
					制限される施工時期・施工時間	仮設計画図による。 施工時期は工程に依るが居ながら工事となるので、施工時期に制限が発生する。
					制限される施工方法	騒音、粉塵、臭気等が発生する作業の際は拡散対策を行うこと。
	3	関係機関等との協議		当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容	
					協議内容	
					協議成立見込時期	
				関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	影響を受ける部分	
					影響を受ける内容	
	4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査		工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目	
					調査期間	
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間	
	5	作業不能日数	○		休日日数以外の作業不能日数	隣接する手術ホール、血管撮影室１は平日日中病院運用している。 医療業務に支障にある振動、騒音、粉塵、臭気等を発生させる工事は休日とする。
	6	指定部分	○	工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模（範囲）	
					当該工事の工期	現場説明書による。
	7	設備工事との調整	○	完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合	試運転調整等の適正期間の確保	設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること
2 用地関係	1	仮用地等として官有地の提供	○	施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲	病院敷地近接　職員駐車場
					時間・時期	本工事契約期間中
					使用条件	
					復旧方法	現状復旧
3 公害関係	1	公害防止 （騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）		工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間	低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規定及び排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定される建設機械・設備を使用するものとする。
	2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査		工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分	
					調査時期	
					未然に防止するための必要な調査方法	
					未然に防止するための必要な調査範囲	
	3	電波障害等に起因する事業損失防止調査		電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	事前・事後調査の区分	
					調査時期	
					未然に防止するための必要な調査方法	
					未然に防止するための必要な調査範囲	
4 安全対策関係	1	交通安全施設		交通安全施設等を指定する場合	指定の内容	周辺道路を工事車両及び工事関係者の車両が通行する場合は法定制限速度を遵守すること。 また、重量車両については、20km/h 以下で 運転し、振動防止や安全に万全を期すこと。
					指定の期間	
	2	近接施工		鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法	
					制限される作業時間帯	
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設		落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容	
	4	交通誘導員の配置	○	交通誘導員の配置を指定する場合	延べ人数	交通誘導警備員Ａ　　交通誘導警備員Ｂ　100人
					配置時間	交通誘導警備員Ａ　8時～17時まで（8時間）　交通誘導警備員Ｂ　安全対策に要する時間
	5	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策		有毒ガス及び酸素欠乏対策として、換気設備が必要な場合	換気設備等の内容	
5 工事用	1	一般道の使用		搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路	
					制限される使用期間	
					制限される使用時間帯	
				搬入、搬出路の使用中及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容	

		明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容
道路関係	2	仮道路		仮道路を設置する場合	仮設道路の仕様	
					安全施設等の設置期間	
					工事終了後の措置	
6 仮設備関係	1	仮設備 （仮土留、仮橋、足場等）		仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き疑いで使用する場合	仮設備の内容	
					仮設備の期間	
					仮設備の条件	
				仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合	仮設備の種類	
					仮設備の構造、施工方法、施工範囲	
				仮設備の設計条件を指定する場合	設計条件の内容	
7 建設副産物関係	1	建設発生土の搬出		建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離	
					処分又は保管条件	
	2	建設副産物の利用		現場内での再利用又は減量化が必要な場合	現場内利用の内容	
					減量化の内容	
	3	建設副産物及び建設廃棄物の処理	○	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。
				再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合	受入場所、距離等の処理条件	建設廃棄物の種類 / 数量 / 処理等施設の名称 / 片道運搬距離 / 受入条件等
8 工事支障物件等	1	工事支障物件協議		地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等	支障物件名 / 管理者名 / 支障物件の位置 支障物件の移設時期 / 工事方法 / 防護
				地上、地下等の占用物件に係る工事期間と重複して施工する場合	工事内容	
					工事期間	
9 排水関係	1	排水処理		排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等	排水工法 / 排水処理の方法 / 放流先 予定される排水量 / 排水の水質基準 / 放流費用
	2	水替・流入防止施設		水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容	
					設置期間	
10 薬液注入関係	1	薬液注入		薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	設計条件 / 施工工法 / 材料種類 施工範囲 / 削孔数量及び延長 / 注入量及び注入圧
				周辺環境に与える影響の調査が必要な場合	周辺環境調査の内容	
11 その他	1	工事現場発生品		工事現場発生品がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所	工事特記仕様書による。
	2	支給品及び貸与品		支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質	
					規格又は性能	
					引渡場所・引渡期間	
	3	関連機関との近接協議			近接協議に係る条件及び内容	
	4	架設工法		架設工法を指定する場合	施工方法	
					施工条件	
	5	工事用水、電力	○	工事用水を指定する場合	工事用水の内容	工事特記仕様書による。
			○	工事電力を指定する場合	工事電力の内容	工事特記仕様書による。
	6	新技術・新工法・特許工法		新技術・新工法・特許工法を指定する場合	工法の内容	
	7	部分使用		部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所	
					部分使用時期	
	8	その他	○			1．改修範囲内外を問わず、工事着手前に十分な現地調査を行うこと。 2．作業場の陰圧を維持できる空調システムを用いること。(環境的封じ込め) 3．非作業場を通過する場合、建築現場で発生した廃棄物は、密閉出来る容器に入れ運搬すること。 4．非作業場を通過する場合、建築現場で使用した器材も、密閉容器に入れ運搬するか、カバーにシールして運搬すること。 5．塵埃の飛散を最小限に抑えるため工事現場から作業員は、患者区域に近づかないこと。 6．仮設扉の出入り口前後は一日２回(昼及び作業終了後)湿式清掃すること。 7．112条区画、114条区画の壁を新設する場合、既設の配管、ダクト等を生かしながらの工事となるので十分注意して施工すること。 8．石綿含有の有無の報告(届出)を行うこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

施工条件特記仕様書

A1：－
A3：－

RA－008

建築工事・電気設備工事・給排水衛生設備工事（衛生）・空調設備工事・昇降機設備工事・別途工事　標準施工区分表

この表は，設計図等で示される一般的工事範囲を補足するもので，関連工事とのとりあい部分についてその施工区分担を示すものである。設計図中に表記があるものは、設計図を優先する。

共通

項目		内容	建築・電気		機械		別途	備考
			建築	電気	衛生	空調		
1	一般事項	(1) 地中障害物撤去工事					○	
		(2) 電波障害調査費		○				工事仮設による障害は、受注者の範囲とする
		(3) 電波障害対策工事					○	
		(4) 工事上の各種申請に係わる費用	○	○	○	○		
		(5) 埋蔵文化財調査費					○	
		(6) 土壌汚染調査及び対策費					○	
		(7) 近隣対策費					○	
		(8) 家屋調査費	○					
2	仮設	(1) 共通足場、作業構台、揚重運搬機械	○					
		(2) 各工事用足場作業構台	○	○	○	○		
		(3) 仮囲い、車両入りゲート	○					
		(4) 監督職員事務所	○					備品等含む
		(5) 受注者事務所、材料置場	○	○	○	○		
		(6) 材料場外処分	○	○	○	○		
		(7) 掘削残土の場外処分	○					
		(8) 工事用仮設電力・用水	○	○	○	○		一括発注の場合は建築工事
		(9) 電力・ガス・水道等の本設後引渡しまでの基本料金					○	
		(10) 電力・ガス・水道等の本設後引渡しまでの使用料金	○	○	○	○		試運転用も含む
		(11) 電力・ガス・水道等の本設引込みに伴う負担金					○	
3	各種水槽・ピット（建物と一体構造のもの）	(1) 受水槽・排水槽・汚水槽等でコンクリート造のもの	○					
		(2) コンクリート造の各種水槽釜場	○					
		(3) コンクリート造の受水槽の入孔蓋(防水型)及びタラップ、排水槽・汚水槽等の人孔蓋(防臭型)及びタラップ	○					
		(4) 最下階便所のピット、人孔蓋(防臭型)及びタラップ	○					
		(5) 二重床点検口	○					
		(6) 二重底盤内通気管・通水管	○					
		(7) 二重壁内の点検口	○					
		(8) 二重壁内の水抜管	○					
4	トレンチ・排水溝	(1) 各種トレンチ蓋及び人孔蓋・タラップ	○					
		(2) トレンチ内配管支持材		○	○	○		支持する配管の区分による
		(3) 屋内排水溝及び人孔蓋	○					
5	機器等の基礎（建物と一体構造のもの）	(1) 機器用基礎（コンクリート打ち）	○					
		(2) 屋上水槽の基礎（コンクリート打ち）	○					
		(3) 二重床下部分の機器用基礎（コンクリート打ち）	○					
		(4) 機器、水槽等のアンカー及び基礎仕上げ	○	○	○	○		基礎仕上げは建築工事
		(5) 医療機器用架台及びアンカーボルト取付	○					
		(6) 発電機用防油堤	○					
		(7) 屋上設備取出口	○					
		(8) 機器搬出入用フック	○					
		(9) 避雷針（自立型支持管）取付用基礎	○					
6	スリーブ及び補強	(1) 各種配管用スリーブ		○	○	○		
		(2) ダクト、ガラリ用スリーブ	○			○		
		(3) 衛生器具（大便器）取付け用箱入れ			○			
		(4) 埋込型屋内消火栓取付け穴等の箱入れ			○			
		(5) 分電盤取付け穴等の箱入れ		○				
		(6) 各種スリーブの補強	○					
		(7) 外壁貫通スリーブまわりの防水	○					貫通するものの区分による
		(8) 床貫通スリーブまわりの防水	○					防水層を貫通する場合
		(9) 貫通穴及びダクト空隙充填		○	○	○		
		(10) 床・壁貫通スリーブ・箱入れ部分の補強	○					
		(11) 穴埋後の仕上げ補修	○					
		(12) 設備機器のための床・梁補強	○					
		(13) 設備機器取付用ALC版・ブロック等の穴あけ及び補強・補修	○					
7	天井切込及び換気扇取付け枠	(1) 埋込照明器具、スピーカー、空調換気用吹出口等埋込器具類取付けのための天井切込み及び下地補強	○					
		(2) 換気扇取付け用枠及び穴あけ	○					

共通

項目		内容	建築・電気		機械		別途	備考
			建築	電気	衛生	空調		
8	点検口、点検扉	(1) 天井点検口	○					
		(2) 各種シャフト点検口	○					
		(3) 床点検口	○					
9	はつり及び補修	(1) 配管のための貫通及び埋込み箇所のはつり及び補修		○	○	○		
10	排水	(1) 各種床排水金具	○		○			
		(2) 造付け流し（人造石とぎ出し）の排水金具	○					
		(3) 外構工事におけるU字溝及びこれに接続する溜桝	○					
		(4) 製作流し（含む排水金具）	○		○			給水設備及び排水接続は衛生工事
		(5) 既製品流し（含む排水金具）	○		○			給水設備及び排水接続は衛生工事
		(6) 化粧洗面台	○		○			給水設備及び排水接続は衛生工事
		(7) 化粧洗面台に取付く洗面器具・排水金物			○			給水設備及び排水接続は衛生工事
		(8) 化粧洗面台に取付く電気温水器			○			電源接続は電気工事
		(9) 化粧マンホール蓋	○	○	○			
		(10) 上記以外のマンホール蓋	○					
		(11) プラスタートラップ			○			躯体対応は建築工事
		(12) グリーストラップ			○			躯体対応は建築工事
11	雨水排水	(1) ルーフドレイン・オーバーフロー管・中継ドレイン	○					
		(2) 第一桝までの屋内竪樋・排水管	○					
		(3) 建物外部までの屋内部分排水管	○					雨水1次貯留槽または屋外第一桝接続まで建築工事。以降衛生工事
		(4) 屋内部分排水管のうちパイプシャフト内配管の竪樋	○					
		(5) 駐車場・スロープ等の排水溝・桝	○					
		(6) 竪樋・雨水管の防露巻き（室内）	○					
		(7) 外構　雨水用浸透桝・浸透管			○			
		(8) 外構　上記以外の桝・配管			○			
		(9) 外構　U字溝及びこれに接続する溜桝	○					
		(10) 外構　同上配管			○			
		(11) 外構　公設桝・下水本管への接続管			○			
12	ガラリ	(1) 外壁、サッシュに取り付けるガラリ	○					
		(2) ドアーガラリ	○					
		(3) 暗室等の遮光ガラリ	○					
		(4) 同上接続用金物・防鳥ネット	○					
		(5) 同上接続ダクト・ダンパー類				○		
		(6) レターンガラリ	○			○		図示
		(7) 自然排煙用窓及び開放装置	○					
13	動力	(1) 一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線		○				
		(2) ボイラー操作盤及び二次側配管・配線				○		
		(3) 冷凍機用動力操作盤及び二次側配管・配線				○		
		(4) パッケージ型空調器用電源で手元開閉器以降の配管・配線		○				
		(5) 電動機シャッター・自動ドアとその電源の二次側配管・配線及び操作盤・押ボタン取付け	○					
		(6) ファンコイル遠隔操作用電源等の配管配線		○		○		(1)～(3)の詳細は電気工事・設備工事区分図による
		(7) 電動暗幕・電動ブラインド・電動スクリーン・電動黒板等とその電動装置及び二次側配管・配線	○					電源供給は電気工事
		(8) フロアーヒーティング用電源及び制御盤		○				
14	制御	(1) 空調用制御機器及び操作用機器取付け及びその配管・配線				○		
		(2) 衛生用液面制御機器取付け及びその配管・配線		○				
		(3) 総合監視盤（衛生・空調）				○		
		(4) 天井扇等の接続及び手元スイッチ		○		○		(1)～(6)の詳細は電気工事・設備工事区分図による
		(5) 液面電極棒・液面リレー及び電極保持管とその配線		○	○			(1)～(6)の詳細は電気工事・設備工事区分図による
		(6) インターロック連動用配管・配線		○	○	○		(1)～(6)の詳細は電気工事・設備工事区分図による

共通

項目		内容	建築・電気		機械		別途	備考
			建築	電気	衛生	空調		
15	防災	(1) 煙感知器連動の防火戸・防火シャッターその他の防災設備の電源・二次側配管・配線及び検出器・制御盤		○				
		(2) 排煙口・ダンパー等とその電源の二次側配管・配線及び検出器・制御盤		○		○		
		(3) 防火戸の自動閉鎖装置及び二次側配管・配線		○				
		(4) 防火シャッターの自動開閉装置及び二次側配管・配線	○					
		(5) 消火栓ボックス（ホース・ノズルとも）			○			組込み火報総合盤は電気工事
		(6) ガス漏れ検知器・受信機		○				電気配管・配線・接続含む
		(7) ガス緊急遮断弁		○	○			電気配管・配線・接続含む
16	コンセント・接続穴あけ	(1) フリーアクセスの穴あけ	○					盤出しは機械・電気工事
		(2) 実験台・演台（備品）等の穴あけ	○					盤出しは機械・電気工事
17	各種シャフト	(1) 各種シャフトのうちコンクリート造のもの及びこれに必要なコンクリート床	○					
		(2) 各種シャフトの壁及びこれに必要な床	○					
		(3) 発電機エンジン用排気管		○				
		(4) コンクリート及び鋼製煙突	○					煙導は設備工事
18	昇降機	(1) 昇降機本体及び昇降機扉用三方枠、敷居				○		
		(2) 昇降機据付後の出入口壁等の補修				○		
		(3) 昇降機乗場の呼びボタン・インジケータ				○		
		(4) 昇降路の築造、防火区画工事(コンクリート強度は21N/mm以上とする)	○					
		(5) 昇降路の建築構造梁の耐火被覆工事	○					
		(6) 各階乗場開口工事及び補強工事	○					
		(7) 三方枠取付後の裏詰め工事並びに耐火処理工事	○					
		(8) 三方枠取付用アングル設置工事	○					
		(9) 乗場ﾄﾞｱ取付用アングル設置工事	○					
		(10) 乗場表示装置等の取付用下地調材の設置工事	○					
		(11) 機器搬入用仮設開口及び搬入後の復旧工事	○					
		(12) 乗場敷居受け用床持出し工事	○					
		(13) 乗場敷居受け用アングルまたはH鋼設置工事	○					
		(14) レール取付用プレート又はレール支持柱設置工事及び錆止塗装	○					
		(15) レール取付用ビーム設置工事	○					
		(16) 乗場関係機器取付後の壁、床仕上げ工事	○					
		(17) ピット防水仕上げ工事	○					
		(18) かご敷居～壁を125mm以内にする調整設置下地工事	○					
		(19) 停止階間が10mを超える場合、昇降路救出口の設置工事(W750×H1200)	○					
		(20) ピットが法定又は必要寸法より深い場合の埋め戻し工事	○					
		(21) ピット点検用タラップの設置工事				○		
		(22) ピットに段差がある場合、転落防止柵又は壁の設置工事	○					
		(23) ピット下利用がある場合、二重スラブ又はつり合いおもり側の直下部厚壁工事	○					
		(24) 屋上、開放廊下等外気と接する乗場雨水よけ対策工事	○					
		(25) 11階以上出入口が無い場合、地震時非常着床階設置工事	○					
		(26) 消火器の設置	○					
		(27) その他建築に関する工事	○					
		(28) 動力、照明電源及び接地線引込工事		○				
		(29) ピットコンセント設置工事(検討：必要により防水形)		○				
		(30) 煙感知器設置工事		○				
		(31) インターホン用及び監視用配管配線工事(昇降路制御盤から外部取付位置まで)		○				
		(32) 館内放送(スピーカー)付の場合の信号線引込工事		○				
		(33) エレベーター遠隔監視用電話回線工事		○				
		(34) その他信号線の昇降路外配管配線工事		○				
		(35) 地震時非常着床階の避難通路照明及び非常灯設置工事		○				
		(36) 乗場戸に近接して設ける防火シャッター等の防火区画工事	○					建設省告示第1111号の廃止による
		(37) エレベーターと防火シャッター等の連動用接点信号の配管・配線の引込工事		○				
		(35) 昇降路の壁または囲いは開隙無きものとする	○					
		(36) 昇降機吊元フック及び取付工事	○					
		(37) メンテナンス用電話				○		空配管は電気工事

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

工事区分表（1）

A1：－
A3：－

RA－009

共通

項目		内容	建築・電気 建築	建築・電気 電気	機械 衛生	機械 空調		別途	備考
19	小荷物専用昇降機	(1) 小荷物用リフト本体設備							
		(2) マシンビーム穴明工事							
		(3) 出し入れ口の呼びボタン							
		(4) 点検扉(鏡付)	○						
		(5) ピット防水仕上げ工事	○						
		(6) 昇降路内機器取付用ファスナー、ビーム、柱等の設置工事	○						
		(7) 三方枠又は四方枠、踏板							
		(8) 各階出し入れ口の穴明工事	○						
		(9) 出し入れ口関係機器取付後の出し入れ口周りの壁及び床仕上工事	○						
		(10) 各階出し入れ口枠周辺のモルタル又はロックウール詰め工事	○						
		(11) 出し入れ口関係機器取付用鋼材の設置工事	○						
		(12) 機械室制御盤までの動力電源・接地線の引込工事		○					
20	仕上	(1) 壁ボード類、下地の切込及び補強	○						
		(2) 鋼板パネルの切込及び補強	○						
		(3) ガラス・鉄板・石貼等の設備器具 取付用穴あけ	○						
		(4) 機械室の吸音材内張り	○						
		(5) 機械室・厨房等の軽量コンクリート	○						
		(6) 床暖房	○						電気式：一次側電源供給は電気工事 温水式：一次側温水配管は空調工事
		(7) フリーアクセスフロア	○						
21	電話設備	(1) PBX改修、電話機						○	
		(2) 既存MDFから事務室端子盤間の配管		○					
		(3) 同上配線		○					
		(4) 端子盤		○					
		(5) 2次側配管、ボックス、プレート		○					
		(6) 同上配線、モジュラージャック		○					
22	情報設備	(1) LANケーブル						○	既製開仕切合
		(2) 光ケーブル、HUB、変換装置						○	
		(3) 情報機器用配管工事		○					
		(4) 光成端装置及び収納ボックス						○	
		(5) 情報機器（ルータ、サーバー、SW-HUB、無線LANアクセスポイント等）						○	
		(6) 19インチラック						○	
		(7) 19インチラック2次側配管、ボックス、プレート（ブランクチップ）		○					
		(8) 同上配線、モジュラージャック		○					
		(9) 管理用PC						○	
23	水廻り	(1) 手洗器（陶器）			○				
		(2) 洗面カウンター	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ共。水栓及び配管接続は衛生工事
		(3) 洗面化粧台	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ・水栓共。配管接続は衛生工事
		(4) 流し台	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ共。水栓及び配管接続は衛生工事
		(5) 身障者用手摺	○						下地補強含む
		(6) ベビーシート・ベビーチェア	○						
		(7) 多目的シート	○						
		(8) 便座シートBOX・ダストBOX ・サニタリーBOX						○	
		(9) ペーパータオルホルダー	○						
		(10) ジェットタオル			○				
		(11) 水石鹸容器			○				
		(12) 鏡・姿見鏡	○						
		(13) 大便器用育もたれ（標準品）			○				
		(14) 大便器用育もたれ（特注品） ・アームレスト	○						
		(15) 擬音装置			○				
		(16) 紙巻器			○				
		(17) 荷物用フック			○				
		(18) 便器消毒器						○	
		(19) ユニットシャワー・バス本体及び取付（照明器具付）	○						ダクト・配管等の接続は指定位置まで取出しとし以降接続は各設備工事
		(20) 洗濯機・乾燥機（一般）						○	
		(21) 洗濯機用防水パン			○				
		(22) 上記の給排水接続			○				
		(23) システム・ミニキッチン	○						吊戸棚・水切棚・換気扇本体・排水ﾄﾗｯﾌﾟ・水栓共 配管接続は衛生工事、ダクト接続は空調工事
		(24) 散水栓ボックス			○				

共通

項目		内容	建築・電気 建築	建築・電気 電気	機械 衛生	機械 空調		別途	備考
24	外構関係	(1) 敷地境界外の外構整備						○	
		(2) 敷地境界外のサインやり替え						○	図示あるものは建築工事
		(3) 園庭遊具	○						
		(4) 外灯		○					
		(5) 屋外オイルタンク躯体	○						
		(6) 屋外オイルタンク本体		○					
25	解体関係	(1) 使用していない配管配線・ダクトの解体	○						解体しないボックスカルバート内の配管配線・ダクトの撤去は各設備工事
		(2) 使用中の配管配線・ダクトの盛替		○	○	○			
		(3) 解体又は改修する建物等の機器のうち、再使用するものの取外し	○	○	○	○			
26	その他	(1) カーテン・暗幕						○	レールは建築工事
		(2) ブラインド・ロールスクリーン						○	ブラインド内蔵サッシのブラインドは建築工事
		(3) 電動ブラインド・電動ロールスクリーン	○						一次側電源供給は電気工事
		(4) 視聴覚設備スクリーン						○	
		(5) 電動視聴覚設備スクリーン	○						一次側電源供給は電気工事
		(6) (1)、(3)～(5)ボックス	○						
		(7) 電動パトン	○						一次側電源供給は電気工事
		(8) テレビハンガー・プロジェクター昇降装置						○	下地補強は建築工事、架台は別途工事
		(9) 視聴覚設備		○				○	
		(10) 移動間仕切壁(スライディングウォール)	○						
		(11) 掲示板	○						
		(12) ピクチャーレール	○						下地補強を含む、壁付け以外は別途工事
		(13) 移動書架						○	埋込式レールは建築工事、一次側電源供給は電気工事
		(14) 造作家具	○						
		(15) 電気時計		○					
		(16) 什器・備品						○	
		(17) 既存家具・什器・備品の移設・接続・処分						○	
		(18) サイン（室名表示・階段表示 ・案内板等）	○						
		(19) サイン（内照式）	○	○					一次側電源供給は電気工事
		(20) 避難器具	○						
		(21) 消火器						○	
		(22) 消火器ボックス	○						置型の場合は別途工事
		(23) ＡＥＤボックス	○						本体は別途工事
		(24) 厨房機器及び接続						○	一次側電源供給、給水、給湯、蒸気、排水は各設備工事
		(25) 各バスボックス本体						○	取付時は建築工事
		(26) 給茶器・ウォータークーラー						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(27) 各種自動販売機						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(28) 避雷針・避雷導体用鉄筋溶接工事		○					
		(29) 避雷導体用笠木	○						導体接続は電気工事
		(30) 太陽光発電設備		○					基礎は建築工事
		(31) 融雪ヒータ設備		○					
		(32) 屋上庭園散水システム	○						一次側電源供給は電気、一次側給水は衛生工事
		(33) 配管・配線ピット及び蓋	○						
		(34) 駐車場管制設備		○					
		(35) ＩＴＶ						○	一次側電源供給は電気工事
		(36) カードシステム							
		A.電気錠、入退出管理		○					電気錠本体、扉内配線は建築工事
		B.出退勤システム						○	配管敷設は電気工事
		(37) ＡＴＭ						○	一次側電源供給は電気工事
		(38) 売店運営のための什器一式						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(39)							
		(40)							
		(41)							
		(42)							
		(43)							
		(44)							
		(45)							
		(46)							
		(47)							
		(48)							
		(49)							
		(50)							
		(51)							
		(52)							
		(53)							
		(54)							
		(55)							
		(56)							
		(57)							
		(58)							
		(59)							
		(60)							
		(61)							
		(62)							
		(63)							
		(64)							

病院

項目		内容	建築・電気 建築	建築・電気 電気	機械 衛生	機械 空調		別途	備考
1	中型搬送機	(1) 中型搬送設備	○						
		A. 昇降路築造工事	○						
		B. 床、壁開口部枠入、穴明、補強及び点検扉、天井点検扉	○						
		C. 吊りフック取付及び開口部埋戻し後仕上	○						
		D. キャットウォーク及びシャフト立柱鉄骨	○						
2	気送管搬送設備	(1) 気送管搬送設備	○						
		A. 床、梁貫通スリーブ入れ及び梁貫通スリーブ入れ	○						
		B. 床、梁貫通部補修及び天井点検口	○						
		C. 機械室開閉仕切、基礎防音工事	○						
		D. ステーション部遮蔽用間仕切壁	○						
3	医療機器等関連	(1) 医療機器用アンカーボルト及び架台の取付	○					○	
		(2) 液酸タンク用基礎及び囲い	○						
		(3) 点滴レール、天井吊点滴フック	○						
		(4) 遺体冷蔵庫						○	1次側は電気工事
		(5) 蒸留水製造装置、RO製造装置						○	1次側は本工事
		(6) 滅菌水製造装置			○				
		(7) 手術用消毒手洗装置	○						
		(8) 医療用プレファブ冷蔵室	○						
		(9) 医療コンソールパネル	○						
		(10) 天吊インケアポート、シーリングペンダント（手術室・ＩＣＵ・ＣＣＵ）						○	電源供給は電気工事 天井裏補強金物は建築工事
		(11) 歯科用コンプレッサー及び吸引プロアー及び配管						○	1次側は本工事
		(12) 無影灯						○	支持用アンカーは建築工事
		(13) シャーカステン						○	補強は建築工事
		(14) 便器消毒器						○	1次側は本工事
		(15) 自動現像装置及びミキシングバルブ、流量計、フィルター						○	電源供給は電気工事
		(16) 水治療用特殊浴槽						○	電源供給は電気工事　給排水は衛生工事
		(17) 病棟機械式浴槽及びびろ過装置						○	電源供給は電気工事　給排水は衛生工事
		(18) 各種機能訓練器具						○	
		(19) 各種機能訓練器具補強・取付	○						
		(20) 内視鏡洗浄器具・排気装置						○	1次側は本工事
		(21) 超音波洗浄装置						○	1次側は本工事
		(22) Ｘ線検査撮影装置等						○	支持用アンカーは建築工事、架台は別途工事
		(23) 放射線治療装置						○	支持用アンカーは建築工事、架台は別途工事
		(24) 放射線治療室遮蔽鉄板	○						
		(25) 放射線治療室重量遮蔽扉本体、先物金物	○						
		A. 同上電源供給		○					
		B. 同上リミットスイッチ、二次側 配管・配線、扉制御盤	○						
		(26) RI関係諸室重量遮蔽扉本体	○						
		A. 同上電源供給接続		○					
		B. 同上リミットスイッチ、二次側配管・配線	○						
		(27) 病室床頭ユニット類							
		A. 床頭台						○	
		B. 壁面コンソールユニット	○						
		C. ナースコール子機付属機器取付け 処置灯某読書灯		○					
		E. テレビ本体						○	電源、アンテナは電気工事
		F. 冷蔵庫						○	電源は電気工事
		(28) 脳波検査室、シールド室	○	○		○		○	詳細図の工事区分表参照
		(29) MRIシールドユニット本体工事	○	○	○			○	詳細図の工事区分表参照
		(30) 手術室内装、機器一式	○						空調ユニットは空調
		A. 同上非常用照明、懸惑、スピーカー		○					手術中灯、使用中灯、一般照明は建築工事
		(31) 薬剤無菌室ユニット	○						
		A. 同上照明、殺菌灯、二次側配線コーキング						○	照明は電気工事
		B. 同上コンセント器具取付二次側配線						○	コンセントは電気工事
		C. 同上動力、非常灯、感知器通信器具配線		○					
		D. 同上空調設備				○			室外のダクトは空調工事
		(32) ベット洗浄機、マットレス消毒機						○	1次側は本工事
		(33) 中材関係洗浄器、滅菌器						○	1次側は本工事
		(34) 中材・抗がん・無菌関係パスボックス主体・取付枠	○						
		(35) 解剖台						○	1次側は本工事
		(36) 解剖用排水処理設備、検査排水処理設備 ホルマリンタンク			○				
		(37) 書尿システム						○	1次側は本工事
		(38) 医用モニター機器用配管工事		○					
		(39) RI監視及びモニター設備			○				
		(40) 液酸タンク本体			○				
		(41) 医療ガス設備			○				
		(42) 外来待合・校案表示システム、霊安室祭壇						○	電源供給・実装は電気工事
		(43) 自動再来受付機・自動会計機						○	電源供給は電気工事
		(44) 透析装置及び配管						○	電源供給は電気工事、ＲＯ水用配管は衛生工事
		(45) 院内ＰＨＳ		○					
		(46) 無菌病室ユニット（クラス100）						○	一次側は本工事
		(47) 別途工事に含まれる医療器具の接続工事						○	

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

全体面積

単位 ㎡

名　称	建築面積	延床面積
静岡県立こども病院	12,119.41	37,799.12
県立静岡北特別支援学校	3,987.75	7,330.11
県立静岡中央特別支援学校	6,516.60	9,538.30
合　計	22,623.76	54,667.53

静岡県立こども病院面積

単位 ㎡

番号	名　称	構　造	階数	建築面積	延床面積	最高の高さ	軒　高
㉛	病院	R　C	6	11,450.42	36,478.50	37.900	35.800
	R処理棟	R　C	1	15.00	15.00	5.400	5.400
	駐輪場	鉄骨	1	44.10	44.10	2.390	2.390
	ボンベ庫	R　C	1	9.69	9.69	6.090	6.090
㉞	浄化槽	R　C	1	37.93	37.93	3.190	3.190
	合　計			11,577.14	36,585.22		

既設建物(県立静岡北特別支援学校)

凡例：既存建家

番号	名　称	構　造	階数	建築面積	延床面積	最高の高さ	軒　高
①	管理棟	R　C	2	371.86	711.00	8.050	7.200
②	教室棟A	R　C	3	826.50	2,337.01	11.650	11.100
③	食堂棟	R　C	1	342.95	342.95	5.300	4.600
④	ボイラー棟	R　C	1	92.45	74.81	4.650	4.200
⑤	教室棟B	R　C	3	926.05	2,465.42	11.650	11.100
⑥	プール付属棟	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	1	134.60	134.58	4.300	4.030
⑦	体育館棟	鉄骨造	1	529.25	500.25	9.883	8.100
⑧	危険物倉庫	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	1	8.00	8.00	2.400	2.300
⑨	ガスガバナー室	R　C	1	15.30	15.30	3.000	2.900
⑩	危険物倉庫	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	1	9.14	9.14	2.300	2.200
⑪	倉庫	鉄骨造	1	60.00	60.00	3.550	3.400
⑫	車庫	鉄骨造	1	85.80	85.80	4.400	3.450
⑬	物置	鉄骨造	1	13.50	13.50	2.100	2.000
⑭	物置	鉄骨造	1	15.60	15.60	2.500	2.400
⑮	物置	鉄骨造	1	16.38	16.38	4.850	2.800
⑯	ポンプ室	鉄骨造	1	3.00	3.00	2.350	2.250
⑰	物置	鉄骨造	1	11.44	11.44	2.550	2.450
⑱	物置	鉄骨造	1	13.42	13.42	2.500	2.400
⑲	渡り廊下	鉄骨造	1	52.50	52.50	3.500	3.400
⑳	トイレ棟	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	1	5.60	5.60	2.700	2.600
㉑	物置	鉄骨造	1	6.38	6.38	2.200	2.100
㉒	自転車置場	鉄骨造	1	37.05	37.05	2.200	2.150
㉓	教室棟C	R　C	1	321.86	321.86	4.290	4.105
㉔	3連倉庫	鉄骨造	1	56.54	56.54	3.500	3.400
㉕	調理室増築部分	鉄骨造	1	32.58	32.58	4.290	4.105
	合　計			3,987.75	7,330.11		

既設建物(県立静岡中央特別支援学校)

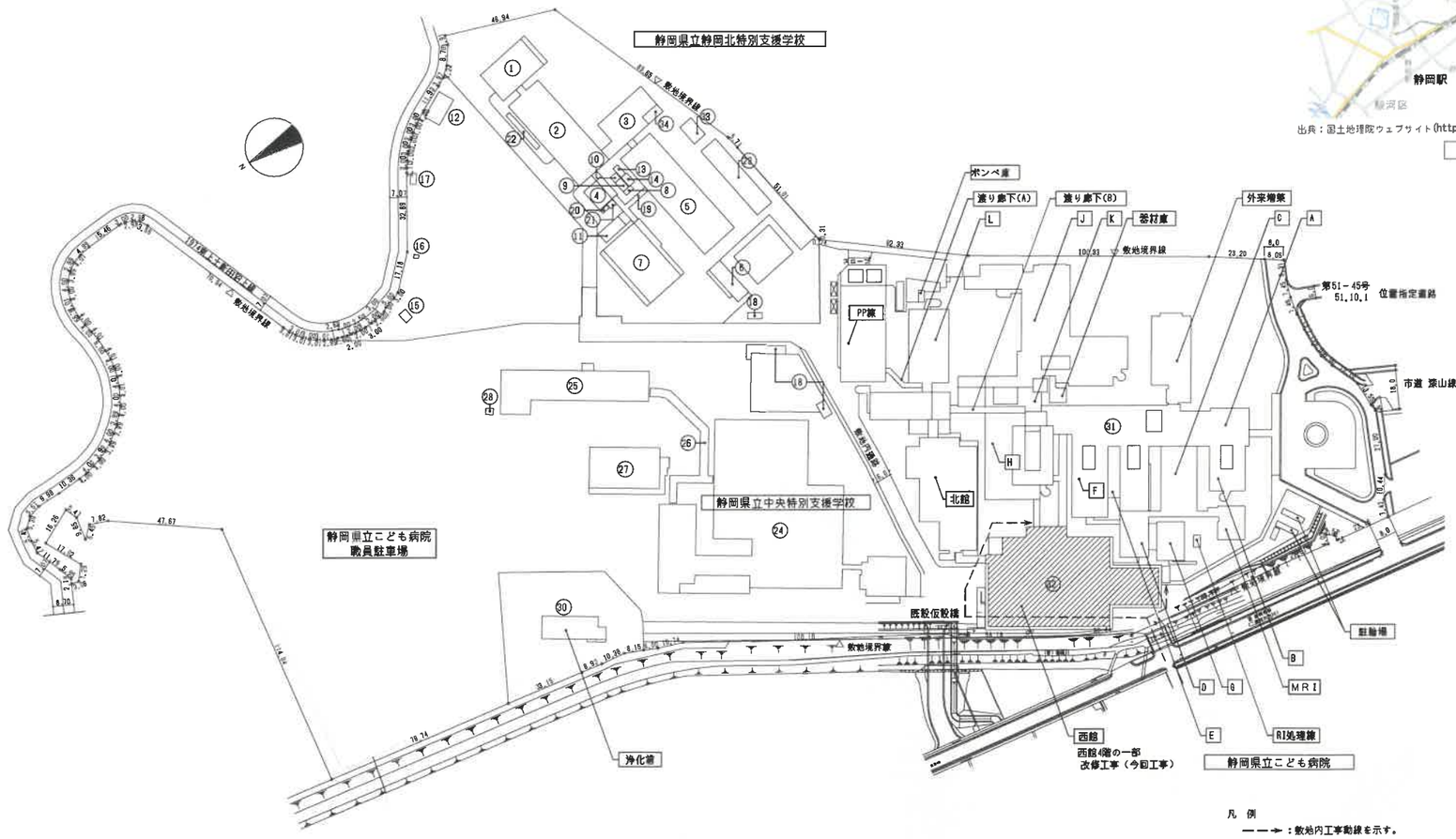
単位 ㎡

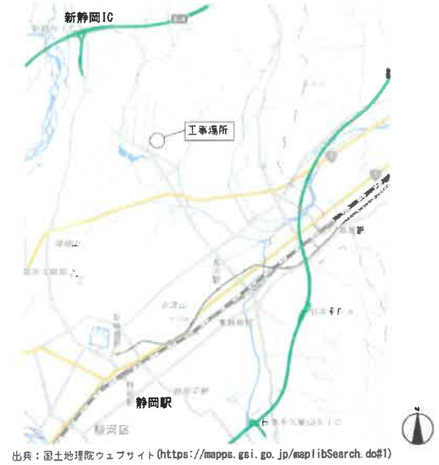
凡例：既存建家

番号	名　称	構　造	階数	建築面積	延床面積	最高の高さ	軒　高
㊶	管理教室棟	R　C	3	4,188.88	7,338.31	7.220	6.740
㊷	寄宿舎	R　C	1	1,219.48	1,096.58	8.300	4.500
㊸	体育館	鉄骨造	1	633.10	629.37	10.360	8.100
㊹	プール	鉄骨造	1	87.79	87.79	4.800	4.500
㊺	渡り廊下	鉄骨造	1	260.02	260.02	2.650	2.500
㊻	便所	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	1	31.11	31.11	3.195	3.005
㊼	便所	鉄骨造	1	15.62	14.52	3.450	2.900
㊽	倉庫1	鉄骨造	1	2.47	2.47	3.000	
㊾	倉庫2	鉄骨造	1	3.19	3.19	3.000	
㊿	倉庫3	鉄骨造	1	3.78	3.78	3.000	
51	倉庫4	鉄骨造	1	7.48	7.48	3.000	
52	倉庫5	鉄骨造	1	5.78	5.78	3.000	
53	倉庫6	鉄骨造	1	7.38	7.38	3.000	
54	倉庫7	鉄骨造	1	7.66	7.66	3.000	
55	倉庫8	鉄骨造	1	9.68	9.68	3.000	
56	倉庫9	鉄骨造	1	9.68	9.68	3.000	
57	倉庫10	鉄骨造	1	11.55	11.55	3.000	
58	倉庫11	鉄骨造	1	7.63	7.63	3.000	
59	倉庫12	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	1	4.32	4.32	3.000	
	合　計			6,516.60	9,538.30		

既設病院面積内訳表

	病院																												
	A棟	B棟	C棟	D棟	E棟	F棟	G棟	H棟	旧H棟	北館（渡り廊下含）	J棟	K棟	L棟	MRI棟	手術棟	器材庫	PP棟	渡り廊下A	渡り廊下B	西館	新外来棟	小　計	ボンベ庫	RI処理棟	浄化槽	駐輪場	合　計
建築面積									62.03	1,126.87	—	6,336.17		294.86	—	55.18	740.26	41.82	93.86	2,699.35	562.27	12,012.69	9.69	15.00	37.93	44.10	12,119.41
P2																				152.16		152.16					152.16
P1								161.98												158.70		320.68					320.68
6F								451.94		99.47										2,045.12		2,596.53					2,596.53
5F								451.94		1,044.74										2,083.53		3,580.21					3,580.21
4F								451.94		1,036.14		70.30	86.41	70.58						2,202.60		3,917.97					3,917.97
3F	48.64	50.47		50.47		50.47		451.34	15.26	1,036.14	39.98	1,352.02	307.45	925.67		208.39		19.16		93.86	2,223.38	160.14	7,032.84					7,032.84
2F	838.48	257.19		299.94		413.94		450.38	62.03	1,026.94	39.98	1,277.74	537.43	935.68		216.09	55.18	694.36	41.82	—	2,324.31	526.88	9,998.37					9,998.37
1F	1,336.92	257.19	374.75	525.50	118.28	413.58	194.87	969.20	62.03	1,040.40	11.40	—	313.68	471.15	294.86	—	55.18	720.26	—	—	2,467.51	526.88	10,093.64	9.69	15.00	37.93	44.10	10,200.36
延床面積計	2,224.04	564.85	374.75	875.91	118.28	877.99	194.87	3,388.72	139.32	5,283.83	91.36	2700.06	1,244.97	2,403.08	294.86	424.48	110.36	1,433.78	41.82	93.86	13,597.31	1,213.90	37,692.40	9.69	15.00	37.93	44.10	37,799.12





案内図

受注者の現場事務所及び監理事務所については、旧医師宿舎E棟を想定しているが、当該箇所以外を希望する場合は、監督員と協議すること。
また、受注者の駐車場は、敷地北側の職員駐車場の一部を想定している。使用範囲及び時期等について病院担当者と協議すること。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

案内図・配置図

A1:1/1200
A3:1/2400

RA－011

一般記号凡例

記　号	名　　称	記　号	名　　称
W	幅	RC	鉄筋コンクリート
L	長さ	ALC	軽量気泡コンクリートパネル（ALC板）
D	奥行	PC	プレキャストコンクリート
H	高さ	ECP	押出成形セメント板
φ	直径	CB	コンクリートブロック
R	半径	NC	嵩上コンクリート（普通コンクリート）
@	間隔	SLﾍﾟ	セルフレベリング
t	厚さ	LGS	軽量鉄骨
CH	天井高さ	St	スチール
FL	基準床面（床仕上レベル）	SUS	ステンレス
GL	基準地盤面	AL	アルミニウム
SL	スラブ天端レベル	PL	プレート
CL	センターライン	FB	金属平鋼（フラットバー）
BM	ベンチマーク	SS	スチール重量シャッター
TP	東京湾中等潮位	LS	スチール軽量シャッター
OP	大阪湾最低標準潮位	SP	スチールパーティション（可動間仕切）
DS	ダクトスペース	WP	スライディングウォール（移動間仕切）
PS	パイプスペース	FA	フリーアクセスフロア
EPS	電気配管スペース	SF	乾式遮音二重床
EV	エレベーター	EXP.J	エキスパンションジョイント
SEV	小荷物専用昇降機	A防	アスファルト防水
ESC	エスカレーター	AS防	改質アスファルトシート防水
UB	ユニットバス	M防	モルタル防水
US	ユニットシャワー	S防	合成高分子系ルーフィングシート防水
SK	掃除用流し	塗防	塗膜防水
V	塩ビ	布防	塗布防水
VS	化粧塩ビシート	FLP	塗床
RD	ルーフドレイン	GRC	ガラス繊維強化セメント
DP	とい	FRP	繊維強化プラスチック

塗料・塗装　記号凡例

記　号	名　　称
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
EP-M	多彩模様塗料塗り
WP	木部保護塗料塗り
LC	クリアラッカー塗り
LE	ラッカーエナメル塗り
OS	オイルステイン塗り
OC	オイルフィニッシュ仕上
VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り
FC	フタル酸樹脂ワニス塗り
AE	アクリル樹脂エナメル塗り
AEB	アクリル樹脂エナメル焼付塗装
AC	アクリル樹脂ワニス塗り
2-UE	２液形ポリウレタンエナメル塗り
LS2-UE	弱溶剤系２液形ポリウレタンエナメル塗り
UEB	ポリウレタン樹脂エナメル焼付塗装
UEP	ポリウレタンエマルションペイント塗り
2-ULC	２液形ポリウレタンクリアラッカー塗り
1-UC	１液型油変性ウレタン樹脂ワニス塗り
2-UC	２液形ポリウレタン樹脂ワニス塗り
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
LS2-ASE	弱溶剤系アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
2-ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
2-FUE	常温乾燥型フッ素樹脂エナメル塗り
LS2-FUE	弱溶剤系常温乾燥型フッ素樹脂エナメル塗り
FUB	フッ素樹脂エナメル焼付塗装
2-FUC	常温乾燥型フッ素樹脂ワニス塗り
DP-U	ポリウレタン樹脂耐候性塗料塗り
DP-AS	アクリルシリコン樹脂耐候性塗料塗り
DP-F	フッ素樹脂耐候性塗料塗り
TXE	タールエポキシ樹脂エナメル塗り
2-XE	２液形エポキシ樹脂エナメル塗り
XEB	エポキシ樹脂エナメル焼付塗装
MP	マスチック塗料塗り
FP	耐火塗料塗り

高日射反射率塗装　記号凡例

記　号	名　　称
高反射塗料F	水性フッ素樹脂系コンクリート保護工法
	日本ペイント㈱ サーモアイ4F 同等品
高反射塗料SI	水性シリコン樹脂系コンクリート保護工法
	日本ペイント㈱ サーモアイSI 同等品
高反射塗料U	ウレタン樹脂系コンクリート保護工法
	日本ペイント㈱ サーモアイUV 同等品

塗床・塗膜防水・塗布防水　記号凡例

記　号	名　　称
FLP-1a	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材(一般設備ｼｬﾌ内・FA下等)
	㈱ABC商会 シリケートハードナーJP 同等品
FLP-1b	ケイ酸塩系コンクリート表面強化材(荷卸場等)
	㈱ABC商会 セラミキュア 同等品
FLP-2	薄膜型溶剤形アクリル樹脂系防塵塗料（一般機械室等）
	㈱ABC商会 カラートップH 同等品
FLP-3	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材（検査室・実験室・廃棄物置場等）
	㈱ABC商会 ケミクリートE 流しのペースト工法 同等品
FLP-4	厚膜型ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材・防滑（厨房内一般部等）
	㈱ABC商会 ケミクリートE ペースト防滑工法 同等品
FLP-5	厚膜型水性ｳﾚﾀﾝｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ系塗床材（厨房内耐熱部・低温度床部等）
	㈱ABC商会　タフクリートWH（t=6.0mm）同等品
	※排水溝内はタフクリートWH 耐熱巾木工法 同等品
FLP-6a	超速硬化ウレタン防水材(駐車場床防水)
	㈱ダイフレックス パワレックス TN-1E,2E,5E工法 同等品
FLP-6b	超速硬化ウレタン防水材(駐車場床防水/雪車両用)
	㈱ダイフレックス パワレックス L6工法/同等品
FLP-7	防滑性エポキシ樹脂系仕上床材・防滑（屋内駐車場等）
	㈱ABC商会 パーキングガード 同等品
FLP-8	ビスフェノール系ビニルエステル樹脂系防食材(ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ充電ｴﾘｱ)
	㈱ABC商会 ケミクリートSVフレーク 同等品
塗防A	ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 （絶縁工法/屋上防水）
	大関化学工業㈱ U-HIT FU-40-NE 同等品
塗防B	ウレタンゴム系塗膜防水 X-2 （密着工法/バルコニー・庇）
	大関化学工業㈱ U-HIT WU-39-NE 同等品
塗防C	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水(ﾄｯﾌﾟｺｰﾄなし/屋内、開口部廻り)
	大関化学工業㈱ パラテックス A-1工法 同等品
塗防D	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水
	（軽歩行用/バルコニー/ ハト小屋・パラペット天端等）
	大関化学工業㈱ パラテックス A-2工法 同等品
塗防E	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水(雨水貯留槽/消火水槽/ｴﾚﾍﾞﾋﾟｯﾄ/地下外壁防水)
	大関化学工業㈱ パラテックス B-2工法 同等品
塗防F	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水(廃液槽(軽仕様))
	大関化学工業㈱ パラテックス B-4A工法 同等品
塗防G	エチレン酢酸ビニル樹脂系塗膜防水
	(廃液槽(厨房・検査系)、生産系排水貯留槽)
	大関化学工業㈱ パラテックス B-6D工法 同等品
布防A	ケイ酸質系塗布防水（地下二重壁内壁等）
	日本パンデックス㈱ パンデックス S工法 同等品
布防B	ケイ酸質系塗布防水（地下外壁・一般水槽・EVピット等）
	日本パンデックス㈱ パンデックス S+P工法 同等品
AS防A	改質アスファルトシート防水 常温粘着工法(地下外壁防水)
	田島ルーフィング㈱ ガムロン防水 同等品
仮防水材A	ポリマーセメント系仮防水材
	大関化学工業㈱ 仮防水材OZ 同等品
コンクリート保護材F	水性フッ素樹脂系コンクリート保護工法
	菊水化学工業㈱ キクスイ SA工法 同等品
コンクリート保護材SI	水性シリコン樹脂系コンクリート保護工法
	菊水化学工業㈱ キクスイ SA工法 同等品
コンクリート保護材U	ウレタン樹脂系コンクリート保護工法
	日本ペイント㈱ テラベールリクリヤー 同等品
吸水材	シリコン系シラン化合物浸透性吸水防止剤
	日本ペイント㈱ アクアシール200S 同等品

不燃・準不燃・難燃材料等の記号凡例及び認定番号（製品名・認定番号の記載は同等品以上として扱うこと）

記　号	称	厚・寸法等	認定番号	JIS規格	特記事項
GB－NC	不燃繊層石膏ボード（不燃）	9.5	NM-0441・NM-2817	A6901	
GB－R	石膏ボード（不燃）	12.5, 15	NM-8619	A6901	
GB－F	強化石膏ボード（不燃）	12.5, 15, 21	NM-8615	A6901	
GB－R－H	普通硬質石膏ボード（不燃）　【吉野 ﾀｲｶｰｽｰﾊﾟｰﾊｰﾄﾞ】	9.5, 12.5	NM-9645・NM-1139	A6901	
GB－R－Hh	普通硬質石膏ボード（不燃）　【吉野 ﾀｲｶｰﾊｲﾊﾟｰﾊｰﾄﾞC】	9.5, 12.5	NM-1908・NM-1139	A6901	
GB－X	鉛喪打石膏ボード（不燃）	12.5+2	NM-8619	A6901	
GB－S	耐水石膏ボード（不燃）	12.5	NM-9639・NM-9346	A6901	
GB－D	化粧石膏ボード（不燃）	9.5	NM-1864・NM-2816	A6901	
GB－W	化粧石膏ボード（木目・準不燃）	9.5	QM-9824	A6901	
GB－W(不)	化粧石膏ボード（木目・不燃）	12.5	NM-0127	A6901	
GB－PD	化粧石膏吸音ボード（不燃）　【吉野 スクエアトーン・D】	9.5	NM-0879		
DR	ロックウール化粧吸音板	9, 12	NM-8599	A6301	
FG	繊維強化石膏ボード【A&A FGボード】　【A&A FGボード】	6	NM-9028		
KB	ケイ酸カルシウム板（不燃）　【A&A ハイラックW】	6, 8	NM-2773	A5430	
化粧KB	化粧ケイ酸カルシウム板　【A&A ステンド#400/#500】	6	NM-3073・NM-3345		
	繊維強化セメント板 【アイカテック建材 フレキシブルボードN】	6, 8	NM-8576		
GWB	グラスウールボード（ガラスクロス巻き製品）	50, 100	NM-8606	A9504・A6301	
	ノンフロン湿式断熱材　【エスケー化研 セラミライトエコ0】	20, 30	NM-0916		
	セメントボード　【チヨダ アクアパネル】	12.5	NM-3190	A5430	
	アルミパスリブ	9.5	NM-0892		
	塗料(不燃)：EP, EP-G, SOP, NAD, FE, VE, AE		NM-8585		基材不燃
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料		NM-8585・NM-8572	K5668	基材不燃
GCP	ガラスクロスベンキ仕上(不燃)【ｻﾝﾀﾞﾂﾘﾌｫｰﾙｽﾄ専用塗料】		NM-0460・NM-0461		基材不燃
VC	ビニルクロス（不燃）		NM-xxxx		基材不燃
VC(準不)	ビニルクロス（準不燃）		QM-xxxx		基材準不燃以上
MVB	メラミン不燃化粧板　【アイカ工業 セラール】	3	NM-2183		
WVS	化粧塩ビシート（不燃）	—	NM-xxxx		
WVB(不)	天然木練付化粧板（不燃）	6.0	NM-xxxx		
WVB(準不)	天然木練付化粧板（準不燃）	6.0	QM-xxxx		

耐火時間指定

階			●●階～●●階（最上階から15以上の階）	1 階～ 2 階（最上階から5～14までの階）	3 階～ 6 階（最上階から1～4までの階）
壁	外壁	間仕切（耐力壁）	2時間	2時間	1時間
		間仕切（耐火）	1時間	1時間	1時間
		耐力壁	2時間	2時間	1時間
		非耐力壁 延焼線内	1時間	1時間	1時間
		非耐力壁 延焼線外	30分	30分	30分
柱			3時間	2時間	1時間
床			2時間	2時間	1時間
梁			3時間	2時間	1時間
屋根			30分	30分	30分
階段			30分	30分	30分

耐火構造仕様・耐火認定

柱・梁	RC造　平成12年建設省告示第1399号				
	S造耐火被覆	耐火時間	1時間（厚さ）	2時間（厚さ）	3時間（厚さ）
		吹付けロックウール	耐火　(t=25) 柱：FP060CN-9460 梁：FP060BW-9408 PC合成耐火　(t=25) 柱：FP060CN-9459 梁：FP060BW-9407 ALC合成耐火　(t=25) 柱：FP060CN-9458 梁：FP060BW-9406 ECP合成耐火　(t=25) 柱：FP060CN-9200(9203) 梁：FP060BW-9171(9172)	耐火　(t=45) 柱：FP120CN-9463 梁：FP120BW-9411 PC合成耐火　(t=45) 柱：FP120CN-9462 梁：FP120BW-9410 ALC合成耐火　(t=45) 柱：FP120CN-9461 梁：FP120BW-9409 ECP合成耐火　(t=45) 柱：FP120CN-9240(9234) 梁：FP120BW-9208(9204)	耐火　(t=60) 柱：FP180CN-9466 梁：FP180BW-9414 PC合成耐火　(t=60) 柱：FP180CN-9465 梁：FP180BW-9413 ALC合成耐火　(t=60) 柱：FP180CN-9464 梁：FP180BW-9412
		巻付け材単体一部のみ記載	鋼管柱　：FP060CN-0081（20） 鋼管柱小部材：FP060CN-9390（40） H　柱　：FP060CN-0005（20） H　柱小部材：FP060CN-9392（40） H　梁　：FP060BW-0009（20） H　梁小部材：FP060BW-0047（20） 上記以外　：	鋼管柱　：FP120CN-0157（40） 鋼管柱小部材：FP120CN-0203（60） H　柱　：FP120CN-0007（40） H　柱小部材：FP120CN-0243（20） H　梁　：FP120BW-0010（40） H　梁小部材：FP120BW-0253（60） 上記以外　：	鋼管柱　：FP180CN-0088（60） H　梁　：FP180BW-0255（65）
		耐火塗料	鉄骨柱：FP060CN-9472(0.75～4.50) ：FP060CN-9402 H　梁：FP060BW-9419(1.00～2.50) ：FP060BW-9347	鋼管柱：FP120CN-0195（3.00） 鋼管柱：FP120CN-0224（4.50） H　柱：FP120CN-0248（4.00） 鋼管柱：FP120CN-0434 H　柱：FP120CN-0435 H　梁：FP120CN-0181（3.70） H　梁：FP120CN-0263	
壁	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
	ECP（押出成形ｾﾒﾝﾄ板）		ノザワ：　外壁耐火1時間(t=60)　FP060NE-9035(縦張)、FP060NE-9036(横張) 間仕切壁耐火1時間(t=60)　FP060NP-9240 アイカテック建材：外壁耐火1時間(t=60)　FP060NE-9037(縦張)、FP060NE-9038(横張) 間仕切壁耐火1時間(t=60)　FP060NP-9070		
	ALC板		外壁・間仕切壁耐火1時間(t=75以上) 平成12年建設省告示第1399号 (t=50の場合：外壁・FP060NE-9293　間仕切壁・FP060BP-9012)		
	PC板		外壁・間仕切壁耐火1時間(t=70以上) 平成12年建設省告示第1399号		
	軽鉄間仕切		防火区画壁および防火上主要な間仕切壁は、間仕切壁リストのうち、頭符号Tのものを使用（認定番号図示）		
床	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
	ALC板		床耐火1時間(t=100以上)　FP060FL-9119　床耐火2時間(t=120以上)　FP120FL-9120		
屋根	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
	ALC板		屋根耐火0.5時間(t=75以上) 平成12年建設省告示第1399号　(t=50の場合：FP030RF-9320)		
	金属板葺き		屋根耐火0.5時間　FP030RF-xxxx号		
階段	RC造		平成12年建設省告示第1399号		
	S造		平成12年建設省告示第1399号		

記号凡例リスト

詳細図呼出符号　←雑詳細記号 ←雑詳細番号

種　別	表示記号	呼出記号
一般間仕切壁	壁符号	壁符号は間仕切ﾘｽﾄによる
コンクリート（柱・壁）【1/50以上】		
プレキャストコンクリート（PC）【1/50以上】	PC	
軽量気泡コンクリートパネル（ALC）【1/50以上】	ALC	
押出成形セメント板（ECP）【1/50以上】	ECP	
コンクリートブロック（CB）【1/50以上】	CB	
軽量鉄骨下地		
スチールパーティション（可動間仕切）	SP	A ※※
スライディングウォール（移動間仕切）	WP	C ※※
シャッター	SS	
石材【1/20以上】		
吸音材【1/20以上】		
断熱材【1/20以上】		
固定防煙垂壁 ※xxxは高さを示す	T-xxx	
可動防煙垂壁および操作ボックス ※xxxは高さを示す	KT-xxx	
マンホール(防水防臭型) ※特記無き限り鋳鉄製600φ	Ⓜ	A ※※
化粧マンホール(防水防臭型) ※特記無き限り鋳鉄製600角	Ⓜ	A ※※
床下点検口(密閉型) ※特記無き限り600角 ｽﾃﾝﾚｽｽﾀﾗｯﾌﾟ"M"400付		C ※※
床下点検口(防水防臭型) ※特記無き限り600角 ｽﾃﾝﾚｽｽﾀﾗｯﾌﾟ"M"400付		A ※※
天井点検口 ※特記無き限り600角 無印：建築工事/E:電気設備工事/M:機械設備工事	Ⓜ	C ※※
丸環		A ※※
点状床誘導表示		
線状床誘導表示		
補助散水栓・屋内消火栓ﾎﾞｯｸｽ ※特記無き限り設備工事		A ※※
補助散水栓・屋内消火栓ﾎﾞｯｸｽ（消火器ボックス併設型） ※特記無き限り設備工事		C ※※
埋込型消火器ボックス		C ※※
半埋込型消火器ボックス		C ※※
床置型消火器	S	C ※※
タラップ		C ※※
背かご付タラップ		C ※※
機械基礎		C ※※
排水溝		C ※※
排水溝(グレーチング蓋)		C ※※

種　別	表示記号	呼出記号
縦型ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ(TRD) ※特記無き限り100φ用	TRD TRD150φ	
中継ﾄﾞﾚｲﾝ(CRD) ※特記無き限り100φ用	CRD CRD150φ	
横型ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ(YRD) ※特記無き限り100φ用	YRD YRD150φ	
竪樋(DP) ※特記無き限り100φ	DP DP150φ	
オーバーフロー管 ※特記無き限りSUS 50φ 2-UE	OF50φ	
縦引き雨水管（天井内） ※特記無き限り100φ	150φ	
縦引き雨水管（床下） ※特記無き限り100φ	床下150φ	
ピクチャーレール	Pr	C ※※
カーテンレール	Cr	C ※※
点滴フック	Tf	C ※※
点滴レール	Tr	C ※※
壁面保護材		C ※※
壁面台車摺	Dg	C ※※
壁付手摺	hr	C ※※
壁付手摺（2段）	2hr	C ※※
コーナーガード(塩ビ)		C ※※
コーナーガード(MVB用)		C ※※
コーナーガード(ｽﾃﾝﾚｽ)		C ※※
コーナーガード(車両用)		C ※※
主出入口		
副出入口		
床仕上レベル ※特記無き限りFL±0	±100	
非常用進入口		
代替進入口		
天井段差		
床段差		
GT：グリーストラップ OT：オイルトラップ	GT	
吊戸棚	H6	
備品類（別途工事）		

記号凡例リスト（改修）

種　別	表示記号	呼出記号
間仕切壁　撤去	壁符号	
天井 撤去 及び 新設（復旧）		
床 撤去 及び 新設（復旧）		
天井・床 撤去 及び 新設（復旧）		

種　別	表示記号	呼出記号
仮設間仕切壁 (各間仕切壁毎に片開扉1ヵ所を見込む)	x	仕様は特記仕様書による
建具・雑物等　既存	SD xx A xx	
建具・雑物等　改修 (符号下部に内容を記載)	SD xx 移設 A xx 移設	
建具・雑物等　撤去	SD xx A xx	

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田 雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井 典之
一級建築士登録　第280645号　大貫 崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

記号凡例

A1：－
A3：－

RA－012

仕上特記事項　特記事項で、丸数字は全て適用し、 ✻ , ⑧ , ⊙ , ・ 印の適用は特記仕様書に準ずる。

Ⅱ 改修	6. 内装改修工事
1. 一般事項	① コンクリート壁の撤去は小型油圧クラッシャにて行うこと。必要であればダイヤモンドカッターにて縁切りを行うこと。
① 撤去工事にあたり、図示なき事項で改修工事上障害となるものは、監督職員と協議の上、撤去すること。	その他の工法を採用する場合は監督職員と協議のこと。騒力、騒音及び振動の出ない工法を採用すること。
② 搬出入経路（エレベータ等を含む）については適切に養生すること。必要に応じ施工者管理下のガードマンを配置し、第三者	② 撤去する間仕切壁の範囲は、次による。
災害防止に努めること。撤去範囲外の床、壁、天井等に損傷を与えた場合は、現状復旧すること。	防火区画壁：【 ・ 上階スラブ下まで　⊙ 天井まで　・ 図示 】
③ コンクリート壁の撤去範囲を最小限に抑えること。	非防火区画壁：【 ・ 上階スラブ下まで　・ 天井まで　⊙ 図示 】
・ 隣接するエリアの運営に支障をきたさぬよう、騒音、振動、粉塵、臭気、衛生面、安全面に十分に配慮すること。	③ 改修に伴い、防火区画壁の位置に変更が生じる場合は、天井内にて適切に区画を形成すること。
	④ 既存不適格となる区画貫通処理部分が発見された場合は監督職員に報告し、処理方法を協議のこと。
2. 仮設工事	⑤ 撤去する間仕切壁、天井、床に取付く設備機器（配管、配線等を含む）手摺その他雑物等は、特記なき限り撤去とする。
① 仮設間仕切壁、仮設扉には、次の仕様を見込むこと。[2.3.2]	⑥ 既存下地（床、壁、天井共）を再利用する場合は、下地補修を適切に行うこと。
⊙ 防塵、防臭仕様：既存との取合い部分にはシーリング、仮設間仕切壁に用いるボード等の目地には目張りを施すこと。	⑦ 残置する壁・天井・床の各仕上げの開口補修要領は、次による。
仮設扉はセミエアタイトとすること。必要に応じ、仮設排気ダクトを設置すること。	a. 造作家具、照明設備、空調設備、給排水設備、衛生器具等及びそれらの配管等の撤去により生じた開口部は、監督職員と協議の上、
⊙ 防音仕様　　：特記による他、仮設扉はセミエアタイトとすること。	適切に穴埋め補修を施すこと。
	b. 雑物のビス孔、上記aの配管・配線等で開口部の大きさが微小な箇所については、補修材等にて穴埋め補修を施すこと。
5. 建具改修工事	c. 補修部の塗装の適用は、次による。
① 既存建具を再利用する場合、清掃及び金物調整を見込むこと。	【 ⊙ 図示　・ 色ムラ部分のみ塗装（EP程度/既存同色）　・ 塗装なし 】
② 建具撤去に伴うコンクリート壁の撤去補修範囲は、次による。	⑧ 既存間仕切壁撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲は図示なき限り、次による。（壁表面からの数値とする）
【 ✻ 最小限　・ 監督職員との協議による　・ 図示 】	【 ✻ 600mm　・ その他（　　mm）　⊙ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 】
③ 建具撤去に伴う外壁仕上げの撤去補修範囲は、次による。	⑨ 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲は図示なき限り、次による。（壁表面からの数値とする）
【 ✻ 最小限　・ 監督職員との協議による　・ 図示 】	【 ✻ 600mm　・ その他（　　mm）　・ 図示 】
④ 内部建具撤去に伴う軽量間仕切壁の撤去範囲は、次による。	⑩ 撤去する天井に取付く既存軽量鉄骨下地（吊ボルト、野縁等）の適用は、次による。
【 ✻ 最小限　・ 監督職員との協議による　・ 図示 】	【 ✻ 撤去　・ 再利用　・ 図示 】
⑤ 特記なき限り、撤去する建具及びシャッターに取付く枠、扉、カーテンボックス、ブラインドボックス、額縁その他雑物共	再利用の場合はインサート引抜試験（3箇所）を行い、結果を監督職員に報告のこと。所定の数値を満たさない場合、
撤去とする。	再利用は不可とする。
⑥ 建具撤去後に開口塞ぎが必要な場合、既存同等の壁新設を行うこと。	⑪ 既存下地（床、壁、天井共）を再利用する場合は、下地補修を適切に行うこと。
⑦ 改修範囲内の既存再利用する建具の塗装の適用は、次による。	⑫ 既存及び新設の壁が突付けあう箇所には見切材（塩ビ製）を設けること。
【 ⊙ 再塗装（両面）　・タッチアップ程度　・ 既存のまま　・ 図示 】	⑬ DR天井の下地は特記なき限りGB-NCt9.5とする。
⑧ 窓枠及び建具枠で仕上げとの取合い調整が必要な場合、枠同材の付け額縁にて処理すること。	
⑨ 残置する建具に取付くカーテンボックス、ブラインドボックス、建具額縁等の適用は、次による。	
外部建具：【 ⊙ 既存再利用　・ 撤去　・ 図示 】	
内部建具：【 ・ 既存再利用　・ 撤去　⊙ 図示 】	

仕上材料表（製品名の記載は同等以上として扱うこと）

部位	名　称	仕　様	備　考
屋根・天井	DR	岩綿吸音板ｔ9.0	
	化粧KB	化粧ケイ酸カルシウム板（目地シール）	A&A スタンド#500 同等品以上
壁	MVB	メラミン不燃化粧板（目地シール）	アイカ　セラール 同等品以上

部位	名　称	仕　様	備　考
床	ビニル床シート	抗菌塩ビシート ｔ2.0	東リ　抗菌フロアリューム 同等品以上
	帯電防止ビニル床シート	複層ビニル床シート　FS　ｔ2.0	東リ　帯電防止フロアリューム 同等品以上
その他	ビニル床シート立上げ専用 樹脂製見切材	樹脂製既製品	㈱タジマ　ミニモール 同等品以上
	手摺2段（既）		ﾅｶ工業、ﾈｵｳｯﾄﾞD-432M、2段 同等品以上

内部仕上表（改修前）

棟	階	室　名	床 下地	床 仕　上	床 仕上レベル 躯体レベル	巾　木 仕上	巾　木 H	壁 下地	壁 仕上	壁 内装制限	廻縁	天　井 仕　上	天　井 内装制限	天　井 天井高	備考
西館	4階	血管撮影室（１）	NC	ビニル床シート ｔ2.0	±0 -200	床材立上	100		VC	㊎	V	VC　下地GB-R t 12.5+ GB-NC t 9.5	㊎	2,925	ケーブルボックス　既存CT室側にて切断 （本工事）
															配線ピット（既） 床レール（血管撮影室１側残置）
		操作室	NC	ビニル床シート ｔ2.0	±0 -200	床材立上	100		EP	㊎	V	VC　下地GB-R t 12.5+ GB-NC t 9.5【一部撤去】	㊎	2,600	配線ピット（既）
		前室（１）	NC	ビニル床シート ｔ2.0	±0 -200	床材立上	100		VC【既存のまま】	㊎	V	VC　下地GB-R t 12.5+ +GB-NC t 9.5	㊎	2,925	
		データ処理室	NC	ビニル床シート ｔ2.0（既）	±0 -200	床材立上	100		VC【既存のまま】	㊎	V	VC　下地GB-R t 12.5+ GB-NC t 9.5【一部撤去】	㊎	2,600	
		器材室（２）	NC	ビニル床シート ｔ2.0●【撤去】	±0 -200	床材立上 【撤去】	300		VC【撤去】	㊎	V 【撤去】	VC　下地GB-R t 12.5+ +GB-NC t 9.5【撤去】	㊎	2,600	
		CT撮影室（跡地）	NC	ビニル床シート ｔ2.0●【撤去】	±0 -200	床材立上 【撤去】	100		VC【撤去】	㊎	V 【撤去】	VC　下地GB-R t 12.5+ +GB-NC● t 9.5【撤去】	㊎	2,925	CT室上部 天井架台【既存CT室側にて切断撤去】 天井吊りインジェクター架台【撤去】
			一部撤去	配線ピット 蓋【一部撤去】 配線ピット 蓋【既設部仕上材貼替】											配線ピット NCにて埋め戻し(改修) 床レール【既存CT室側にて切断・撤去】 洗面台【撤去】
		家族説明室		ビニル床シート ｔ2.0	±0	床材立上	100		VC	㊎	V	DR	㊎	2,600	
		機械室（２）	NC	ビニル床シート ｔ2.0	±0 -200	床材立上	100		EP	㊎	V	DR●【一部撤去】	㊎	2,600	配線ピット
		機械室（１）	NC	ビニル床シート ｔ2.0	±0 -200	床材立上	100		EP	㊎	V	DR【一部撤去】	㊎	2,600	配線ピット
		廊下（１）		ビニル床シート ｔ2.0	±0	床材立上	350		EP	㊎	V	DR	㊎	2,600	手摺2段
		廊下（２）		ビニル床シート ｔ2.0 【廊下（１）拡張部撤去】	±0	床材立上 【拡張部撤去】	350		EP	㊎	V	DR	㊎	2,600	
		準備ホール		ビニル床シート ｔ2.0	±0	床材立上	350		EP	㊎	V	DR	㊎	2,600	
		手術ホール		ビニル床シート ｔ2.0	±0	床材立上	300		化粧ケイカル板	㊎	V	DR	㊎	2,600	

内部仕上表（改修後）　・・・(既)：既存のままを示す

	室　名	床 下地	床 仕　上	床 仕上レベル 躯体レベル	巾　木 仕上	巾　木 H	壁 下地	壁 仕上	壁 内装制限	廻縁	天　井 仕　上	天　井 内装制限	天　井 天井高	備考
→	血管撮影室（１）	NC	ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0 -200	床材立上 (既)	100		VC(既)	㊎	V (既)	VC　下地GB-R t 12.5+ GB-NC t 9.5(既)	㊎	2,920	ケーブルボックス　血管撮影室１上部（残置）
														配線ピット(既) 床レール（血管撮影室１側残置）
→	操作室	NC	ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0 -200	床材立上 (既)	100		EP(既)	㊎	V (既)	VC　下地GB-R t 12.5+ GB-NC t 9.5(既)	㊎	2,600	配線ピット(既)
											【一部新設】			
→	前室（１）	NC	ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0 -200	床材立上 (既)	100		VC(既)	㊎	V (既)	VC　下地GB-R t 12.5+ +GB-NC t 9.5	㊎	2,920	
→	医師操作室 （血管撮影室１側）	NC	ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0 -200	床材立上 (既)	100		VC(既)	㊎	V (既)	VC　下地GB-R t 12.5+ GB-NC t 9.5(既)	㊎	2,600	
											【一部新設】			
→	医師操作室 （拡張側）	NC	ビニル床シート ｔ2.0【新設】	±0 -200	床材立上 【新設】	100		VC【新設】 既設建具の閉鎖部	㊎	V 【新設】	VC　下地GB-R t 12.5+ +GB-NC t 9.5【新設】	㊎	2,600	
→	ハイブリッド手術室 血管撮影室（２）	NC	帯電防止ビニル床シート ｔ2.0 【新設】	±0 -200	床材立上 【新設】	100		MVB【新設】	㊎	V 【新設】	下地GB-R t 12.5+ 化粧KB【新設】	㊎	2,920	天井架台【新設】（別途工事）
			一部埋戻 一部撤去	配線ピット 蓋【新設部】FLP-1a 配線ピット 蓋【既設部仕上材貼替】										配線ピット【一部新設】【改修】
→	前室（２）	NC	ビニル床シート ｔ2.0【新設】	±0 -200	床材立上 【新設】	100		MVB【新設】	㊎	V 【新設】	下地GB-R t 12.5+ 化粧KB【新設】	㊎	2,600	
→	家族説明室		ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0	床材立上 (既)	100		VC(既)	㊎	V (既)	DR(既)	㊎	2,600	
→	機械室（２）	NC	ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0 -200	床材立上 (既)	100		EP(既)	㊎	V (既)	DR(既)【一部新設】	㊎	2,600	配線ピット(既)
→	機械室（１）	NC	ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0 -200	床材立上 (既)	100		EP(既)	㊎	V (既)	DR(既)【一部新設】	㊎	2,600	配線ピット(既)
	廊下（１）		ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0	床材立上 (既)	350		EP(既)	㊎	V (既)	DR(既)	㊎	2,600	手摺2段（既）
	廊下（２）		ビニル床シート ｔ2.0(既) 【廊下（１）拡張部新設】	±0	床材立上 【拡張部新設】	350		EP(既)	㊎	V (既)	DR(既)	㊎	2,600	手摺2段【廊下（１）拡張部新設】
	準備ホール		ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0	床材立上 (既)	350		EP(既)	㊎	V (既)	DR(既)	㊎	2,600	
	手術ホール		ビニル床シート ｔ2.0(既)	±0	床材立上 (既)	300		化粧ケイカル板（既）	㊎	V (既)	DR(既)	㊎	2,600	

【備考】
✻略号は仕上特記による。
✻特記無き限り壁下地欄については、平面図及び平面詳細図に記載の壁符号による。

✻仕上材●付きは、種類ごとに1か所を石綿分析対象とする。
✻床仕上・躯体レベルは、FLからの高さを示す。
✻仕上欄に(P)の表記がある場合は、パターン張りとする。

【内装制限　凡例】
難：難燃材料　　不：不燃材料
準：準不燃材料　　㊎：不燃材料(下地共)

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

シート養生

天井改修範囲
ドレン管施工
衛生配管撤去

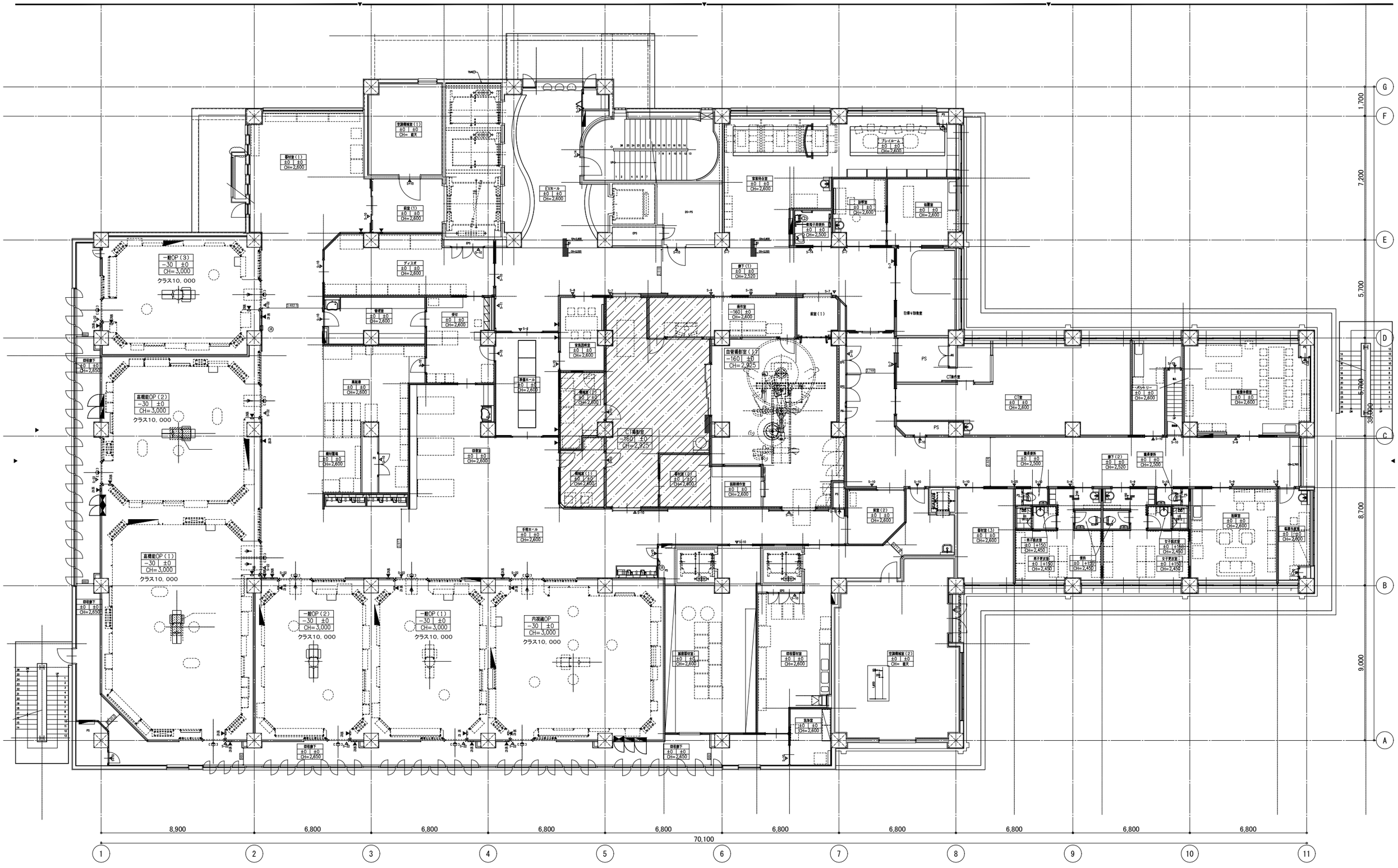
天井改修範囲
下記範囲　天井仕上【撤去】【新設】
間仕切りとの取り合い部は廻り縁を撤去新設とする。

：仮設間仕切り防塵シート

：DR●

：GB-D●

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第233442号　和田雅彦 一級建築士登録　第307492号　朝井典之 一級建築士登録　第280645号　大貫崇司	令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備） 西館　3階平面図【改修前】【改修後】・天井改修範囲図	A1:1/100 A3:1/200	RA－014



今回改修範囲を示す

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

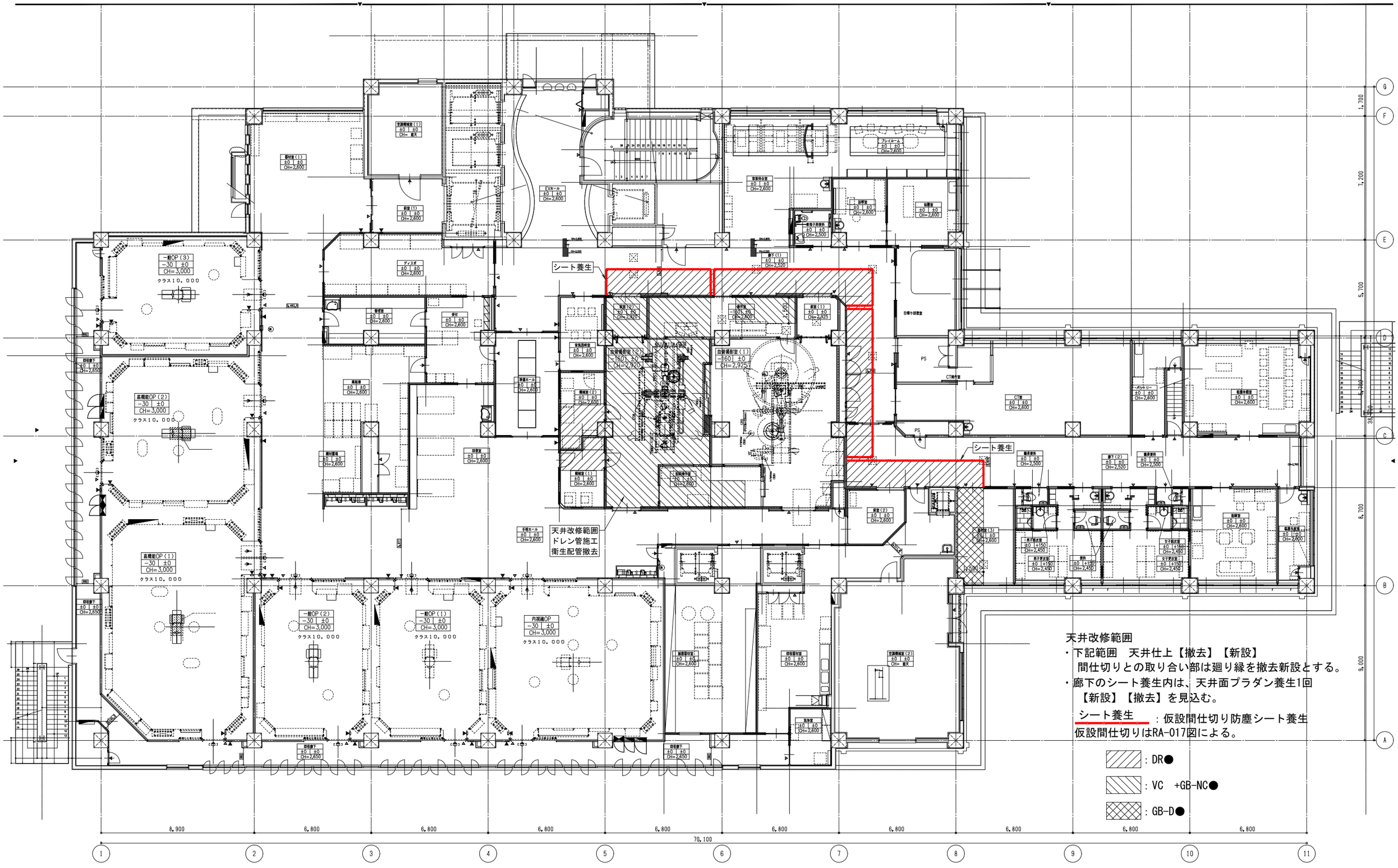
一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第307492号 朝井典之
一級建築士登録 第280645号 大貫崇司

令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

西館 4階平面図【改修前】

A1：1/100
A3：1/200

RA－ 015



天井改修範囲

・下記範囲　天井仕上【撤去】【新設】
　間仕切りとの取り合い部は廻り縁を撤去新設とする。

・廊下のシート養生内は、天井面プラダン養生1回
　【新設】【撤去】を見込む。

シート養生　：仮設間仕切り防塵シート養生
仮設間仕切りはRA-017図による。

：DR●

：VC　+GB-NC●

：GB-D●

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

西館　4階平面図【改修後】・天井改修範囲図

A1:1/100
A3:1/200

RA－016

仮設出入口：アルミ引き違い戸
W1700×H1900　錠付

仮設間仕切

仮設出入口：アルミ開き戸
W800×H1900　錠付

仮設間仕切り

仮設間仕切り＋防塵シート養生

仮設間仕切り＋防塵シート養生

仮設間仕切り＋防塵シート養生

仮設間仕切り＋防塵シート養生

シート養生目貼

目貼

目貼

仮設間仕切①

仮設間仕切②

工事範囲を網羅するように
仮設間仕切は①②を切替る。

XD 2

XD 3 ［撤去］

LD 13 ［撤去］

SHD 12 ［取外］

2,015 LD-18 ±0

2,015 LD-18B ±0

2,015 LD-18A ±0

操作室
−160 | ±0
CH= 2600

前室（1）
±0 | ±0
CH= 2925

家族説明室
±0 | ±0
CH= 2600

機械室（2）
±0 | ±0
CH= 2600

機械室（1）
±0 | ±0
CH= 2600

CT撮影室
−160 | ±0
CH=2,920

血管撮影室（1）
−160 | ±0
CH= 2,925

器材室（2）
±0 | ±0
CH= 2600

洗面カウンター
L=900［撤去］

検査時施錠管理

シャーカステンW1495
H580 D80

P1

日帰り回復室

PS

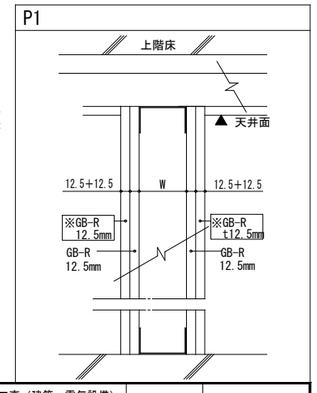
廊下

CT室

PS

前室2

凡例
：建具記号
：壁撤去範囲を示す



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

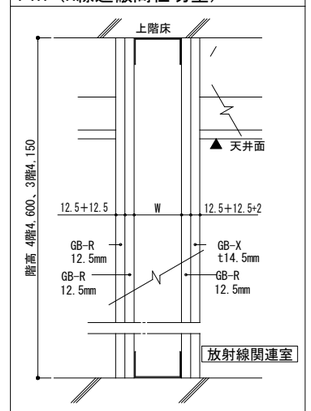
令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

4階平面詳細図【改修前】

A1：1/30
A3：1/60

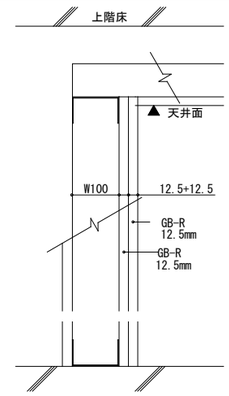
RA − 017

P1X（X線遮蔽間仕切壁）



特記なき限り鉛厚は2mm、鉛は上階スラブ下までとする。

PK1（片面張り）

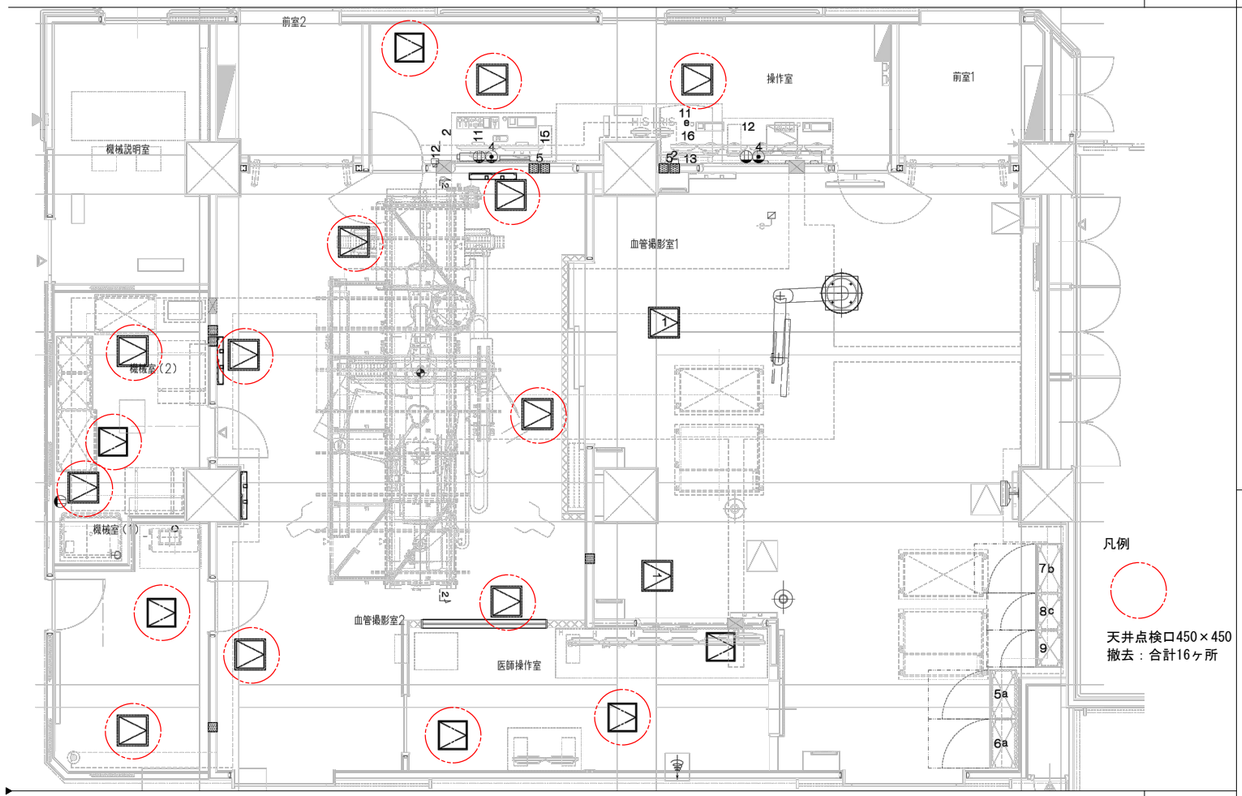


凡例

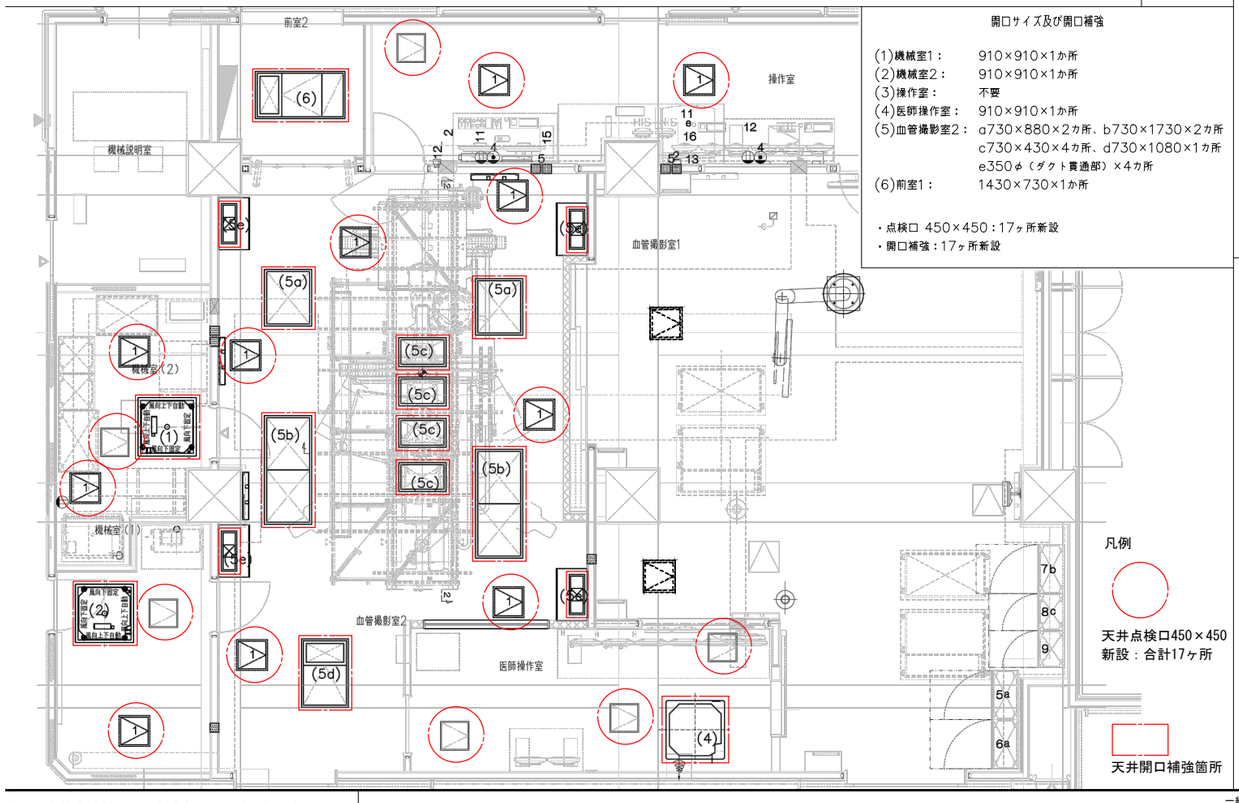
：建具記号

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第233442号 和田雅彦 / 一級建築士登録 第307492号 朝井典之 / 一級建築士登録 第280645号 大貫崇司	令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	A1:1/30 A3:1/60	RA－018
		4階平面詳細図【改修後】		

【改修前】　改修範囲　天井点検口撤去図　　1/50



【改修後】改修範囲　天井点検口配置・天井開口補強図　　1/50

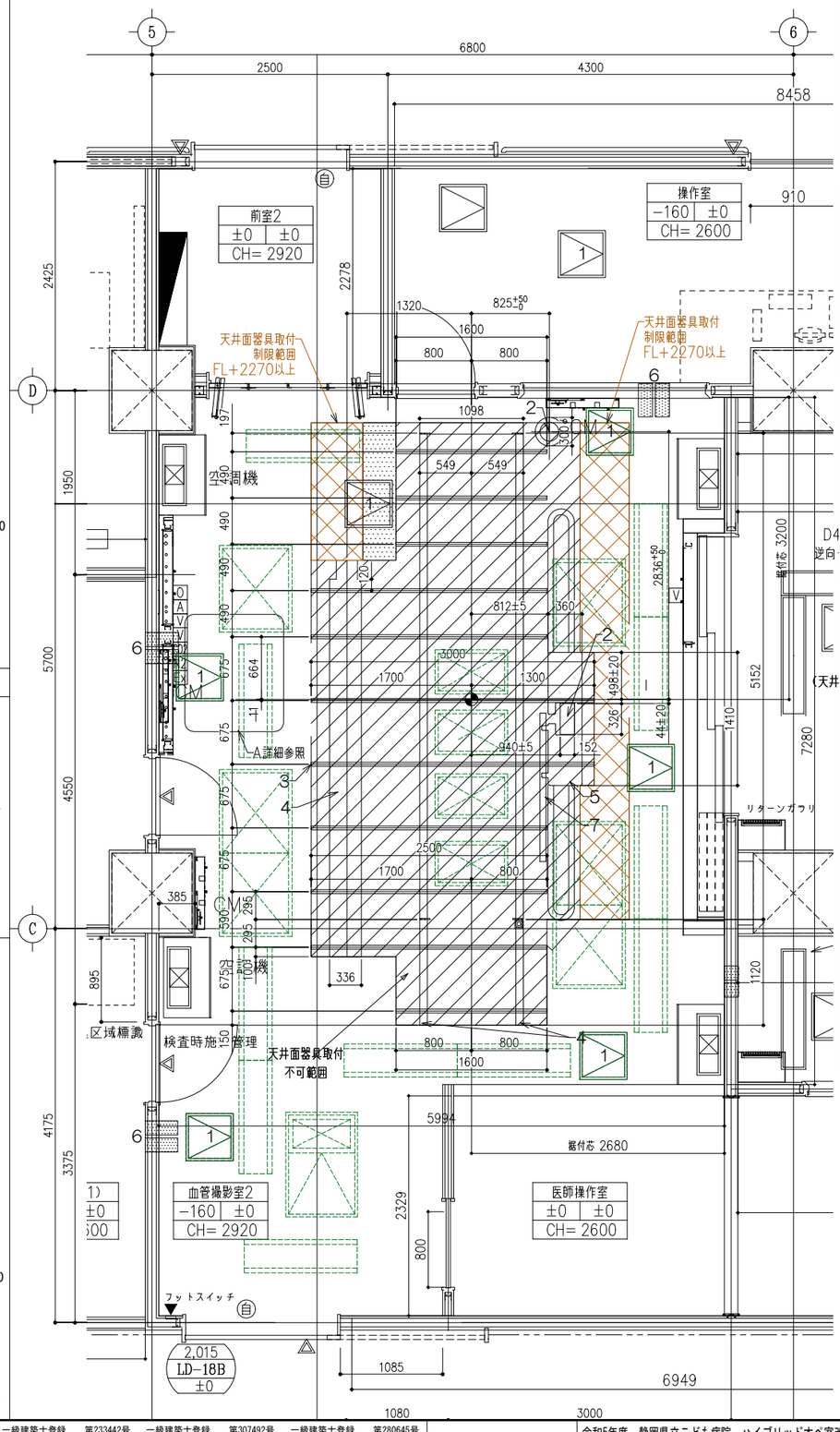


開口サイズ及び開口補強

(1)機械室1：　910×910×1か所
(2)機械室2：　910×910×1か所
(3)操作室：　不要
(4)医師操作室：　910×910×1か所
(5)血管撮影室2：　a730×880×2カ所、b730×1730×2カ所
c730×430×4カ所、d730×1080×1カ所
e350φ（ダクト貫通部）×4カ所
(6)前室1：　1430×730×1か所

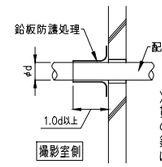
・点検口 450×450：17ヶ所新設
・開口補強：17ヶ所新設

【改修後】血管撮影室2　天井伏図　　1/30



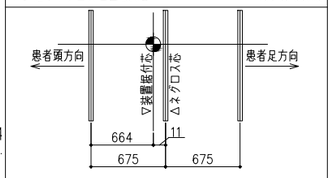
番号	仕　様	施工区分
1	天井点検口 450角	建築工事
2	ケーブルアウトレット	別途工事
3	ネグロスD41 天井面に露出（CL−20）	別途工事
4	装置取付レール D41下に取付（搬入時）	別途工事
5	シーリングプレート D41下に取付（搬入時）	別途工事
6	天井内 壁貫通口 150φ×2本　※要鉛処理	別途工事
7	DCSケーブルガイド D41下に取付（搬入時）	別途工事

天井内壁貫通口詳細図（参考）　not to scale

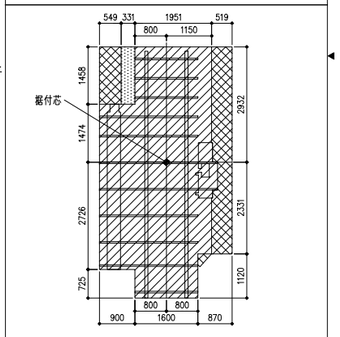


X線防御壁の配管等の貫通部は貫通部の直径＝dの1.0倍以上の長さを撮影室側に鉛板を巻き鉛板が脱落することの無いように確実に固定する。

A詳細：ネグロス位置拡大図　not to scale



天井面器具取付制限範囲



防護板あり/Extended DCS レール延長1120mmの場合

斜線種類	仕様
	天井面の器具取り付け不可範囲 CL−10mm以内天井面器具取付可
	天井面の器具取り付け制限範囲 FL+2570以上
	天井面の器具取り付け制限範囲 FL+2270以上

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

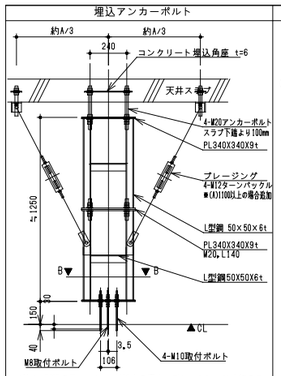
天井伏図【改修前】【改修後】

A1：1/30, 50
A3：1/60, 100

RA − 019

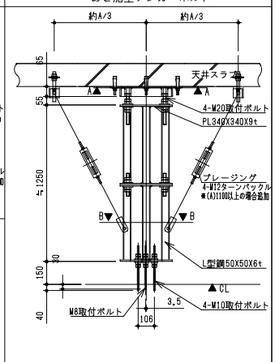
天井吊インジェクター架台（1ヶ所）撤去（本工事）　1/20

埋込アンカーボルト



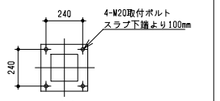
(注)L型鋼の長さ(A)が1100以上の場合、ブレージングを追加のこと

あと施工アンカーボルト

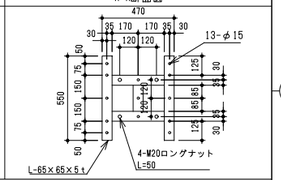


(注)天井フトコロが深い場合は、適時振れ止めを追加のこと

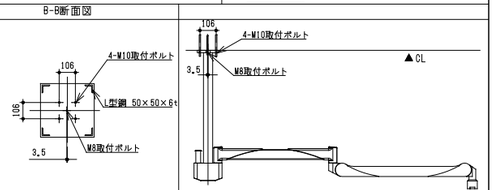
コンクリート 埋込角座平面



A-A断面図

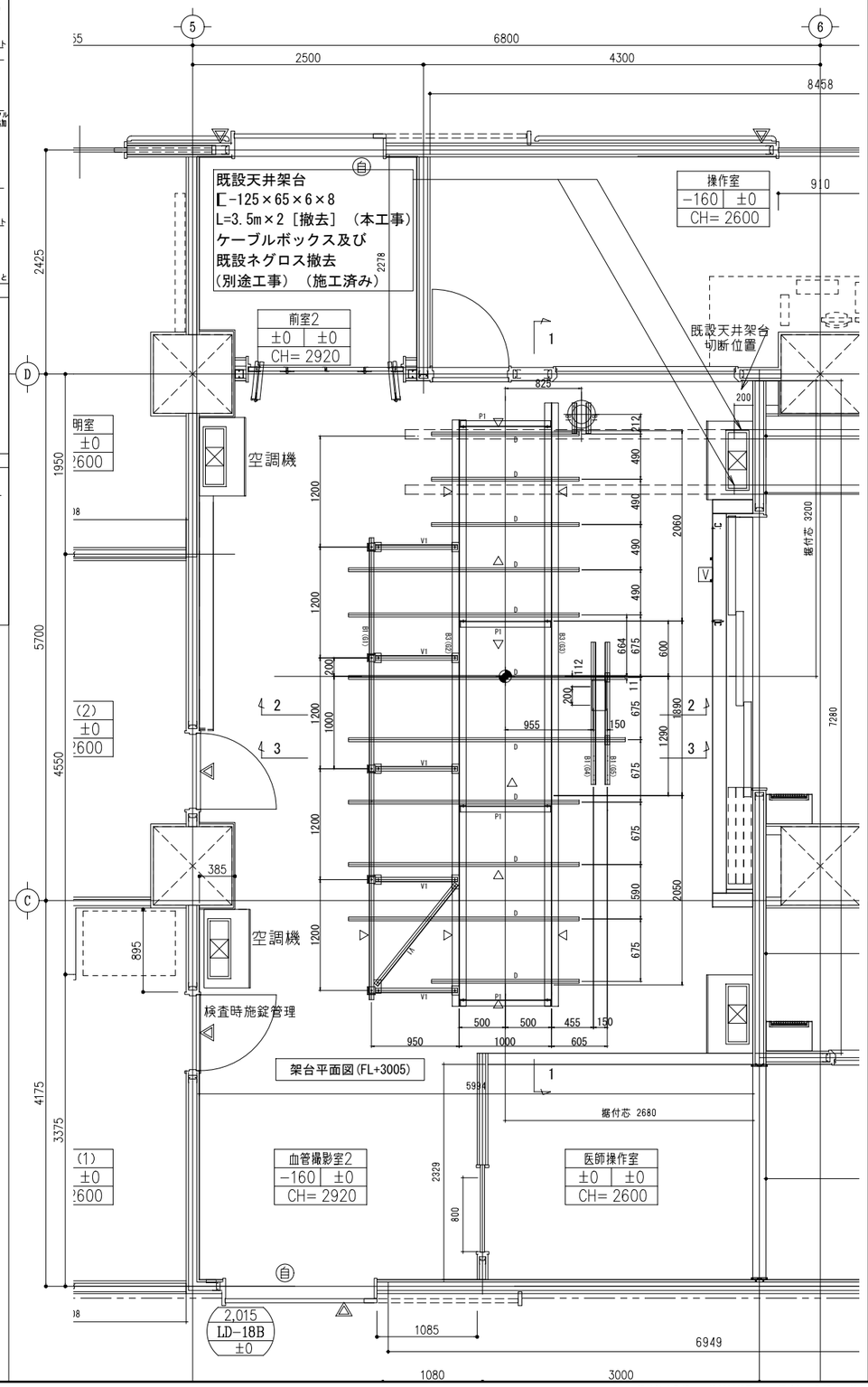


B-B断面図

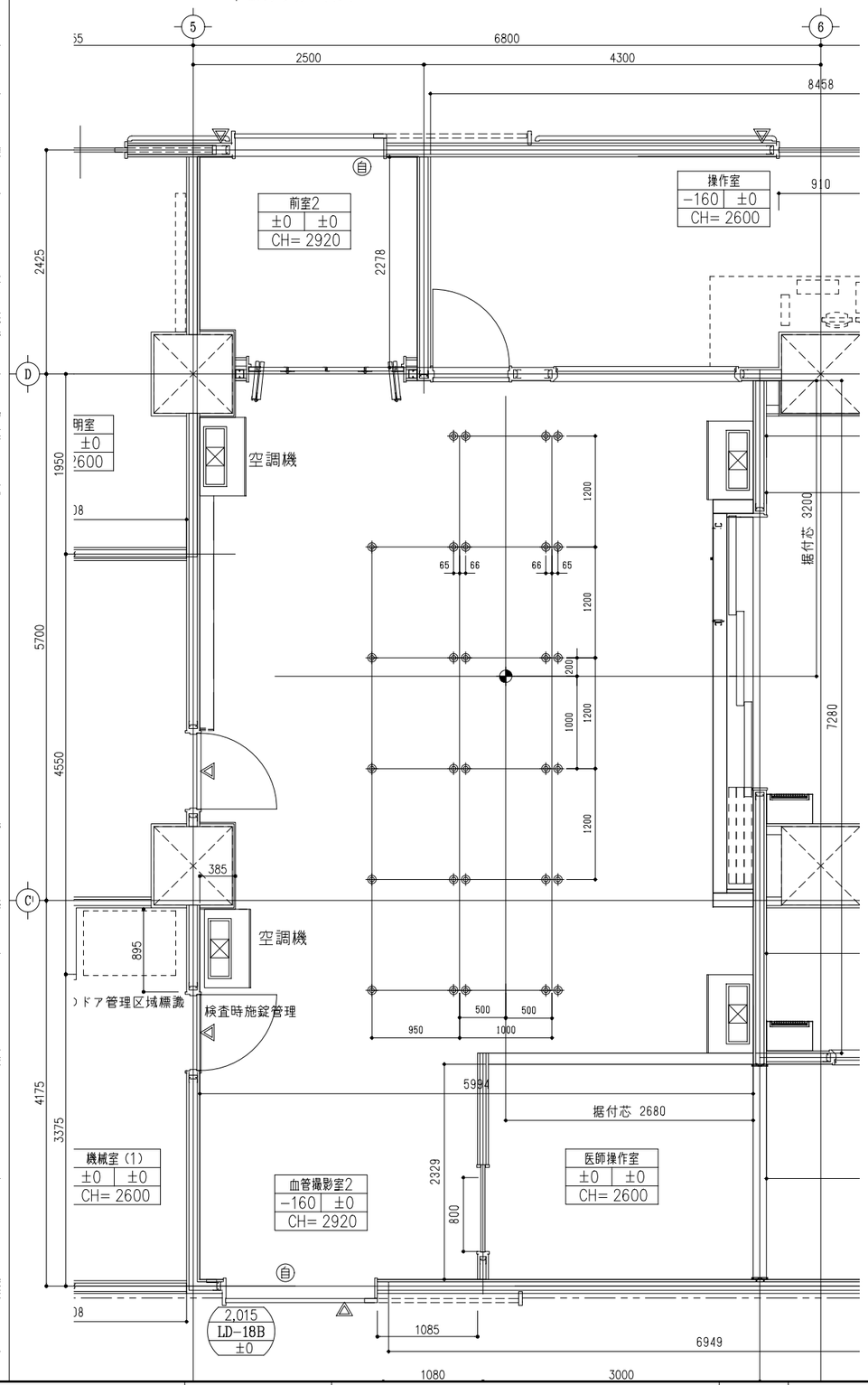


天井架台図（別途工事）　1/30

架台のアンカー打設する際は、事前にX線撮影を行い電線の切断がにきよう留意すること。



アンカー図（別途工事）　1/30



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

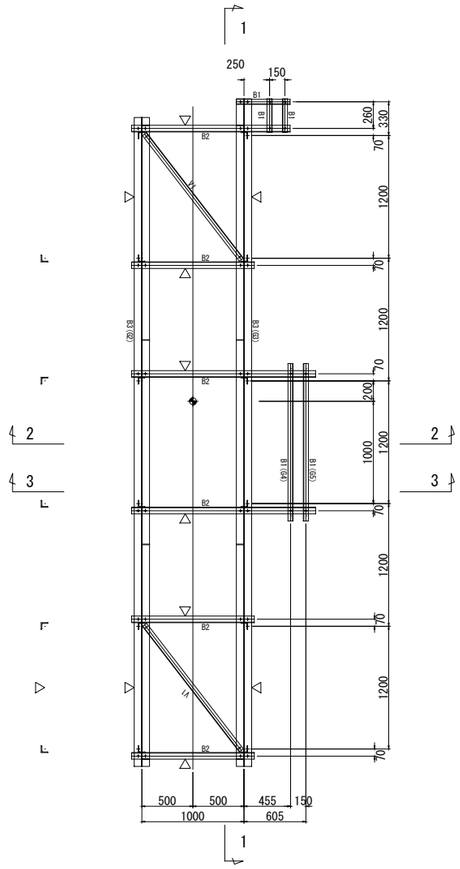
天井架台図（1）・アンカー図（参考図）

A1：図示
A3：

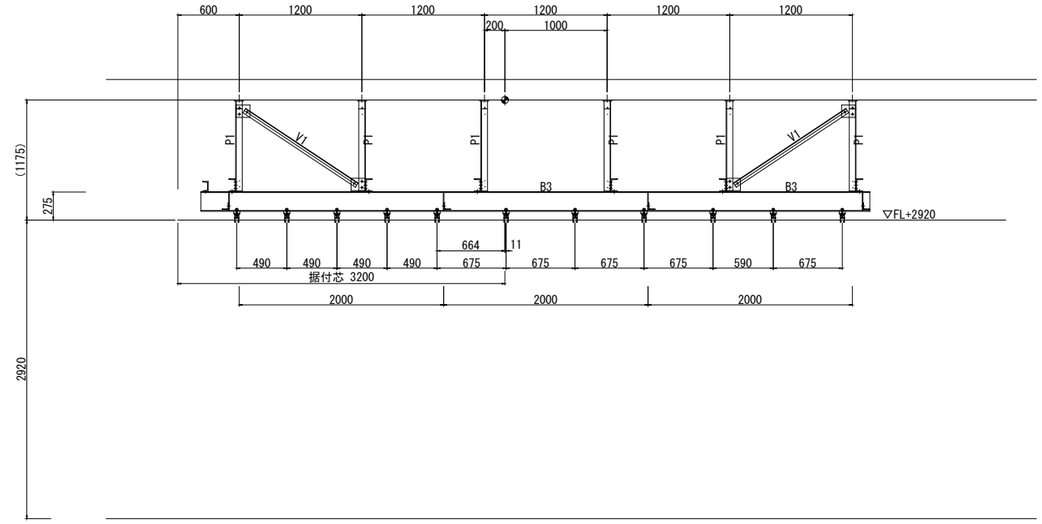
RA－020

▽ は、鉛直ブレス設置位置を示す。

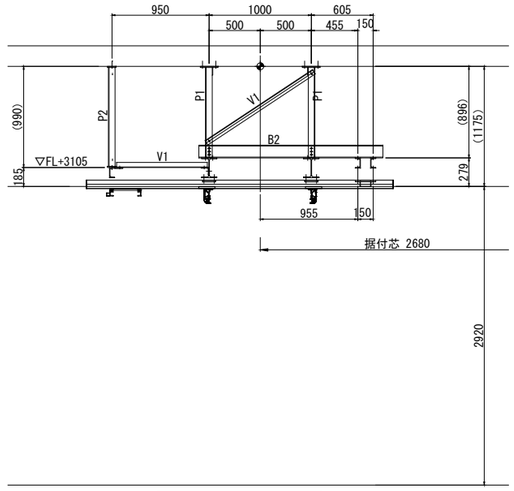
特記なき限り
使用ボルトは　M12 強度区分8.8又は
F8T以上とする。
ボルト孔はボルト公称径プラス3mmとする。
部材記号
P1:山形鋼 L-65×65×8
P2:山形鋼 L-65×65×6
B1:溝形鋼 C-100×50×5×7.5
B2:溝形鋼 C-125×65×6×8
B3:H形鋼 H-194×150×6×9
V1:山形鋼 L-50×50×4
D :ネグロス（放射線メーカー）



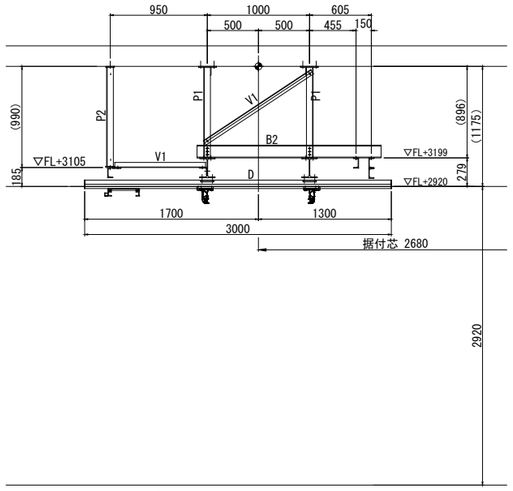
架台平面図(FL+3199)



1-1 断面図

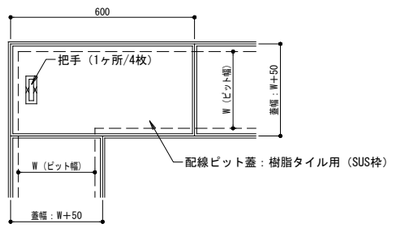


2-2 断面図

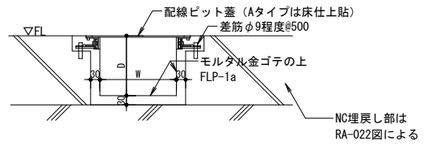


3-3 断面図

D-1　配線ピット詳細図　1/10



平面図



断面図

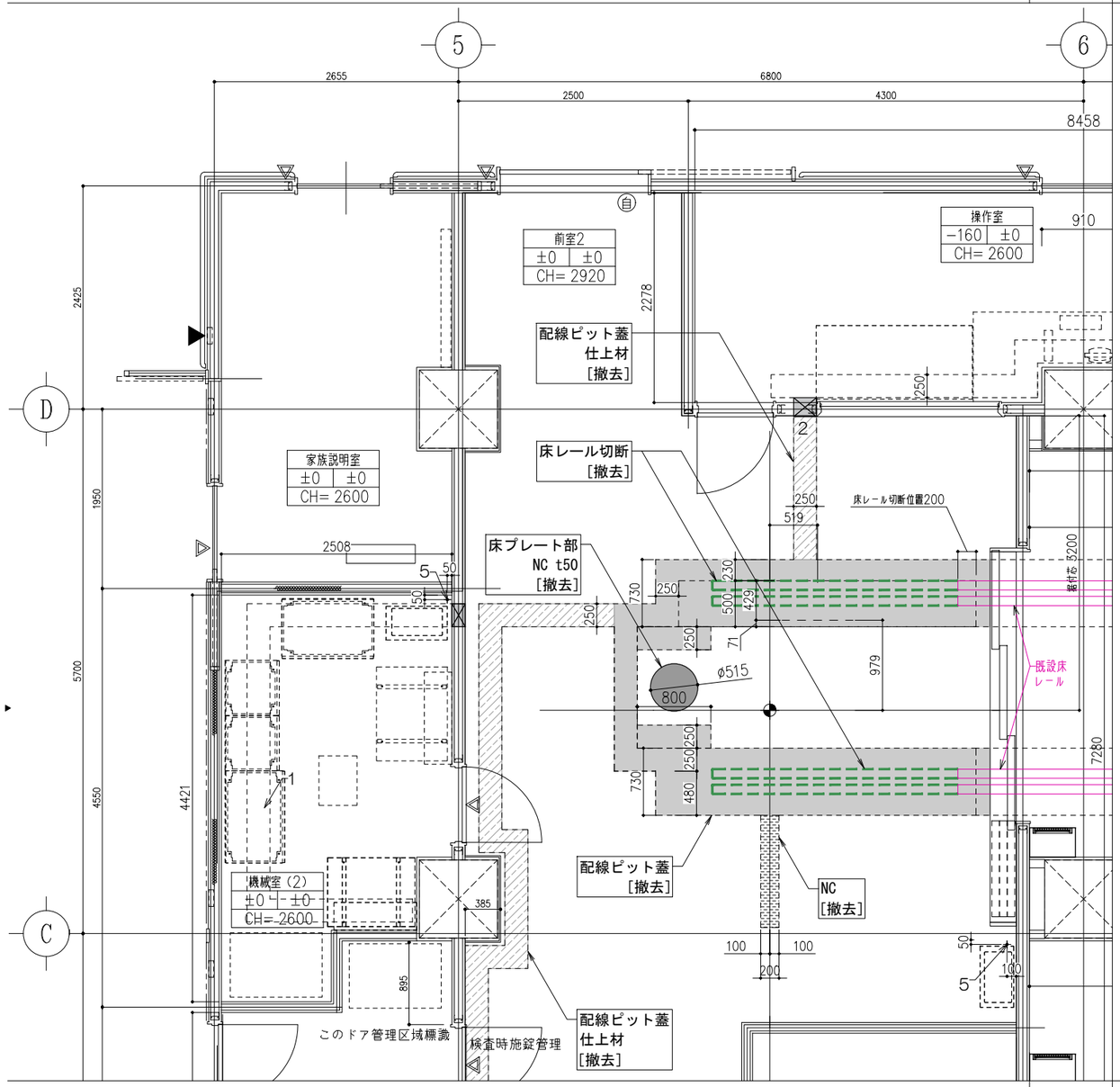
※配線ピット蓋：カネソウ SC-15 同等品

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）		RA－ 021
天井架台図（2）・断面図（参考図）	A1：図示 A3：	

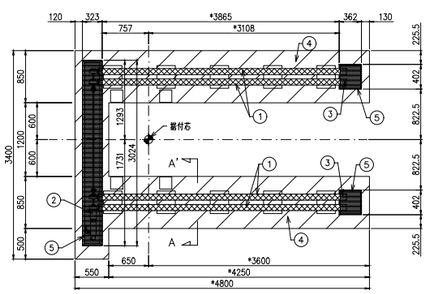
【改修前】

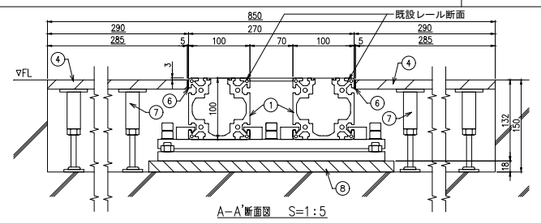
1/30



床レール詳細図

1/5,50





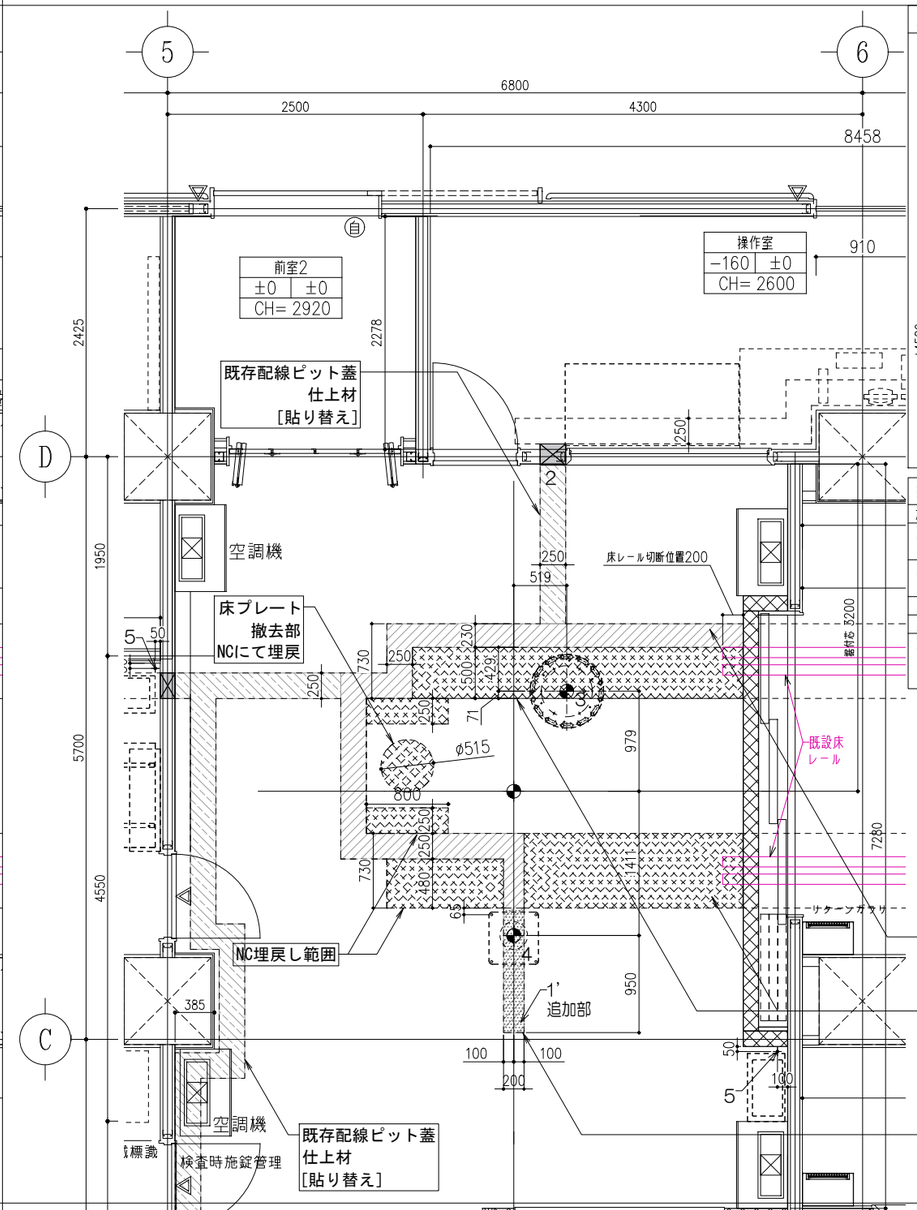
斜線種類	仕　様
	ガントリーレール床露出部：FL+3
	点検用レールカバー ガントリードライブユニット：FL+42 レール端末：FL+6
	床穴き込み範囲：FL−150 設置設置後、置仕上げ：FL±0 *置は取り外し可能であること

①	ガントリーレール（材質：ステンレス成型材と高炭素鋼成型材の複合）
②	ガントリードライブユニット
③	レール端末
④	床穴き込み範囲／置仕上
⑤	点検用レールカバー：3箇所
⑥	ネオプレーンゴム：t5
⑦	支柱（フリーアクセスフロアー）
⑧	レベル調整用スペーサー

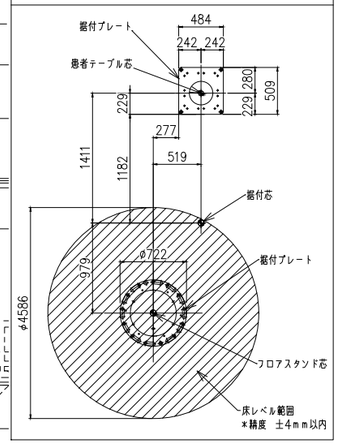
・置の仕上方法は参考例。
・（*）印の寸法値はレールの長さにより異なる。
隙の値はガントリー可動範囲が2600mmの場合を示す。
・下線付きの寸法値は、図面の縮尺とは異なることを示す。

【改修後】配線ピット詳細図

1/30



床レベル範囲／据付プレート（参考図）



建築設計条件	
施工項目	仕　様
X線防護	
床構造	後打ちアンカー／装置用床ベースプレート取付が可能であること。
床仕上げ	帯電防止長尺シート仕上げ
床ﾚﾍﾞﾙ精度	±4mm以下
天井高さ	CH=2920 *D41設定はFL+2900（CL−20）

番号	仕　様	施工区分
1	床ピット（ふた付）	本工事
1'	床ピット（ふたつき） W200×D100　モルタルFLP−1a	本工事
2	配線用壁開口	既設
3	フロアスタンド用 据付プレート （据付プレートは　φ722） M12x7箇所 アンカーにて固定 *詳細は「床レベル範囲／据付プレート」参照	別途工事
4	患者テーブル用 据付プレート M12x4箇所 アンカーにて固定 *詳細は「床レベル範囲／据付プレート」参照	別途工事
5	除湿機用ドレーン設備 ドレーン配管：VP25A FL+100まで	別途工事

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

床詳細図【改修前】【改修後】

A1:1/30
A3:1/60

RA − 022

建具特記事項

項目	細目	特記事項
① 一般共通事項	1) 共通仕様	a 図面及び特記事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。 b 図示無き限り、図面、仕様書の記載事項の優先順位は、質問回答書、現場説明書、特記事項、図面、標準仕様書の順序とする。 c 建具特記事項に記載の（ 、 ）内の表記数字は、扉仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
	2) 適用範囲	a 建具表に記載のない事項については本特記事項による。 b 本特記事項において、項目は番号に ◯ 印の付いたものを適用する。 c 本特記事項において、特記事項は ⊙ 印を付けたものを適用し、⊙ 印が無い場合は、＊印を適用する。 ⊙ 印と ◉ 印の付いた場合は、ともに適用する。 選択項目以外は、表記の内容を適用する。
	3) 適用基準等	＊ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 平成28年版） ＊ 建築工事監理指針 （国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和元年版）
	4) 建具寸法	建具表に示す巾、高さは枠内法有効寸法とする。 但し、引き戸に示す巾は、引き残し（120mmを原則）を除いた有効寸法とする。
	5) シーリング (9,7,1)	a ガラス留めはシリコンシーリング SR-1（低モジュラス形） ガラス突付部はシリコンシーリング SR-1（高モジュラス形）とする。 b 防火設備に使用するガラスの留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた材料に限定し 「防火戸用指定シーリング材」（旧通則認定アルミニウム製乙種防火戸用指定シーリング材）を使用する。
	6) 防火戸 (16,1,3)	特定防火設備、防火設備及び不燃戸：建築基準法、建築基準法施行令、及び建築基準法に基づく告示の基準を満たすこと。 a 防火戸の指定 ＊図示 ・ b 付属品 特定防火設備、防火設備及び不燃戸の両開き、及び親子扉は、各扉共自動閉鎖装置および閉鎖順位調整器（格納型）付とする。 c 壁埋込扉 随時開鎖式標準型鋼製遮煙扉は上枠格納式、スチール製三方枠とする。 d 扉 見付面積が3㎡を超える防火戸は子扉付とする。（下枠なしタイプ）
	7) 見本の製作等 (16,1,4)	特殊な建具の仮組（建具符号： ）
	8) 性能確認試験	a 性能確認試験 ＊ 実施しない ・ 実施する（建具符号： ） b 試験の種類 ・ 耐風圧 ・ 耐震性 ・ 水密性 ・ 気密性 ・ 遮音性 ・ 断熱性
	9) 防犯建物部品 (16,1,6)	CPマーク対応品の適用 ・適用する（適用箇所は建具表による） ・適用しない
	10) 製作図	建具の製作図には、平面図（キープラン）、防火区画、材質、周囲との取合、ガラスの取付、シーリング材その他、必要事項（監督員の指示）をもれなく記載すること。
	11) 非常用進入口	非常用進入口及び非常用進入口に代わる窓の部分で普通ガラス 6mm 、網入ガラス 6.8mm 、強化ガラス 5mm を超える厚さ及び、合わせガラスは内外連動の外部ハンドルを設けること。また、同箇所に告示による赤色反射シートを設置すること。
	12) 特殊建具	X線遮蔽建具、放射線遮蔽建具、防熱扉は別紙詳細図による。
	13) 区分	a 下記に ⊙ 印を付けたものは、建具工事外の項目とする。 ・ 医製品パーティション付属建具 ⊙ 家具、造作付属建具 ⊙ アコーディオンドア ⊙ トイレブース用扉
	14) ガラリ	a 外部に面するガラリで給気用・排気用共防鳥網付（SUS製クリンプ金網 線径1.5m m 網目15m m ）とする。 b ガラリの有効開口率は、30%〜40%（水平固定）とする。 c ガラリは枠と同材質・同仕上とする。 d 特記無き限り、外部のガラリ形状は I型とする。 e 内部のドアガラリは山形形状（T型）とし、開口部は鼠返を欠き込んだものとする。（S,L,N≦額縁レス） f 特定防火設備、防火設備に設けるガラリはヒューズ付鋼製防臭ガラリとする。 g W1,500以上の場合は1,500間隔で方立てを設けること。方立ては、裏方立てとする。 h 外部に面するガラリでダクト接続の場合は、チャンバー接続ボックス（ダクト接続用フランジ付）を設けること。 チャンバー接続ボックスは、 ＊ 高耐食亜鉛めっき鋼板t1.6（さび止め塗装＊50P） ・ アルミt2.0C（サシ同仕上） とし、 裏面結露防止材は、＊ 結露防止材 t3.0裏打ち ・ 硬質ウレタンフォームt15吹付 とする。 ただし、延焼ラインにかかる箇所は、 高耐食亜鉛めっき鋼板t1.6（さび止め塗装＊50P） 結露防止材t3.0裏打ちとする。 寒冷地の場合は次の通りとする。 ＊図示 ・全てのガラリ ・
	15) その他	a ガラス内側の見えがかりパックパネルは GB-Rt12.5貼りとし、EPを施すものとする。 ただし、防火区画を形成する箇所においては、耐火ボード＋EPとする。 （耐火ボード：日本インシュレーション（株） JIOカーテンウォール耐火パネル同等品 30分-t25 1時間-t35） b 建具の見えがかり支持下地鉄骨は、SOPを施すものとする。 c 図示の無い場合、開戸、引戸の吊元は無いものとし、仕上厚が異なる場合はテーパー目地幅にて対処すること。 d 図示の無い場合、扉の枠形状は A型とし、見込みは仕上げ面に（＊10mm ・ mm）の庇寸を加えた寸法とする。 e 内部に面する建具枠は、特記なき限り建具と同仕上とする。 f 外部に面する開戸（片開き戸、親子開き戸、両開き戸）は、召合せ框を当該建具の外側とする。 g 引戸には障子の戸当側に指詰防止用ゴムを設けること。 h はめ殺し窓を除くサッシには開放制限ストッパー（錠付、開放幅100mm）を設ける。設置個所は次による。 ＊すべてのサッシ ・図示 I 外付タイプの引戸ハンガーボックス〜天井間を当該室壁仕上げと同材にて塞ぐこと。（埃たまり防止） ・すべての外付タイプの引戸 ＊ 図示 ・
② アルミニウム製建具 AWAD	1) 性能及び構造 (16,2,2)	a 性能 a-1 建具の性能：下記表の性能以上を満たすこと。 種 別 / 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠見込み / 施工個所 ・ A種 / S-4 / A-3 / W-4 / ＊ 70 / ＊外部に面する建具 ・ ・ B種 / S-5 / ・100 / ＊外部に面する建具 ・ ・ C種 / S-6 / A-4 / W-5 / ＊ 70 ・100 / ＊外部に面する建具 ・ a-2 令第82条の5、令第87条、告示第1454号、告示第1458号により算定する。 ＊ a-1、a-2の性能を有するものとする。施工にあたっては、計算書を提出し監督員の承諾を得ること。 ・ 風洞試験結果による数値。（日本建築学会・建築物荷重指針 同解説の設計用再現期間100年を用いた数値。） b 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ＊図示 ・性能等級（T- ） 、使用箇所 ＊図示 c 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ＊図示 ・性能等級（H- ） 、使用箇所 ＊図示 d 耐震ドアセットの面内変形追随性 ＊図示 ・性能等級（D- ） 、使用箇所 ＊図示
	2) 形状及び仕上 (16,2,4) (14,2,2)	a 外部に面する建具 ・BA-1種（無着色）・BA-2種（・二次電解着色 ・ホワイト ・グレー ・特注色 ） ・BB-1種（無着色）＊BB-2種（＊二次電解着色 ・ホワイト ・グレー ・特注色 ） ・C種（塗料：・熱硬化アクリル樹脂塗装 ・ポリウレタン樹脂塗装 ・フッ素樹脂塗装 ） b 内部建具 ・BB-1種（無着色）・BB-2種（・二次電解着色 ・ホワイト ・グレー ・特注色 ） ・BC-1種（無着色）＊BC-2種（＊二次電解着色 ・ホワイト ・グレー ・特注色 ） c 光沢 ・艶有 ＊艶無 d a〜c以外の仕上を指定する場合は、建具表備考欄に（皮膜厚さ／塗膜厚さ／色見／光沢）を図示。
	3) その他 (16,2,3) (16,2,5)	a 網戸 枠・框は窓と同材とし、引違窓・片引窓等の場合はワンタッチロックにより窓枠に固定のこと。 回転窓・開き窓等の場合は（＊プリーツ網戸 ・スイング型）、外倒し窓・突出し窓の場合はスイング型とする。 ・ 特記無き場合、はめ殺し窓を除く全ての窓に設ける。 ＊ 網戸は原則として設けないが、必要箇所は建具表による。 b 防虫網の仕様 ＊ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ SUS製 線形：＊0.25以上 ・ 網目：＊16〜18メッシュ ・ c 腰板、額縁、ボックス（ブラインドボックス、カーテンボックス）の仕様 材質： ＊スチールt1.6 曲げ加工（仕上 ＊ SOP ・AEB） ただし、足がかりとなる高さ（H700mm以下）の腰板は、スチールt2.3 曲げ加工とする。 ・サッシ同材（仕上 ＊サッシ同仕上 ・ ） ・木板（集成材t20）（仕上 ＊OP ・OL ・ウレタンクリア ） ・合成樹脂板（＊単色 ・木目） 設置場所：腰板、額縁は内外のサッシに取り合う箇所に全て設置し、見込みは取り合う壁見込み寸法に10mmを加えた寸法とする。 ボックスは（・ 外部に面する居室 ・ 図示した箇所）に設置するものとする。 ボックスの寸法は＊W150×H150×L：建具＊t200+200とし、全てサイドカバー付きとする。 d 水切板 カーテン、ブラインドの種別は、次による。＊図示 ・カーテンボックス ・ブラインドボックス 外部に面する窓には、同材の水切板を設け、随所に樹脂製ネジキャップを施すこと。 水切板端部は外壁汚垂れ防止として立上りを設けること。
		e ハンドル等 引違窓、片引窓等にはクレセント（大型・錠付）を、回転窓、開き窓、たてすべり出し窓等にはハンドル（錠付き）及びステンレス製開き止め（S段開閉型付き）を設けること。 f 錠取付位置 クレセント、オペレーターハンドル等取付位置は床上1,300mmを標準とし、800mm以上1,500以下とする。
		g 排煙窓 オペレーターハンドルは特記無き限り、オイレスECO90 指定色 ハンドルボックス110Ⅱ（壁埋込タイプ）同等品以上とする。
		h 結露受け 外部に面する窓には、結露受けを設け、鏡縁と絶縁（ブチルゴム＋シーリング）処理のこと。 結露排水機構（逆流防止弁付き）を設けること。
		I 脱落防止機能 引違窓、片引窓には障子が容易に外れないよう脱落防止機構を設けること。
		j フラッシング ALC、押出成形セメント板付けのアルミサッシには召具にフラッシングを設けること。
		k サッシの金物類は特記無き限り附属金物一式とする。

③ 樹脂製建具 JW JD	1) 一般事項 (16,3,2)	a 特定防火設備として単体では使用しないものとする。 b オペレーター付の排煙窓には使用しないものとする。
	2) 性能及び構造 (16,3,2)	a-1 外部に面する建具の性能等級 種別 / 耐風圧 / 気密性 / 水密性 / 枠の見込み寸法（mm） ＊ A種 / S-4 / A-4 / W-4 / ＊ 建具製作所の仕様による ・ B種 / S-5 / W-5 / ・ 80 C種 / S-6 / ・ 119 a-2 外部に面する建具の遮音性能等級 種別 / 性能等級 ＊ T-A種 / T-1 ・ T-B種 / T-2 a-3 外部に面する樹脂性建具の断熱性能等級 種別 / 断熱性能 / 性能等級 / 熱貫流率（W/（㎡・K）） ＊ H-A種 / H-4 / 2.91以下 ・ H-B種 / H-5 / 2.33以下 ・ H-C種 / H-6 / 1.96以下
	3) 形状及び仕上 (16,3,4)	a 外部面の表面色 ＊シルバー ・ホワイト ・ブラウン ・ブラック ・特注色
	4)材料	a ガラス ＊ a-1、a-3より、建具製作所の仕様とする。 b ガラス中空層 ＊ エア ・アルゴン ・クリプトン
	5)その他	下記 a〜k は「２アルミニウム製建具 3）その他 」による a 網戸、b 防虫網の仕様、c 膳板、額縁、ボックスの仕様、d 水切板、 e ハンドル等、 f 錠取付位置、g 排煙窓、h 結露受け、 I 脱落防止機能、 j フラッシング、k サッシの金物
④ 鋼製建具 SW SD SH SHD SO	1) 性能及び構造 (16,4,2)	a 簡易気密型ドアセット(SAT)の適用(A-3、W-1) ＊図示 ・ b 外部に面する建具の耐風圧性能 ＊S-5 ・S-4 （令第82条の5、令第87条、告示第1454号、告示第1458号により算定する。） 施工にあたっては、計算書を提出し監督員の承諾を得ること。 c 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ＊図示 ・性能等級（T- ） 、使用箇所 ＊図示 d 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ＊図示 ・性能等級（H- ） 、使用箇所 ＊図示 e 耐震ドアセットの面内変形追随性の等級 ＊図示 ・性能等級（D- ） 、使用箇所 ＊図示
	2) 材 料 (16,4,3)	a 鋼板の種類 ＊JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) 付着量 ＊Z12またはF12を満足するもの
	3) 形状・仕上 (16,4,4)	a 扉の有効寸法、＊W50mm、H2400mm以内の、鋼製建具に使用する鋼板類の厚さは（表16,4,2）による。 ただし、吝嗇はSUS HL（＊t1.5mm・t2.0mm）、吊金物及びドアクローザーの補強板は枠側・扉側とも（＊t2.0mm・t4.5mm）とする。 b 扉の有効寸法、＊W1400mm、H3000mmの双方を超える枠の扉厚は ＊t2.3mm ・建具製作所の仕様 c 扉厚 ＊ 有効寸法、＊W1150mm、H2400mm以内の扉厚は ＊t40mm ・建具製作所の仕様 ＊ 有効寸法、＊W1400mm、H2900mm以内の扉厚は ＊t50mm ・建具製作所の仕様 ＊ 有効寸法、＊W2000mm、H3500mm以内の扉厚は ＊t60mm ・建具製作所の仕様 ＊ 有効寸法、＊W2000mm、H3500mmを超える扉厚は ＊t80mm ・建具製作所の仕様 d 外部に面する建具塗装 ・DP-F ・SOP ＊ FUB ・AEB ・ e 内部建具塗装 ・DP-F ＊ SOP ・AEB ・UEB ・
	4) その他	a 面開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。 b 現密は特記無き場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。（額縁レス） c 建具表にて、T（エアタイト 気密性A-4）、t（セミエアタイト＝簡易気密型ドア 気密性A-3）とあるものは枠の4周に気密性を有する合成ゴムを設置すること。 d 建具表にて、T（エアタイト）とあるものは、グレモンハンドルとし、戸内部に、ロックウール（150Kg/m3）を充填すること。また充填材は劣化によりずれない様にすること。 e 外部に面し、雨がかり箇所の建具上枠には、SUS（＊HL ・FUB ・ ）t1.5mm、出30mmの水切り板を設けること。 f 外部に面する建具枠 ＊ SUS製とし、仕上げは下記による。 ＊HL ・FUB ・図示（ ） ・ 鋼製とし、仕上げは下記による。 ＊FUB ・DP-F ・図示（ ）
		g 表面板は内部・外部ともに縦横四方を曲込みとする。 h 建具表にて、T（エアタイト）とあるものはステンレスエッジ（ツメ加工）を、t（セミエアタイト）とあるものはステンレスエッジ（L型）を扉の戸先に設けること。
⑤ 鋼製軽量建具 LW LD LHD	1) 一般事項 (16,5,1)	a 鋼製軽量建具は、外部および、水がかりのある部位には使用しないものとする。
	2) 性能及び構造 (16,5,2)	a 簡易気密型ドアセット(SAT)の適用(A-3、W-1) ＊図示 ・ b 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ＊図示 ・性能等級（T- ） 、使用箇所 ＊図示 c 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ＊図示 ・性能等級（H- ） 、使用箇所 ＊図示 d 耐震ドアセットの面内変形追随性 ＊図示 ・性能等級（D- ） 、使用箇所 ＊図示
	3) 材 料 (16,5,3)	a 材料 ・カラー鋼板 （色合いは建具製作所の標準色） ＊溶融亜鉛めっき鋼板 （指定色を使用する場合） ・電気亜鉛めっき鋼板 （指定色を使用する場合、色合いは建具製作所の標準色） ・ビニル被覆鋼板 （色合いは建具製作所の標準色）
	4) 形状・仕上 (16,5,4)	b 仕上 ・UEB ・AEB ＊SOP ・DP-F ・ c 召合せ、縦小口包み板等の材質 ＊鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム押出型材 a 鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さは（表16,5,1）による。
	5) その他	a 扉厚は、＊W50mm、H2400mm以内の、鋼製建具に使用する鋼板類の厚さは（表16,4,2）による。 ただし、吝嗇はSUS HL（＊t1.5mm・t2.0mm）、吊金物及びドアクローザーの補強板は枠側・扉側とも（＊t2.3mm・t4.5mm）とする。 b 特記無き場合、表面仕上げは HL ＃150程度とする。 c 曲げ加工 ・普通曲げ ＊角出曲げ加工 ・a角（0.5mm） ＊ b角（0.75mm） ・c角（1.0mm） d 両開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。 e 現密は特記無き場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。 f 建具表にて、T（エアタイト 気密性A-4）、t（セミエアタイト＝簡易気密型ドア 気密性A-3）とあるものは枠の4周に気密性を有する合成ゴムを設置すること。 g 建具表にて、T（エアタイト）とあるものは、グレモンハンドルとし、戸内部に、ロックウール（150Kg/m3）を充填すること。また充填材は劣化によりずれない様にすること。 h 外部に面し、雨がかり箇所の建具上枠には、SUS（＊HL ・FUB ・ ）t1.5mm、出30mmの水切り板を設けること。 I ステンレス建具の表面処理 外部に面する部分： ＊施さない ・フッ素樹脂クリアー塗装、イサム塗料(株)ネオシリカ21c 1000+5000 GSクリアー マイクロファイバーローラー仕上 消包刷入り 内部に面する部分： ＊施さない ・汚れ防止材（ステンレスオイル） g 建具表にて、T（エアタイト）とあるものはステンレスエッジ（ツメ加工）を、t（セミエアタイト）とあるものはステンレスエッジ（L型）を扉の戸先に設けること。
⑥ ステンレス製建具 NW ND NHD NO	1) 性能及び構造 (16,6,2)	a 4,鋼製建具 1) 性能及び構造 (16,4,2) による。
	2) 材 料 (16,6,3)	a ステンレス鋼板 ＊ SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1（耐食）
	3) 形状・仕上 (16,6,4)	a ステンレス製建具に使用する鋼板類の厚さは（表16,6,1）による。 ただし、吝嗇はSUS HL（＊t1.5mm・t2.0mm）、 吊金物及びドアクローザーの補強板は枠側・扉側とも（＊t2.3mm ・t4.5mm）とする。 b 特記無き場合、表面仕上げは HL ＃150程度とする。
	4) 工法 (16,6,5)	a 曲げ加工 ・普通曲げ ＊角出曲げ加工 ・a角（0.5mm） ＊ b角（0.75mm） ・c角（1.0mm）
	5) その他	a 両開き・親子扉の召合は目板一体タイプとする。 b 現密は特記無き場合、扉材一体タイプとし、押縁を室内側に設けること。 c 建具表にて、T（エアタイト 気密性A-4）、t（セミエアタイト＝簡易気密型ドア 気密性A-3）とあるものは枠の4周に気密性を有する合成ゴムを設置すること。 d 建具表にて、T（エアタイト）とあるものは、グレモンハンドルとし、戸内部に、ロックウール（150Kg/m3）を充填すること。また充填材は劣化によりずれない様にすること。 e 外部に面し、雨がかり箇所の建具上枠には、SUS（＊HL ・FUB ・ ）t1.5mm、出30mmの水切り板を設けること。 f ステンレス建具の表面処理 外部に面する部分： ＊施さない ・フッ素樹脂クリアー塗装、イサム塗料(株)ネオシリカ21c 1000+5000 GSクリアー マイクロファイバーローラー仕上 消包刷入り 内部に面する部分： ＊施さない ・汚れ防止材（ステンレスオイル） g 建具表にて、T（エアタイト）とあるものはステンレスエッジ（ツメ加工）を、t（セミエアタイト）とあるものはステンレスエッジ（L型）を扉の戸先に設けること。
⑦ 木製建具 WW WD WH WO	1) 材 料 (16,7,2)	a 建具材の加工及び組立時の含水率 ・A種 ＊ B種 ・ C種
	2) 形状及び仕上 (16,7,3)	b フラッシュ戸 ・メラミン化粧板(下地普通合板t4) ・ポリエステル化粧合板t2.5 ・普通合板t4貼りの上建具表による仕上 ・しな合板t4貼りの上建具表による仕上 ・天然木化粧合板t3.2以上 ・図示 c かまち戸 ＊ かまち（杉CL）鏡板（杉板CL） ・かまち（ ）鏡板（ ） ・図示 d ふすま・戸ぶすま ＊ 枠カシュー塗装、新鳥の子紙貼 e 面材（合板）及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は「☆☆☆」とする。 f 枠及びくつずりの材料 ＊ 木製枠 鋼製枠及びSUS製くつずり a フラッシュ戸の見込み ＊ W950以下×H1,000未満 t30 ＊ W950以下×H2,000未満 t33〜36 ＊ W950以下×H2,400未満 t36〜40 ・建具表による。 b かまち戸の見込み ＊ t36 mm ・建具表による。 c ふすまの見込み ＊ t19.5 mm ・建具表による。 d 戸ぶすまの見込み ＊ t30 mm ・建具表による。 e 板張り障子の見込み ＊ t30 mm ・建具表による。
	3) 工 法 (16,7,4)	a 特記無き場合、16,7,4に準ずる。

⑧ 建具用金物	1) 一般事項 (16,8,1)	既製又はこれに準ずる建具用金物 ＊ 下記の特記による(特記がない場合は、建具製作所の仕様による) ・ 建具製作所の仕様による
	2) 材質、形状及び寸法 (16,8,2)	金物の種類及び材質 ＊ 下記の特記による ・ 表16,8,1による
	3) 錠 (16,8,4)	a 錠の構成は、マスターキー、グランドマスターキー、グレートグランドマスターキー編成とする。 b マスターキー作成にあたっては、キーシステム図を作成し、監督員の承諾を得ること。 c 鍵箱は、鍵の個数に相応した市販品の折りたたみ式ボータブルタイプとする。鍵ごとに室名または建具位置を示す札をつけること。（60本用×2 か所程度、杉田エース CI-60同等品）
	4) 錠	a 錠の仕様 ＊ 下記を適用する。 製 品 製品番号は美和ロック(株)の製品を、（ ）内は(株)ユニオンの製品を示し、同等品とする。 但し、鍵本体は美和ロック製造とする。 材質・仕上 特記無き場合、SUS製、HLとする。 シリンダー形状 ＊ U9シリンダー ・JNシリンダー ・ LBシリンダー ・PRシリンダー（集合住宅用） ・ WDシリンダー（ピル用） 種 別 レバーハンドル錠 ・LHS(重量扉用) ＊LAM ・LA グレモン錠 ・GT60 ＊ U99T61-1RH型（脱着） ケースロック WHS 浴室錠 ＊ BW ・ LL-6 本締め付モノロック HW 表示錠 -8(非常解錠装置付) 本締錠（一般扉） DA ケースハンドル錠 ＊ C型 ・ (ULS2840) 本締錠（自動ドア） DG2 引戸錠錠 F03 空錠 LO,OW 電気錠 AUシリーズ 非常解錠装置付本締錠 DA-E,LA-E(レバーハンドル錠) 引違錠 SL12 引戸錠(ロッド錠) UD 錠錠 DA2F(錠レバーハンドル錠) カードロック(電池式) P1ACKⅡ （ ＊建築工事 ・電気設備工事 ） カードロック(電気式) RDNT-803A(・建築工事 ＊電気設備工事 ） ランダムテンキーロック(電池式) TK4L （ ＊建築工事 ・電気設備工事 ） ランダムテンキーロック(電気式) TKU-002 （・建築工事 ＊電気設備工事 ） b 施錠方式 シリンダー錠は特記無き場合、片面シリンダー・片面サムターンとする。 シリンダー・サムターン等の施錠方式は発注者に最終確認すること。 c 電気錠 操作盤（制御盤）及び操作盤（制御盤）から接続ボックスまでの一次側配管配線は（・建築工事 ＊電気設備工事）とし、二次配線は建築工事とする。 また、建具内の配管、及び取り付けのための加工等は建築工事とする。 自動ドアの電源はブーリロック式電気錠とする。 d 錠前のバックセットは76mmとする。
	5) 吊金物	a 丁番 アルミ製、鋼製、ステンレス製、鋼製軽量製扉は旗丁番（株)ベスト NO.127同等品以上とし 127mm2丁（H2,000未満）、127mm3丁（H2,000以上2,400以下）を使用すること。 木製扉は偏星型丁番（株)ベスト NO.110同等品以上とし 102mm2丁（H2,000未満）、102mm3丁（H2,000以上2,400以下）を使用すること。 軽量スチール扉の場合、製作金紗の標準仕様によることができる。 ロングヒンジ丁番は、東京蝶(株)ロートン・ロングヒンジ同等品以上とする。 b ヒンジ（c〜g)は日本ドアーチェック製造(株)の製品シリーズ番号を示し、記載品番の同等品とする。 c ピボットヒンジ D-130AN d オートヒンジ H6シリーズ e フロアーヒンジ H-シリーズ 防火戸扉 Fシリーズ、強化ガラス戸用 Gシリーズ 床仕上が石張り、タイル張り、カーペット張りのときは仕上材張り付け用のものとする。 f ドアクローザー 外部：7010シリーズ、内部：7000シリーズ、コンシールドタイプ：60シリーズ、木製：6C ドアクローザーは特記無き限り室内側に設けること。 g 点検口用ヒンジ THシリーズ h 扉開錠順位調整器 SF-900FK、SF-1200FK、SF-1500FK
	6)建築金物	a 把 手 レバーハンドル ＊ 64型抗菌仕様 ・(UL690-001S) ・ 同等品 握 玉 ＊ U 型 ・(UK325-001S) ・ 同等品 b ドアハンドル ステンレス扉 ＊(T2093ステンレスヘアライン) ・ 同等品 上記以外 ＊ (H2051 L452) 抗菌仕様 ・ 同等品 c 戸当たり 同仕様は戸当り、（株)ユニオン UT-1 同等品以上を各扉共1箇所ずつ床に取付けること。 d フランス落とし 両開扉および親子扉には片側にフランス落しを上下1組取付けること。 e 外部に面する扉には、ドアクローザーとあおり止めを設置のこと。 f フロアーヒンジ、ピボットヒンジは雨がかり部分には使用しないこと。 g 建具金物を取り付ける部分には面材厚に補強材を設置のこと。 h 押 縁 特記のない場合、押縁は(株)ユニオン G1214-01-023-B型同等品以上とする。
⑨ 自動ドア開閉装置	1) 性 能 (16,9,2)	a 自動ドア開閉装置の性能値は、 （表16,9,1）により、開閉方法、適用戸の質量に準じた仕様とする。 b 多機能トイレ出入口に設置される引戸用駆動装置の性能値は、（表16,9,2)による。 c 検出装置の性能は、表16,9,3による。
	2) 機 構 (16,9,3)	a 特記無き場合、引き戸用検出装置の種類は、光学(反射)センサー（＊簡易型 ・天井取付型）とする。
	工 法 (16,9,4)	補助光電センサーを床面から650mm以下の間に2ヶ所設置のこと。（内1ヶ所は、床面から250mmとする。） b 寒冷地における凍結防止措置 ・ 行う（適用箇所：＊図示 ） ＊ 行わない c 引戸には、戸袋側に巻き込まれ防止機等を設置すること。 H900以上、床面との隙間は100以下、1,000m当たり490No 水平荷重で損傷しないこと。 防止機の構造は、＊図示 による。二重（多重）引戸の場合は、防護柵は設置せず、JIS A 4722及び「歩行者用自動ドアセット<引戸>安全ガイドブック(全国自動ドア協会)」の基準を満たすこと。歩行者の大部分が高齢者、障がい者、子どもなどである場合の適用については、次による。 ＊全ての二重(多重)ドア ・図示 ・適用しない
		d 引戸は、指挟み及び引き込まれ防止の為、全開時に戸先と方立の間 ドア付タッチスイッチと方立の間、全開時に戸尻とたて枠又は壁との間にそれぞれ30mm以上の隙間を設けること。
	3) その他	a 自動ドアは JIS A 4722の安全基準を満たし、使用箇所、用途により下記の安全対策も合わせて講じること。 e-1 透明なガラスへの衝突防止表示 e-2 用途に応じた、開き、閉じ速度と開放保持時間 e-3 扉の軽量化と戸先金物の鈍化 e-4F 下面のひっ掛りの少ない形状 f 避難経路となるスライディングドア自動ドアは、次の機能を有すること。 ・パニックオープン機構 ・地震対応強化部品の採用 ・ブレークアウト機能 g 電源スイッチは（・建築工事 ＊電気設備工事）にて、（＊全て ・図示の箇所）に設置する。 電源スイッチは壁付とし、床上1,350mmを標準とし、錠付きのボックス内に設置のこと。 ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製HL、屋内設置は鋼製AEB仕上とし、設置場所は監督員と協議のこと。 b 多機能トイレの押しボタンスイッチは、NABCO HDS-41α（押しボタンスイッチ）とする。
⑩ 自動式上吊り引戸装置	1) 性能 (16,10,3)	自動式上吊り引戸装置の性能は、（表16,10,1）による。
	2) その他 引戸に関する事項	a 下記の片引戸はフリーストッパー付とする。設置個所は、＊図示 ・すべての片引戸 b 特記無き場合、引戸はLGS壁収納タイプとする。（平面詳細図・平面図参照） c 水廻りは外付けタイプとする。 d 開錠方式は下記による。 ＊ 傾斜レール式 ・スプリングクローザー ・ バランサーウェイト e 停動性能 開錠→始動時水平反力を、10N以下とする。（・引き分け扉は左右連動 ＊図示 ）とする。 f a以外に作動性能を指定する場合は、右記による（ ）
⑪ 重量シャッター SS NS	1) 形式及び機構 (16,11,2)	a シャッターの種類（管理用シャッター、外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッター、防煙シャッター） ＊ 図示 b 外気に面する重量シャッターの耐風圧性能 ＊「工事監理書 1,設計条件等」による設計用耐風力に対して、レールから脱落せず、開口幅の1/200以下のたわみ率かつ使用上有害な変形の残留がないものとする。 ・（ ）N/㎡
		c 開閉機能は ＊ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
		d 手動時の巻き上げ操作は鎖式とし、床面で操作できる高さとすること。
		e 保護装置 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等は、全ての電動シャッターに設ける。 障害物感知装置は全ての電動シャッターに設ける。 歪感知型連動機構、熱感知型連動機構、手動開錠装置により開錠する全てのシャッターには、 障害物感知装置(自動開錠型)及び建設省告示第2563号(平成4年12月28日)に定める基準に適合するものを設置すること。
		f シャッターケースの設置 ＊ 設ける（スラットと同材、同仕上） ・ 特記なき限り設けない
		I 下記の機能は建具表記載による。 注意喚起装置、特殊シャッター（耐風、盗音、防爆、高遮、水圧解除、低振動）
		a 星外に面し設置するシャッターのガイドレール、まぐさ、座板はSUS製とする。 また、雨の吹き込みが予想される座板には合成ゴム製の止水パッキンを設置すること。
	2) 材 料 (16,11,3) 形状及び仕上 (16,11,4)	b 内部シャッターの仕上げは下記による。 ガイドレール ・ SUS ＊ ガイドSUS 、見えがかり部鋼製 SOP まぐさ ・ SUS ＊ 鋼製 AEB 座板 ・ SUS ＊ 鋼製 AEB
		c シャッターのスラットは下記による。ただし、仕上げは建具表による。 屋外設置 ＊ SUS製 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板(鏡止め塗装) 仕上(・DP-F ・SOP ＊図示) 屋内設置 ・ SUS製 ＊ 溶融亜鉛めっき鋼板(鏡止め塗装) 仕上(・DP-F ・SOP ＊図示)
		d グリルシャッターのパイプは ＊ SUS ・ 鋼製
		e 操作ボックスは壁付とし、床上1,350mmを標準とし、錠付きのボックス内に設置のこと。 操作ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製(＊HL ・AEB ・)、屋内設置は鋼製（＊AEB ・VS ）とする。

⑫ 軽量シャッター LS	1) 形式及び機構 (16,12,2)	a 外気に面する軽量シャッターの耐風圧性能 ＊「工事概要書 1,設計条件等」による設計用耐風力に対して、レールから脱落せず、開口幅の1/200以下のたわみ率かつ使用上有害な変形の残留がないものとする。 ・（ ）N/㎡
		b 開閉機能は ＊ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用）
		c 手動時の巻き上げ操作は鎖式とし、床面で操作できる高さとすること。
		d シャッターケースの設置 ＊ 設ける(スラットと同材、同仕上) ・ 特記なき限り設けない
	2) 材料 (16,12,3)	a スラット 材質 ＊ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） ・ アルミ押出型材 ・
		b スラット 形状 ＊ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
	3) 形状及び仕上 (16,12,4)	a シャッターの仕上は下記による。 ガイドレール ・SUS製 ＊ カラー鋼板 ・アルミ製 まぐさ ・SUS製 ＊ カラー鋼板 ・アルミ製 座板 ・SUS製 ＊ カラー鋼板 ・アルミ製
		b グリルシャッターのパイプは ＊ SUS製 ・鋼製 AEB
		c 操作ボックスは壁付とし、床上1,350mmを標準とし、錠付きのボックス内に設置のこと。 操作ボックスの仕上げは、屋外設置はSUS製(＊HL ・AEB ・)、屋内設置は鋼製（＊AEB ・VS ）とする。
⑬ オーバーヘッドドア OD	1) 形式及び機構 (16,13,2)	a 外部に面するオーバーヘッドドアの耐風圧性能 ＊ S-2 ・ ＊「工事概要書 1,設計条件等」による設計用耐風力に対して耐えれるものとし、開口幅の1/200以下のたわみ率かつ使用上有害な変形の残留がないものとする。 ・（ ）N/㎡
		セクション材料 / 開閉方式 / 収納形式

形状	記号	取付箇所	数量	建具寸法 W1	W2	H1	H2	枠形状 D	吝嗇	仕上	錠 種別	施錠方式	電気錠	建具金物 把手引手	吊金物	自閉装置	ガラス 種別・厚さ	ボックス 網戸	法規 機能	備考
XD 1 / XD 2	XD 1 【新設】	前室（２）～	1	840	840			A	A	AEB	U	1	-	T	H	DO	-	-	不	鉛2mm等量、両開自動折れ戸
	1 【新設】	～血管撮影室（２）		1,300		2,015		130										-		既存XD2とインターロック
																				インターロック開錠スイッチ
																				タッチスイッチ、安全光線
	XD 2 【既設】	前室（２）～廊下（１）	1	1,500		2,015		170	A	AEB	U	1	-	S	S	O	-	-	-	XD1とインターロック
																				インターロックに伴う改造
																				鉛2mm等量
XD 3	XD 3 【新設】 【撤去】	操作室	1	800		2,015		170	A	AEB	L	1	-	L	P	DO	-	-	不	鉛2mm等量
	3 【新設】 【撤去】																	-	-	既存建具【撤去】の上【新設】
																				（枠共）
																				開き勝手（操作室側に変更）
XD 4	XD 4 【新設】	医師操作室	1	800		2,015		170	C	AEB	U			S	S	O	-			鉛2mm等量
	4 【新設】																			
	LD 13 【撤去】	器材室（２）	1	800		2,015		170	A	AEB	U			S	S	O	-			
LD 13 【撤去】																				
XW 1	XW 1 【新設】	医師操作室		2,000		1,000		170	-	SOP							X・t9	-	-	鉛2mm等量
	1 【新設】																	-	-	FL＋1,000
SHD 12	SHD 12 【移設】	廊下（１）（２）	1			280	190	A	C	HL	X	b	T	-	A	R	FL・t8			両袖嵌殺し
		（土日工事）		有効 1,385		有効 2,015		130												二重引分け框扉
																				電気式自動扉装置
				実測 2,755		実測 2,530														タッチスイッチ、安全光線
																				ガイドローラー、自閉装置付

建具記号（新設）

第1符号：材質
第2符号：機能
第4符号：記号（アルファベット）
第3符号：形状（数字）

建具記号（改修）

既存	既存改修	既存撤去
	(例)移設 改修内容を備考欄に記載	

材質

A	アルミ製
J	樹脂製
S	スチール製
L	軽量スチール製
N	ステンレス製
W	木製
WA	木アルミ複合
X	スチール製（鉛貼）

機能

D	扉，戸	S	シャッター
H	引戸	G	ガラリ
HD	引戸（吊戸）	F	ふすま
W	窓	SH	障子
P	パーティション	OD	オーバードア
O	建具なし（枠のみ）	ID	防熱扉
CW	カーテンウォール		
SF	防煙垂壁		

防火戸の種別

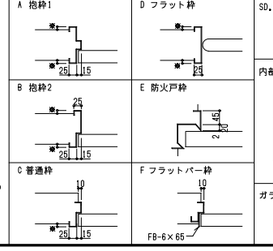
- 防 防火設備（常時閉鎖式）
- 閉防 防火設備（常時閉鎖式／遮煙性能）
- 防 防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）
- 防 防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式／遮煙性能）
- 網 防火設備
- 特 特定防火設備（常時閉鎖式）
- 閉特 特定防火設備（常時閉鎖式／遮煙性能）
- 特 特定防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）
- 特網 特定防火設備（随時閉鎖式・煙感連動自閉式／遮煙性能）
- 不 不燃戸（常時閉鎖式）
- 不 不燃戸（随時閉鎖式・煙感連動自閉式）
- 防S 防火・防煙シャッター（防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動）
- 防S 防火・防煙シャッター（防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動／遮煙性能）
- 特S 防火・防煙シャッター（特定防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動）
- 特S 防火・防煙シャッター（特定防火設備）（随時閉鎖式・煙感連動／遮煙性能）

建具寸法

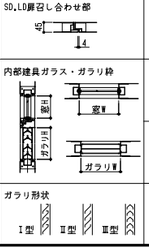


W： 枠内法有効巾（扉厚除く）
H： 枠内法有効高さ
D： 枠見込

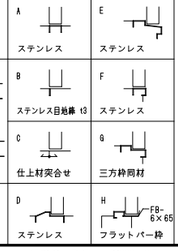
枠形状



※は、チリ寸法を示す



吝嗇



仕上

SOP	合成樹脂調合ペイント塗
DP-F	フッ素樹脂耐候性塗料塗
FUB	フッ素樹脂焼付塗装
AEB	アクリル樹脂エナメル焼付塗装
2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗
UEB	ポリウレタン樹脂エナメル焼付塗装
2-UC	2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗
LC	クリヤラッカー塗
OS	オイルステイン塗
HL	ステンレスヘアライン仕上
BF	ステンレスバフ仕上
BL	ステンレスバイブレーション仕上
VS	化粧塩ビシート貼
VC	ビニルクロス貼

アルミ建具仕様

外部	BA-1,BA-2,BB-1,BB-2,C	
内部	BB-1,BB-2,BC-1,BC-2	

錠

L	レバーハンドル付本錠錠
H	握玉付本錠錠
D	本錠錠
O	空錠
E	非常解錠装置付本錠錠
EL	非常解錠装置付レバーハンドル錠
U	引戸錠
DU	引違戸錠
G	グレモン錠
B	浴室錠
I	表示錠（非常解錠装置付）
C	ケースハンドル錠
F	錠錠
T	点検錠
X	電気錠
Y	カードロック（電気式）
T	テンキー（電気式）
Y	カードロック（電池式）
T	テンキー（電池式）
K	クレセント・レバーハンドル
Z	特殊錠（備考欄による）

本締錠の施錠方式

1	シリンダー	—	サムターン
2	シリンダー	—	空
3	空	—	サムターン
4	シリンダー	—	シリンダー
5	サムターン	—	サムターン

電気錠の作動方式

a	瞬時通電施解錠型
b	通電時解錠型
c	通電時施錠型
d	モーター施解錠型

建具金物

把手・引手

L	レバーハンドル
H	握玉
C	ケースハンドル
G	グレモンハンドル
S	ドアハンドル（引手）
P	押板
T	棚込引手

吊金物

H	丁番
P	ピボットヒンジ
A	オートヒンジ
F	フロアヒンジ
S	引戸用ハンガーレール
T	点検扉用ピボットヒンジ
L	ラバトリヒンジ

自動開錠装置

DS	ドアクローザー（ストップ付）
DO	ドアクローザー（ストップなし）
C	コンシールドドアクローザー
FS	フリーストッパー（手自動式引戸）
S	自閉装置ストップ付
O	自閉装置ストップなし
T	点検扉用スプリングヒンジ
A	自動ドア
I	赤外線式
S	静電式
P	押釦式（ワイヤレス）
B	押釦式（身障者用）
M	ゴムマット式
A	手掲用近接スイッチ（非接触）
R	光線遮断式（タッチ式）
F	光線遮断式（フット式）
K	光線スイッチ（反射型）
E	電動シャッター

ガラス

FL	フロート板ガラス
PW	網入り板ガラス
PN	線入り板ガラス
F	型板ガラス
FW	網入型板ガラス
FN	線入型板ガラス
HAP	熱線吸収ガラス
HR	熱線反射ガラス
T	強化ガラス
ST	学校用強化ガラス
DS	倍強度ガラス
TP	耐熱ガラス
Le	Low-eガラス
B	ガラスブロック
X	鉛入ガラス

／は、合わせガラスを示す　外側／内側
＋は、複層ガラスを示す　外側＋中空層＋内側

ボックス

B	ブラインドボックス
C	カーテンボックス

網戸

有 あり

法規制

特	特定防火設備
防	防火設備
不	不燃戸
遮	遮煙性能
進	非常用進入口
代	非常用進入口に代わる窓

機能

S	感知器連動
O	調整オペレーター付
CP	防犯建築部品
T	エアタイト扉(AT)
*	セミエアタイト扉(SAT)
T■	防音ドア・サッシ(■は等級)
H■	断熱ドア・サッシ(■は等級)
D■	耐震ドア・サッシ(■は等級)
F	面一サッシ

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

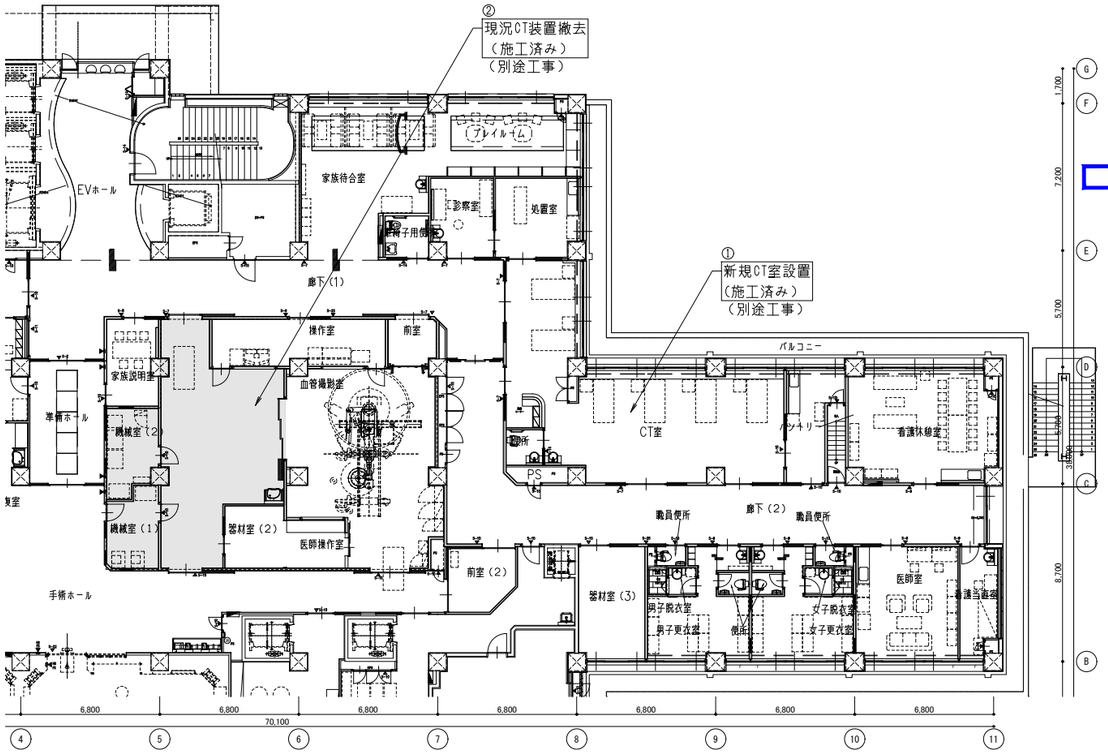
建具表

A1：100
A3：200

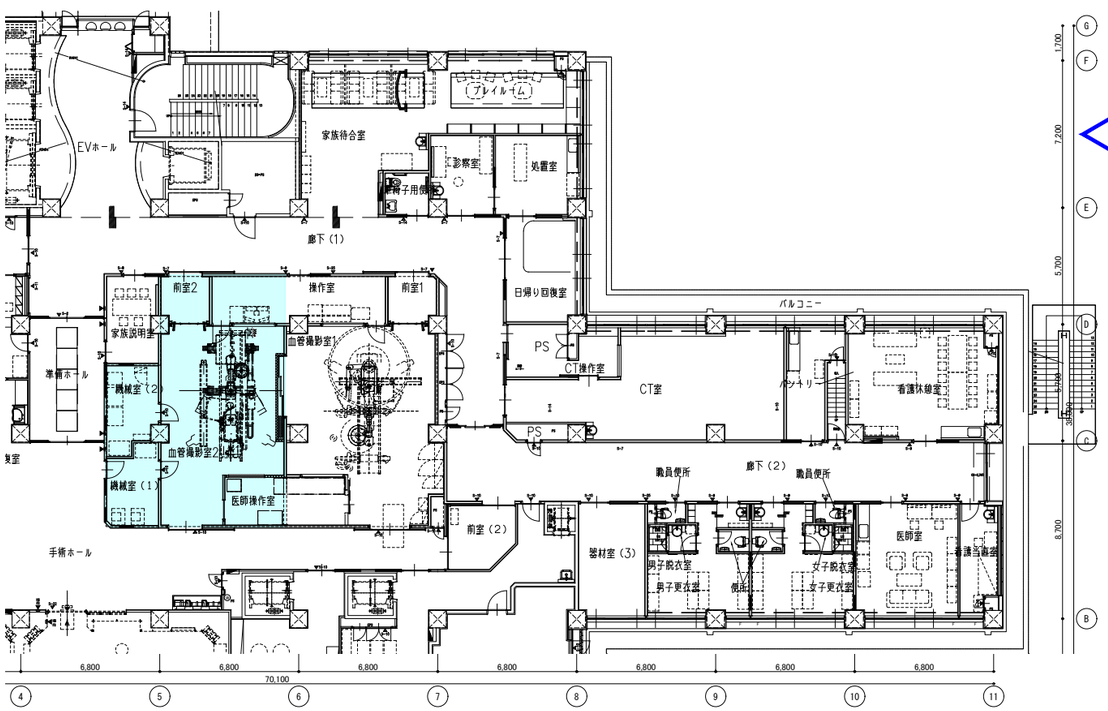
RA－024

手順１：現況CT撤去（別途工事施工済み）　①新規CT室設置工事　→　②現況CT室撤去工事

新規CT室設置、既存CT撤去の順で工事を行う



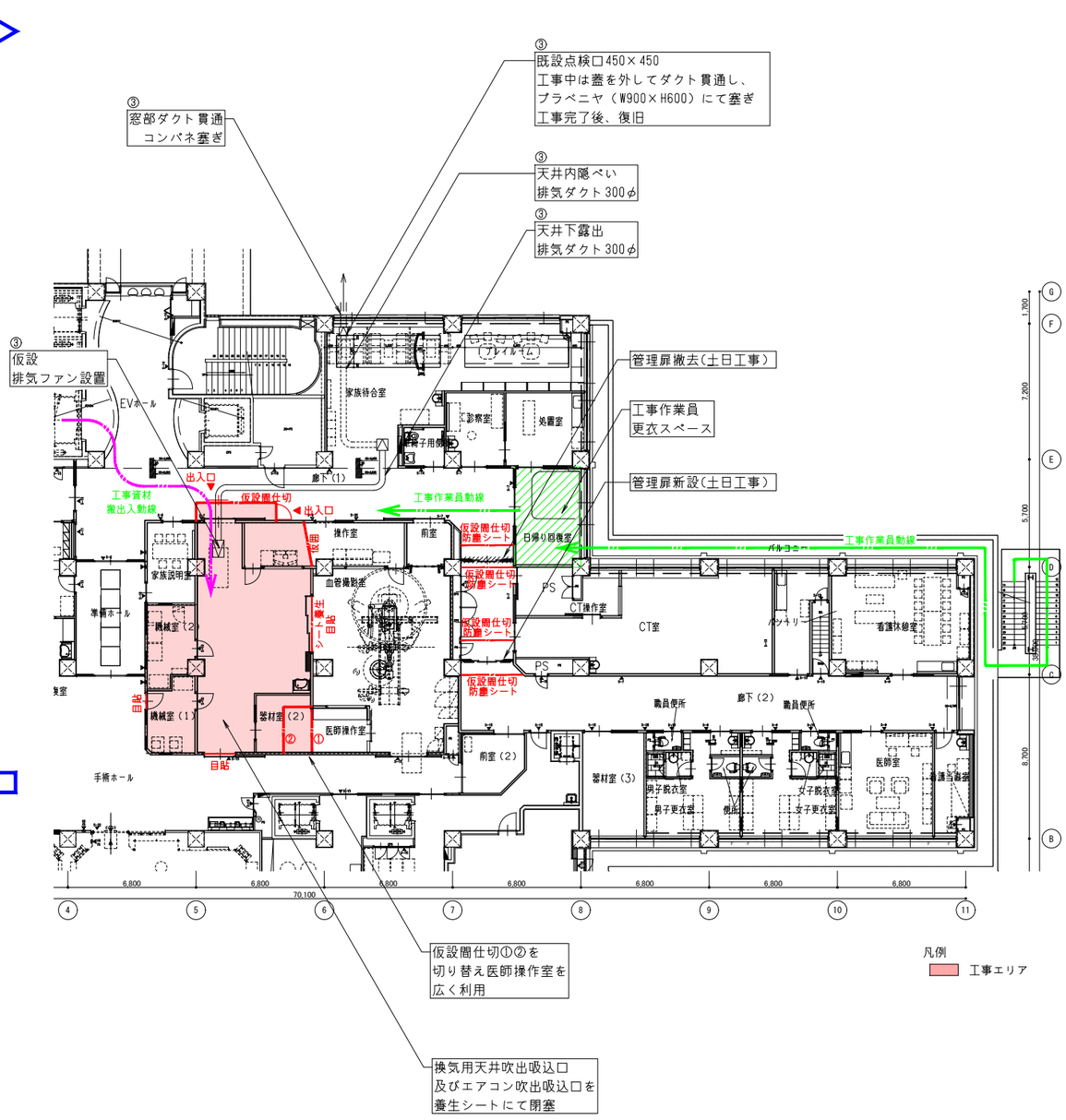
手順３：完成後　引渡し・装置設置調整



手順２：ハイブリッドオペ室改修工事　①②仮設間仕切　③仮設排気設置　④天井解体　⑤架台　⑥改修工事

・現況CT装置撤去後、血管撮影室1、手術ホールを運用しながら、ハイブリッドオペ室改修工事を行う。休日（土日工事）
・廊下（１）（２）　管理扉新設・撤去（土日工事）

・３階４階天井改修工事：上記同様に休日（土日工事）を原則とする。



※資器材搬出入時においては、院内外において適宜誘導員を配置し通行者の安全を確保すること。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

工事手順図・仮設計画図

A1:1/150
A3:1/300

RA－025

	記号	品名	寸法 W	寸法 H	寸法 D	部屋名 血管撮影室2(ソーキド) CH2920 クラス※ 10,000	部屋名 前室2 CH2925	部屋名 医師操作室 CH2600	備考	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 建築・電気設備 建築工事	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 建築・電気設備 電気設備工事	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 機械設備 空調設備	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 機械設備 血管撮影室2設備工事 衛生設備	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 機械設備 血管撮影室2設備工事 電気設備	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 放射線メーカー工事	工事区分 病院工事 備品
内装工事		鉛防護工事				1式				○	○	○	○	○	○	
		ケーブルボックス 切断（旧CT室側）				1式				○						
		ケーブルボックス 撤去（旧CT室側）				1式				○						
		ケーブルボックス 貫通部鉛防護塞ぎ				1式									○	
		ケーブルボックス 血管撮影室1側				1式									残置	
		血管撮影装置（新設）				1式									○	
		血管撮影装置天井架台				1式									○	
		床レール 切断（旧CT室側）				1式				○						
		床レール 撤去（旧CT室側）				1式				○						
		床レール 床改修（旧CT室側）				1式				○						
		床レール 血管撮影室 1側				1式									残置	
		アンギオ装置以降の二次側電気工事				1式			盤製作含む						○	
		装置配線用ルート確保				1式			配管・ラック						○	
		装置下部レベリング工事				1式				○						
		装置ベース部埋め戻し				1式				○						
		装置用電源容量確保				1式			装置用幹線引き込み		○					
		既設天井解体工事				1式				○						
		器材庫2 一部間仕切り撤去				1式				○						
		機械室内装				1式			床仕上げなし,壁 プラスターボード 12.5t 2枚貼り,天井仕上げなし	○						
		操作室間仕切り開口				○				○						
	W4S	操作窓	2,050	1,000	D	1			操作窓 手術室側 SUS−304 1.5t HL仕上げ 鉛ガラス含む	○ A5						
		1次側電気工事				1式			（血管造影室2用盛替え）		○ E1 E3 (AC/DC単数x2)					
		床				○			耐荷重性長尺塩ビシート 2.0t	○ A6						
		壁ふかし部 巾木				○				○						
		壁ふかし部				○				○						
		天井				○			接着工法（不燃化粧板＋石こうボード＋軽量天井下地）	○ A4						
		廻り縁				○			C型アルミジョイナー	○						
	T	点検口	454	454	−	6			エアータイト型	○						
建具工事	Pb	自動ドア（四枚折り戸）	1,300	2,015	−	1			新設：鉛仕様	○				E2		
	Pb	自動ドア（片引き）	1,500	2,015	−	1			インターロック改修	○	E2					
	Pb	開き戸	800	2,015	−	1			既存撤去、新設	○ A5 A6						
	Pb	手動ドア（片引き）	800	2,015	−	1			新設：鉛仕様	○ A5 A6						
医療器具工事	G	医療ガスパネル	1,194	550	55	1			O,N,A,V,N2,Ex,CO2				P1	○ A5		
	CM1	コンセントモジュール	1,050	200	115	3			医用ダブルコンセント×8（過電流警報装置x2付）,接地端子×2 医用接地センター内蔵,ブランクチップ 3連x6					○ E2		
	CM2	コンセントモジュール	1,050	200	115	1			医用ダブルコンセント×4（過電流警報装置x2付）,接地端子×3, 1φ100V30Aコンセント×1口,医用接地センター内蔵,ブランクチップ 3連x6					○ E2		
	IS	アイソレーションユニット自立型	1,200	CH	300		1		絶縁変圧器 7.5kVAx2トー絶縁警報回路内蔵 （電流監視装置,絶縁監視装置付）医用接地センター,天井照明制御盤内蔵					○ E2		
	OPLED	天井照明器具	1,200	350	20	11			LED照明,ロータリー式調光スイッチx2					○ E2		
	ISM	アイソレーションモニターボックス	360	180	123	1			アイソレーションモニターx2	A5				○ E2		
	PSB	パワーサプライボックス	200	300	100	1			天吊タイプ					○ E2		
		空調システム								手術室空調設備図参照とする						
		空調機	−	−	−	6			プレフィルター（捕集効率72% 重量法）							
	CFU	天井吹出ユニット	−	−	−	1式										
		天吊アウトレット	−	−	−	1式			O,O,N,A,A,V,V,Ex,CO2				P1 P2 P3	A5		
	使	使用中灯	380	142	48	4			放射線l装置と連動 ON・OFF					○	E2	
	●	非常照明				2			電気設備工事図による		○ E2			A5		
	S	煙感知器				1			電気設備工事図による		○ E2			A5		
		非常放送スピーカー				2			電気設備工事図による		○ E2			A5		

凡例	
A1	前面パネル・取付枠（パネル開口穴開け）
A2	アンカー打ち込み
A3	架台取付
A4	天井インサート既存利用
A5	開口 及び 開口補強
A6	床補修
E1	各種分電盤入力端子台への接続まで
E2	アイソレーションユニット、分電盤から電源用配管・配線
E3	アイソレーションユニット内、A種接地アースセンター接続まで
P1	医療ガスアウトレット及び一次・二次側配管
P2	医療ガス一次側配管 天井内バルブ止め
P3	壁面全身麻酔ガス吸引ユニットより 陰圧分岐配管 天井内バルブ止め
H1	映像用端子,情報用端子 入出力用端子取付 及び 配管・配線
S	鉛防護貫通部処理

<注記>
血管撮影室2設備工事 とは、血管撮影室2 関係の設備工事を示す。
1．○印は工事区分を示す。
2．記号は凡例により内容を示す。
3．不燃化粧板は、全てノンアスベストとする。
4．コーキングは1成分形シリコンとし、防カビ剤入りとする。
5．等電位接地工事は血管撮影室2設備工事に含み、
壁面に取り付ける医療器具については
医用接地センタと接続し完了時には測定を行い報告書を提出すること。
・固定器具への接地端子は固定器具取り付け工事に含む。
（接地線接続は、ＪＩＳ Ｔ １０２２ ４．１ ｂ）「等電位接地」に準ずる）
6．電気工事はアイソレーションユニット 入力端子台接続まで 1次側、それ以降を二次側とする。
7．医療ガスパネルにおいて、パネル開口は
血管撮影室2設備工事とし、医療ガスアウトレット・医療ガス専用パネル、
及び配管は衛生設備工事とする。

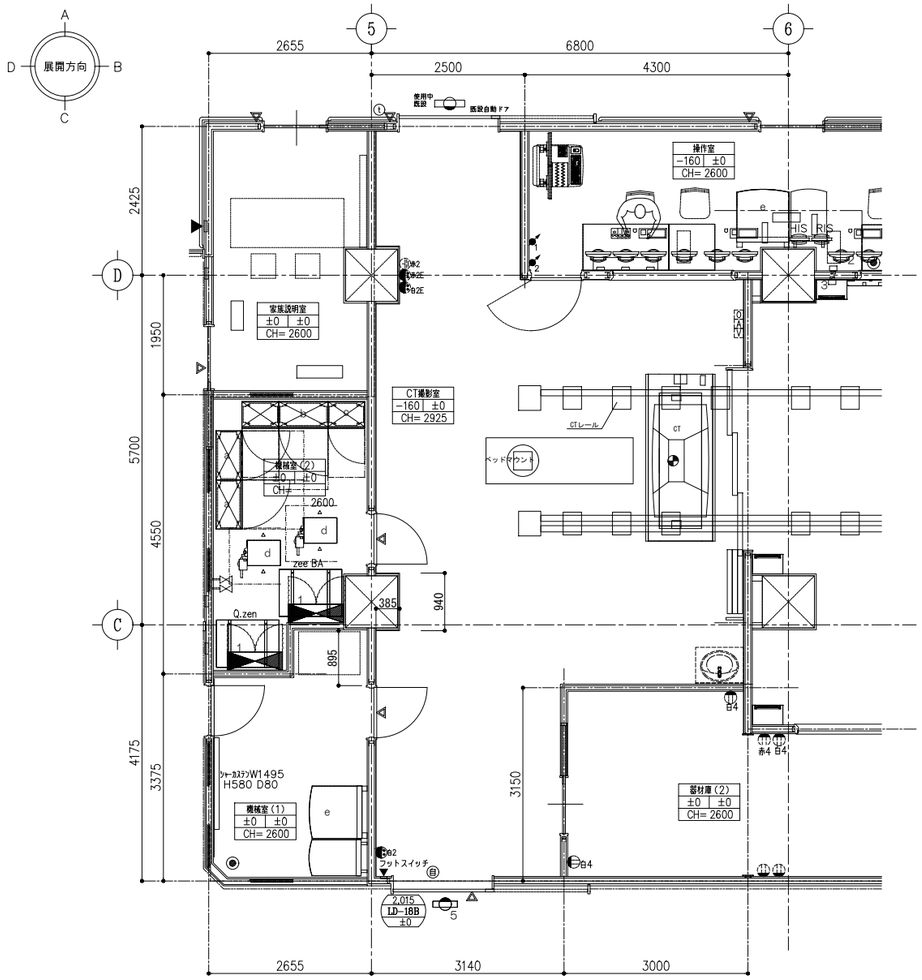
記号	ガス名	ガスの種類
O	酸素	酸素
N	笑気	亜酸化窒素
A	空気	治療用空気
V	吸引	吸引
CO2	炭酸ガス	二酸化炭素
N2	窒素	窒素
Ex	排ガス	麻酔ガス排除

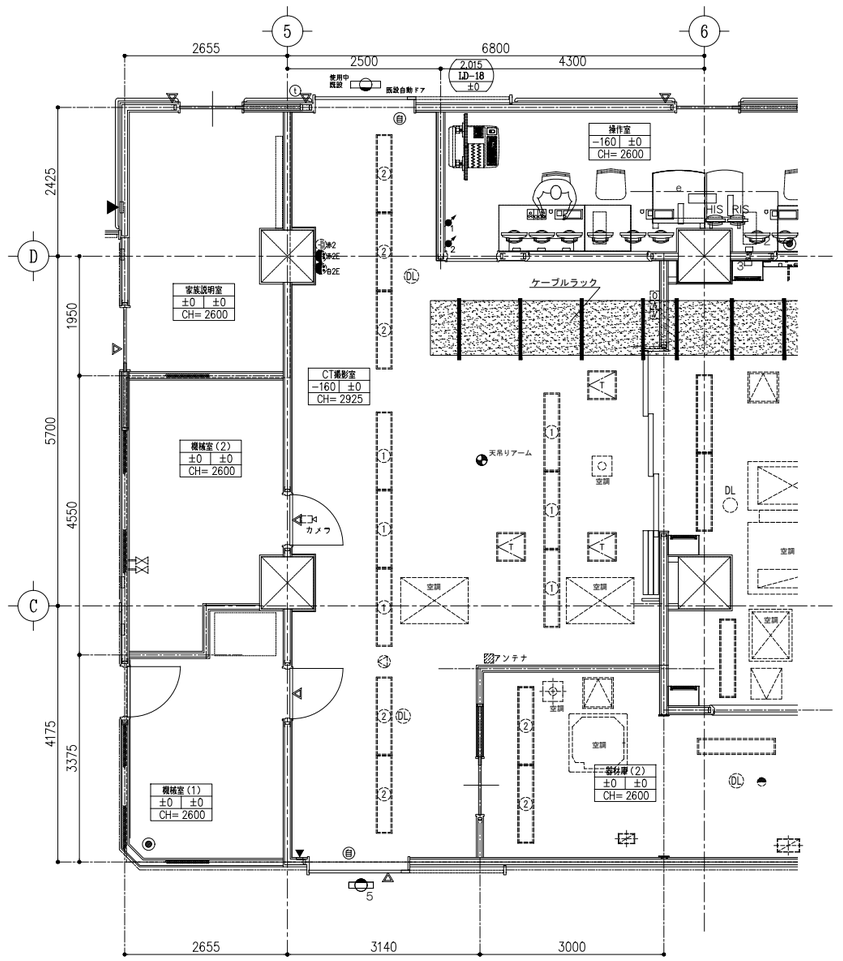
9．血管撮影室2 内の清浄度測定は、吹出口ユニット施工業者が行い報告書を提出すること。
10．自動ドアの W・H寸法は、有効寸法を示す。
11．提出書類等 （検査及び書類作成は各施工業者が行うこと）
1）手術室内装工事に関する書類は、全てＡ４とする。
2）工事中の、中間検査書
（墨出し・壁下地・天井下地・壁仕上げ・天井仕上げ・コーキング等）
3）自主検査書
4）絶縁抵抗測定検査書
5）照度測定検査書
6）電流監視装置、過電流警報装置動作検査書
7）絶縁監視装置動作検査書
8）等電位接地検査書
9）医療器具設置検査書
10）医療器具製品検査書
11）各検査には、必要に応じて写真を提出すること。
全ての施行終了後直ちに、上記試験成績書並びに写真等を監督職員に
提出すること。

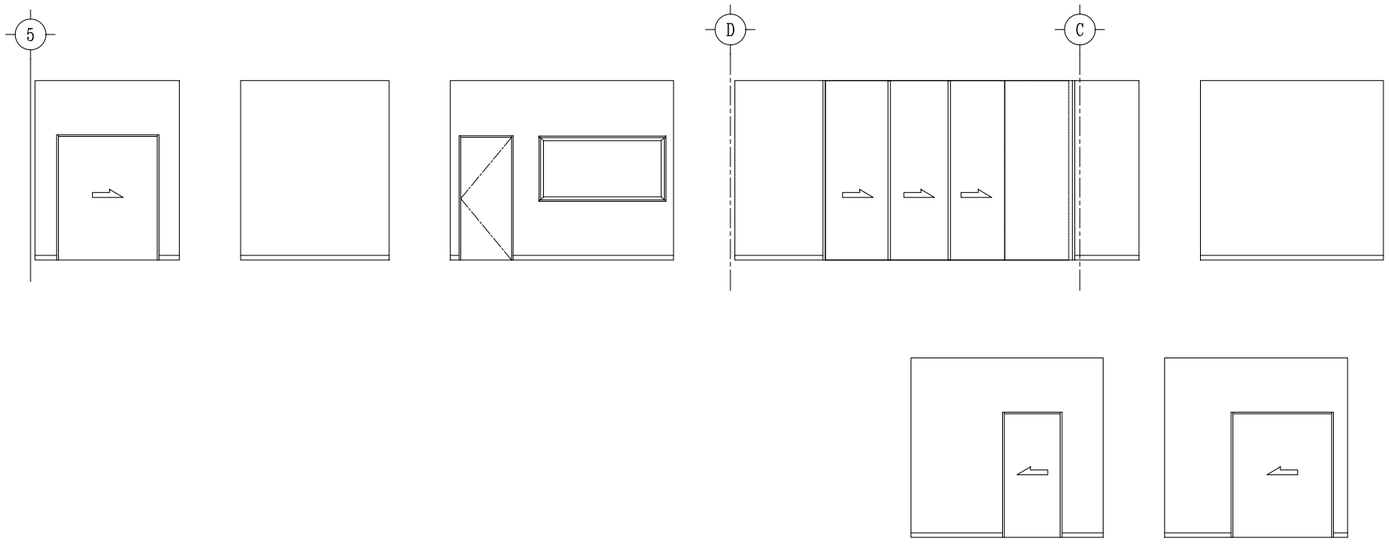
※清浄度クラスはFed−Std209E（米国連邦規格）で表記した。
ISOクラスは次の通り

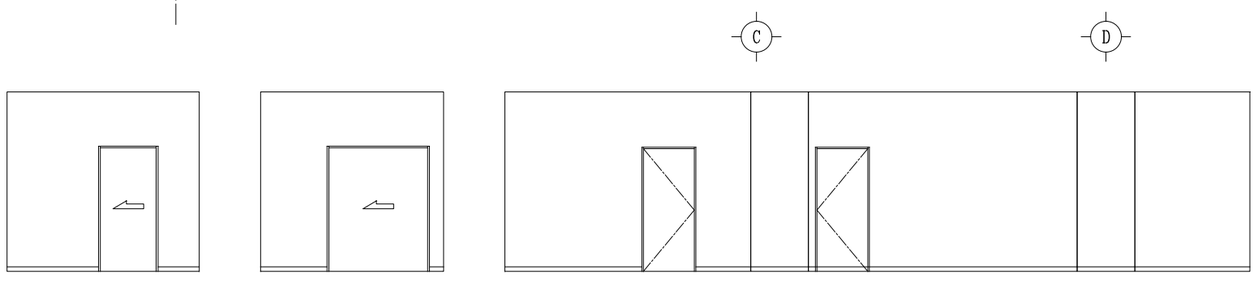
Fed−Std209e	ISO14644−1
クラス10,000	ISOクラス7

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第307492号 朝井典之
一級建築士登録 第280645号 大貫崇司









株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

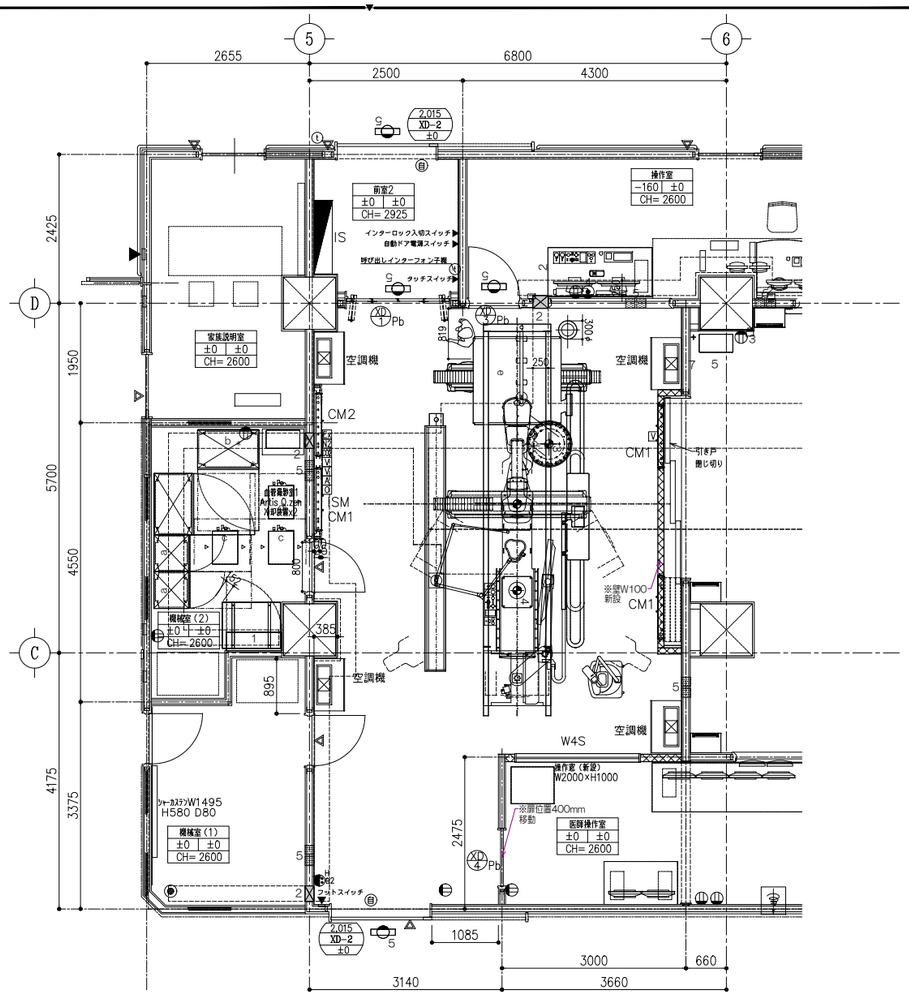
一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第307492号 朝井典之
一級建築士登録 第280645号 大貫崇司

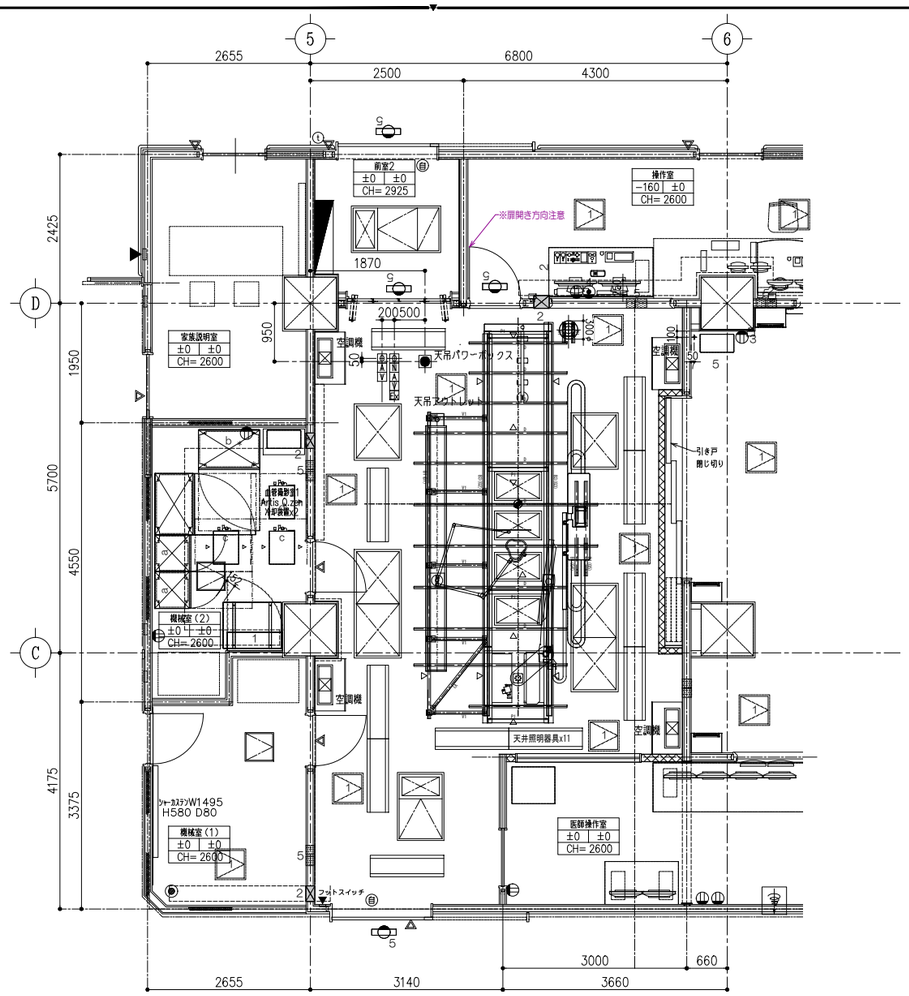
令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

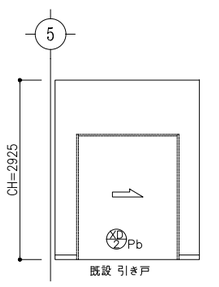
ユニット設備 既存平面図、天伏図、展開図（参考図）

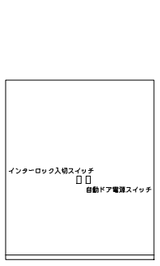
A1:1/50
A3:1/100

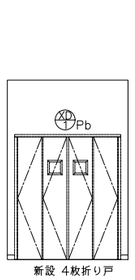
RA − 027

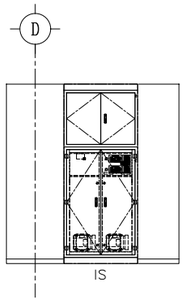


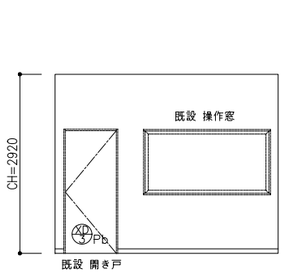


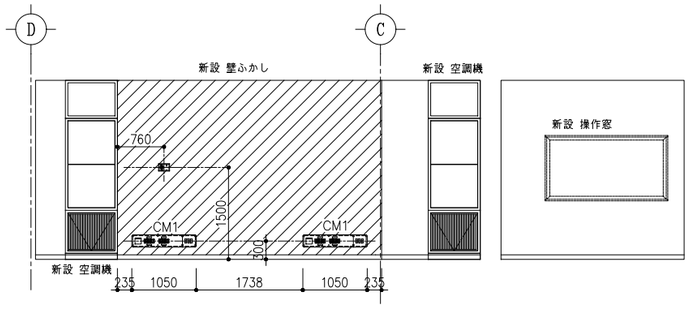


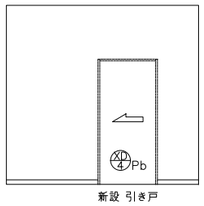


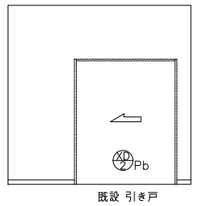


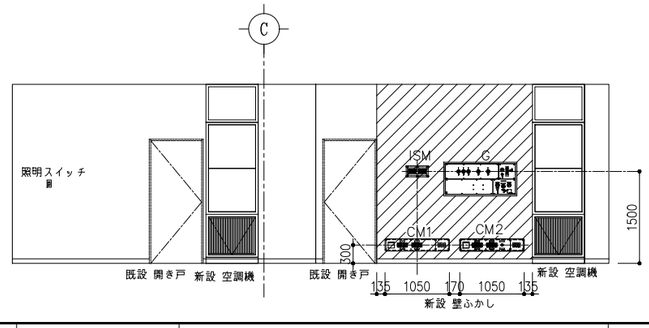












株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第307492号 朝井典之
一級建築士登録 第280645号 大貫崇司

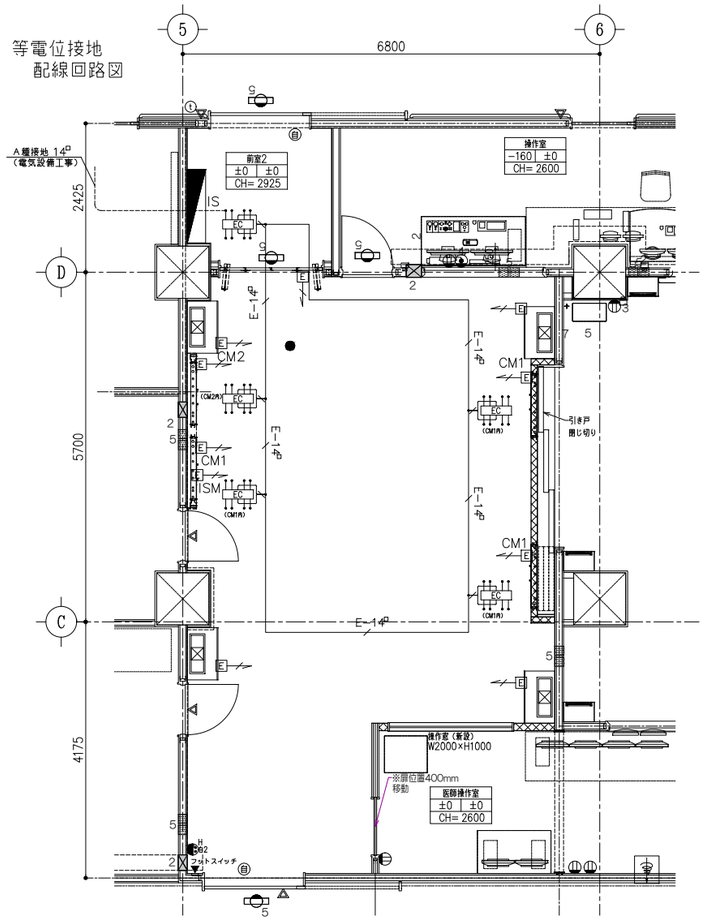
令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

ユニット設備 改修後平面図、天伏図、展開図(参考図)

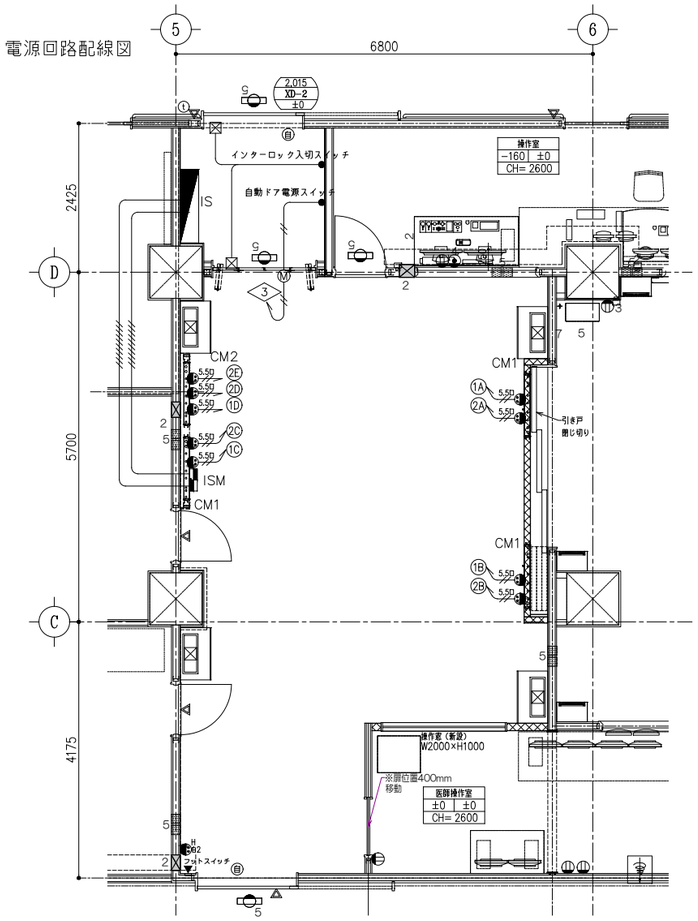
A1:1/50
A3:1/100

RA − 028

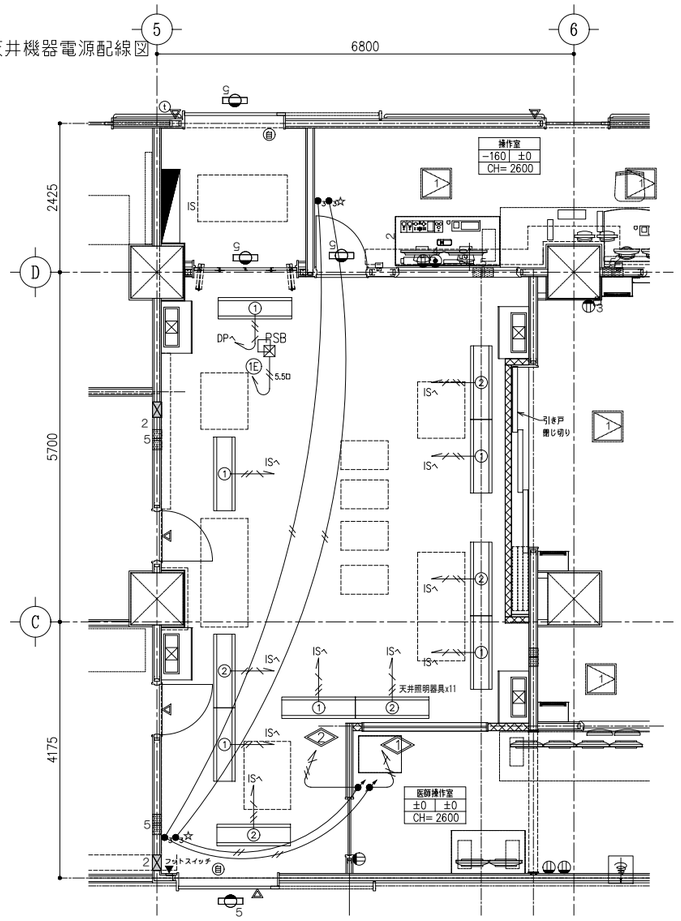
等電位接地 配線回路図



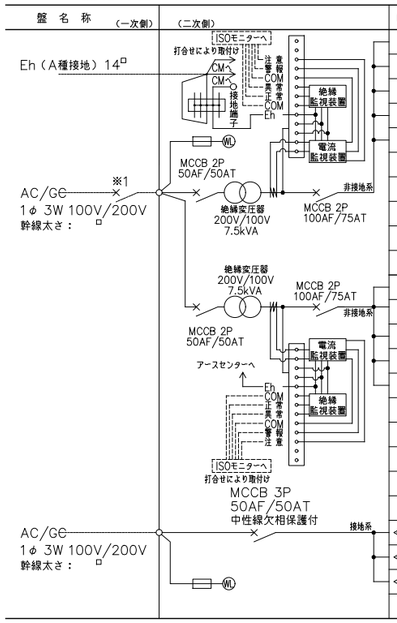
電源回路配線図



天井機器電源配線図



盤結線図 （アイソレーション回路 15kVA） 200V入力タイプ



回路	電圧（V）	分岐	負荷名称・回路記号	記号・取付面	負荷容量（kVA）	備考
1A	100	MCCB 2P 50AF/20AT	コンセント 1A	CM1 （B面1）	MAX 7.5	
1B	〃	〃	コンセント 1B	CM1 （B面2）		
1C	〃	〃	コンセント 1C	CM1 （D面1）		
1D	〃	〃	コンセント 1D	CM2 （D面2）		
1E	〃	〃	コンセント 1E	CC （天井面）		
−	──	────	予備スペース			
2A	100	MCCB 2P 50AF/20AT	コンセント 2A	CM1 （B面1）	MAX 7.5	
2B	〃	〃	コンセント 2B	CM1 （B面2）		
2C	〃	〃	コンセント 2C	CM1 （D面1）		
2D	〃	〃	コンセント 2D	CM2 （D面2）		
2E	〃	MCCB 2P 50AF/30AT	コンセント 2E	CM2 （D面2）		エクモ用コンセント
−	──	────	予備スペース			
◇1	100	MCCB 2P 50AF/20AT	照明	OLED	0.66	
◇2	〃	〃	照明	OLED	0.55	
◇3	〃	〃	自動ドア	AD1Pb	1.0	
−	──	────	予備			

等電位接地配線回路図

凡例（特記なき配管配線は、下記による）

- EM−IE5.5ロ×1（配管無し）
- E−14□ EM−IE14ロ×1（配管無し）
- EC 医用接地センタ
  - ・アイソレーションユニット内は1ケ
  - ・コンセントモジュール内は1ケ
- [E] 接地端子

※ PFは、合成樹脂可とう管（自己消火性有り）

※ 接地線接続は、JIS T 1022 4.1 b)「等電位接地」に準ずる。

電源回路配線図

凡例（特記なき配管配線は、下記による）

- EM−IE3.5ロ×2（PF16）
- 5.5□ EM−IE5.5ロ×2（PF16）
- EM−FCPEE−0.9×5P PF（28）
- ● 片切りスイッチ
- Ⓜ 自動ドア動力
- ☒ 端子台

※ PFは、合成樹脂可とう管（自己消火性有り）

天井機器電源配線図

凡例（特記なき配管配線は、下記による）

- EM−IE3.5ロ ×2（PF16）
- FP−C1.6mm−3C（配管無し）
- 調光スイッチ
- $●_3$ 3路スイッチ

※ PFは、合成樹脂可とう管（自己消火性有り）

※☆は メタルモームによる立下げを示す。
（既存壁にスイッチを設置）

＜一次側幹線所要電力＞
- AC/GC回路（アイソレーション用電源）・・・1φ 3W 100V/200V 15kVA
- AC/GC回路（接地系電源） ・・・1φ 3W 100V/200V 1.5kVA/2kVA
- 接地線接続は、JIS T 1022 4.1 b）「等電位接地」に準ずる。

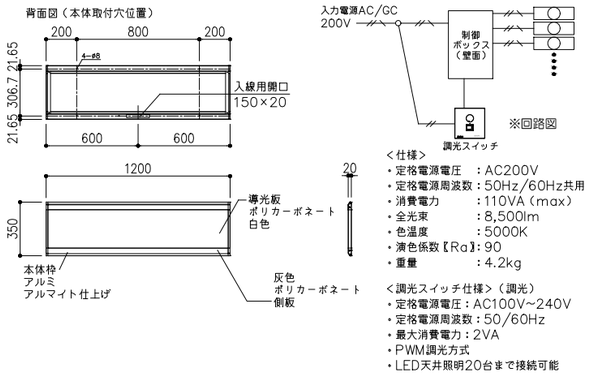
※1 トリップ時迅速な対応が出来るように1次側ブレーカーは1ランク上の値を設定の為、100AT以上のブレーカーを取付とする。（一次側電気工事）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第233442号 和田雅彦
一級建築士登録 第307492号 朝井典之
一級建築士登録 第280645号 大貫崇司

令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）			
ユニット設備 電気配線図・盤結線図(改修図)	A1:1/50 A3:1/100	RA − 029	

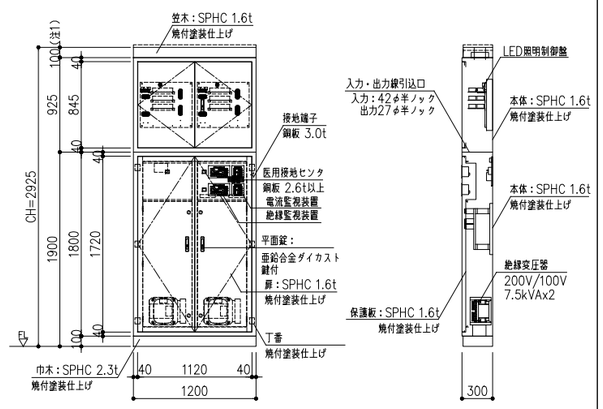
OPLED　天井照明器具（ロータリー式操作パネル）　1/20



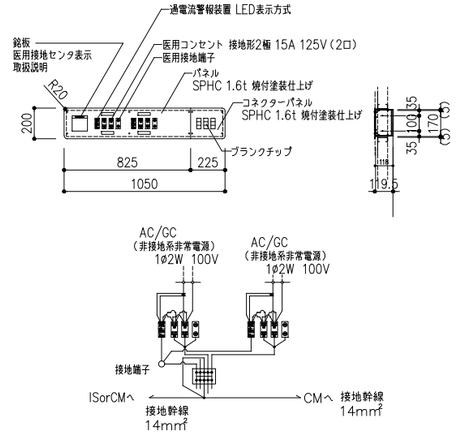
<仕様>
- 定格電源電圧　：AC200V
- 定格電源周波数：50Hz/60Hz共用
- 消費電力　　：110VA（max）
- 全光束　　：8,500lm
- 色温度　　：5000K
- 演色係数【Ra】：90
- 重量　　：4.2kg

<調光スイッチ仕様>（調光）
- 定格電源電圧：AC100V~240V
- 定格電源周波数：50/60Hz
- 最大消費電力：2VA
- PWM調光方式
- LED天井照明20台まで接続可能

IS　アイソレーションユニット自立型（7.5kVA+7.5kVA）　1/30

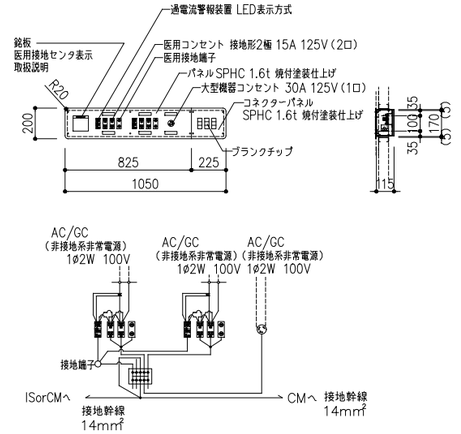


CM1　コンセントモジュール　1/20



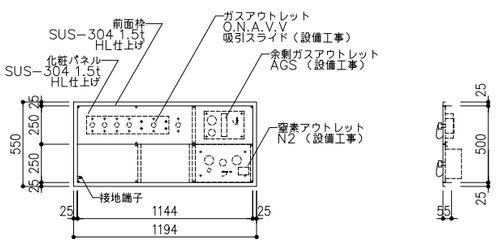
注1　電源種別は盤結線図による。

CM2　コンセントモジュール　1/20



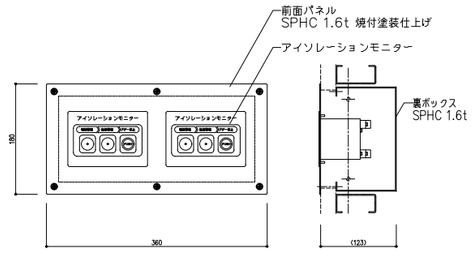
注1　電源種別は盤結線図による。

G　医療ガスパネル　1/20

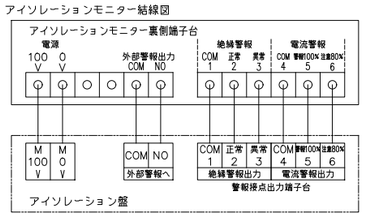


※　医療ガスアウトレットの内容は仕上げリストによる

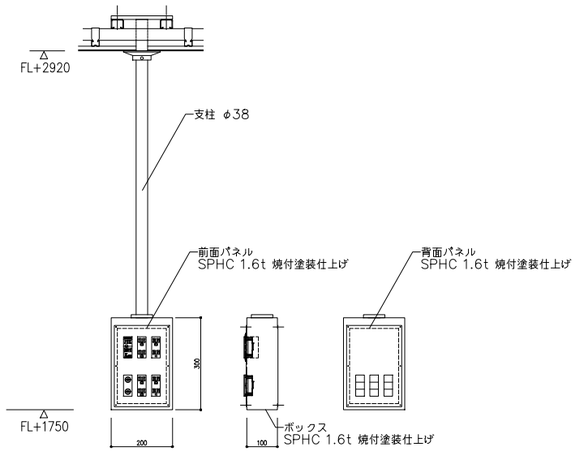
ISM　アイソレーションモニターボックス　1/5



アイソレーションモニター結線図



PSB　パワーサプライボックス　1/10



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第233442号　和田雅彦
一級建築士登録　第307492号　朝井典之
一級建築士登録　第280645号　大貫崇司

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	
ユニット設備 各種姿図（改修図）	A1:1/20 A3:1/40
	RA－030

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 建設工事名　令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

2 建設工事場所　静岡市 ~~葵区~~ 葵区 ~~漆山860~~ 漆山860　地内

3 建物概要

建物（棟）名称	構造	階数	延床面積（㎡）	備考
西館	ＲＣ造	地上6階	13,597.31	改修工事

4 工事科目（◯印のあるもの）

◯電灯設備(電灯幹線、電灯分岐、コンセント分岐)	◯誘導支援設備（音声誘導装置、インターホン、トイレ呼出）
◯動力設備(動力幹線、動力分岐)	・ テレビ共同受信設備
・ 電熱設備	・ 監視カメラ設備
・ 雷保護設備	・ 駐車場管制設備
・ 受変電設備	・ 防犯・入退室管理設備
・ 電力貯蔵設備(直流電源、交流無停電電源)	◯火災報知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常警報、ガス漏れ)
・ 発電設備	・ 中央監視制御設備
◯構内情報通信網設備	・ 屋外構内配電線路
・ 構内交換設備	・ 屋外構内通信線路
・ 情報表示設備(出退・情報表示、電気時計)	・ テレビ電波障害防除
・ 映像・音響設備	・ 昇降機設備
◯拡声設備	

Ⅱ 仕　様

1 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書（令和4年版）による。
- 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
- 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
- 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
- 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
- 建築物解体工事共通仕様書

2 標準図は以下の令和　4 年版による。（建築工事標準詳細図は平成28年版）
- 建築工事標準詳細図
- 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)
- 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)

3 設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか次の優先順位により判定する。
（1）質疑回答書（(2)～(5)に対するもの）　(2)現場説明書　(3) 特記仕様書　(4) 図面　(5) 標準仕様書

4 特記仕様
（1）項目は全て適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は、◯印の付いたものを適用する。
◯印のない場合は、※印を適用する。　◯印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。

科目	項目	特記事項
一般事項	1 法令その他	この工事は工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。官公署の検査を必要とする工事にあっては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。
	2 工事実績情報の登録	工事カルテ特記仕様書による。
	3 工事の一時中止	静岡県建設工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	4 施工図等の権利	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	5 工事写真	営繕工事写真撮影要領平成31年版及び　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(令和3年版)による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示により撮影する。
	6 監理事務所	※ 設けない　・ 設ける（ ・ 既存建物内の一部を使用する　・ 構内に新設する）
	7 工事用水電力等	本工事に必要な工事用電力・水等は受注者の負担とする。
	8 工事用仮設物	敷地内につくることが　※ できる　・ できない
	9 電気工事士	最大電力５００ｋW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。
	10 電気保安技術者	電気保安技術者の選定については、標準仕様書のほか監督員が認める者とする。
	11 発生材の処理	（1）引渡しを要するもの　（　　） （2）特別管理産業廃棄物　（◯ＰＣＢ使用機器　　） （3）再資源化を図るもの　（◯蛍光ランプ　・ 白熱灯　・ ＨＩＤ灯　　） （4）発生材保管、集積場所が必要なもの（　　） 照明器具安定器にＰＣＢが使用されている場合は、安定器を本体より分離し保管ボックス（鋼板製）に収納して建物管理者に引き渡す。また、変圧器・コンデンサ等を廃棄しようとする場合は、ＰＣＢ混入の可能性の有無について確認し、混入の可能性が判定・確認できない場合は、ＰＣＢ廃棄物として保管受皿に入れ指定された場所に保管する。 建設廃棄物の処理にあたっては建設廃棄物処理計画書を提出すること。
	12 産業廃棄物管理票	(財)日本産業廃棄物処理振興センター（ http://www.jwnet.or.jp ）が運営する「情報処理センターの登録（電子マニフェスト）により行うこと。 これにより難い場合は監督職員と協議する。
	13 建設副産物情報交換システム	本工事の情報を「建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）」へ登録するものとし、総合施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合には、それぞれ速やかにデータ入力を行う。 また、同システムにより、工事着手時に再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書、及び建設副産物情報交換システム工事登録証明書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。
	14 特定建設資材の再資源化等	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）の届出の有無 ※ 届出を要しない（対象工事でない）　・ 届出を要する（対象工事である） 対象建設工事の場合は、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。 (1) 分別解体の方法 工程：・ 新築工事等　作業内容：建築設備工事 ※ 有　分別解体の方法：・ 手作業 ※ 手作業・機械作業併用 (2) 特定建設資材等廃棄物の種類と再資源化等をする施設 ・ コンクリート　再資源化等をする施設名称：・　所在地：・ ・ コンクリート及び鉄から成る建設資材　再資源化等をする施設名称：・　所在地：・ ・ 木材　再資源化等をする施設名称：・　所在地：・ ・ アスファルト・コンクリート　再資源化等をする施設名称：・　所在地：・ 注)(1)、(2)については積算上の条件明示であり、処理施設等を指定するものではない。 受注者の提示する分別解体の方法、施設等と異なる場合においても設計変更の対象としない。
	15 環境性能等	使用する機材はトップランナー基準に適合したものであること。
	16 使用機材の選定	工事に使用する機材は、その工事の着手前に、「使用材料（機器）報告書」を監督職員に提出して承諾を受けること。
	17 地場産品	静岡県中小企業の受注者機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき、地場産品の使用促進を図ることで、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。 受注者は、工事に使用する建設資材等について、契約図書に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。 「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。 「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第２条に掲げるものをいう。 「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。
	18 機材の検査等	使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。 ただし、別表に掲げる機材については監督職員の検査を受ける。 なお監督職員の検査の結果、合格した機材と同じ種別の機材は以後原則として抽出検査とする。 また、製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督員の指示による。
	19 排出ガス対策等	使用する建設機械は排出ガス対策及び低騒音型とする。
	20 検査	中間検査　※ 対象工事（実施は中間検査実施基準による）　・ 対象外工事 工事施工中における技術検査の実施回数等は監督員の指示による。
	21 完成図書	現場説明書による。
	22 電子納品	電子納品特記仕様書による。 貸与する設計図データの有無（ ※ 有り　・ 無し ） 貸与するＣＡＤデータは当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。
	23 公共事業労務費調査に対する協力	受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。 (1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 (2) 調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。 (3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。 (4) 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
共通工事	1 仮設備	仮設備項目（ ・ 受変電　・ 発電　・　　） 仮設備期間（ ・ 図示　・　　）
	2 足場その他	※ 別契約の関係工事で定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 内部足場の種別　※ 脚立、足場板等　・ 外部足場の種別　※ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種 ・ Ｅ種 （Ａ種 ： 施工箇所面に枠組足場を設ける Ｂ種 ： 施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける Ｃ種 ： 施工箇所面に単管本足場を設ける Ｄ種 ： 仮設ゴンドラを使用する Ｅ種 ： 移動式足場を使用する） 設置においては、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）における手すり据置方式又は手すり先行専用足場方式に基づき設置すること。 外部足場の防護シートによる養生 ・ 養生ネット　・ 養生シート（ ・ Ⅰ類　・ Ⅱ類 ） ・ ネット状養生シート（ ・ Ⅰ類　・ Ⅱ類 ） ・ 防音シート　・ 防音パネル　・　・　）
	3 養生	養生範囲（ ・　・　） 養生方法（ ・　・　）
	4 土工事	標準仕様書によるほか次による。 (1) 管路を敷設する掘削床は平坦に突き固める。 (2) 埋戻し及び盛り土（〇印があるもの） ・ 根切り土　・ 持込み土（　　） (3) 残土処分 ※ 構内敷きならし ・ 構外搬出　片道運搬距離（　　）km、ＤＩＤ区間（ ・ 有　・ 無 ） ・ 構内指示の場所に堆積 なお、受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。
	5 コンクリート工事	コンクリート圧縮強度試験 現場での試験（ ※ 行わない　・ 行う ） 工場での試験成績書の提出（ ※ 求める　・ 求めない ）
	6 接地工事	(1) 接地工事の接地抵抗は、原則として規定値の90パーセント以下の値とする。 (2) 板状の接地極は 900mm×900mm、厚さ1.5mm以上の厚板とし、管状又は棒状の接地極は銅又は銅被覆鋼製接地棒もしくは炭素鋼棒とする。 (3) その他、図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。
	7 関連する工事との施工区分	図面に特記なき場合は「工事区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
	8 機器等の取付高さ	図面に特記なき場合は、表２「機器標準取付高さ」を標準とし、監督職員との協議の上決定する。
	9 耐震施工	設備機器・配管等の支持、固定は、表３「耐震施工の基準」による。 ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。 設計用水平地震力は、下記に示す設計用水平震度に、機器の重量を乗じたものとする。 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 設置場所：上層階・屋上階及び塔屋　設備耐震クラス分類：Sクラス 2.0、Aクラス 1.5、Bクラス 1.2 中間階　1.5　1.0　0.72 地下階及び１階　1.0　0.6　0.48 本施設は（◯防災上重要な機能を必要とする防災拠点等 ・防災上重要な施設 ・一般の施設 ）とする。 機器等の設備耐震クラスの分類は、次による。 Sクラス：防災拠点等及び防災上重要な施設：・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 非常用蓄電池設備 ・ 交換機、無線装置等 ・ 防災用情報通信設備 ・ アンテナ、統制台等 ・ Aクラス：防災拠点等及び防災上重要な施設：・ 電話設備 ・ 中央監視設備 ・ 非常放送設備 ・ 幹線設備（盤類を含む） ・ 一般の施設：・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 非常蓄電池設備 ・ 電話設備 ・ 非常放送設備 ・ Bクラス：防災拠点等及び防災上重要な施設：S、Aクラス以外の機器等 一般の施設：S、Aクラス以外の機器等 ※ あと施工アンカーは原則としておねじ形とし、めねじ形を使用する場合は監督員と協議すること。 あと施工アンカーの引き抜き試験　・ 行う　※ 行わない
	10 非破壊検査	改修工事ではつり作業を行う場合の、非破壊検査による埋設物の事前調査を ※ 行う（床 ※ 放射線透過検査 ・ レーダー探査 / 壁 ※ レーダー探査 ・ 放射線透過検査） ・ 行わない
	11 分電盤、制御盤、配電盤等	標準仕様書によるほか次による。 (1) 扉の幅が、端子盤及び機器収納箱にあっては600㎜、制御盤にあっては800㎜をこえる場合は扉は原則として両開きとする。 (2) �over番は、寸法・重量等を考慮した丈夫なものとし十分な耐久性を保つ構造とする。 (3) 屋外用の盤類は水が浸入しない構造とし、計器窓は網入りガラスとする。 (4) 盤類の塗色は次による。 ※ マンセル 2.5Y9/1　・ 塗色なし　・ 指定色（　　） (5) 屋外形の開閉器箱及びプルボックスは、次による。 ※ 鋼製　・ 樹脂製　・ ステンレス製　・ 図示による (6) ＯＡ盤の端子盤部に通気口又は冷却ファンを設ける。仕様はメーカー仕様に準ずる。
	12 電線類	※ 環境対策型電線（ＥＭ電線） ・ 非環境対策型電線（ビニル電線）
	13 架空電線	特記なき電柱の、腕金、がいし、支線その他の装柱材は、電力会社仕様による。
	14 電力・電話の引込み	電力及び電話線引込線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打合わせの上監督職員との協議により施工する。また、外線工事負担金などの調査報告を監督職員に対し速やかに行う。申請書類作成を行い、申請手続に要する費用は受注者の負担とする。
	15 最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込み配管は、原則として避けるものとする。
	16 位置ボックス等	ケーブル送り配線となる天井埋込照明器具、スピーカ及び感知器の位置ボックスは不要とする。
	17 防護柵	屋外キュービクルの周囲に防護柵を設置する場合は、高さ1.8m以上とする。 建築工事に含まれる場合には協議を要する。
	18 地中電線	(1) ハンドホールの蓋 地中配線路の鉄蓋には、破壊荷重と次の事項を鋳込みとする。 ・地中配線路の用途（「電気」、「通信」等） (2) 地中配線の埋設深さ等 地中配線で特記なき埋設深さは0.6m以上とする。 (3) 次の箇所には原則として埋設標を設ける。 ア 建物及びハンドホールへの引込口及び引出口付近 イ 地中線路の曲折箇所 ウ 直線部分では30mごとに1個（30mに満たない場合はその中間に1個） エ 道路横断箇所
	19 自立型アンテナマストのベースアンカー	自立型アンテナマスト及び自立型避雷設備等のベースプレートのアンカーボルトの設置間隔は500mmを標準とする。
	20 電線保護物類	(1) 合成樹脂製可とう電線管（ＰＦ管）及び付属品 タイプ25を使用するものとする。 電力用位置ボックス類は、合成樹脂製又は鋼製とする。鋼板製とした場合は管内に接地線を付加し、当該ボックスにボンディングを施すものとする。 ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。 (2) 金属製露出管路 次の管路は、塗装を行う。ただし、溶融亜鉛めっき加工された電線管を除く。 （ ※ 屋外　※ 配線室を除く屋内で見えがかり部分　・　　） (3) ケーブル配線の保護管は、標準仕様書金属管配線、合成樹脂管配線の項による。 (4) 弱電設備の管の敷設 ケーブルを収容する管路の１区間の屈曲箇所は３箇所以内で曲げ角度の合計は180°以内とする。ただし、通線及び管内の電線の引き替えが容易に行えるように施工する場合はこの限りでない。 (5) 壁面配管等で人が容易に触れるおそれのある部分（２m以下）の配管支持材には保護キャップ等の安全措置を施すものとする。
	21 照明用ポール	照明用ポールは、次による。 ※ 配線用遮断器又はカットアウトスイッチを設ける。仕様についてはメーカー仕様に準ずる。 ・ 配線用遮断器又はカットアウトスイッチが内蔵できるものとする。
	22 配線器具	(1) スイッチは原則としてネーム付きとし、器具の場所を表示する。 (2) フラッシュプレート ※ 新金属　・ ステンレス　・ 合成樹脂 (3) フロアプレートは水平高低調整付（空転防止形または工具締付形）とする。 ※ アルミ製　・ 黄銅製 (4) 発電機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。 (5) コンセントには回路番号を表示する。
	23 屋外の支持金物	電線管等の屋外支持金物は、原則として次による。 ※ ステンレス製　・ 亜鉛メッキ
	24 機器姿図	姿図の形状及び寸法は概略を示す。
	25 照度測定	照明器具を新設、改修した部屋の照度 ※測定する　・測定しない 測定箇所等は監督職員の指示による

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇　　加　藤　　悟

電気設備工事特記仕様書

	26 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 接着材は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑材を除く）が添加されていない材料を使用する。 (4) (1)の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	27 化学物質の濃度測定	・要　　※ 不要 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等については、監督員の指示による。
撤去工事	1 撤去	・撤去前に内容物（発電設備燃料等）の回収を要する機器、配管等の処置（　　） ・撤去後の補修、復旧（　　）
	2 石綿含有建材の除去工事	事前調査　　※ 行う　　・行わない 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。 分析による石綿含有建材の調査　※ 行わない　・行う（　　箇所） 測定箇所等は監督員の指示による。 石綿粉じん濃度測定　　※ 行わない　・行う（　　箇所） 測定箇所等は監督員の指示による。 石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習修了者又は平成１８年３月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。 石綿含有品　　・フランジ用ガスケット（・配管　・ダクト） ・天井材　　・ 撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。
電力・発電設備工事	1 防災用照明器具	建築基準法の規定による非常用照明器具は次による。（○で囲むもの） ・電池内蔵形　・電源別置形（⊙バッテリー　・発電機）
	2 電動機等の接地	金属管配線において、電動機容量7.5 KW以下は金属管を接地線とする。
	3 受変電設備	受変電キュービクル本体の耐震性は、JEM-TR144「配電盤・制御盤の耐震設計指針2003年版」（一般社団法人日本電機工業協会）における耐震機能クラス１とする。
	4 雷保護設備	(1) 保護レベル　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　※ Ⅳ (2) 受雷部システムの配置　・保護角法　・回転球体法　・メッシュ法
	5 主燃料槽	主燃料槽は満油渡しとする。
	6 太陽光発電設備	太陽電池アレイ用支持物の荷重計算は、JIS C 8955:2011「太陽電池アレイ用支持物設計標準」による。 太陽光発電システムの用途 ※ 極めて重要な太陽光発電システム　・通常の太陽光発電システム
通信・情報設備工事	1 構内情報通信網設備	学校については校内ＬＡＮ工事特記仕様書による。
	2 テレビ共同受信装置	(1) テレビ機器収容箱 ブースターを収容する収納箱は、露出コンセント（2P15A 2口）を内蔵し、扉には放熱に有効なガラリ等を備えたものとする。 (2) アンテナマスト　・自立形　・壁面形 ・標準図のＡの寸法　（　　）mm
防災設備工事	1 自動火災報知装置	(1) 受信機 ⊙Ｒ型　・Ｐ型（　　）級（　　）回路 予備電源付（・壁掛形　⊙自立形） 複合盤の場合は図示する。 (2) 副受信機　表示窓数（　　）窓（・壁掛形　・自立形） (3) 発信機　・Ｒ型　・Ｐ型（　　）級（　　）形 (4) 機器収納箱　・埋込形　・露出形　・消火栓箱組込形 (5) 消火栓ポンプ始動用表示灯　・専用　※ 火報と兼用
	2 自動閉鎖装置	(1) 連動制御器　（　）回線（複合盤の場合は図示する。） (2) 動作仕様 ア 作動方式　・多回線順次作動　・単独作動 イ 防煙ダンパ　・手動復帰　・遠方復帰
	3 非常警報装置	(1) 非常警報装置　・埋込形　・露出形 (2) 起動装置（押しボタン）　・埋込形　・露出形
	4 ガス漏れ火災警報装置	(1) 受信機　（　）回線　予備電源付（・壁掛形　・自立形） 複合盤の場合は図示する (2) 検知器　・都市ガス　・液化ガス 電　源　・AC100V　・DC24V (3) 中継器　確認表示灯　・あり　・なし
その他		舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

別表

名　　称
⊙配電盤、分電盤、制御盤、警報盤等
・電熱装置
・高圧機器類
・特別高圧機器類
・直流電源装置
・交流無停電電源装置（ＵＰＳ）
・ディーゼル発電装置
・ガスタービン発電装置
・マイクロガスタービン発電装置
・燃料電池発電装置
・熱併給発電装置
・太陽光発電装置
・風力発電装置
・構内情報通信網装置
・構内交換装置
・情報表示装置
・映像・音響装置
・誘導支援装置
・テレビ共同受信設備
・監視カメラ装置
・駐車場管制装置
・防犯・入退室管理装置
・監視制御装置
・
・

⊙ 印の付いたものを適用する。

表１　接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
・共同接地	ＥＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一組
・共同接地	ＥＡ・Ｃ・Ｄ	１０Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一組
・Ａ種	ＥＡ	１０Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一2組
・Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一組
・Ｂ種	ＥＢ	37.5～75Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連
・Ｃ種	ＥＣ	１０Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一2組
・Ｄ種	ＥＤ	１００Ω以下	ＥＢ(Ｄ=10又は#30)×１
・Ｄ種	ＥＥＬＣＢ	１００Ω以下	ＥＢ(Ｄ=10又は#30)×１
・雷保護用	ＥＬＡ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×　連一組 又はＥＰ×０．６-２
・高圧避雷器	ＥＬＨ	１０Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一2組
・低圧避雷器	ＥＬＬ	１０Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一2組
・交換機用	Ｅｔ	１０Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一組
・通信機器用	ＥＡｔ	１０Ω以下	ＥＢ(Ｄ=14又は#40)×3連一2組
・通信機器用	ＥＤｔ	１００Ω以下	ＥＢ(Ｄ=10又は#30)×１
・測定用	Ｅｏ	１００Ω以下	ＥＢ(Ｄ=10又は#30)×１
・構造体接地		Ω以下	
・等電位接地		Ω以下	

注1）ＥＢでＤ＝１４の場合はＬ＝１５００とし、Ｗ＝４０の場合はＬ＝１２００、Ｗ＝３０の場合はＬ＝９００とする。
注2）図中に記載がある場合は、それを優先する。

表２　機器標準取付高さ

	名称	測定	取付高さ(mm)
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
電灯	分電盤	床上～中心 (上端1,900以下)	1,500
	スイッチ	床上～中心	1,100
	人感センサ用切替スイッチ	床上～中心	1,800
	コンセント（一般）	床上～中心	400
	コンセント（和室）	床上～中心	200
	コンセント（台上）	台上～中心	150～200
	コンセント（土間）	床上～中心	500
	コンセント（外壁・屋外）	地上～中心	800
	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300
	ブラケット（踊場）	床上～中心	2,000～2,500
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150
動力	壁掛制御盤	床上～中心 (上端1,900以下)	1,500
	手元開閉器	床上～中心	1,500
	操作スイッチ	床上～中心	1,300
電話	室内端子盤	床上～下端	300
	集合保安器箱	天井下～上端	200
	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	400
	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	200
時計・拡声	壁付形親時計	床上～中心 (上端1,900以下)	1,500
	子時計	床上～中心	天井高×0.9
	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	床上～中心	1,100

	名称	測定・・	取付高さ(mm)
表示	表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	壁付発信器	床上～中心	1,100
	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300
	壁付押しボタン（一般）	床上～中心	1,100
誘導支援	壁付インターホン	床上～中心	1,100
	壁付アウトレット（一般）	床上～中心	400
	壁付アウトレット（和室）	床上～中心	200
	押しボタン（トイレ呼出用）	床上～中心	900又は400
	復帰釦	床上～中心	1,800
テレビ共同受信	機器収容箱	天井下～上端	200
	直列ユニット（一般）	床上～中心	400
	直列ユニット（和室）	床上～中心	200
火災報知	受信器・副受信器	床上～中心	800～1,500
	機器収容箱・受信器	床上～中心	800～1,500
	ベル	床上～中心	2,300
	表示灯	床上～中心	2,100
	ＬＰガス用検知器	床上～上端	300

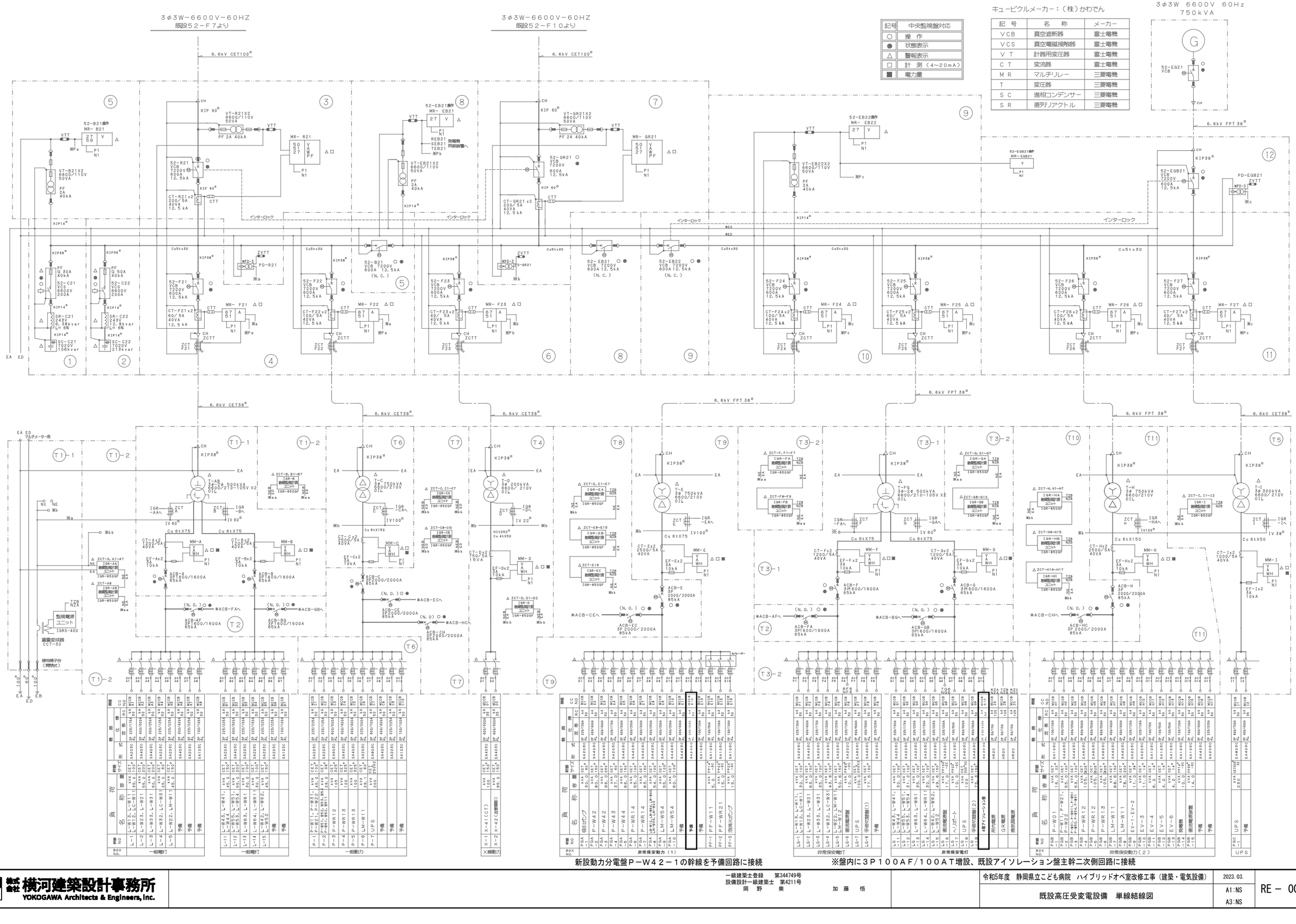
備考
注）
1. 天井高 3,000以上の場合は、監督職員と協議する。
2. 意匠に関係する部分（正面玄関・玄関ホール・ＥＶホール・上級室・会議室）の取付位置は、監督職員と十分協議する。
3. 表は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。

表３　耐震施工の基準
設備機器・配管等の支持、固定は、以下の図書を適用する。
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成25年度）
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

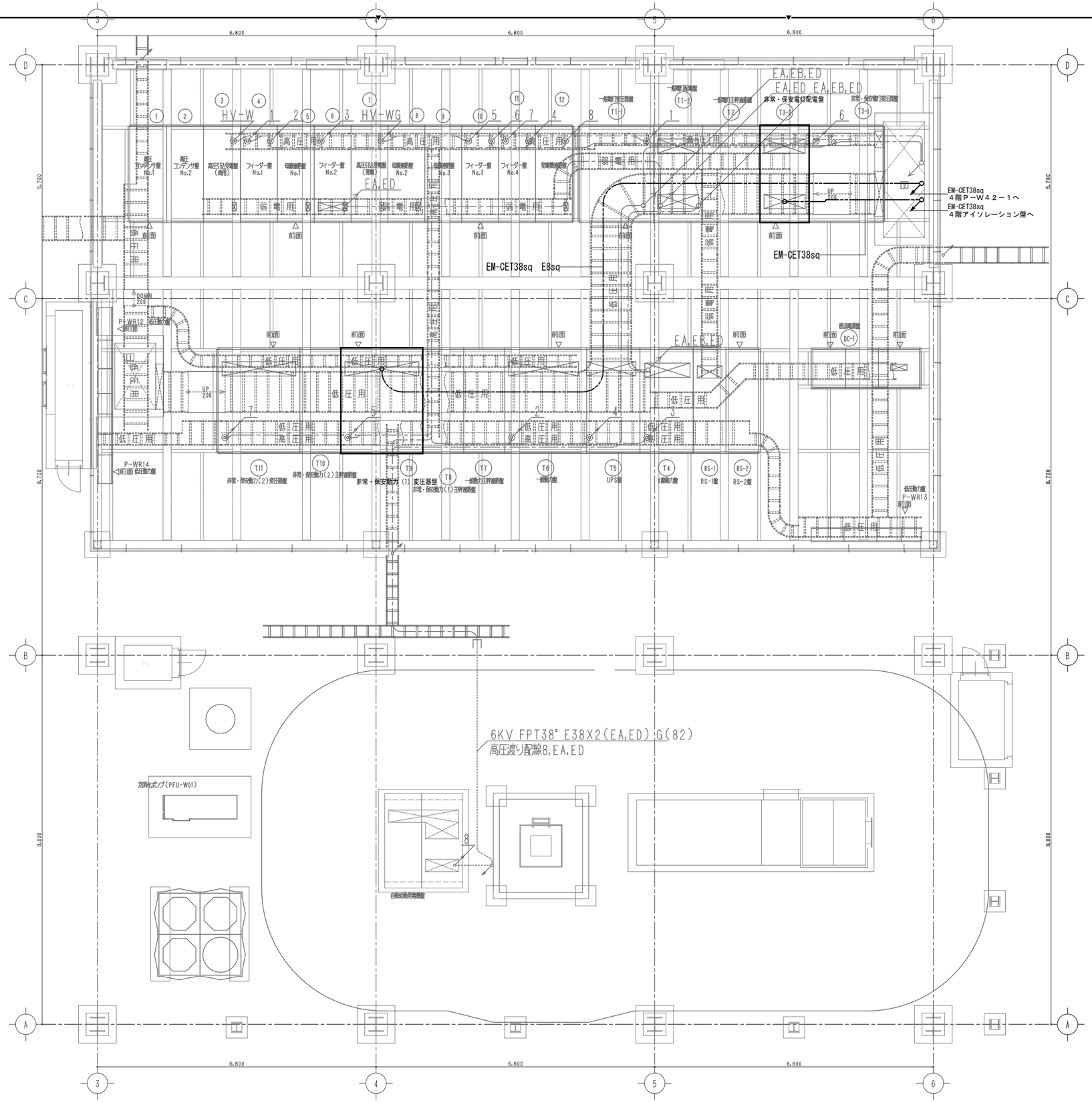
施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防災上重要な機能を必要とする防災拠点等	ガイドライン*	ガイドライン*
防災上重要な施設	ガイドライン*	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

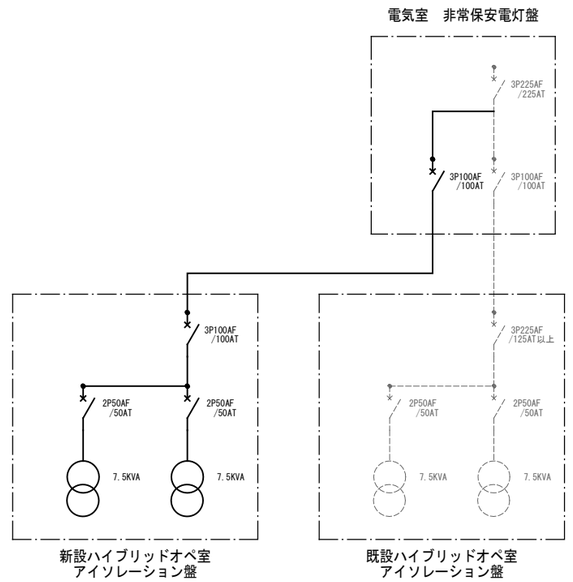
*ガイドラインに記載のない内容は、センター指針を適用する。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　加藤　悟



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇 加　藤　悟	令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備） 既設高圧受変電設備　単線結線図
	2023. 03. A1:NS A3:NS	RE − 003





非常保安電灯盤　改修結線図

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇　　加藤　悟

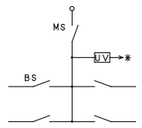
令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE－004
塔屋機器配置図	A1:1/50 A3:1/100	

1 分電盤特記事項 ――

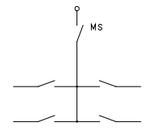
主回路	ブレーカ	MCCB又はELCB	防災回路は赤色キャップ付
	電源端末	設ける	
	電源ランプ	設ける	
	接触器	常時励磁	非常照明回路を除く
	ニュートラルスイッチ	設けない	2PMCCBとする
	電力量計	検定付、パルス付	1KWH/パルス
	リモコンリレー	2線伝送式	
	接地端子	銅帯タッピング	MCCB数の1/2x3端子系統
表 示	回路表示	回路Noと用途表示	
盤構造	セパレータ	設ける	異種電源間
	ハンドル	キー付	200A
	点検用コンセント	設ける	2P15A
	非常照明回路	二種耐熱形	

2 主回路結線図 ――

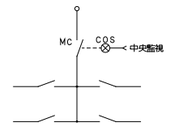
一般・発電回路 A1 AC1φ3W 210/105V



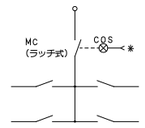
G1 ACG1φ3W 210/105V



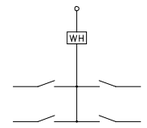
発停回路 M1 1φ3W 210/105V



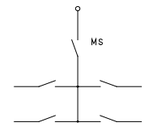
非常照明回路 D1 2W 105V



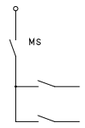
計量回路 W1 1φ3W 210/105V



無停電回路 V1 1φ3W 210/105V



動力回路 P1 3φ3W 210V

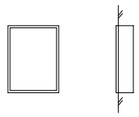


外形図

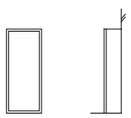
A 壁掛形



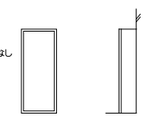
B 埋込形



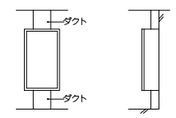
C 自立形



D シャフト内自立形



E 壁掛形(ダクト付)



3 分電盤リスト ―― 製造者：株式会社 新愛知電機製作所

盤名称	型式	A1 一般回路 幹線記号	MS MCCB 3P AF/AT	WH /5A	BS MCCB 2P 50/20	MCCB 2P 50/30	MCCB 3P 50/30	MCCB 2P 100/100		ELCB 2P 50/20	ELCB 2P 50/50	RRY 2P 20A	接点入力 T/U 4L	MC 2P	M1 発停回路 MCCB 2P 50/20	ELCB 2P 50/20	WH 計量 WH A	MCCB 2P 50/20	G1 発電回路 幹線記号	MS MCCB 3P AF/AT	WH /5A	BS MCCB 2P 50/20	MCCB 2P 50/30	MCCB 2P 50/40	MCCB 2P 100/100	MCCB 3P	ELCB 2P 50/20	RRY 2P 20A	遠隔調光 T/U 15A	M1 発停回路 MC 2P	MCCB 2P 50/20	ELCB 2P 50/20	WH 計量 WH A	MCCB 2P 50/20	U1 無停電回路 幹線記号	MS MCCB 3P AF/AT	BS MCCB 2P 50/20	D1 非常照明回路 幹線記号	MC 2P 56A	BS MCCB 2P 50/20	P1 動力回路 幹線記号	MS MCCB 3P AF/AT	MCCB 3P 50/20	リモコン制御 T/U 4L	リモコン制御加入 T/U	リモコン Tr	タイマー	備考
L-W11	D	L-1a	50/50		23					4		4							LG-1a	50/50		14					6	2																					
L-W12	D	L-1b	100/100		32					15		3							LG-1b	50/50		31					5	5						LC-12	50/50												
L-W13	D	L-1	50/50		13					13		7	1						LG-1	50/50		9					5	2																				
L-W21	D	L-2a	100/100		30					6		3							LG-2a	50/50		25				100/75	6	1									D-1	1	4							
L-W22	D	L-5	225/150		39					21		4							LG-5	100/100		36					12	2																			
L-W23	D	L-2	225/200		46					56		9							LG-2	225/150		62					10	2																			
L-W31	D	L-3a	100/100		24					12		4							LG-3a	50/50		20					3	1									D-2	1	4							
L-W32	D	L-4	100/100		41					11		2							LG-4	225/200		50					10	4						LC-13+ LC-22	下図による										
L-W33	D	L-3	225/150		38					26		4							LG-3	225/150		48					12	2																			
L-W41	D	L-11a	50/50		22					2		4							LG-11a	50/50		25				50/30x2	2	2									D-2	1	6							
L-W42	D	L-15	50/50		25					3		3							LG-15	100/100		32					8	3																			
L-W43	D	L-11	50/50		18					2		2							LG-11	50/50		17					9	2																			
L-W44	D	L-11b	225/150		33					15		1							LG-11b	225/150		35		1		50/30x2	4	1						LC-23a		2										
L-W51	D	L-12a	50/50		15					3		5							LG-12a	50/50		16					1	2									D-3	1	6							
L-W52	D	L-15b	100/100		34					4		1							LG-15b	225/150		35					6	2						LC-15	下図による										
L-W53	D	L-12b	100/100		29					8		2							LG-12b	100/100		29					8	3						LC-24	下図による										
L-W54	D	L-12c	100/100		27					13									LG-12c	50/50		22					4																			
L-W55	D	L-12	100/100		24					7		1							LG-12	50/50		17					3	1																			
L-W61	D	L-13a	50/50		21					9		6							LG-13a	50/50		19					4	1									D-3	1	4							
L-W62	D	L-15a	100/100		21					23		5							LG-15a	100/100		26					4	2																			
L-W63	D	L-13	100/100		38					14		11							LG-13	225/150		47					9	5																			
L-W64	D	L-14	100/100		22					20		4							LG-14	100/100		38					4	2																			
L-WR11	C	L-14a	100/50		12					10									LG-14a	100/50		10																							
LC-W11	C	L-1c	50/50		14					4									LG-1c	50/50		19					5	4						LC-11	50/50	10										防災盤へ組込
LC-W31	E	L-4a	50/50		20					4		4							LG-4a	50/50		16					4																			
LM-W11	D	L-5a	100/100		19					21		15							LG-5a			22					34																			
LM-W12	D	-																	-														LC-21	下図による				PGA-8盤リストによる							

4 特殊分電盤リスト ―― 製造者：株式会社 新愛知電機製作所

LM-W12 (救急処置) (屋内自立型)

UPS 1φ3W210/105V 6kVA LC-11

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
3	50	50	IS-17	5	1φ3W210/105V	CE8^{sq}-3C
2	50	20	予備回路	0	1φ105V	

MCB3P 50/50

ACG 1φ3W 210/105V 9kVA LG-5b

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
2	50	20	IS-11	1.5	1φ210V	CE3.5^{sq}-2C
2	50	20	IS-12	1.5	1φ210V	CE3.5^{sq}-2C
2	50	20	IS-13	1.5	1φ210V	CE3.5^{sq}-2C
2	50	20	IS-14	1.5	1φ210V	CE3.5^{sq}-2C
2	50	20	IS-15	1.5	1φ210V	CE3.5^{sq}-2C
2	50	20	IS-16	1.5	1φ210V	CE3.5^{sq}-2C

L-W23 (ハイリスク分娩) (屋内自立型)

UPS 1φ3W 210/105V 15kVA LC-12

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
3	100	75	IS-21		1φ3W210/105V	CET14^{sq}
2	50	30	器材室(2)	3	1φ210V	CE5.5^{sq}-3C
2	50	30	器材室(1)	3	1φ210V	CE5.5^{sq}-3C
2	50	20	予備回路		1φ210V	
2	50	20	予備回路		1φ210V	
2	50	20	238室	0.3	1φ105V	
2	50	20	237室	0.3	1φ105V	
2	50	20	236室	0.3	1φ105V	
2	50	20	235室	0.3	1φ105V	
2	50	20	234室	0.3	1φ105V	
2	50	20	233室	0.3	1φ105V	
2	50	20	予備回路		1φ105V	
2	50	20	予備回路		1φ105V	

L-W32 (HCU) (CCU) (屋内自立型)

UPS 1φ3W 210/105V 33kVA LC-22

MCCB3P 225/200

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
3	50	50	IS-C31	5	1φ3W210/105V	CE8^{sq}-3C
3	50	50	IS-C33	5	1φ3W210/105V	CE8^{sq}-3C
3	50	50	IS-C35	5	1φ3W210/105V	CE8^{sq}-3C
2	50	30	IS-C32	5	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-C34	5	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-C36	5	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C

UPS 1φ3W 210/105V 18kVA LC-13

MCB3P 100/100

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
2	50	30	IS-H31	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H32	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H33	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H34	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H35	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H36	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C

手術灯盤1 (屋内自立型)

UPS 1φ3W 210/105V 53kVA LC-14

MCB3P 400/300

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
3	225	150	IS-141	20	1φ3W210/105V	CET6D^{sq}
3	225	150	IS-142	20	1φ3W210/105V	CET6D^{sq}
3	100	100	IS-143	12.5	1φ3W210/105V	CET3B^{sq}

ACG 1φ3W210/105V 60kVA LG-8

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
3	225	150	IS-141	34.64	1φ3W210/105V	CET6D^{sq}
3	225	150	IS-142	27.5	1φ3W210/105V	CET6D^{sq}
3	225	150	IS-143	24.3	1φ3W210/105V	CET6D^{sq}

手術灯盤2 (屋内自立型)

UPS 1φ3W 210/105V 38kVA LC-23

MCB3P 225/225

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
3	100	100	IS-241	15	1φ3W210/105V	CET3B^{sq}
3	100	100	IS-242	12.5	1φ3W210/105V	CET3B^{sq}
3	100	100	IS-243	12.5	1φ3W210/105V	CET3B^{sq}
3	50	20	LW-44盤	2	1φ3W210/105V	CE5.5^{sq}-3C

ACG 1φ3W 210/105V 60kVA LG-19

MCB3P 400/300

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
3	225	150	IS-241	26.6	1φ3W210/105V	CET6D^{sq}
3	225	150	IS-242	24.7	1φ3W210/105V	CET6D^{sq}
3	225	150	IS-243	24.7	1φ3W210/105V	CET6D^{sq}

L-W52 (ICU) (屋内自立型)

UPS 1φ3W 210/105V 18kVA LC-15

MCCB3P 225/125

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
3	50	50	IS-151	5	1φ3W210/105V	CE8^{sq}-3C
2	50	30	IS-152	5	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
3	50	50	IS-153	5	1φ3W210/105V	CE8^{sq}-3C
2	50	30	IS-154	5	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C

L-W53 (HCU) (屋内自立型)

UPS 1φ3W 210/105V 25kVA LC-24

MCCB3P 225/125

P	AF	AT	負荷名称	負荷容量(KVA)	電圧	配線
2	50	30	IS-H51	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H52	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H53	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H54	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H55	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H56	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H57	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C
2	50	30	IS-H58	3	1φ2W210V	CE5.5^{sq}-2C

X-41 (自立形 ダクト付)

ACG3φ3W210V 別途工事 (別途工事)

X-42 (自立形 ダクト付)

ACG3φ3W210V 別途工事 (別途工事)

5 アイソレーションカート 製造者：美和医療電機株式会社

アイソレーションカート (LDR) 2台 (品番:MIS-30D)

UPS1φ2W200V

MCCB2P 50/20 TTR 200/100V 3kVA LMA EC

P	AF	AT	負荷名称	容量・仕様
2	50	20	コンセント	2P15A Eff x2、ETx2
2	50	20	コンセント	2P15A Eff x2、ETx2
2	50	20	コンセント	2P15A Eff x2、ETx2
2	50	20	コンセント	2P15A Eff x2、ETx2
2	50	20	コンセント	2P15A Eff x2、ETx2

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡 野 崇 加 藤 悟

令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

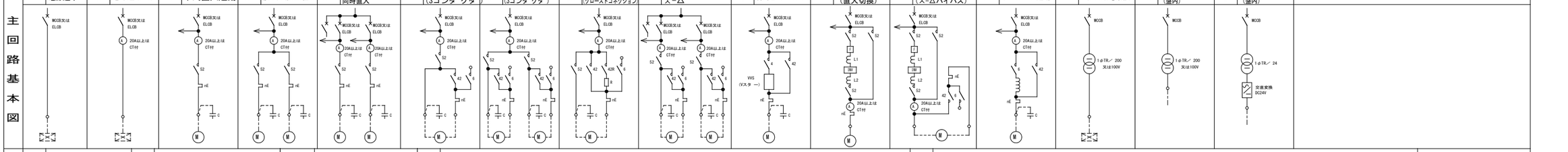
既設分電盤結線図リスト（参考図）

2023.03.
A1:NS
A3:NS

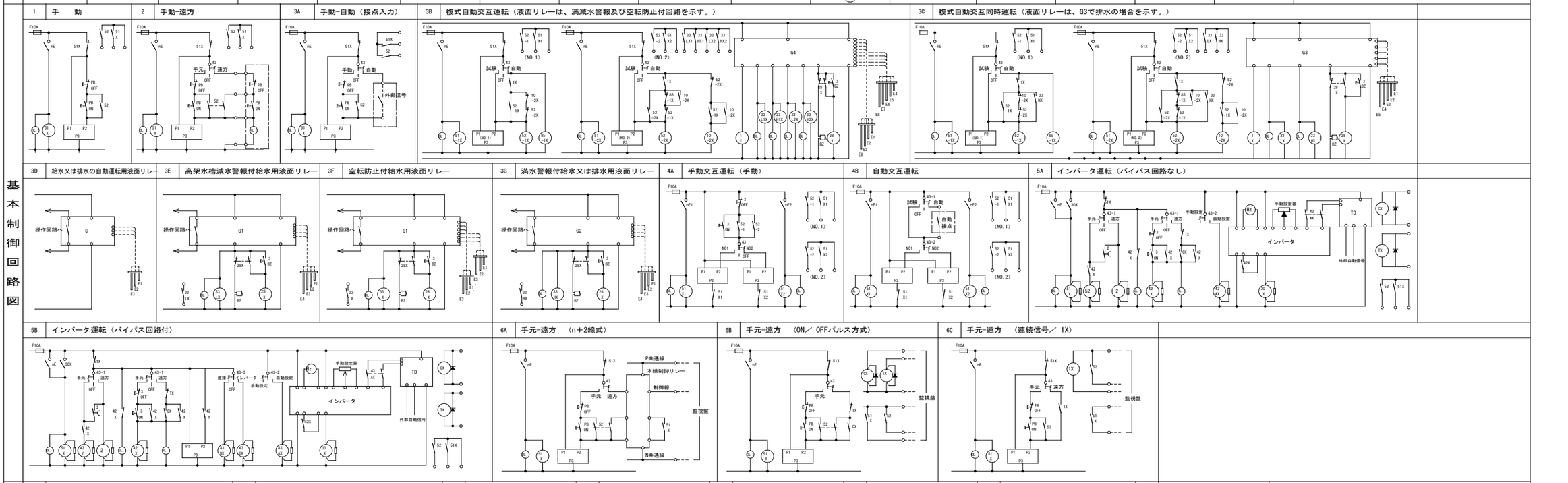
RE－005

動力制御盤代表結線図

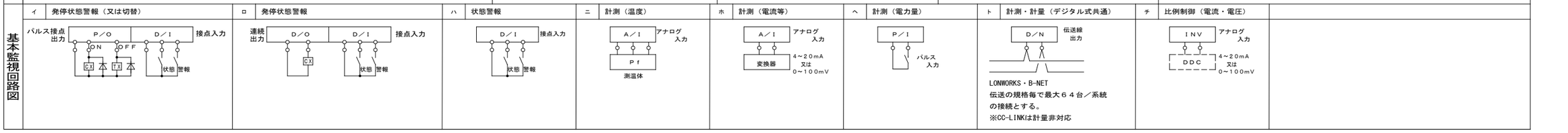
主回路基本図



基本制御回路図



基本監視回路図



■ 盤電源仕様・種別

電圧 ● 210V ○ 420V ○ 242V ○ 105V ○ 440V

周波数 ○ 50Hz ● 60Hz

■ 盤名称

1 - 5 P - 1 AG
- 電源種：A（商用）G（発電）D（直流）U（UPS）C（CVCF）
- 盤番号：数字
- 盤種別 P：動力盤 LP：電灯動力盤 S：手元開閉器盤
- 階 B1：地下一階 1：一階 P：PH階 R：R階
- 区 分：所属変電所（省略可）

■ 盤面及び盤内部主要結線部にはアクリル板にて盤名称・負荷名称を取付ける事。

■ 特記無き機器接続部は下記配管を機側より1m程度計上する事。

E 31 及び G 28 は（F 30）を計上とする。　E 63 及び G 70 は（F 63）を計上とする。
E 39 及び G 36 は（F 38）を計上とする。　E 75 及び G 82 は（F 76）を計上とする。
G 42 は（F 38）を計上とする。　G 82 は（F 83）を計上とする。
E 51 及び G 54 は（F 50）を計上とする。　G 92・104 は（F 101）を計上とする。

■ 連動とインターロック

連動 送り ― 受け ←　インターロック 送り ― 受け ←┐

■ 盤凡例特記事項 （ ● 印を本工事に適用する）

	項目	標準
盤形状・仕様	形状	① 埋込形 ② 壁掛形 ③ 自立形 ④ 屋外壁掛形 ⑤ 屋外自立形 ⑥ 屋外自立転倒防止架台付形
	把手・錠	● 埋込型　● 有　○ 指定鍵形状・番号（220番）
	面体・塗装	● 鋼板製　○ ＳＵＳ製　○ 屋外盤は溶融亜鉛溶射 ○ 指定色　● カチオン電着塗装下地 ● 一般屋外塗装　○ 沿岸部（内海）：耐塩塗装　○ 沿岸部（外海）：重耐塩塗装か亜鉛メッキ
	扉開き	● ８００Hまで片開き　● デッドフロントタイプ
	耐熱盤仕様	○ 一種耐熱盤　○ 二種耐熱盤
制御回路	電源表示灯	● 幹線系統毎に共用
	監視・制御電源	● 1φ200V　● DC24V（系統毎に小勢力変圧器を設ける）　● 幹線系統毎共用
	電極	○ 汚水・雑排水槽はフロート（FS）　○ 左記以外は電極（LF）

	項目	標準
主回路	主開閉器	● 主幹ブレーカーを取付ける。（図示）○ 主幹ブレーカーを取付けない。
	漏電保護	● ポンプ・換気・空調器・屋外機器　○ 400V機器　● ELCB特性は30mA 0.1秒
	保護装置	● THRYは2要素（2E）ポンプ類は3要素（3E）
	進相コンデンサ	● コンデンサは取付けない。
	インバーター	○ ACL内蔵　○ DCL内蔵　○ ラインフィルター　○ ラジオノイズフィルター
	ﾑｰΔ起動	● ポンプ15kW以上（200V）　○ ポンプ45kW以上（400V） ● ファン11kW以上（200V）　○ ファン37kW以上（400V）
	電力量計・計器	○ 検定付　○ アナログ型　○ デジタル型　○ パルス発信付　● B-NET　※計器は出力無
	ＳＰＤ	● 取付ける　○ 取付けない○ SPD-Ⅰ　● SPD-Ⅱ

盤回路特記	配線接続用端子台及び絶縁抵抗測定用接地端子を設けること。
	付加機能記号 【△】警報　【□】計測　【■】計量　【○】状態表示　【●】操作
	盤面故障警報・監視点数表記は"n"表記数字を計上数とする。
	空調室外機用漏電遮断器の感度電流値は機器決定後、再度メーカ仕様書により確認のこと。
	遠方用押釦スイッチは作動表示ランプ付を設定する。

機器凡例	新 デジタル電力量計（電力量計機能は特記参照）CT付変流比は図示
	ＴＳ　特記無き盤内タイマーはデジタル式年間スケジュールタイマー内蔵式とする。
	ＳＰＤクラスⅠ　内部雷保護システム（10／350μＳ Imax 40KA）
	ＳＰＤクラスⅡ　内部雷保護システム（8／20μＳ Imax 20KA）　特記無き分岐回路雷保護はクラスⅡ
	盤保護用主幹取付のＳＰＤはクラスⅠは225AF遮断機保護・クラスⅡは50AF遮断機保護とする。

■ 三相誘導電動機の分岐回路構成表

定格出力	200V					400V				
(kW)	定格電流 (A)	始動方式	負荷容量 (VA)	配線用遮断器 (AF/AT)	配線サイズ (sq)	定格電流 (A)	始動方式	負荷容量 (VA)	配線用遮断器 (AF/AT)	配線サイズ (sq)
0.2	1.8	直入	0.6	50／15	3.5	0.9	直入	0.6	50／15	3.5
0.4	3.2	直入	1.1	50／15	3.5	1.6	直入	1.1	50／15	3.5
0.75	4.6	直入	1.6	50／15	3.5	2.3	直入	1.6	50／15	3.5
1.5	8.0	直入	2.8	50／30	3.5	4.0	直入	2.8	50／15	3.5
2.2	11.1	直入	3.9	50／30	3.5	5.5	直入	3.9	50／20	3.5
3.7	16.8	直入	5.8	100／60	3.5	8.4	直入	5.8	50／30	3.5
5.5	24.6	直入	8.5	100／75	5.5	12.3	直入	8.5	50／40	3.5
7.5	34.0	直入	11.8	225／125	14	17.0	直入	11.8	100／60	3.5
11	48.0	Y－△	16.7	225／125	14	24.0	直入	16.7	100／75	5.5
15	64	Y－△	22.2	225／150	22	32.0	直入	22.2	100／100	8
18.5	79	Y－△	27.4	225／175	38	39.5	直入	27.4	225／125	14
22	92	Y－△	31.9	225／200	38	46.0	直入	31.9	225／125	14
30	124	Y－△	43.0	400／300	60	62.0	直入	43.0	225／125	22
30						62.0	Y－△	43.0	225／150	22
37	152	Y－△	52.7	400／350	100	76.0	Y－△	52.7	225／175	38
45	190	Y－△	65.9	600／500	100	95.0	Y－△	65.9	225／225	38
55	228	Y－△	79.0	600／500	150	114.0	Y－△	79.0	400／250	60
75	——	——		——	——	155.0	Y－△	107.4	400／350	100
90	——	——		——	——	180.0	Y－△	124.7	400／400	100
110	——	——		——	——	220.0	Y－△	152.4	600／500	150

● 注 記

1. 配線サイズは盤周辺に電動機が設置される場合に適用する。
2. 電動機以外の機器は各仕様書による。
3. この表は直入・Ｙ－△始動型に適用する。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　崇　　加　藤　悟

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE－006
動力制御盤代表結線図	A1:NS A3:NS	

盤名称・形状 幹線番号・電圧 盤結線	負荷			配線				分岐回路・制御回路									中央監視							盤面				備考
	負荷記号	負荷名称	容量 kW (kVA)	回路	配線サイズ		配管	分岐開閉器詳細					主回路	制御回路	連動又はインターロック	監視回路	操作	設定	状態	警報	故障	計量	計測	状態	故障	警報音	移報	
								MCB	ELB	極数	AF	AT																
P-W42-1 ②																												
3Φ3W 200V PL F MCCB3P 225AF/ 125AT		主開閉器						○		3																		
	PAC-1	空調室外機	4.97		CE 8 sq-3C	E 2.0 sq	(G 28)		○	3	50	30	A															
	PAC-2	空調室外機	4.40		CE 8 sq-3C	E 2.0 sq	(G 28)		○	3	50	30	A															
	PAC-3	空調室外機	5.35		CE 8 sq-3C	E 2.0 sq	(G 28)		○	3	50	30	A															
	PAC-1A	空調室内機	0.52		CE 3.5 sq-2C	E 2.0 sq	(E 25)		○	2	50	20	A															
	PAC-1A	空調室内機	0.52		CE 3.5 sq-2C	E 2.0 sq	(E 25)		○	2	50	20	A															
	FFU	ファンフィルターユニット	1.00		CE 3.5 sq-2C	E 2.0 sq	(E 25)		○	2	50	20	A															
合計 16.76 kW 00.0 kVA																												

盤名称・形状 幹線番号・電圧 盤結線	負荷			配線			分岐回路・制御回路									中央監視							盤面				備考
	負荷記号	負荷名称	容量 kW (kVA)	回路	配線サイズ	配管	分岐開閉器詳細					主回路	制御回路	連動又はインターロック	監視回路	操作	設定	状態	警報	故障	計量	計測	状態	故障	警報音	移報	
							MCB	ELB	極数	AF	AT																	

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇 加藤 悟

令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

2023.03.

動力制御盤結線図

A1:NS
A3:NS

RE－007

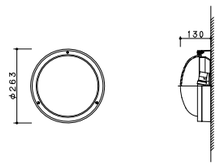
1	照明器具リスト	―	

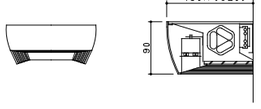
器具名称	記 号	仕 様	ラ ン プ	安定器	調光	指定色	型 番 （製造者）	備 考
埋込形下面開放	A162	FRS15 ― 162PH9	FHF16EX-N-HX2	PH			FSA22668A+FSA22669A PH9 （松下電工）	連結箇所有
	A321	FRS15 ― 321PH9	FHF32EX-N-H	PH			XF318BA （松下電工）	連結箇所有
	A322	FRS15 ― 322PH9	FHF32EX-N-HX2 （注）	PH			FAH870A PH9 （松下電工）	連結箇所有
	A322d	FRS15 ― 322	FHF32EX-N-HX2＋非常用LDS100V40W・CX1 （注）				FSAH42666A（FSA42666A PH9加工） （松下電工）	
埋込型カバー付	B321		FHF32EX-N-H	PH			XF312DA PH9 （松下電工）	
	B322		FHF32EX-N-HX2 （注）	PH			FAH870A PH9 （松下電工）	連結箇所有
	B322c	FRS15F1 ― 322PD2	FHF32EX-N-HX2	PD	調光		FSA42666A PD（200V） （松下電工）	連結箇所有　調光：5～100%
	B322w		FHF32EX-W-HX2 （注）	PH			JHX42678A PH9 （松下電工）	
	B322wd		FHF32EX-W-HX2＋非常用LDS100V40W・CX1 （注）				JHXH42678A（JHX42678A PH9加工） （松下電工）	
	B323		FHP32ENX3	MS			NFUX33734A MS9 （松下電工）	
	B324		FHP32ENX4	MS			NFUX34734A MS9 （松下電工）	
	B851		FHD85ENW	PN			FHC81693A PN9 （松下電工）	
	B851c		FHD85ENW	PX	調光		FHC81683A PX9 （松下電工）	調光：30～100%
	Ba322		FHF32EX-N-HX2	VPH			XF328GPA VPH9 （松下電工）	
	Ba322d		FHF32EX-N-HX2＋非常灯用LDS100V40W・CX1				FSAH42662A(FSA42662A VPH9加工)（松下電工）	
	BK322		FHF32EX-N-HX2	PD			JSFH42855A(JSF42855A VPH9加工)（松下電工）	連結
	BK322c		FHF32EX-N-HX2	PD	調光		JSFH42855A(JSF42855A VPH9加工) （松下電工）	クリーンルーム用、連結、調光：5～100%
埋込型ルーバー付	C162	FRS15L5 ― 162PH1	FHF16EX-N-HX2	PH			FSA22668A PH9 （松下電工）	
	C322	FRS15L5 ― 322PH9	FHF32EX-N-HX2	PH			FAH870A PH9 （松下電工）	連結
	C322c	FRS15L5 ― 322PD2	FHF32EX-N-HX2	PD	調光		XF323CBA PD（200V） （松下電工）	調光：5～100%
	C323		FHP32ENX3	MS			NFUX33765A MS9 （松下電工）	注)一括対応のため、ランプは対不対ともAとすべて算します。
	C453		FHP45ENX3	PN			NFUX53765A PN9 （松下電工）	注)一括対応のため、ランプは対不対ともAとすべて算します。
	Ea322		FHF32EX-WW-HX2	PH			FSA42549K PH9 （松下電工）	
逆富士形	F321	FSS9 ― 321VPH1	FHF32EX-N-H （注）	VPH			FSA41038F VPH9 （松下電工）	
	F322	FSS9 ― 322PH9	FHF32EX-N-HX2	PH			FAH810F PH9 （松下電工）	
	F322d	FSS9 ― 322VPH9	FHF32EX-N-HX2＋非常灯用LDS100V40W・CX1	VPH			FSB42001F VPH9 （松下電工）	
	F321w	FSS9 ― 322PH9	FHF32EX-N-H	PH			FSW41001A PH9 （松下電工）	
	F322w	FSS9MP ― 322PH9	FHF32EX-N-HX2 （注）	PH			FSW42001A PH9 （松下電工）	
	F322wd	FSS9MP ― 322	FHF32EX-N-HX2＋非常灯用LDS100V40W・CX1 （注）	PH			FSWH42001A(FSW42001A PH9加工) （松下電工）	
殺菌灯	Ga61w		6形殺菌ランプ（GL-6）X1	GL			FW01992Z GL（100V） （松下電工）	直付
	G61w		6形殺菌ランプ（GL-6）X1	GL			FW01999Z GL（100V） （松下電工）	パイプ吊
病室灯	H322		FHP45ENX1＋FL20SS・EX-N/18X1＋5形丸環球灯（110V5W）	SPN			FHU51873F SPN（100V） （松下電工）	
標示灯	I11	FPL1 ― 101	FL10NX1	EL			FAI1910 EL（100V） （松下電工）	文字：使用中
	Ia11		FL10WX1	EL			FAI1928 EL（100V） （松下電工）	文字：使用中
反射笠付	K161		FHF16EX-N-H	PH			FSA21230F PH9 （松下電工）	
	K321	FSR2 ― 321PH9	FHF32EX-N-H	VPH			FSA41230F VPH9 （松下電工）	
	K321w	FSR2MPA ― 321PH9	FHF32EX-N-H	PH			FSW41221Z PH9 （松下電工）	
	K322	FSR2 ― 322PH9	FHF32EX-N-H	PH			FAH830F PH9 （松下電工）	
	K322d	FSR2 ― 322PH9	FHF32EX-N-HX2＋非常灯用LDS100V40W・CX1	VPH			FSB42219F VPH9 （松下電工）	
ミラー灯	Ma21		FL20SS・ENW/18X	EL			HW2621 EL（100V） （松下電工）	
棚下灯	Na21		FL20SS・ENW/18X	EP			HW2837 EP（100V） （松下電工）	
	Rk322w		FHF32EX-N-H	PH			JHX42821A PH9 （松下電工）	クリーンルーム用
	Rk322wd		FHF32EX-N-H				JHXH42821A（JHX42821A PH9加工） （松下電工）	クリーンルーム用
トラフ形	T161		FHF16EX-N-H	PH			FSA21030F PH9 （松下電工）	
	T21	FSS1 ― 201GL	FL20SS・W/18	GH			FA21032F GH（100V） （松下電工）	
	T321	FSS8 ― 321PH9	FHF32EX-N-H	PH			FAH820 PH9 （松下電工）	
	Tb321			PS			FHU31065F PS9 （松下電工）	コーブ照明用
ウォール灯	W201w		FL20SS・W/18	GL			FW21825Z GL（100V） （松下電工）	
	W321w		FHF32EX-N-H	PH			FSW41835Z PH9 （松下電工）	
	Wm201D		FL20SS・EX-N/18	EL			FS21803 EL（100V） （松下電工）	
誘導灯	Xa20BD	SH1-FRF20P-BL	CF200T4ENX1	ENL			本体：SAH635J ENL（100V） （松下電工）	避難口誘導灯、片面形、BL形
	Xb20BD	ST1-FRF23P-BL	CF200T4ENX2	ENL			本体：SAH636J ENL（100V） （松下電工）	通路誘導灯、両面形、BL形
	Xd321D		FHF32EX-N-H	PX			FSS41818 PX9 （松下電工）	階段非常照明、センサ付30%減光
	Xf20BD	SH1-FRF20PF-BL	CF200T4ENX1	ENL			本体：FA20172 ENL（100V） （松下電工）	避難口誘導灯、キセノンランプ付
	Xh10BD		CF130T4EN/CX1	ENL			本体：SAH621J ENL（100V） （松下電工）	通路誘導灯、片面形、直付
	Xh20BD		CF200T4EN/CX1	ENL			本体：SAH624J ENL（100V） （松下電工）	通路誘導灯、両面形、直付形
	Xi20BD		CF200T4EN/CX1	ENL			本体：SAH623J ENL（100V） （松下電工）	避難口誘導灯、片面形、直付形
	Xj20BD		CF200T4ENX1	ENL			本体：SAH635J ENL（100V） （松下電工）	通路誘導灯、片面形、埋込形
	Xk20BD		CF200T4ENX2	ENL			本体：SAH636J ENL（100V） （松下電工）	避難口誘導灯、両面形、埋込形
	XI20BD		CF200T4ENX1	ENL			本体：SAH635J ENL（100V） （松下電工）	避難口誘導灯、片面形、埋込形
ダウンライト	a42		DULUXT/E FHT42EX-N				NAH187K （松下電工）	
	a32	FRS23 ― H321	FHT32EX-N				NAH186K （松下電工）	
	a24	FRS23 ― H241	FHT24EX-N				NAH186K （松下電工）	
	aa32		FHT32EX-N	ENM			NFT31728K ENM （松下電工）	ウォールウォッシャー形
	ab24		FHT24EX-N	ENM			NFT21791Z ENM （松下電工）	病室用
	a32N		FHT32EX-N	ENM			NFMS41603F ENM （松下電工）	センサー付、ON／OFF形
	a24N		FHT24EX-N	ENM			NFMS41603F ENM （松下電工）	センサー付、ON／OFF形
	a32w	FRF8RP ― H321	FHT32EX-N	ENM			NFM41709K ENM （松下電工）	軒下用
非常照明	a4d	KO-IRS5 ― 40	LDS100V40W・C				SAH411 （100V） （松下電工）	電源別置
	ak4d		LDS100V40W・C				NFMXH41777（NFMX41777 ENM加工） （松下電工）	クリーンルーム用、電源別置
	k4d	KO-ISS5	LDS100V40W・C				FK41230F （松下電工）	電源別置
	na6wd		LDS110V54W・W・K				LW96500 （松下電工）	電源別置

器具名称	記 号	仕 様	ラ ン プ	安定器	調光	指定色	型 番 （製造者）	備 考
ブラケット	b18w		FDL18EX-N			C19-30D	K4302B(B3KK-02B6-1B) （ヤマギワ）	指定色
シーリング	c31w		FCL30EL/28X	EL			NFX31622 EL（100V） （松下電工）	
ブラケット	d32		FHT32EX-N ＋ 高輝度LED二灯100V約1.6W				K5016W（88KB-03G5-2W） （ヤマギワ）	
常夜灯	e2		LED内蔵 LED（電球色タイプ）8個 0.83W（AC100V）		調光		NNN21696 （松下電工）	調光機能付：0～100%
	fa12		EFD15EL/12/E17	E			NF11738F E（100V） （松下電工）	
ベッドライト	ga12		EFA15EL/12/E17				本体：ST235＋コード：STH235＋金具：FK60110（松下電工）	
パトライト	m38		m38				XM-100R（100V） （パトライト）	
スポットライト	s6		JD110V65W・NP/E-W（100形）				本体：NL82693W（100V）＋ミラー：NK01927 （松下電工）	
誘導灯信号装置		3線式					FF90053K （松下電工）	キセノン点滅用

H	病室灯		b	ブラケット		d	ブラケット	
H322	FHP45WX1+FL20WX1+5形丸環球灯	FHU51873F SPN（松下電工）	b18w	FDL 18WX1	K4302B（ヤマギワ）	d32	FHT32WX1+LED1.6W	K5016W（ヤマギワ）
		2回路分け			C19-30D（日塗工）			2回路分け







f	ダウンライト	
fa12	EFD15形(EFD15/12/E17)X1	NF11738F E（100V）（松下電工）



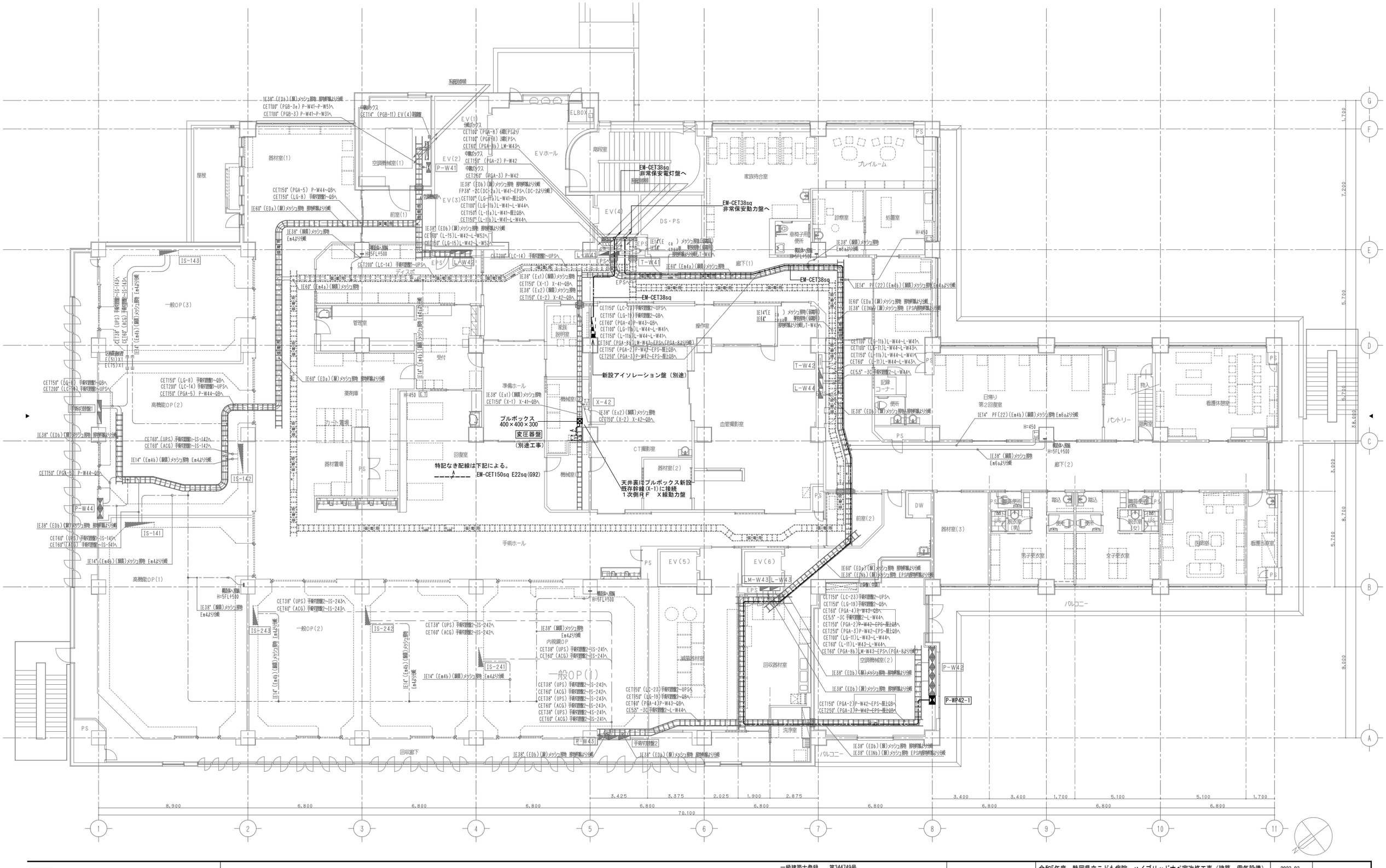
（注記）
1． 表中のランプ欄こ （注） 表示のある器具で、 厨房内 に取付たものはランプ色を下記のように変更した。
標準：3波長形昼白色（5000K） FHF32EX-N-H → 3波長形白色（4200K） FHF32EX-W-H

ランプ形式・品番はＬＥＤに置き換えとする。

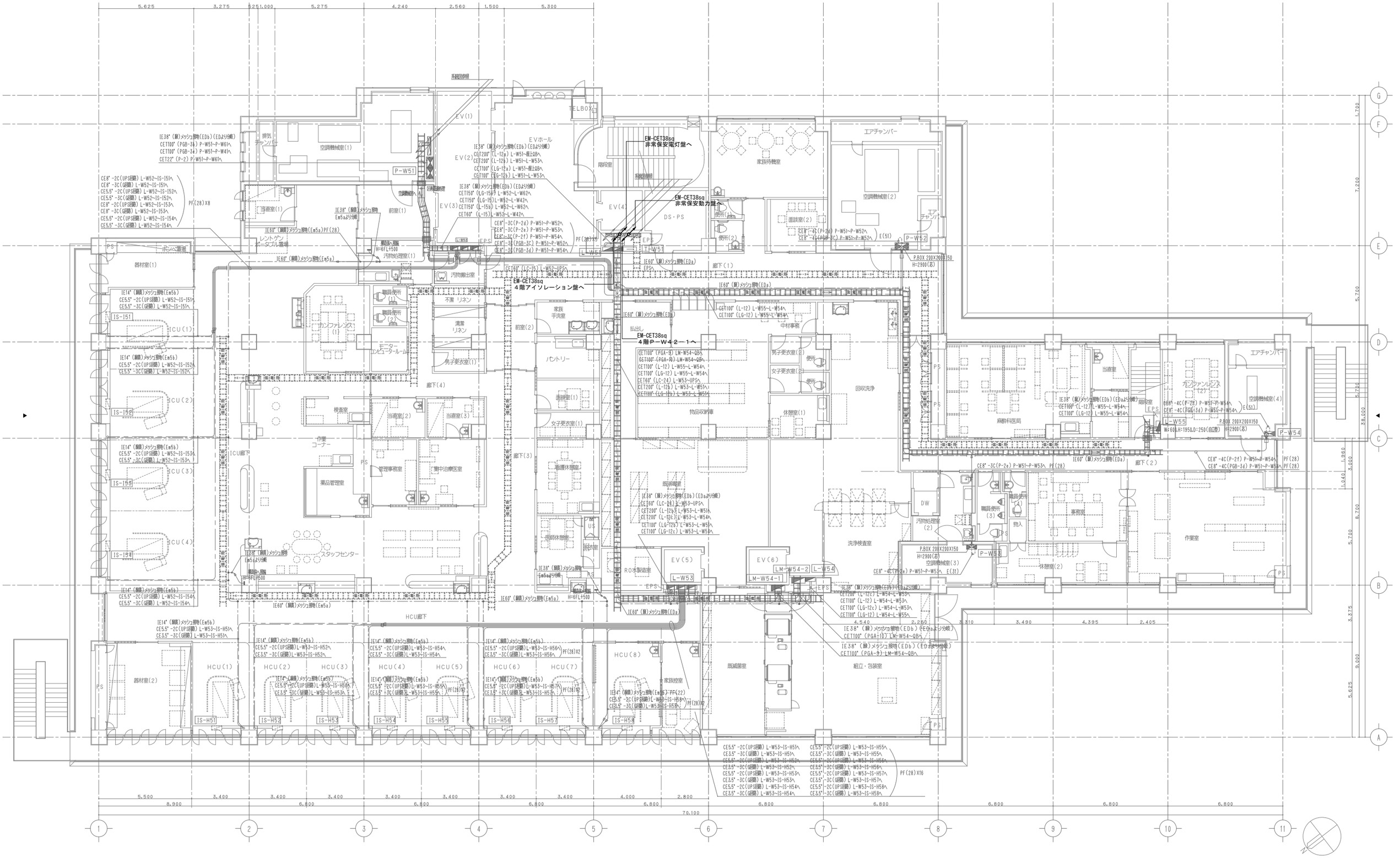
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

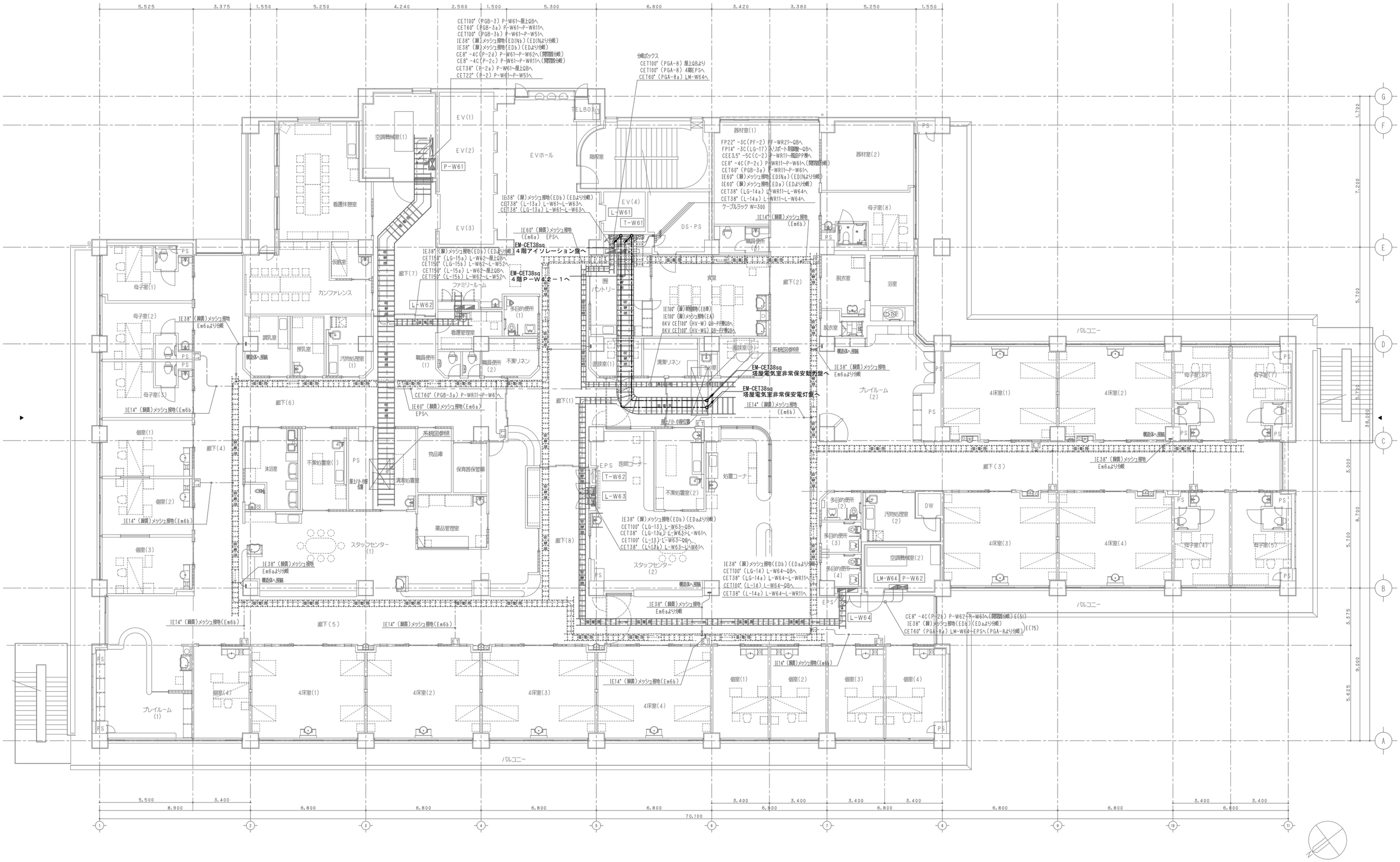
一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡 野 崇 加 藤 悟

令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE － 008
既設照明器具リスト（参考図）	A1:NS A3:NS	



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　　崇　　加　藤　　悟		令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023. 03.	RE － 009
			幹線設備　4階平面図	A1：1/100 A3：1/200	


EV(1)
EV(2)
EV(3)
EV(4)
EV(5)
EV(6)
EVホール
TELBOX
階段室
EM-CET38sq
非常保安電灯盤へ
EM-CET38sq
非常保安動力盤へ
EM-CET38sq
4階アイソレーション盤へ
払出し
EM-CET38sq
4階P－W42－1へ
P-W51
P-W52
P-W53
P-W54
P-W55
L-W51
L-W52
L-W53
L-W54
L-W55
LM-W54-1
LM-W54-2
P.BOX 200X200X150
H=2900(壁)
P.BOX 200X200X150
W=600,H=1950,D=250(自立型)
PF(28)X8
PF(28)X16
PF(28)X2
PS
EPS
DS・PS
DW
US
RO水製造室
ICU廊下
HCU廊下
廊下(1)
廊下(2)
廊下(3)
廊下(4)
器材室(1)
器材室(2)
ICU(1)
ICU(2)
ICU(3)
ICU(4)
HCU(1)
HCU(2)
HCU(3)
HCU(4)
HCU(5)
HCU(6)
HCU(7)
HCU(8)
IS-151
IS-152
IS-153
IS-154
IS-H51
IS-H52
IS-H53
IS-H54
IS-H55
IS-H56
IS-H57
IS-H58
ナースステーション
スタッフセンター
ホンヘ置場
レントゲン
ポータブル置場
汚物処理室(1)
汚物処理室(2)
汚物搬出室
不潔 リネン
清潔 リネン
職員便所(2)
職員便所(3)
職員便所(4)
職員便所(5)
検査室
作業コーナー
管理事務室
第1治療医室
薬品管理室
当直室(1)
当直室(2)
当直室(3)
前室(1)
前室(2)
家族待機室
家族手洗室
面談室(1)
面談室(2)
女子更衣室(1)
男子更衣室(1)
男子更衣室(2)
女子更衣室(2)
パントリー
モニターコンピュータールーム
コンファレンス(1)
コンファレンス(2)
中材事務
物品収納庫
休憩室(1)
回収洗浄
麻酔科医局
事務室
作業室
休憩室(2)
空調機械室(1)
空調機械室(2)
空調機械室(3)
空調機械室(4)
洗浄検査室
組立・包装室
既滅菌室
既滅菌室
エアチャンバー
排気チャンバー
エアシャワー
ガンファンレンス(2)
E(51)
E(31)
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
IE60*（線）メッシュ接地(EDa)
IE60*（線）メッシュ接地(Em5a)PF(28)
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE8*-2C(UPS線) L-W52~IS-I51へ
CE8*-3C(G線) L-W52~IS-I51へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I52へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I52へ
CE8*-2C(UPS線) L-W52~IS-I53へ
CE8*-3C(G線) L-W52~IS-I53へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I54へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I54へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I51へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I51へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I52へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I52へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I53へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I53へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I54へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I54へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H51へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H52へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H52へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H53へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H53へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H54へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H54へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H55へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H55へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H56へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H56へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H57へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H57へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H58へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H58へ
CET100*（PGA-W）LM-W54~QB へ
CET100*（PGA-IN）LM-W54~QB へ
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
CET60*（LC-24）L-W53~UPSへ
CET200*（L-12b）L-W53~L-W51へ
CET200*（L-12b）L-W53~L-W54へ
CET100*（LG-12b）L-W53~L-W51へ
CET100*（LG-12c）L-W54~L-W53へ
CET100*（L-12）L-W54~L-W53へ
CET100*（LG-12）L-W54~L-W55へ
CE8*-4C(P-2d) P-W51~P-W52へ
CE8*-4C(PGB-3C) P-W51~P-W52へ
CE8*-3C(P-2e) P-W51~P-W53へ
CE8*-3C(P-2f) P-W51~P-W54へ
CE8*-3C(PGB-3C) P-W51~P-W52へ
CE8*-3C(PGB-3A) P-W51~P-W54へ
CE8*-4C(P-2f) P-W51~P-W54へ
CE8*-4C(PGB-3A) P-W51~P-W54へ
CE8*-4C(P-2e) P-W51~P-W52へ
CE8*-4C(P-2e) P-W51~P-W53へ
CE8*-4C(P-2f) P-W51~P-W54へ
CE8*-4C(PGB-3A) P-W51~P-W54へ
CE8*-3C(P-2e) P-W51~P-W53へ
CE8*-4C(P-2e) P-W51~P-W53へ
CE8*-4C(PGB-3A) P-W51~P-W54へ
CE8*-4C(P-2f) P-W51~P-W54へ
CE8*-4C(PGB-3A) P-W51~P-W54へ
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（L-12）L-W54~L-W53へ
CET100*（LG-12c）L-W54~L-W53へ
CET100*（LG-12）L-W54~L-W55へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-IN）LM-W54~QB へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-W）LM-W54~QB へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET200*（L-12b）L-W53~L-W51へ
CET200*（L-12b）L-W53~L-W54へ
CET100*（LG-12b）L-W53~L-W51へ
CET100*（LG-12c）L-W53~L-W54へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET150*（LG-15）L-W52~L-W62へ
CET150*（LG-15）L-W52~L-W42へ
CET150*（L-15b）L-W52~L-W62へ
CET60*（L-15）L-W52~L-W42へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET150*（LG-15）L-W52~L-W62へ
CET150*（LG-15）L-W52~L-W42へ
CET150*（L-15b）L-W52~L-W62へ
CET60*（L-15）L-W52~L-W42へ
CET60*（LC-15）L-W52~UPSへ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-W）LM-W54~QB へ
CET100*（PGA-IN）LM-W54~QB へ
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
CET60*（LC-24）L-W53~UPSへ
CET200*（L-12b）L-W53~L-W51へ
CET200*（L-12b）L-W53~L-W54へ
CET100*（LG-12b）L-W53~L-W51へ
CET100*（LG-12c）L-W53~L-W54へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W54~L-W53へ
CET100*（LG-12c）L-W54~L-W53へ
CET100*（L-12）L-W54~L-W55へ
CET100*（LG-12）L-W54~L-W55へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-W）LM-W54~QB へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-IN）LM-W54~QB へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H51へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H51へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H52へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H52へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H54へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H54へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H56へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H56へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H55へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H55へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H57へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H57へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H58へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H58へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET60*（LC-24）L-W53~UPSへ
CET200*（L-12b）L-W53~L-W51へ
CET200*（L-12b）L-W53~L-W54へ
CET100*（LG-12b）L-W53~L-W51へ
CET100*（LG-12c）L-W53~L-W54へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W54~L-W53へ
CET100*（LG-12c）L-W54~L-W53へ
CET100*（L-12）L-W54~L-W55へ
CET100*（LG-12）L-W54~L-W55へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-IN）LM-W54~QB へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-W）LM-W54~QB へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54へ
IE60*（線）メッシュ接地(EDa)
IE60*（線）メッシュ接地(EDa)
IE60*（線）メッシュ接地(EDa)
IE60*（線）メッシュ接地(EDa)
IE60*（線）メッシュ接地(EDa)
IE60*（線）メッシュ接地(Em5a)
IE60*（線）メッシュ接地(Em5a)
IE38*（線）メッシュ接地(Em5a)より分岐
IE38*（線）メッシュ接地(Em5a)より分岐
IE38*（線）メッシュ接地(Em5a)より分岐
IE38*（線）メッシュ接地(Em5a)より分岐
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I51へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I51へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I52へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I52へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I53へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I53へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I54へ
CE5.5*-3C(G線) L-W52~IS-I54へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H51へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H51へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H52へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H52へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H54へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H54へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H56へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H56へ
PF(28)X2
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H55へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H55へ
PF(28)X2
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H57へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H57へ
PF(28)X2
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H58へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H58へ
PF(28)X2
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I51へ
CE3.5*-3C(G線) L-W52~IS-I51へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I52へ
CE3.5*-3C(G線) L-W52~IS-I52へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I53へ
CE3.5*-3C(G線) L-W52~IS-I53へ
CE5.5*-2C(UPS線) L-W52~IS-I54へ
CE3.5*-3C(G線) L-W52~IS-I54へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H51へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H51へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H52へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H52へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H54へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H54へ
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H56へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H56へ
PF(28)X2
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H55へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H55へ
PF(28)X2
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H57へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H57へ
PF(28)X2
IE14*（線）メッシュ接地(Em5b)
CE5.5*-2C(UPS線) L-W53~IS-H58へ
CE3.5*-3C(G線) L-W53~IS-H58へ
PF(28)X2
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-W）LM-W54~QB へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（PGA-IN）LM-W54~QB へ
IE38*（線）メッシュ接地(EDb)(EDaより分岐)
CET100*（L-12）L-W55~L-W54へ
CET100*（LG-12）L-W55~L-W54



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇 加藤 悟	令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023. 03.	RE－011
		幹線設備 6階平面図	A1:1/100 A3:1/200	

特記なき配線は下記による。
——・—— EM-CE3.5sq-2C E2.0

※図中×は撤去する配管・配線・器具を示す。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　　加藤　悟	令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE－012
		動力設備　西館　4階平面図【改修前】	A1:1/100 A3:1/200	

自動制御盤2
別途機械設備工事

特記なき配線は下記による。
EM-CE3.5sq-2C E2.0
8 EM-CE8sq-3C E2.0(G28)
EM-CE8sq-3C×3 E5.5sq(E63)

P-WP42-1
EM-CE8sq-3C×3 E5.5sq (E63)

凡例（種別）
：DR
：VC
：GB-D

：点検口
（450×450）
施工時調査用

電源供給 3-200V 4.4kW
電源供給 3-200V 4.97kW
電源供給 3-200V 5.35kW

PAC 1 PAC 2 PAC 3

8,900 6,800 6,800 6,800 6,800 6,800 6,800 6,800 6,800 6,800 6,800
70,100

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

A B C D E F G

1,700 7,200 5,700 2,800 4,700 8,700 9,000

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇 加藤 悟		令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.
			動力設備 西館 4階平面図【改修後】	A1:1/100 A3:1/200
				RE－013

天井内
カメラ用
2EG
2E
2EH
2EGH
AD
P
テンキー制御盤
電気錠制御盤
電気錠操作盤
[撤去]
仮設間仕切
XD 2
XD 3
LD 13
CR
操作室
-160 ±0
CH= 2600
前室1
±0 ±0
CH= 2925
2.015
LD-18
±0
変形説明室
±0 ±0
CH= 2600
燃械室(2)
±0 ±0
CH= 2600
燃械室(1)
±0 ±0
CH= 2600
器材室(1)
±0 ±0
CH= 2600
血管撮影室
-160 ±0
CH= 2,925
CT撮影室
-160 ±0
CH= 2,920
T-W42
L-W41
5.5
E25
E
2EG
2EH
2E
ETG
CT室
シート養生
日貼
検査時施錠管理
テンキー制御盤
医療ガス用
凡例
：建具記号
：壁撤去範囲を示す
P1
上階床
天井面
12.5+12.5
W
※GB-R 12.5mm
GB-R 12.5mm
日帰り回復室

特記なき配線は下記による。

5.5
—·—·—·— EM-IE5.5sq

—·—·—·— EM-EEF2.0-3C（1Cアース）

※図中 × は撤去を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇 加藤 悟

令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

コンセント設備 西館4階平面詳細図【改修前】

2023.03.
A1:1/30
A3:1/60

RE－014

新設アイソレーション盤
（別途工事）

メロディーサイン

L-W44
GC予備回路に接続

モールスイッチボックス2個用

モールスイッチボックス2個用

特記なき記号は下記による。		
記　号	名　称	備考
2EG	埋込ｺﾝｾﾝﾄ2P15A×2　G回路	新設
4EG	埋込ｺﾝｾﾝﾄ2P15A×4　G回路	新設

特記なき配線は下記による。

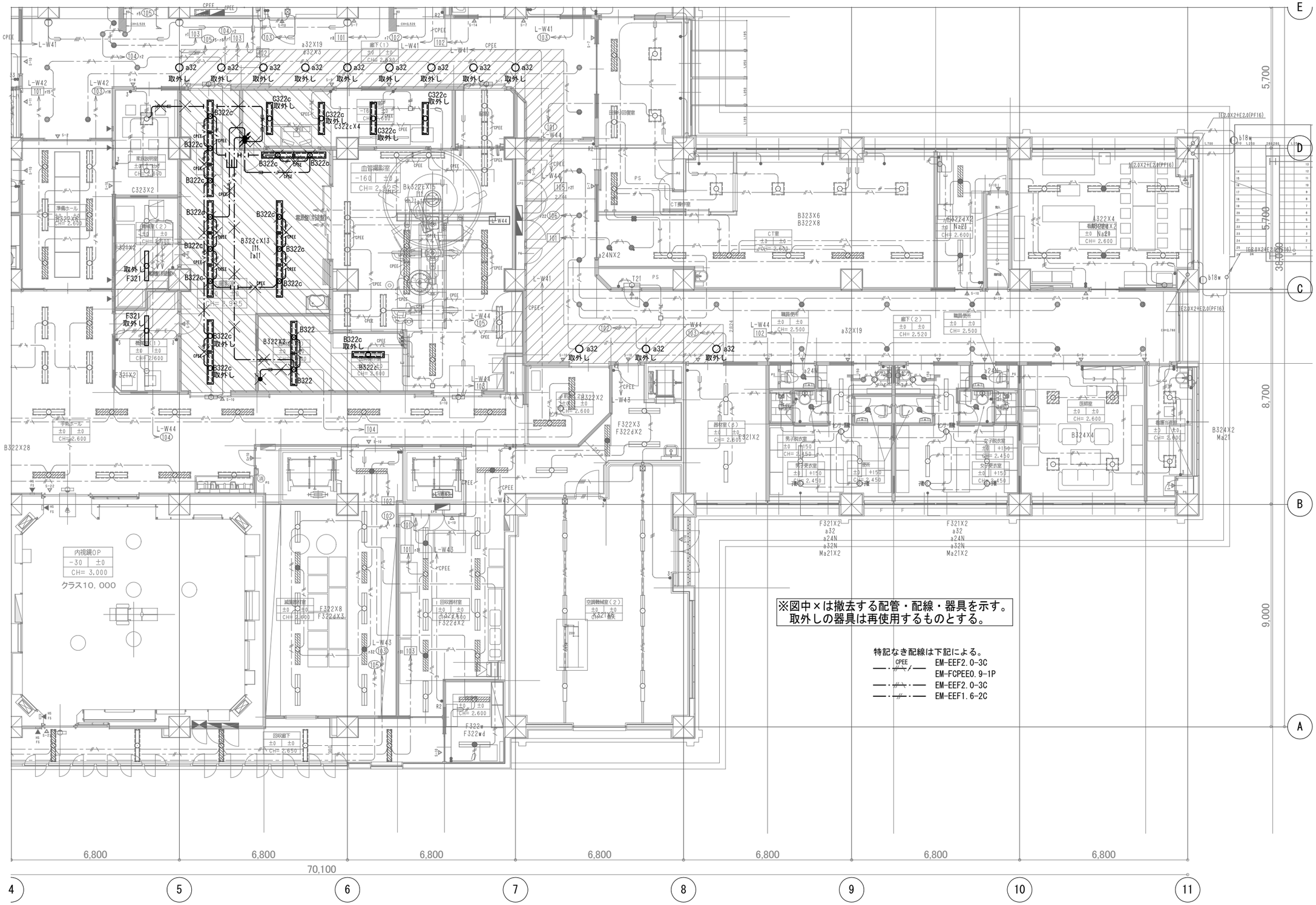
EM-EEF2.0-3C（1Cｱｰｽ）

EM-EEF2.0-3C(1Cｱｰｽ)(ﾒﾀﾙﾓｰﾙA)

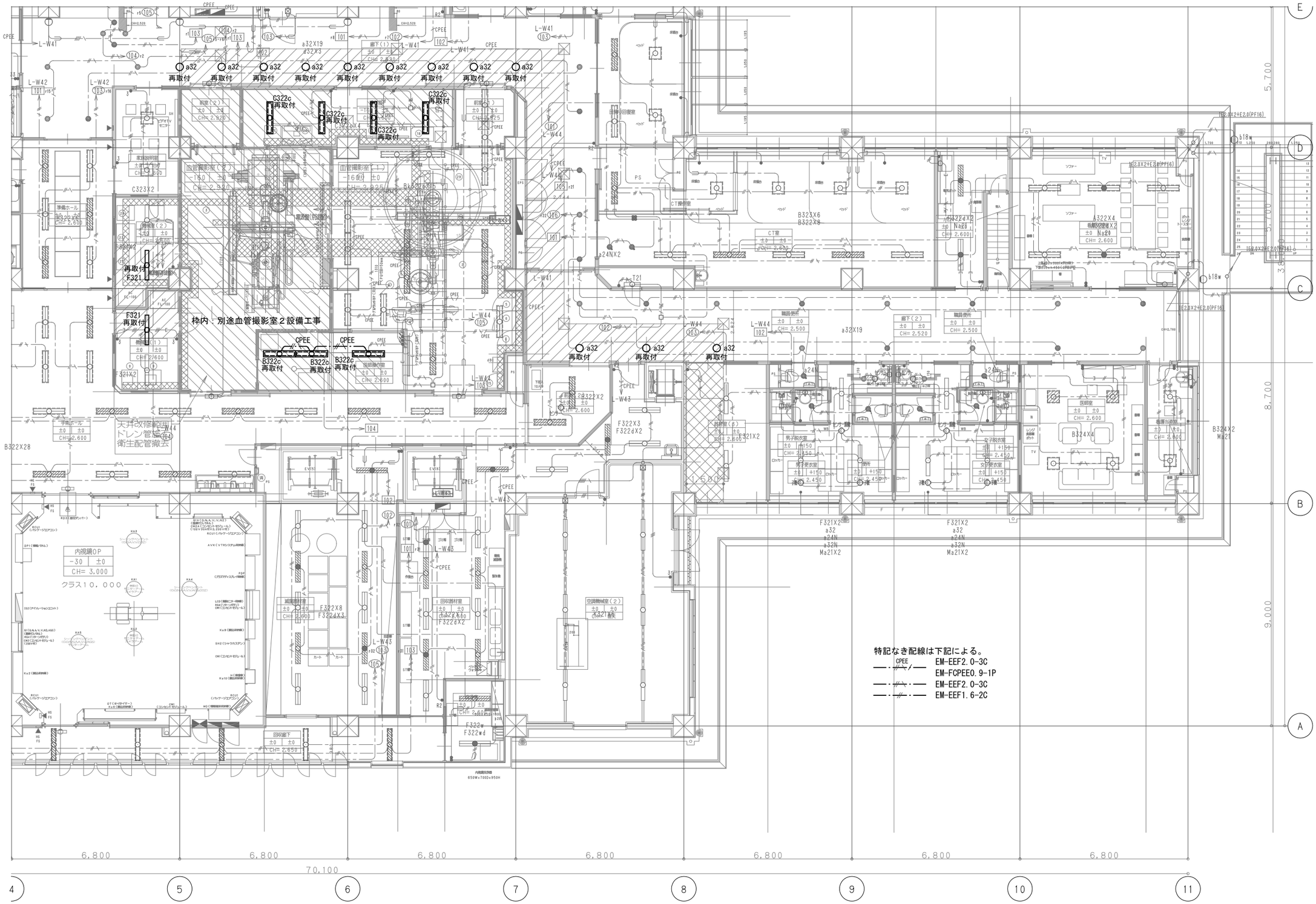
凡例

：建具記号

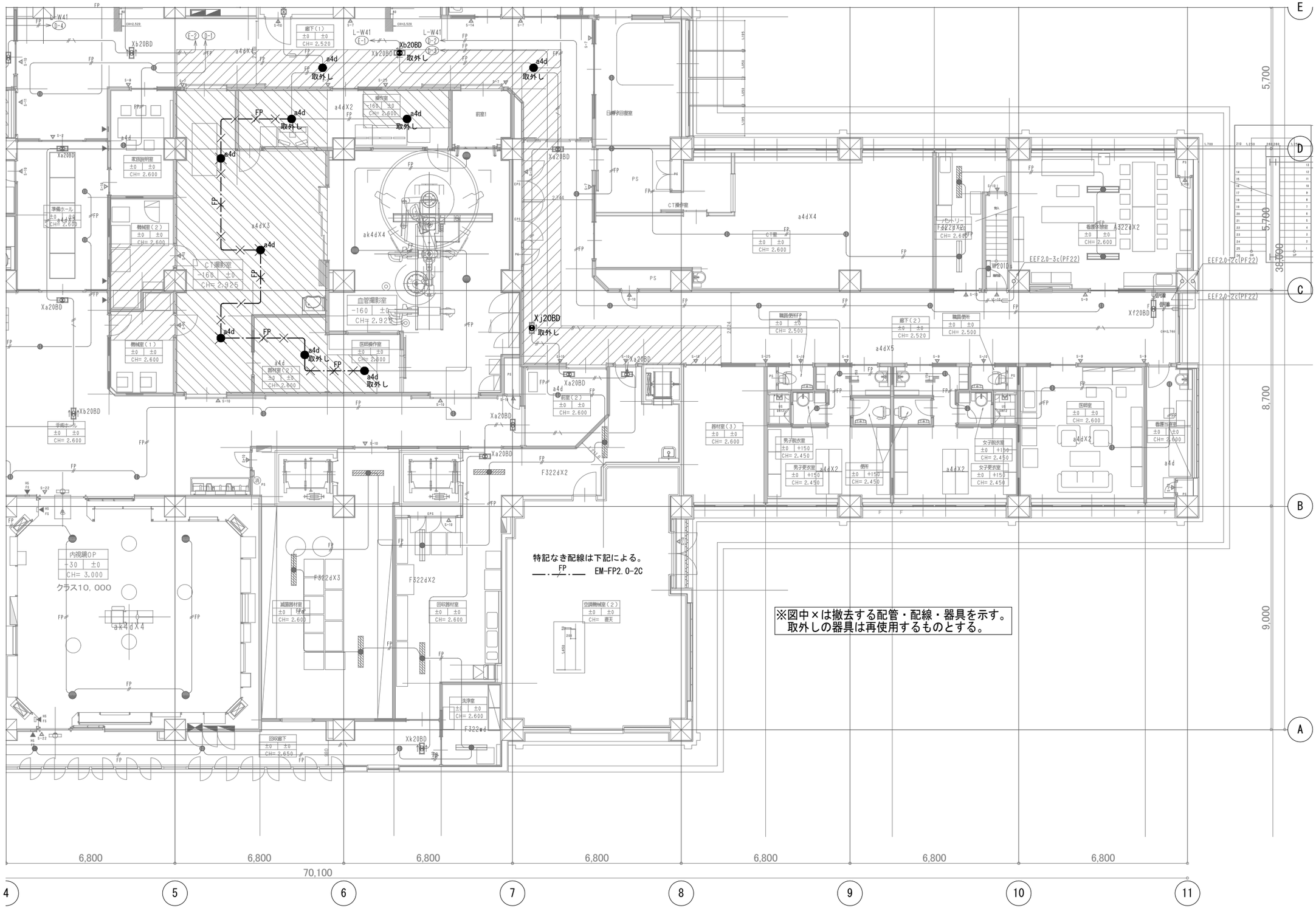
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　　加藤　悟	令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備） コンセント設備　西館4階平面詳細図【改修後】	2023.03. A1:1/30 A3:1/60	RE－015



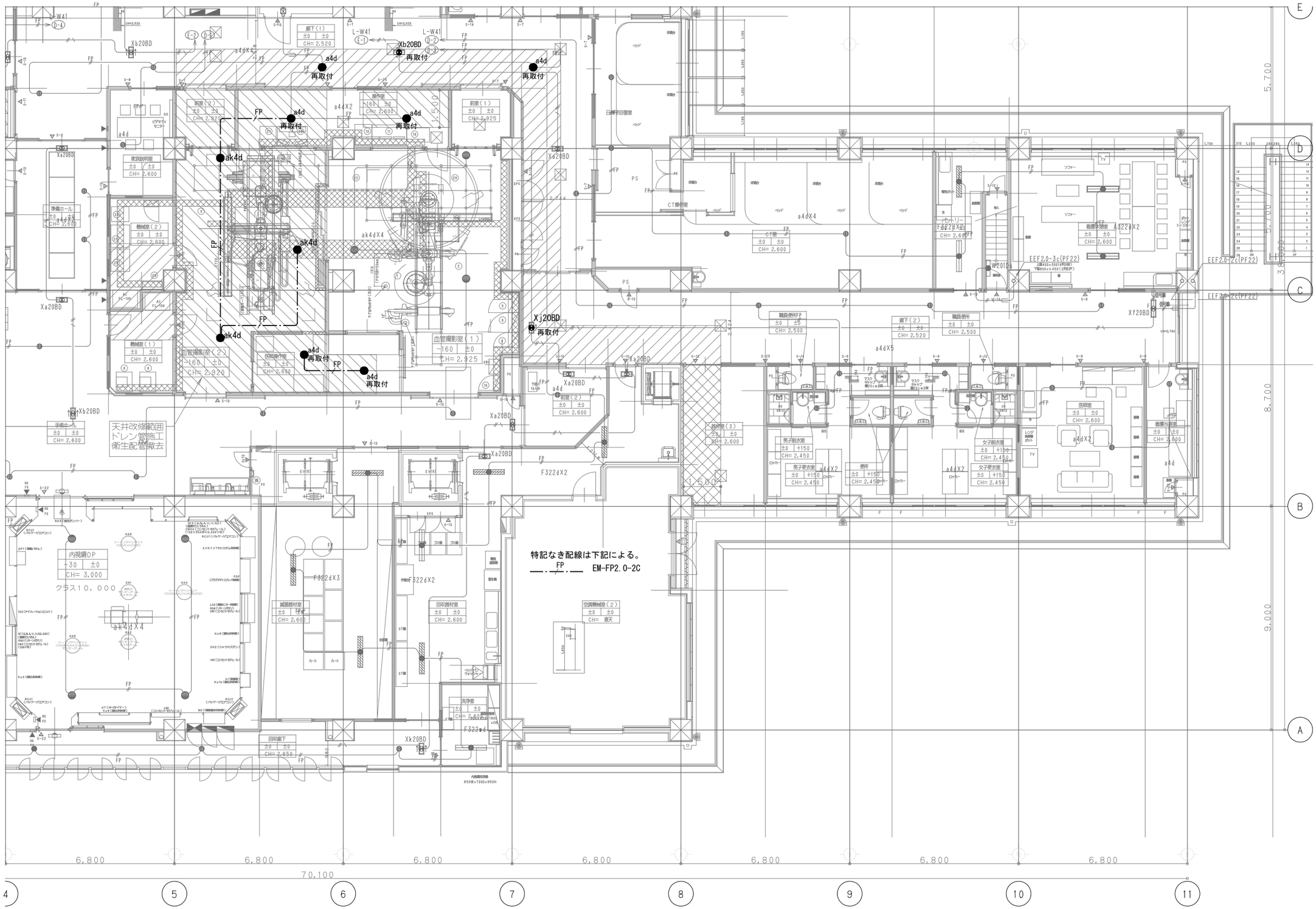
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇 加藤 悟		令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE－016
			電灯設備 西館 4階平面図【改修前】	A1:1/75 A3:1/150	



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇 加藤 悟		令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備） 電灯設備 西館 4階平面図【改修後】	2023.03. A1:1/75 A3:1/150	RE－017



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　　加藤　悟		令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備） 非常照明・誘導灯設備　西館　4階平面図【改修前】	2023.03. A1:1/75 A3:1/150	RE－018

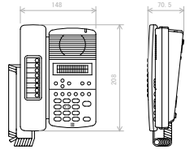


株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇 加藤 悟	令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE－019
		非常照明・誘導灯設備 西館 4階平面図【改修後】	A1:1/75 A3:1/150	

EM-EBT0.65-2P
EM-EBT0.65-2PX2
EM-EBT0.65-1PX2
EM-EBT0.65-2PX15
EM-EBT0.65-2PX2 (PF16)
仮設間仕切
C (PF16) X2X4
EM-EBT0.65-2P
EM-EBT0.65-2P
UTP・CAT5e
UTP・CAT5
監視カメラ①
(PF16)
(PF22)
EM-EBT0.65-1PX2
EM-EBT0.65-2PX1
機器スイッチ
(別途工事)
(PF22)
EM-EBT0.65-2P (PF16)
EM-EBT0.65-2P (PF16)
機器スイッチ
(別途工事)
(PF22)
2P
親
X2X2X2X2
直通
(PF22)
[撤去]
非常停止スイッチ
(別途工事)
非常停止スイッチ
(別途工事)
EM-5C-FB
EM-5C-FB
T-W42
EM-ICT0.65-1PX5
EM-ICT0.65-2PX4
EM-EBT0.65-1P (PF16)
(PF16)
(PF16)
家族説明室
±0 ±0
CH= 2600
血管撮影室
-160 ±0
CH= 2,925
シャーカステン
CT撮影室
-160 ±0
CH= 2,920
機械室(2)
±0 ±0
CH= 2600
機械室(1)
±0 ±0
CH= 2600
器材室(2)
±0 ±0
CH= 2600
萌室1
±0 ±0
CH= 2925
日帰り回復室
12.5+12.5
W
※GB-R 12.5mm
GB-R 12.5mm
天井面
上階床
シート養生
[取外]
廊下
CT室
PS
検査時施錠管理
目貼
シャーカステンW1495
H580 D80
カバープレート取付(以降別途工事)
(機器メンテナンス用)
[撤去]
LD 13
2.015 LD-18B ±0
2.015 LD-18A ±0
2.015 LD-18 ±0
仮設間仕切
EM-EBT0.65-2P (PF16) X4
EM-EBT0.65-2P
EM-EBT0.65-2P
EM-EBT0.65-2P
P1
x2x2 x2x2
凡例
：建具記号
：壁撤去範囲を示す
※参考図
取外し・撤去工事なし。

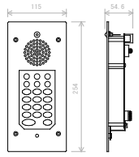
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇 加藤 悟	令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備） 弱電設備１ 西館4階平面詳細図【改修前】	2023.03. A1:1/30 A3:1/60	RE－020

INC-A　ＩＰインカム　多機能端末



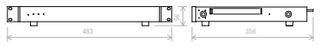
電源	ＤＣ４８Ｖ（交換機より供給）
配線方式	ツイストペア線　１対
伝送方式	２線１６０ｋｂｐｓエコーキャンセラー伝送方式
通話方式	ハンドセット／ハンズフリー通話兼用
通話帯域	３００Ｈｚ～７ｋＨｚ
表示	カナ、英数字（１６文字×２行　ＬＣＤ）
その他	ヘッドセット・外部スピーカー端子付

INC-B　ＩＰインカム　ハンズフリー壁埋込端末

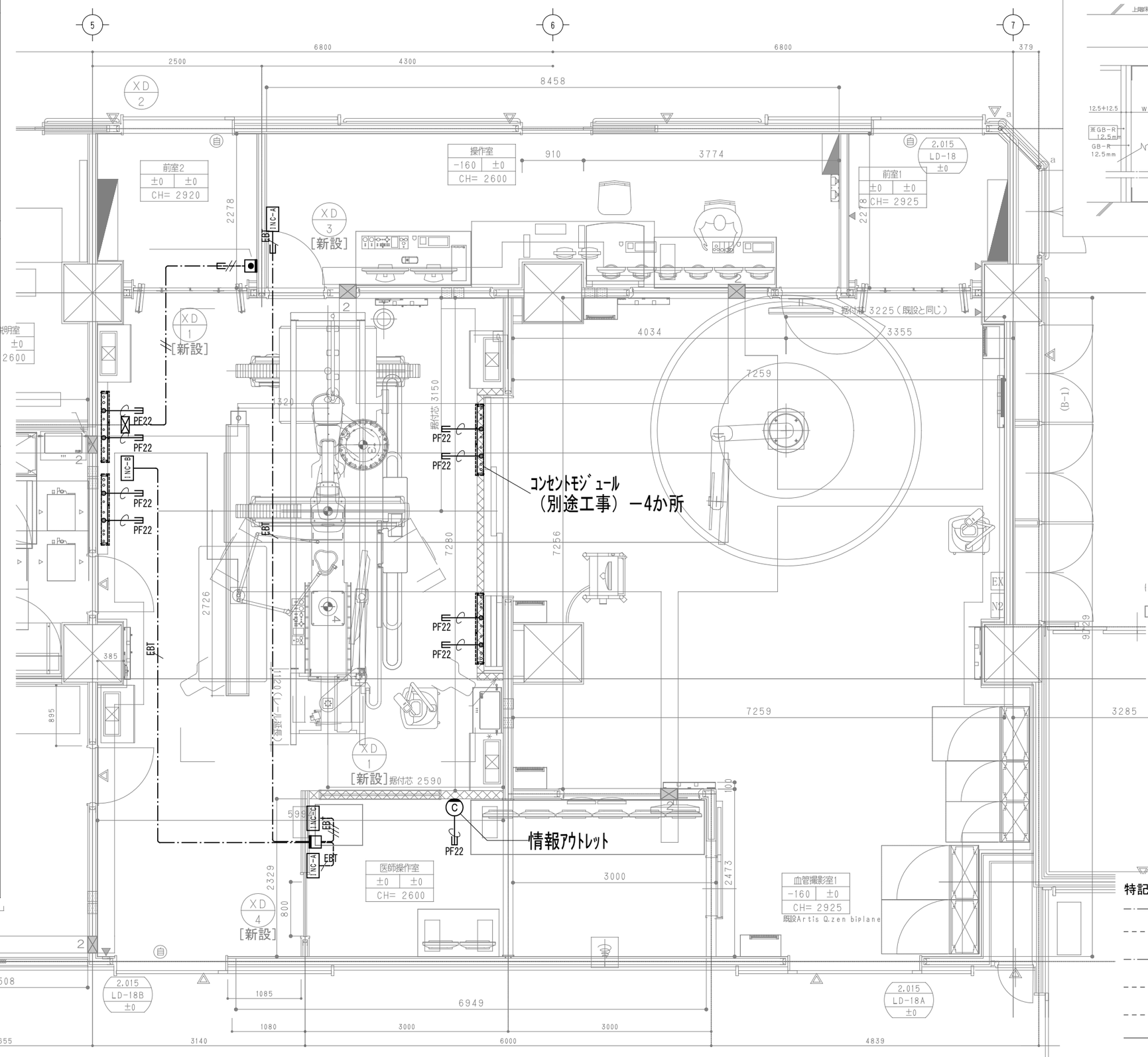


電源	ＤＣ４８Ｖ（ＩＰインターカム交換機より供給）
配線方式	ツイストペア線　１対
伝送方式	２線１６０ｋｂｐｓエコーキャンセラー伝送方式
通話方式	ハンズフリー通話専用
通話帯域	３００Ｈｚ～７ｋＨｚ
その他	内蔵スピーカー：５．７ｃｍコーン型
	内蔵マイク：無指向性エレクトレットコンデンサー型

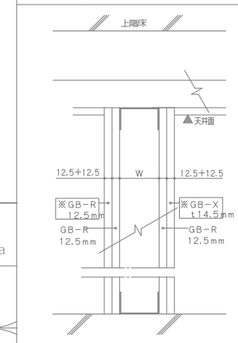
INC-C　ＩＰインカム　交換機



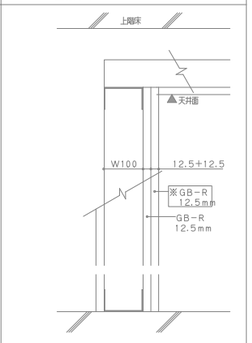
電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
通話路構成	空間分割／時空間スイッチ併用
通話リンク	内部４リンク／外部８リンク
通話方式	ハンズフリー同時通話（エコーキャンセラーによる）
	ハンドセット同時通話（エコーキャンセラー
	による）、交互通話（音声スイッチによる）
	ＰＴＴ通話
回線数	１６回線
配線方式	ツイストペア線　１対
伝送方式	２線１６０ｋｂｐｓエコーキャンセラー伝送方式
ページング出力	音声×２、制御×２
ネットワークＩ／Ｆ	１０ＢＡＳＥ－Ｔ／１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　自動切換
音声パケット伝送方式	ユニキャスト（ページング最大同時１６箇所）
	マルチキャスト（ページング最大同時１９１箇所）
音声サンプリング周波数	１６ｋＨｚ、８ｋＨｚ（ソフトウェア切換式）
音声符号化方式	Ｓｕｂ－ｂａｎｄ　ＡＤＰＣＭ、暗号化機能
音声遅延時間	８０ｍｓ、３２０ｍｓ（ソフトウェア切換式）



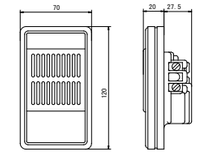
P1X（Ｘ線遮蔽間仕切壁）



PK1（片面張り）



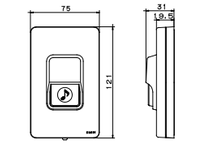
メロディサイン/100S(シングル)（埋込型）



定格	電源電圧　AC100V 50/60Hz　消費電力　2W
操作電圧	DC6V
音量	65ｄB以上(定格電圧印加　前方1mにて)
寿命	100,000回鳴動以上
配線長	最大　100m（操作側）
形状	適合ボックス（1個用スイッチボックス）

パナソニックEC710K相当品

チャイム用押釦



定格容量	1A 300V AC 3A 30V
接点構成	片切（常開型）
質量	125ｇ
使用周囲温度	-10℃～+50℃

パナソニックEG331相当品

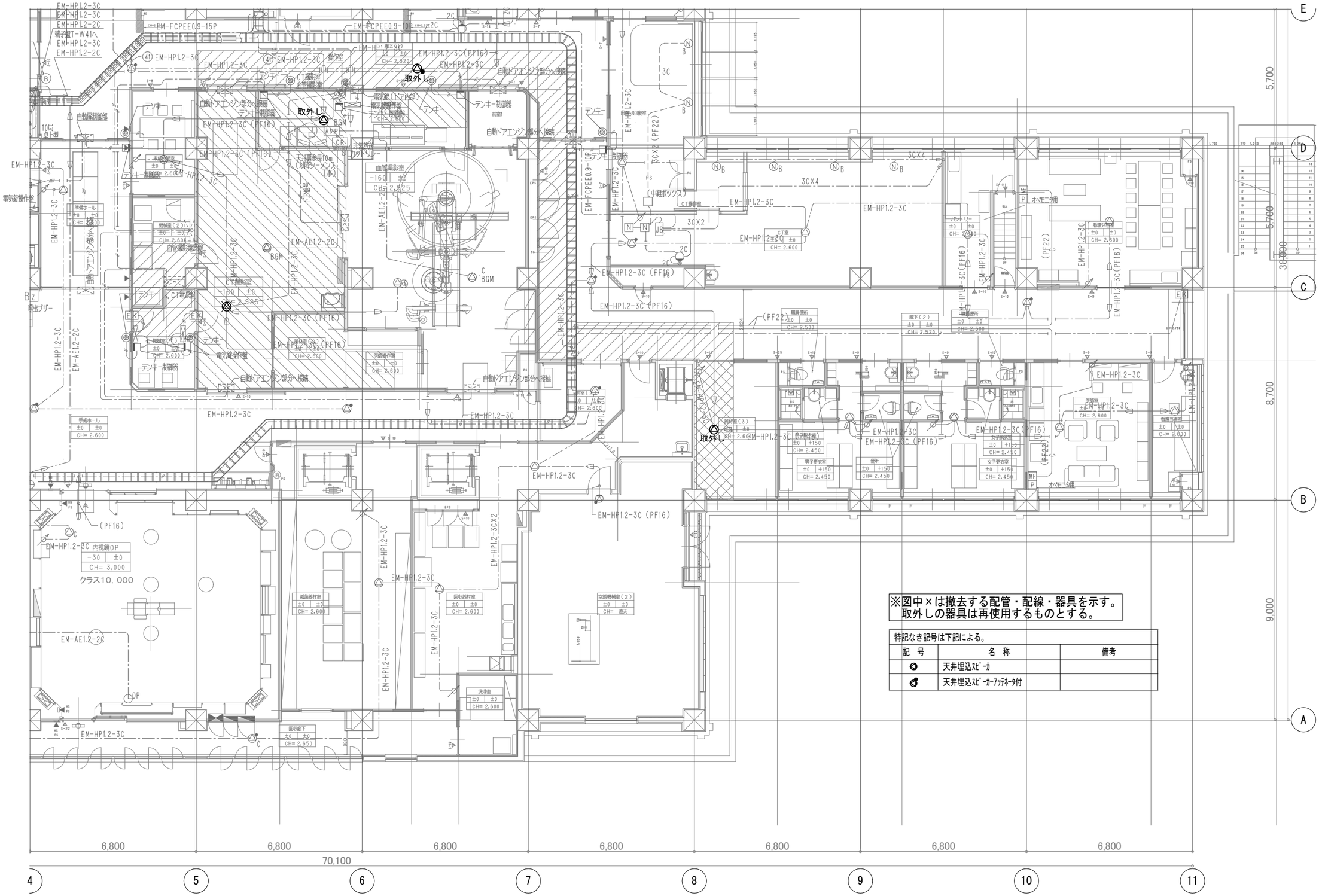
特記なき配線は下記による。

- EM-AE1.2-2C
- EM-AE1.2-2C(メタルモールA)
- EM-EBT0.5-2P
- EM-EBT0.5-2P(メタルモールA)
- EM-EBT0.5-2P×3(メタルモールA)
- (PF22)

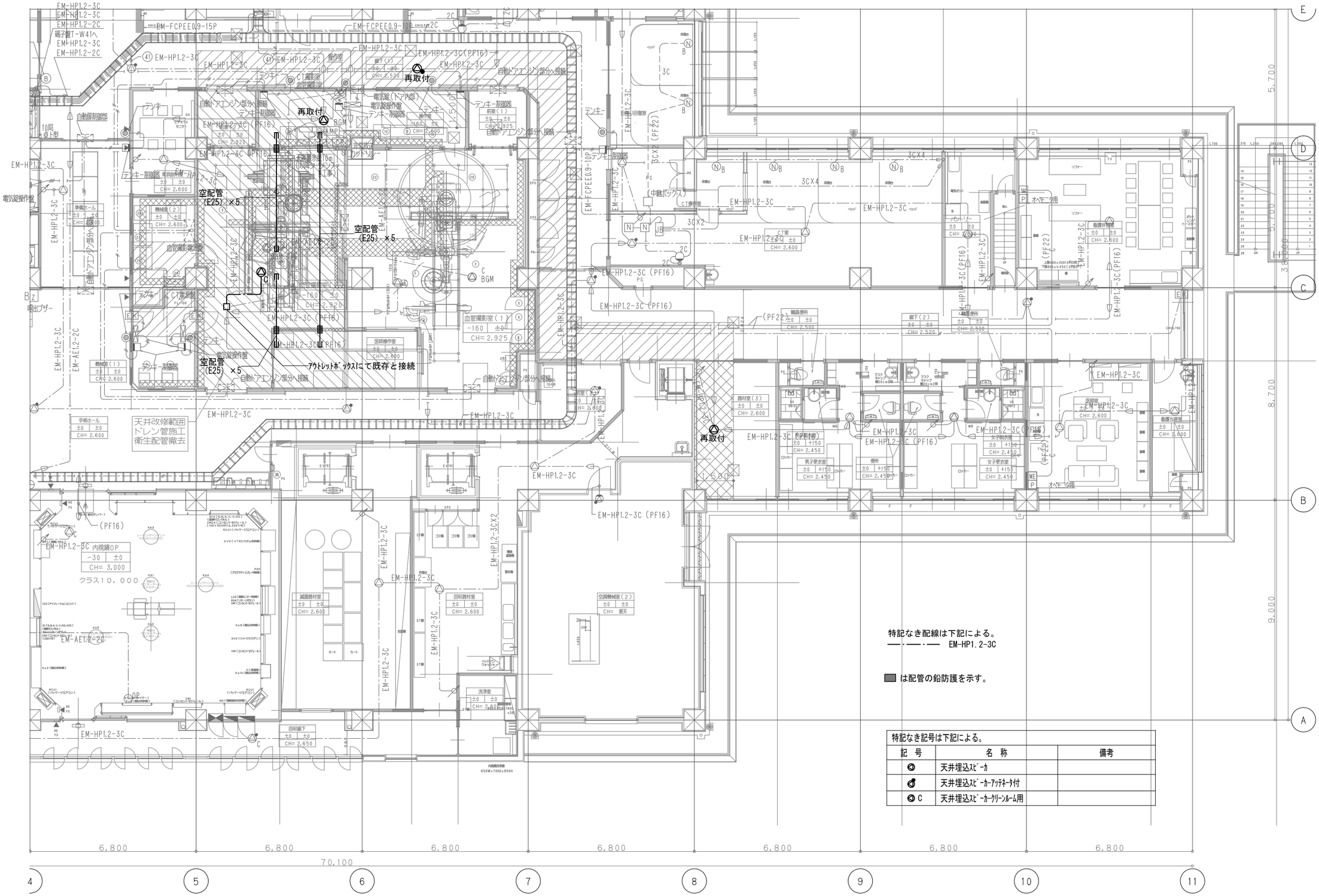
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇　　加　藤　　悟

令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE－ 021
弱電設備１　西館4階平面詳細図【改修後】	A1:1/30 A3:1/60	



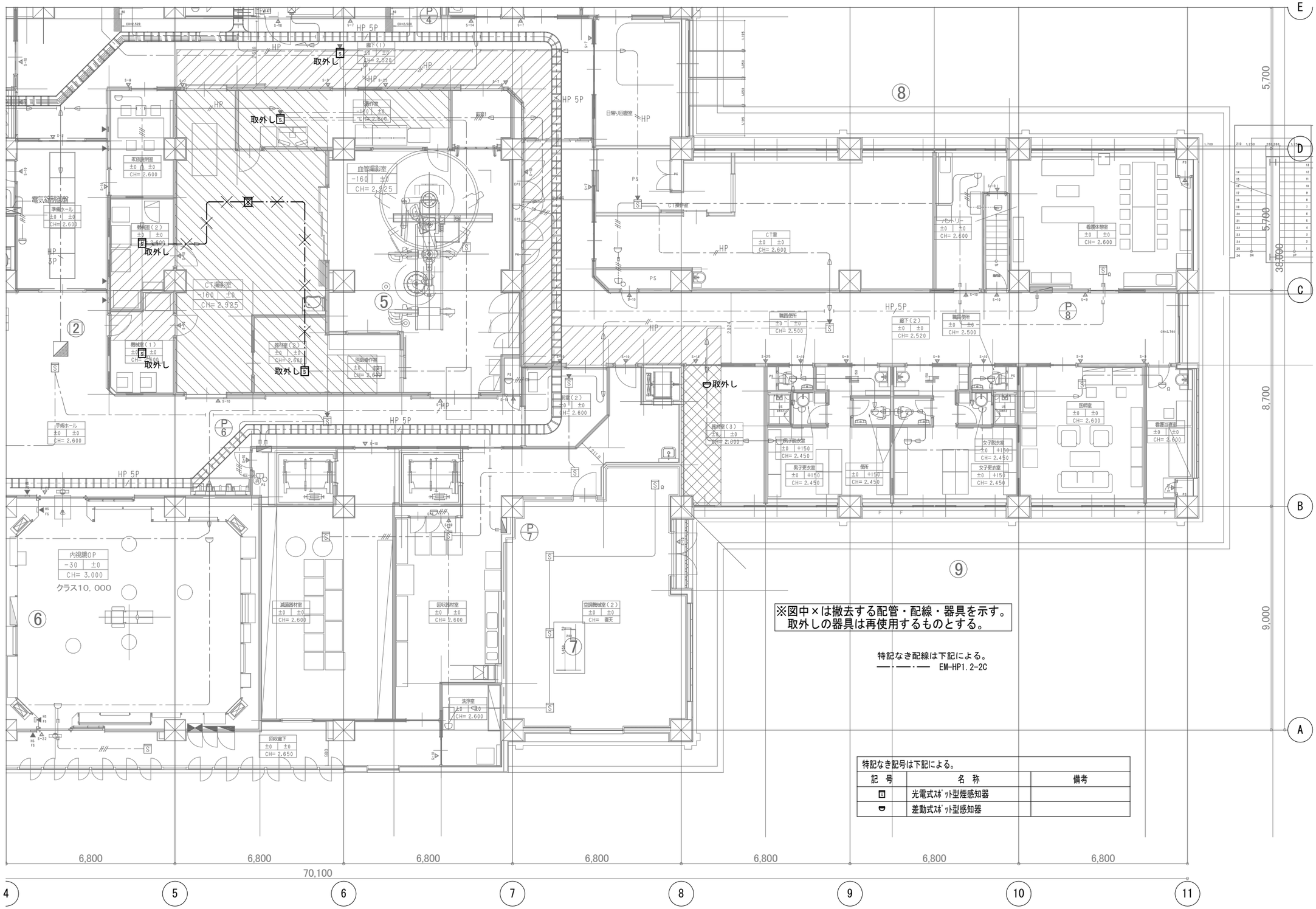
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE－022
			弱電設備２ 西館 4階平面図【改修前】	A1:1/75 A3:1/150	



特記なき記号は下記による。

記号	名称	備考
◎	天井埋込ｽﾋﾟｰｶ	
◎f	天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰﾌｧﾝﾓｰﾀ付	
◎C	天井埋込ｽﾋﾟｰｶｰｸﾘｰﾝﾙｰﾑ用	

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	加藤 悟	令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.
			弱電設備２ 西館 4階平面図【改修後】	A1:1/75 A3:1/150
				RE－023



※図中×は撤去する配管・配線・器具を示す。
取外しの器具は再使用するものとする。

特記なき配線は下記による。
——·——·—— EM-HP1.2-2C

特記なき記号は下記による。

記 号	名 称	備考
	光電式ｽﾎﾟｯﾄ型煙感知器	
	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器	

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇 加藤 悟

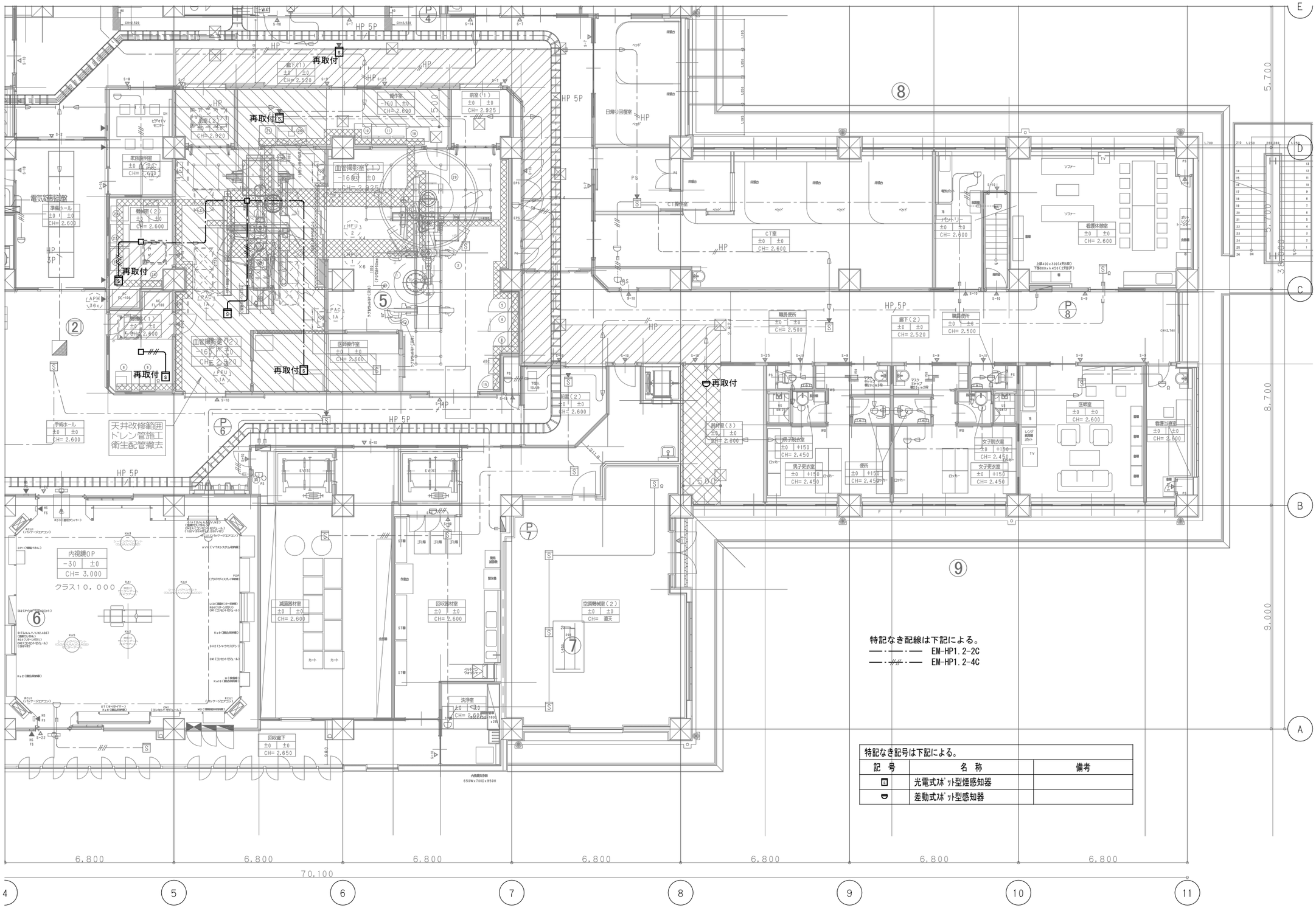
令和5年度 静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）

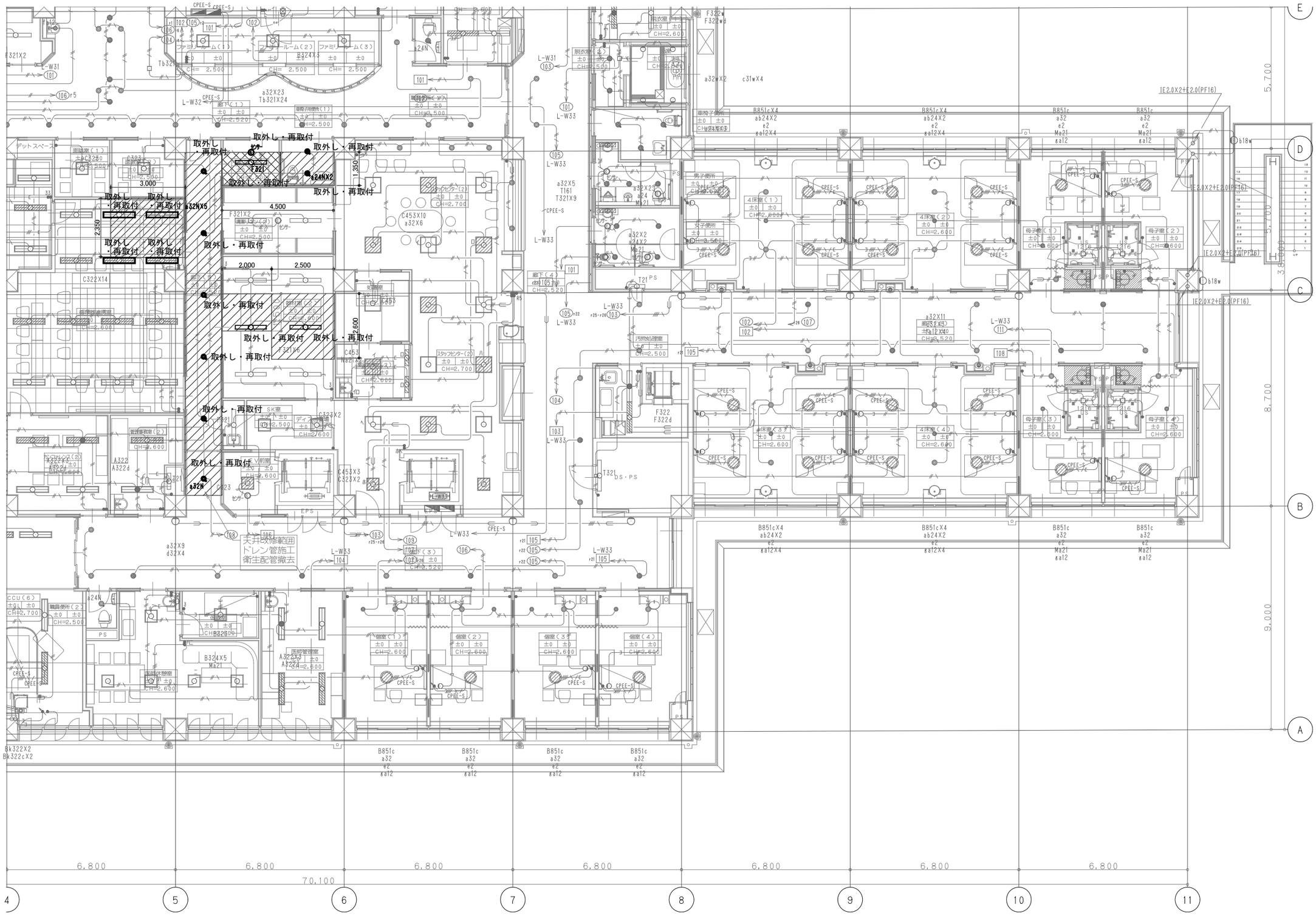
自動火災報知設備 西館 4階平面図【改修前】

2023.03.

A1:1/75
A3:1/150

RE－024

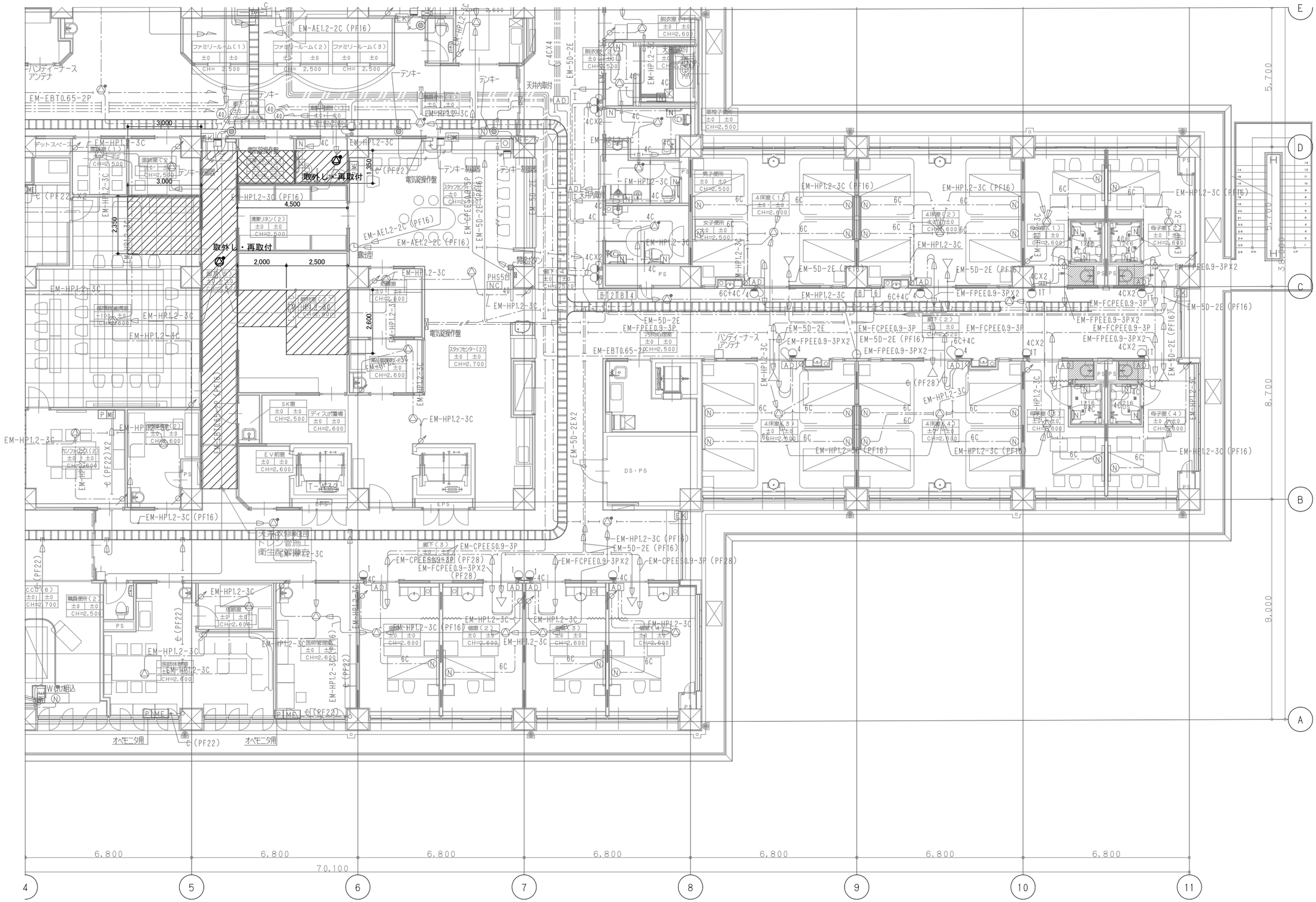

再取付
再取付
再取付

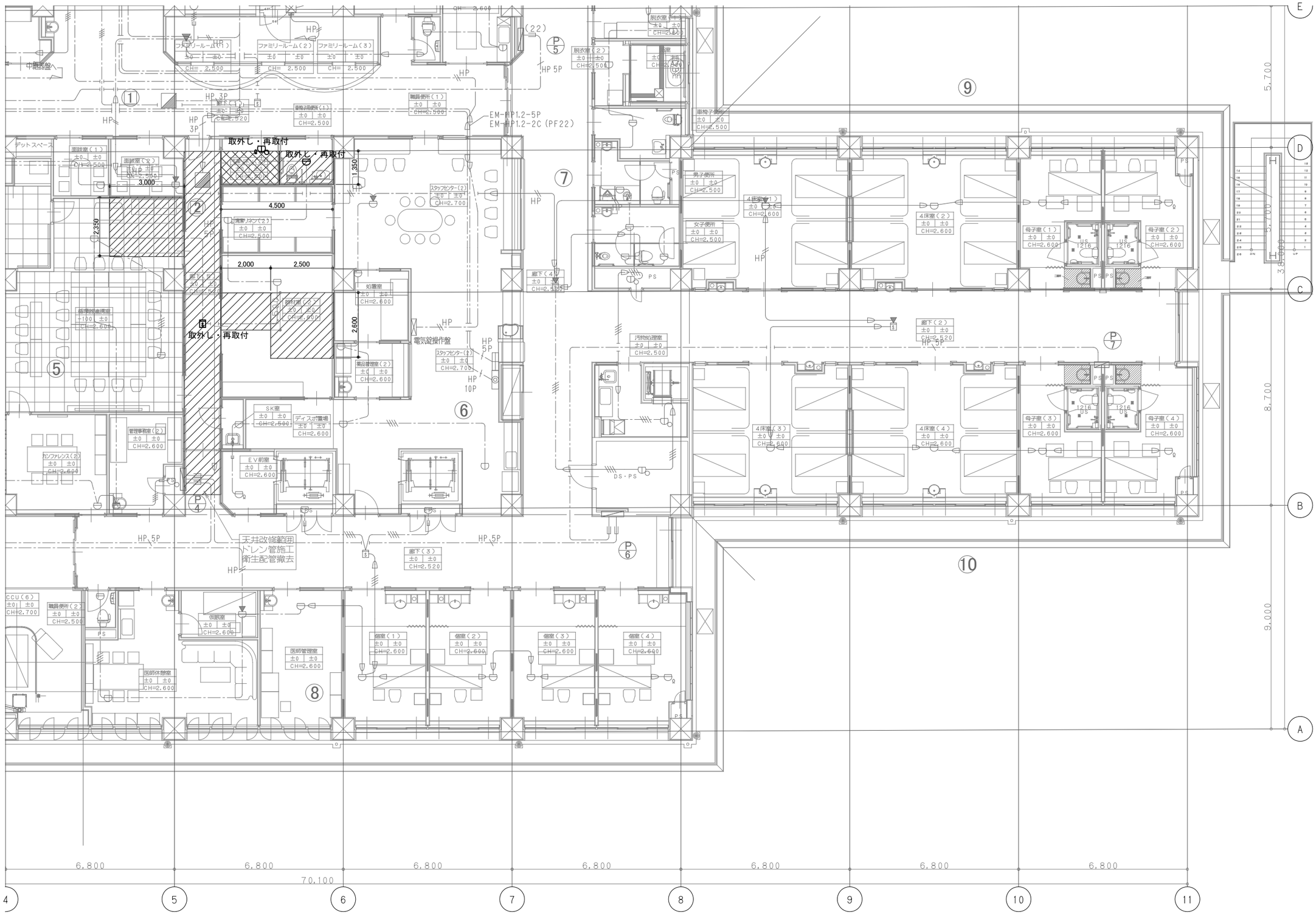


横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　　加藤　悟		令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備） 電灯設備 西館　3階平面図【改修前】【改修後】天井改修範囲	2023.03. A1:1/75 A3:1/150	RE－026



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　　加藤　悟	令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備）	2023.03.	RE－027
		非常照明・誘導灯設備 西館　3階平面図【改修前】【改修後】天井改修範囲	A1:1/75 A3:1/150	


EM-AE1.2-2C (PF16)
EM-EBT0.65-2P
EM-HP1.2-3C
EM-HP1.2-3C (PF16)
EM-AE1.2-2C (PF16)
EM-5D-2E
EM-5D-2E (PF16)
EM-FPEE0.9-3PX2
EM-FCPEE0.9-3P
EM-FPEE0.9-3P
EM-HP1.2-3C (PF16)
EM-5D-2E (PF16)
EM-5D-2EX2
EM-HP1.2-3C (PF28)
EM-CPEES0.9-3P (PF28)
EM-FCPEE0.9-3PX2 (PF28)
EM-CPEES0.9-3P
EM-FCPEE0.9-3PX2
EM-CPEES0.9-3P (PF28)
EM-HP1.2-3C (PF22)
EM-HP1.2-3C (PF22)X2
EM-HP1.2-3C (PF16)X2
EM-HP1.2-3C (PF22)X2
EM-HP1.2-3C (PF16)X3
EM-HP1.2-3C (PF16)X4
EM-HP1.2-3C (PF16)X5
EM-HP1.2-3C (PF16)X6
EM-HP1.2-3C (PF16)X7
EM-HP1.2-3C (PF16)X8
EM-HP1.2-3C (PF16)X9
EM-HP1.2-3C (PF16)X10
EM-HP1.2-3C (PF16)X11
EM-HP1.2-3C (PF16)X12
EM-HP1.2-3C (PF16)X13
EM-HP1.2-3C (PF16)X14
EM-HP1.2-3C (PF16)X15
EM-HP1.2-3C (PF16)X16
EM-HP1.2-3C (PF16)X17
EM-HP1.2-3C (PF16)X18
EM-HP1.2-3C (PF16)X19
EM-HP1.2-3C (PF16)X20
EM-HP1.2-3C (PF16)X21
EM-HP1.2-3C (PF16)X22
EM-HP1.2-3C



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡野　崇　　加藤　悟		令和5年度　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（建築・電気設備） 自動火災報知設備 西館　3階平面図【改修前】【改修後】天井改修範囲	2023.03. A1:1/75 A3:1/150	RE－029

令和７年度静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）

図面番号	図　面　名　称
	表紙・図面リスト
RM-001	案内図・配置図
RM-002	施工条件特記仕様書
RM-003	工事区分表（１）
RM-004	工事区分表（２）
RM-005	機械設備　特記仕様書（１）
RM-006	機械設備　特記仕様書（２）
RM-101	空調換気設備　機器表、性能条件、工事区分（改修図）
RM-102	空調換気設備　４階先行工事詳細図（改修図）
RM-103	空調換気設備　４階ダクト詳細図（改修図）
RM-104	空調換気設備　４階配管平面図（改修図）
RM-105	空調換気設備　４階ダクト平面図（撤去図）
RM-106	空調換気設備　４階ダクト平面詳細図（撤去図）
RM-107	空調換気設備　４階配管平面図（撤去図）
RM-108	空調換気設備　４階配管平面詳細図（撤去図）
RM-201	自動制御設備　計装図、４階平面図（撤去図）
RM-202	自動制御設備　計装図（改修図）
RM-203	自動制御設備　４階平面図（改修図）
RM-301	ユニット設備　工事区分表
RM-302	ユニット設備　既存平面図、天伏図、展開図（参考図）
RM-303	ユニット設備　改修後平面図、天伏図、展開図（参考図）
RM-304	ユニット設備　電気配線図・盤結線図（改修図）
RM-305	ユニット設備　各種姿図（改修図）
RM-401	給排水衛生設備　４階平面図（改修図）
RM-402	給排水衛生設備　４階平面詳細図（改修図）
RM-403	給排水衛生設備　４階平面図（撤去図）
RM-404	給排水衛生設備　４階平面詳細図（撤去図）
RM-501	医療ガス設備　仕様書・器具図
RM-502	医療ガス設備　４階平面図（撤去図）
RM-503	医療ガス設備　４階平面図（改修図）
RM-601	消火設備　３階配管平面図（撤去・改修図）

2023年　03月

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

全体面積

単位 ㎡

名称	建築面積	延床面積
静岡県立こども病院	12,119.41	37,799.12
県立静岡北特別支援学校	3,987.75	7,330.11
県立静岡中央特別支援学校	6,516.60	9,538.30
合 計	22,623.76	54,667.53

静岡県立こども病院面積

単位 ㎡

番号	名称	構造	階数	建築面積	延床面積	最高の高さ	軒高
㉛	病院	RC	6	11,450.42	36,478.50	37.900	35.800
	RI処理棟	RC	1	15.00	15.00	5.400	5.400
	駐輪場	鉄骨	1	44.10	44.10	2.390	2.390
	ポンペ庫	RC	1	9.69	9.69	6.090	6.090
㉚	浄化槽	RC	1	37.93	37.93	3.190	3.190
	合 計			11,577.14	36,585.22		

既設建物(県立静岡北特別支援学校)

凡例：既存建家

番号	名称	構造	階数	建築面積	延床面積	最高の高さ	軒高
①	管理棟	RC	2	371.86	711.00	8.050	7.200
②	教室棟A	RC	3	826.50	2,337.01	11.650	11.100
③	食堂棟	RC	1	342.95	342.95	5.300	4.600
④	ボイラー棟	RC	1	92.45	74.81	4.650	4.200
⑤	教室棟B	RC	3	926.05	2,465.42	11.650	11.100
⑥	プール付属棟	コンクリートブロック	1	134.60	134.58	4.300	4.030
⑦	体育館棟	鉄骨造	1	529.25	500.25	9.883	8.100
⑧	危険物倉庫	コンクリートブロック	1	8.00	8.00	2.400	2.300
⑨	ガスガバナー室	RC	1	15.30	15.30	3.000	2.900
⑩	危険物倉庫	コンクリートブロック	1	9.14	9.14	2.300	2.200
⑪	倉庫	鉄骨造	1	60.00	60.00	3.550	3.400
⑫	車庫	鉄骨造	1	85.80	85.80	4.400	3.450
⑬	物置	鉄骨造	1	13.50	13.50	2.100	2.000
⑭	物置	鉄骨造	1	15.60	15.60	2.500	2.400
⑮	物置	鉄骨造	1	16.38	16.38	4.850	2.800
⑯	ポンプ室	鉄骨造	1	3.00	3.00	2.350	2.250
⑰	物置	鉄骨造	1	11.44	11.44	2.550	2.450
⑱	物置	鉄骨造	1	13.42	13.42	2.500	2.400
⑲	渡り廊下	鉄骨造	1	52.50	52.50	3.500	3.400
⑳	トイレ棟	コンクリートブロック	1	5.60	5.60	2.700	2.600
㉑	物置	鉄骨造	1	6.38	6.38	2.200	2.100
㉒	自転車置場	鉄骨造	1	37.05	37.05	2.200	2.150
㉓	教室棟C	RC	1	321.86	321.86	4.290	4.105
㉔	3連倉庫	鉄骨造	1	56.54	56.54	3.500	3.400
㉕	調理室増築部分	鉄骨造	1	32.58	32.58	4.290	4.105
	合 計			3,987.75	7,330.11		

既設建物(県立静岡中央特別支援学校)

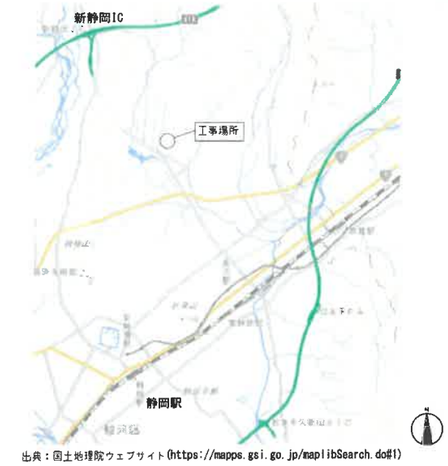
単位 ㎡

凡例：既存建家

番号	名称	構造	階数	建築面積	延床面積	最高の高さ	軒高
㊶	管理教室棟	RC	3	4,188.88	7,338.31	7.220	6.740
㊷	寄宿舎	RC	1	1,219.48	1,096.58	8.300	4.500
㊸	体育館	鉄骨造	1	633.10	629.37	10.360	8.100
㊹	プール	鉄骨造	1	87.79	87.79	4.800	4.500
㊺	渡り廊下	鉄骨造	1	260.02	260.02	2.650	2.500
㊻	便所	コンクリートブロック	1	31.11	31.11	3.195	3.005
㊼	便所	鉄骨造	1	15.62	14.52	3.450	2.900
㊽	倉庫1	鉄骨造	1	2.47	2.47	3.000	
㊾	倉庫2	鉄骨造	1	3.19	3.19	3.000	
㊿	倉庫3	鉄骨造	1	3.78	3.78	3.000	
(51)	倉庫4	鉄骨造	1	7.48	7.48	3.000	
(52)	倉庫5	鉄骨造	1	5.78	5.78	3.000	
(53)	倉庫6	鉄骨造	1	7.38	7.38	3.000	
(54)	倉庫7	鉄骨造	1	7.66	7.66	3.000	
(55)	倉庫8	鉄骨造	1	9.68	9.68	3.000	
(56)	倉庫9	鉄骨造	1	9.68	9.68	3.000	
(57)	倉庫10	鉄骨造	1	11.55	11.55	3.000	
(58)	倉庫11	鉄骨造	1	7.63	7.63	3.000	
(59)	倉庫12	コンクリートブロック	1	4.32	4.32	3.000	
	合 計			6,516.60	9,538.30		

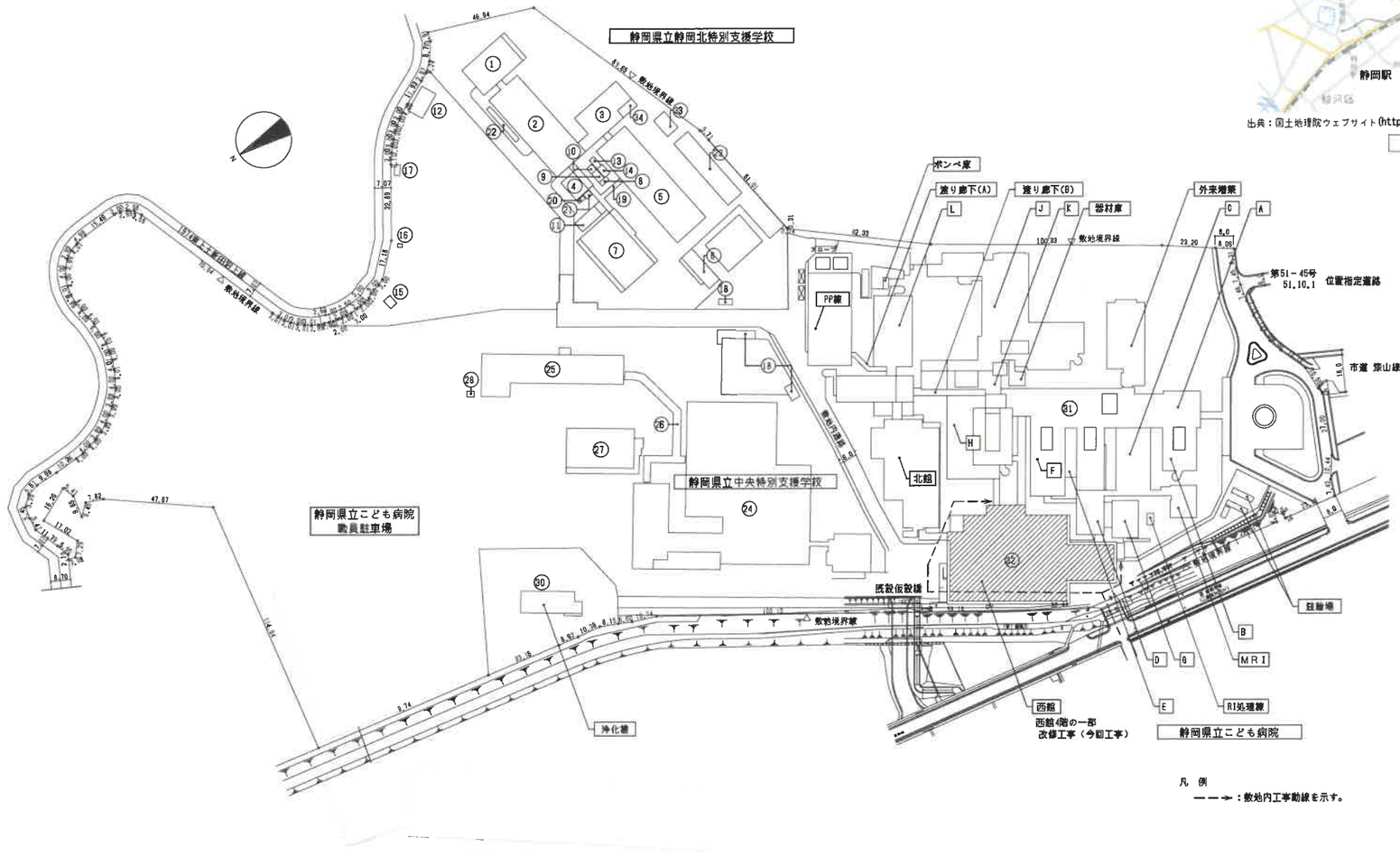
既設病院面積内訳表

	病院 A線	B線	C線	D線	E線	F線	G線	H線	旧1線	北館(渡り廊下含)	J線	K線	L線	MRI線	手術棟	器材庫	PP線	渡り廊下(A)	渡り廊下(B)	西館	外来増築	小計	ポンペ庫	RI処理棟	浄化槽	駐輪場	合計
建築面積									62.03	1,126.87	—		6,336.17	294.86	—	55.18	740.28	41.82	93.86	2,699.35	562.27	12,012.69	9.69	15.00	37.93	44.10	12,119.41
P2																				152.16		152.16					152.16
P1								161.98												158.70		320.68					320.68
6F								451.94		99.47										2,045.12		2,596.53					2,596.53
5F								451.94		1,044.74										2,083.53		3,580.21					3,580.21
4F								451.94		1,036.14		70.30	86.41	70.58						2,202.60		3,917.97					3,917.97
3F	48.64	50.47		50.47		50.47		451.34	15.26	1,036.14	39.98	1,352.02	307.45	925.67		208.39		19.16		93.86	2,223.38	160.14	7,032.84					7,032.84
2F	838.48	257.19		299.94		413.94		450.38	62.03	1,026.94	39.98	1,277.74	537.43	935.68		216.09	55.18	694.36	41.82	—	2,324.31	526.88	9,998.37					9,998.37
1F	1,336.92	257.19	374.75	525.50	118.28	413.58	194.87	969.20	62.03	1,040.40	11.40	—	313.68	471.15	294.86	—	55.18	720.26	—	—	2,407.51	526.88	10,093.64	9.69	15.00	37.93	44.10	10,200.36
延床面積計	2,224.04	564.85	374.75	875.91	118.28	877.99	194.87	3,388.72	139.32	5,283.83	91.36	2700.06	1,244.97	2,403.08	294.86	424.48	110.36	1,433.78	41.82	93.86	13,597.31	1,213.90	37,692.40	9.69	15.00	37.93	44.10	37,799.12



出典：国土地理院ウェブサイト(https://mappps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1)

案内図



凡例

——→：敷地内工事動線を示す。

受注者の現場事務所及び監理事務所については、旧医師宿舎E棟を想定しているが、当該箇所以外を希望する場合は、監督員と協議すること。
また、受注者の駐車場は、敷地北側の職員駐車場の一部を想定している。使用範囲及び時期等について病院担当者と協議すること。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

阿瀬 貴裕

藤村 一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM－001
案内図・配置図	A1:1/1200 A3:1/2400	

施工条件特記仕様書

下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。
なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。

		明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容
1 工程関係	1	関連工事との調整	○	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分	
					影響を受ける工事内容	別発注の放射線メーカー工事（天井内鉄骨架台新設）
					関連する工事内容	静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事**（建築・電気）**
					関連する工事の開始又は完了の時期	別発注の放射線メーカー工事と調整をとること。
	2	施工時期、時間の制限	○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容	平日医療業務に支障にある振動、騒音、粉塵、臭気等を発生させる工程を伴う工事。
					制限される施工時期・施工時間	仮設計画図による。 施工時期は工程に依るが居ながら工事となるので、施工時期に制限が発生する。
					制限される施工方法	騒音、粉塵、臭気等が発生する作業の際は拡散対策を行うこと。
	3	関係機関等との協議		当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容	
					協議内容	
					協議成立見込時期	
				関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	影響を受ける部分	
					影響を受ける内容	
	4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査		工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目	
					調査期間	
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間	
	5	作業不能日数	○		休日日数以外の作業不能日数	隣接する手術ホール、血管撮影室１は平日日中病院運用している。 医療業務に支障にある振動、騒音、粉塵、臭気等を発生させる工事は休日とする。
	6	指定部分	○	工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模（範囲）	
					当該工事の工期	現場説明書による。
	7	設備工事との調整	○	完成時の各種検査までに、試運転調整等を完了しなければならない場合	試運転調整等の適正期間の確保	設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること
2 用地関係	1	仮用地等として官有地の提供	○	施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲	病院敷地近接、患者家族宿泊施設建設工事の隣接敷地
					時間・時期	本工事契約期間中
					使用条件	
					復旧方法	現状復旧
3 公害関係	1	公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）		工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間	低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規定及び排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定される建設機械・設備を使用するものとする。
	2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査		工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分	
					調査時期	
					未然に防止するための必要な調査方法	
					未然に防止するための必要な調査範囲	
	3	電波障害等に起因する事業損失防止調査		電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	事前・事後調査の区分	
					調査時期	
					未然に防止するための必要な調査方法	
					未然に防止するための必要な調査範囲	
4 安全対策関係	1	交通安全施設		交通安全施設等を指定する場合	指定の内容	周辺道路を工事車両及び工事関係者の車両が通行する場合は法定制限速度を遵守すること。 また、重量車両については、20km/h 以下で 運転し、振動防止や安全に万全を期すこと。
					指定の期間	
	2	近接施工		鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法	
					制限される作業時間帯	
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設		落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容	
	4	交通誘導員の配置		交通誘導員の配置を指定する場合	延べ人数	交通誘導警備員A　　交通誘導警備員B
					配置時間	交通誘導警備員A　　交通誘導警備員B
	5	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策		有毒ガス及び酸素欠乏対策として、換気設備が必要な場合	換気設備等の内容	
5 工事用	1	一般道の使用		搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路	
					制限される使用期間	
					制限される使用時間帯	
				搬入、搬出路の使用中及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容	

		明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容
道路関係	2	仮道路		仮道路を設置する場合	仮設道路の仕様	
					安全施設等の設置期間	
					工事終了後の措置	
6 仮設備関係	1	仮設備（仮土留、仮橋、足場等）		仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き疑いで使用する場合	仮設備の内容	
					仮設備の期間	
					仮設備の条件	
				仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合	仮設備の種類	
					仮設備の構造、施工方法、施工範囲	
				仮設備の設計条件を指定する場合	設計条件の内容	
7 建設副産物関係	1	建設発生土の搬出		建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離	
					処分又は保管条件	
	2	建設副産物の利用		現場内での再利用又は減量化が必要な場合	現場内利用の内容	
					減量化の内容	
	3	建設副産物及び建設廃棄物の処理	○	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。
				再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合	受入場所、距離等の処理条件	建設廃棄物の種類 / 数量 / 処理等施設の名称 / 片道運搬距離 / 受入条件等
8 工事支障物件等	1	工事支障物件協議		地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等	支障物件名 / 管理者名 / 支障物件の位置 支障物件の移設時期 / 工事方法 / 防護
				地上、地下等の占用物件に係る工事期間と重複して施工する場合	工事内容	
					工事期間	
9 排水関係	1	排水処理		排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等	排水工法 / 排水処理の方法 / 放流先 予定される排水量 / 排水の水質基準 / 放流費用
	2	水替・流入防止施設		水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容	
					設置期間	
10 薬液注入関係	1	薬液注入		薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	設計条件 / 施工工法 / 材料種類 施工範囲 / 削孔数量及び延長 / 注入量及び注入圧
				周辺環境に与える影響の調査が必要な場合	周辺環境調査の内容	
11 その他	1	工事現場発生品		工事現場発生品がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所	工事特記仕様書による。
	2	支給品及び貸与品		支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質	
					規格又は性能	
					引渡場所・引渡期間	
	3	関連機関との近接協議			近接協議に係る条件及び内容	
	4	架設工法		架設工法を指定する場合	施工方法	
					施工条件	
	5	工事用水、電力	○	工事用水を指定する場合	工事用水の内容	工事特記仕様書による。
			○	工事電力を指定する場合	工事電力の内容	工事特記仕様書による。
	6	新技術・新工法・特許工法		新技術・新工法・特許工法を指定する場合	工法の内容	
	7	部分使用		部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所	
					部分使用時期	
	8	その他	○			1．改修範囲内外を問わず、工事着手前に十分な現地調査を行うこと。 2．作業場の陰圧を維持できる空調システムを用いること。(環境的封じ込め) 3．非作業場を通過する場合、建築現場で発生した廃棄物は、密閉出来る容器に入れ運搬すること。 4．非作業場を通過する場合、建築現場で使用した器材も、密閉容器に入れ運搬するか、カバーにシールして運搬すること。 5．塵埃の飛散を最小限に抑えるため工事現場から作業員は、患者区域に近づかないこと。 6．仮設扉の出入り口前後は一日２回(昼及び作業終了後)湿式清掃すること。 7．112条区画、114条区画の壁を新設する場合、既設の配管、ダクト等を生かしながらの工事となるので十分注意して施工すること。 8．石綿含有の有無の報告(届出)を行うこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

阿瀬 貴裕

藤村 一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 002
施工条件特記仕様書	A1： － A3： －	

建築工事・電気設備工事・給排水衛生設備工事（衛生）・空調設備工事・昇降機設備工事・別途工事　標準施工区分表

この表は，設計図等で示される一般的工事範囲を補足するもので，関連工事とのとりあい部分についてその施工区分担を示すものである。設計図中に表記があるものは、設計図を優先する。

共通

項目		内容	建築・電気		機械			別途	備考
			建築	電気	衛生	空調			
1	一般事項	(1) 地中障害物撤去工事					○		
		(2) 電波障害調査費		○					工事仮設による障害は、受注者の範囲とする
		(3) 電波障害対策工事					○		
		(4) 工事上の各種申請に係わる費用	○	○	○	○			
		(5) 埋蔵文化財調査費					○		
		(6) 土壌汚染調査及び対策費					○		
		(7) 近隣対策費					○		
		(8) 家屋調査費	○						
2	仮設	(1) 共通足場、作業構台、揚重運搬機械	○						
		(2) 各工事用足場作業構台	○	○	○	○			
		(3) 仮囲い、車両入りゲート	○						
		(4) 監督職員事務所	○						備品等含む
		(5) 受注者事務所、材料置場	○	○	○	○			
		(6) 材料場外処分	○	○	○	○			
		(7) 掘削残土の場外処分	○						
		(8) 工事用仮設電力・用水	○	○	○	○			一括発注の場合は建築工事
		(9) 電力・ガス・水道等の本設後引渡しまでの基本料金					○		
		(10) 電力・ガス・水道等の本設後引渡しまでの使用料金	○	○	○	○			試運転用も含む
		(11) 電力・ガス・水道等の本設引込みに伴う負担金					○		
3	各種水槽・ピット（建物と一体構造のもの）	(1) 受水槽・排水槽・汚水槽等でコンクリート造のもの	○						
		(2) コンクリート造の各種水槽釜場	○						
		(3) コンクリート造の受水槽の入孔蓋(防水型)及びタラップ、排水槽・汚水槽等の人孔蓋(防臭型)及びタラップ	○						
		(4) 最下階便所のピット、人孔蓋(防臭型)及びタラップ	○						
		(5) 二重床点検口	○						
		(6) 二重底盤内通気管・通水管	○						
		(7) 二重壁内の点検口	○						
		(8) 二重壁内の水抜管	○						
4	トレンチ・排水溝	(1) 各種トレンチ蓋及び人孔蓋・タラップ	○						
		(2) トレンチ内配管支持材		○	○	○			支持する配管の区分による
		(3) 屋内排水溝及び人孔蓋	○						
5	機器等の基礎（建物と一体構造のもの）	(1) 機器用基礎（コンクリート打ち）	○						
		(2) 屋上水槽の基礎（コンクリート打ち）	○						
		(3) 二重床下部分の機器用基礎（コンクリート打ち）	○						
		(4) 機器、水槽等のアンカー及び基礎仕上げ	○	○	○	○			基礎仕上げは建築工事
		(5) 医療機器用架台及びアンカーボルト取付	○						
		(6) 発電機用防油堤	○						
		(7) 屋上設備取出口	○						
		(8) 機器搬出入用フック	○						
		(9) 避雷針（自立型支持管）取付用基礎	○						
6	スリーブ及び補強	(1) 各種配管用スリーブ		○	○	○			
		(2) ダクト、ガラリ用スリーブ	○			○			
		(3) 衛生器具（大便器）取付け用箱入れ			○				
		(4) 埋込型屋内消火栓取付け穴等の箱入れ			○				
		(5) 分電盤取付け穴等の箱入れ		○					
		(6) 各種スリーブの補強	○						
		(7) 外壁貫通スリーブまわりの防水	○						貫通するものの区分による
		(8) 床貫通スリーブまわりの防水	○						防水層を貫通する場合
		(9) 貫通穴及びダクト空隙充填		○	○	○			
		(10) 床・壁貫通スリーブ・箱入れ部分の補強	○						
		(11) 穴埋後の仕上げ補修	○						
		(12) 設備機器のための床・梁補強	○						
		(13) 設備機器取付用ALC版・ブロック等の穴あけ及び補強・補修	○						
7	天井切込及び換気扇取付け枠	(1) 埋込照明器具、スピーカー、空調換気用吹出口等埋込器具類取付けのための天井切込み及び下地補強	○						
		(2) 換気扇取付け用枠及び穴あけ	○						

共通

項目		内容	建築・電気		機械			別途	備考
			建築	電気	衛生	空調			
8	点検口、点検扉	(1) 天井点検口	○						
		(2) 各種シャフト点検口	○						
		(3) 床点検口	○						
9	はつり及び補修	(1) 配管のための貫通及び埋込み箇所のはつり及び補修		○	○	○			
10	排水	(1) 各種床排水金具	○		○				
		(2) 造付け流し（人造石とぎ出し）の排水金具	○						
		(3) 外構工事におけるU字溝及びこれに接続する溜桝	○						
		(4) 製作流し（含む排水金具）	○		○				給水設備及び排水接続は衛生工事
		(5) 既製品流し（含む排水金具）	○		○				給水設備及び排水接続は衛生工事
		(6) 化粧洗面台	○		○				給水設備及び排水接続は衛生工事
		(7) 化粧洗面台に取付く洗面器具・排水金物			○				給水設備及び排水接続は衛生工事
		(8) 化粧洗面台に取付く電気温水器			○				電源接続は電気工事
		(9) 化粧マンホール蓋	○	○	○				
		(10) 上記以外のマンホール蓋	○						
		(11) プラスタートラップ			○				躯体対応は建築工事
		(12) グリーストラップ			○				躯体対応は建築工事
11	雨水排水	(1) ルーフドレイン・オーバーフロー管・中継ドレイン	○						
		(2) 第一桝までの屋内竪樋・排水管	○						
		(3) 建物外部までの屋内部分排水管	○						雨水1次貯留槽または屋外第一桝接続まで建築工事。以降衛生工事
		(4) 屋内部分排水管のうちパイプシャフト内配管の竪樋	○						
		(5) 駐車場・スロープ等の排水溝・桝	○						
		(6) 竪樋・雨水管の防露巻き（室内）	○						
		(7) 外構　雨水用浸透桝・浸透管			○				
		(8) 外構　上記以外の桝・配管			○				
		(9) 外構　U字溝及びこれに接続する溜桝	○						
		(10) 外構　同上配管			○				
		(11) 外構　公設桝・下水本管への接続管			○				
12	ガラリ	(1) 外壁、サッシュに取り付けるガラリ	○						
		(2) ドアーガラリ	○						
		(3) 暗室等の遮光ガラリ	○						
		(4) 同上接続用金物・防鳥ネット	○						
		(5) 同上接続ダクト・ダンパー類				○			
		(6) レターンガラリ	○			○			図示
		(7) 自然排煙用窓及び開放装置	○						
13	動力	(1) 一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線		○					
		(2) ボイラー操作盤及び二次側配管・配線				○			
		(3) 冷凍機用動力操作盤及び二次側配管・配線				○			
		(4) パッケージ型空調器用電源で手元開閉器以降の配管・配線		○					
		(5) 電動機シャッター・自動ドアとその電源の二次側配管・配線及び操作盤・押ボタン取付け	○						
		(6) ファンコイル遠隔操作用電源等の配管配線		○		○			(1)～(3)の詳細は電気工事・設備工事区分図による
		(7) 電動暗幕・電動ブラインド・電動スクリーン・電動黒板等とその電動装置及び二次側配管・配線	○						電源供給は電気工事
		(8) フロアーヒーティング用電源及び制御盤		○					
14	制御	(1) 空調用制御機器及び操作用機器取付け及びその配管・配線				○			
		(2) 衛生用液面制御機器取付け及びその配管・配線		○					
		(3) 総合監視盤（衛生・空調）				○			
		(4) 天井扇等の接続及び手元スイッチ		○		○			(1)～(6)の詳細は電気工事・設備工事区分図による
		(5) 液面電極棒・液面リレー及び電極保持管とその配線		○	○				(1)～(6)の詳細は電気工事・設備工事区分図による
		(6) インターロック連動用配管・配線		○	○	○			(1)～(6)の詳細は電気工事・設備工事区分図による

共通

項目		内容	建築・電気		機械			別途	備考
			建築	電気	衛生	空調			
15	防災	(1) 煙感知器連動の防火戸・防火シャッターその他の防災設備の電源・二次側配管・配線及び検出器・制御盤		○					
		(2) 排煙口・ダンパー等とその電源の二次側配管・配線及び検出器・制御盤		○		○			
		(3) 防火戸の自動閉鎖装置及び二次側配管・配線		○					
		(4) 防火シャッターの自動開閉装置及び二次側配管・配線	○						
		(5) 消火栓ボックス（ホース・ノズルとも）			○				組込み火報総合盤は電気工事
		(6) ガス漏れ検知器・受信機		○					電気配管・配線・接続含む
		(7) ガス緊急遮断弁		○	○				電気配管・配線・接続含む
16	コンセント・掃除穴あけ	(1) フリーアクセスの穴あけ	○						盤出しは機械・電気工事
		(2) 実験台・演台（備品）等の穴あけ	○						盤出しは機械・電気工事
17	各種シャフト	(1) 各種シャフトのうちコンクリート造のもの及びこれに必要なコンクリート床	○						
		(2) 各種シャフトの壁及びこれに必要な床	○						
		(3) 発電機エンジン用排気管		○					
		(4) コンクリート及び鋼製煙突	○						煙導は設備工事
18	昇降機	(1) 昇降機本体及び昇降機扉用三方枠、敷居				○			
		(2) 昇降機据付後の出入口壁等の補修				○			
		(3) 昇降機乗場の呼びボタン・インジケータ				○			
		(4) 昇降路の築造、防火区画工事(コンクリート強度は21N/mm以上とする)	○						
		(5) 昇降路の建築構造梁の耐火被覆工事	○						
		(6) 各階乗場開口工事及び補強工事	○						
		(7) 三方枠取付後の裏詰め工事並びに耐火処理工事	○						
		(8) 三方枠取付用アングル設置工事	○						
		(9) 乗場ﾄﾞｱ取付用アングル設置工事	○						
		(10) 乗場表示装置等の取付用下地鋼材の設置工事	○						
		(11) 機器搬入用仮設開口及び搬入後の復旧工事	○						
		(12) 乗場敷居受け用床持出し工事	○						
		(13) 乗場敷居受け用アングルまたはH鋼設置工事	○						
		(14) レール取付用プレート又はレール支持柱設置工事及び錆止塗装	○						
		(15) レール取付用ビーム設置工事	○						
		(16) 乗場関係機器取付後の壁、床仕上げ工事	○						
		(17) ピット防水仕上げ工事	○						
		(18) かご敷居～壁を125mm以内にする調整設置下地工事	○						
		(19) 停止階間が10mを超える場合、昇降路救出口の設置工事(W750×H1200)	○						
		(20) ピットが法定又は必要寸法より深い場合の埋め戻し工事	○						
		(21) ピット点検用タラップの設置工事				○			
		(22) ピットに段差がある場合、転落防止柵又は壁の設置工事	○						
		(23) ピット下利用がある場合、二重スラブ又はつり合いおもり側の直下部厚壁工事	○						
		(24) 屋上、開放廊下等外気と接する乗場雨水よけ対策工事	○						
		(25) 11階以上出入口が無い場合、地震時非常着床階設置工事	○						
		(26) 消火器の設置	○						
		(27) その他建築に関する工事	○						
		(28) 動力、照明電源及び接地線引込工事		○					
		(29) ピットコンセント設置工事(検討：必要により防水形)		○					
		(30) 煙感知器設置工事		○					
		(31) インターホン用及び監視用配管配線工事(昇降路制御盤から外部取付位置まで)		○					
		(32) 館内放送(スピーカー)付の場合の信号線引込工事		○					
		(33) エレベーター遠隔監視用電話回線工事		○					
		(34) その他信号線の昇降路外配管配線工事		○					
		(35) 地震時非常着床階の避難通路照明及び非常灯設置工事		○					
		(36) 乗場戸に近接して設ける防火シャッター等の防火区画工事	○						建設省告示第1111号の廃止による
		(37) エレベーターと防火シャッター等の連動用接点信号の配管・配線の引込工事		○					
		(38) 昇降路の壁または囲いは開隙無きものとする	○						
		(39) 昇降機吊元フック及び取付工事	○						
		(40) メンテナンス用電話				○			空配管は電気工事

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

阿瀬貴裕

藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.
工事区分表（1）	A1：－ A3：－
	RM－003

共通

項目		内容	建築・電気 建築	建築・電気 電気	機械 衛生	機械 空調		別途	備考
19	小荷物専用昇降機	(1) 小荷物用リフト本体設備							
		(2) マシンビーム穴明工事							
		(3) 出し入れ口の呼びボタン							
		(4) 点検扉(鏡付)	○						
		(5) ピット防水仕上げ工事	○						
		(6) 昇降路内機器取付用ファスナー、ビーム、柱等の設置工事	○						
		(7) 三方枠又は四方枠、踏板							
		(8) 各階出し入れ口の穴明工事	○						
		(9) 出し入れ口関係機器取付後の出し入れ口周りの壁及び床仕上工事	○						
		(10) 各階出し入れ口枠周辺のモルタル又はロックウール詰め工事	○						
		(11) 出し入れ口関係機器取付用鋼材の設置工事	○						
		(12) 機械室制御盤までの動力電源・接地線の引込工事		○					
20	仕上	(1) 壁ボード類、下地の切込及び補強	○						
		(2) 鋼板パネルの切込及び補強	○						
		(3) ガラス・鉄板・石貼等の設備器具 取付用穴あけ	○						
		(4) 機械室の吸音材内張り	○						
		(5) 機械室・厨房等の軽量コンクリート	○						
		(6) 床暖房	○						電気式：一次側電源供給は電気工事 温水式：一次側温水配管は空調工事
		(7) フリーアクセスフロア	○						
21	電話設備	(1) PBX改修、電話機						○	
		(2) 既存MDFから事務室端子盤間の配管		○					
		(3) 同上配線		○					
		(4) 端子盤		○					
		(5) 2次側配管、ボックス、プレート		○					
		(6) 同上配線、モジュラージャック		○					
22	情報設備	(1) LANケーブル						○	既製開仕切合
		(2) 光ケーブル、HUB、変換装置						○	
		(3) 情報機器用配管工事		○					
		(4) 光成端装置及び収納ボックス						○	
		(5) 情報機器（ルータ、サーバー、SW-HUB、無線LANアクセスポイント等）						○	
		(6) 19インチラック						○	
		(7) 19インチラック2次側配管、ボックス、プレート（ブランクチップ）		○					
		(8) 同上配線、モジュラージャック		○					
		(9) 管理用PC						○	
23	水廻り	(1) 手洗器（陶器）			○				
		(2) 洗面カウンター	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ共。水栓及び配管接続は衛生工事
		(3) 洗面化粧台	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ・水栓共。配管接続は衛生工事
		(4) 流し台	○						排水ﾄﾗｯﾌﾟ共。水栓及び配管接続は衛生工事
		(5) 身障者用手摺	○						下地補強含む
		(6) ベビーシート・ベビーチェア	○						
		(7) 多目的シート	○						
		(8) 便座シートBOX・ダストBOX ・サニタリーBOX						○	
		(9) ペーパータオルホルダー	○						
		(10) ジェットタオル			○				
		(11) 水石鹸容器			○				
		(12) 鏡・姿見鏡	○						
		(13) 大便器用育もたれ（標準品）			○				
		(14) 大便器用育もたれ（特注品） ・アームレスト	○						
		(15) 擬音装置			○				
		(16) 紙巻器			○				
		(17) 荷物用フック			○				
		(18) 便器消毒器						○	
		(19) ユニットシャワー・バス本体及び取付（照明器具付）	○						ダクト・配管等の接続は指定位置まで取出しとし以降接続は各設備工事
		(20) 洗濯機・乾燥機（一般）						○	
		(21) 洗濯機用防水パン			○				
		(22) 上記の給排水接続			○				
		(23) システム・ミニキッチン	○						吊戸棚・水切棚・換気扇本体・排水ﾄﾗｯﾌﾟ・水栓共 配管接続は衛生工事、ダクト接続は空調工事
		(24) 散水栓ボックス			○				

共通

項目		内容	建築・電気 建築	建築・電気 電気	機械 衛生	機械 空調		別途	備考
24	外構関係	(1) 敷地境界外の外構整備						○	
		(2) 敷地境界外のサインやり替え						○	図示あるものは建築工事
		(3) 園庭遊具	○						
		(4) 外灯		○					
		(5) 屋外オイルタンク躯体	○						
		(6) 屋外オイルタンク本体		○					
25	解体関係	(1) 使用していない配管配線・ダクトの解体	○						解体しないボックスカルバート内の配管配線・ダクトの撤去は各設備工事
		(2) 使用中の配管配線・ダクトの盛替		○	○	○			
		(3) 解体又は改修する建物等の機器のうち、再使用するものの取外し	○	○	○	○			
26	その他	(1) カーテン・暗幕						○	レールは建築工事
		(2) ブラインド・ロールスクリーン						○	ブラインド内蔵サッシのブラインドは建築工事
		(3) 電動ブラインド・電動ロールスクリーン	○						一次側電源供給は電気工事
		(4) 視聴覚設備スクリーン						○	
		(5) 電動視聴覚設備スクリーン	○						一次側電源供給は電気工事
		(6) (1)、(3)～(5)ボックス	○						
		(7) 電動パトン	○						一次側電源供給は電気工事
		(8) テレビハンガー・プロジェクター昇降装置						○	下地補強は建築工事、架台は別途工事
		(9) 視聴覚設備		○				○	
		(10) 移動間仕切壁(スライディングウォール)	○						
		(11) 掲示板	○						
		(12) ピクチャーレール	○						下地補強を含む、壁付け以外は別途工事
		(13) 移動書架						○	埋込式レールは建築工事、一次側電源供給は電気工事
		(14) 造作家具	○						
		(15) 電気時計		○					
		(16) 什器・備品						○	
		(17) 既存家具・什器・備品の移設・接続・処分						○	
		(18) サイン（室名表示・階段表示 ・案内板等）	○						
		(19) サイン（内照式）	○	○					一次側電源供給は電気工事
		(20) 避難器具	○						
		(21) 消火器						○	
		(22) 消火器ボックス	○						置型の場合は別途工事
		(23) ＡＥＤボックス	○						本体は別途工事
		(24) 厨房機器及び接続						○	一次側電源供給、給水、給湯、蒸気、排水は各設備工事
		(25) 各バスボックス本体						○	取付枠は建築工事
		(26) 給茶器・ウォータークーラー						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(27) 各種自動販売機						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(28) 避雷針・避雷導体用鉄筋溶接工事		○					
		(29) 避雷導体用笠木	○						導体接続は電気工事
		(30) 太陽光発電設備		○					基礎は建築工事
		(31) 融雪ヒータ設備		○					
		(32) 屋上庭園散水システム	○						一次側電源供給は電気、一次側給水は衛生工事
		(33) 配管・配線ピット及び蓋	○						
		(34) 駐車場管制設備		○					
		(35) ＩＴＶ						○	一次側電源供給は電気工事
		(36) カードシステム							
		A.電気錠、入退出管理		○					電気錠本体、扉内配線は建築工事
		B.出退勤システム						○	配管敷設は電気工事
		(37) ＡＴＭ						○	一次側電源供給は電気工事
		(38) 売店運営のための什器一式						○	一次側電源供給、給水、排水は各設備工事
		(39)							
		(40)							
		(41)							
		(42)							
		(43)							
		(44)							
		(45)							
		(46)							
		(47)							
		(48)							
		(49)							
		(50)							
		(51)							
		(52)							
		(53)							
		(54)							
		(55)							
		(56)							
		(57)							
		(58)							
		(59)							
		(60)							
		(61)							
		(62)							
		(63)							
		(64)							

病院

項目		内容	建築・電気 建築	建築・電気 電気	機械 衛生	機械 空調		別途	備考
1	中型搬送機	(1) 中型搬送設備	○						
		A. 昇降路築造工事	○						
		B. 床、壁開口部枠入、穴明、補強及び点検扉、天井点検扉	○						
		C. 吊りフック取付及び開口部埋戻し後仕上	○						
		D. キャットウォーク及びシャフト立柱鉄骨	○						
2	気送管搬送設備	(1) 気送管搬送設備	○						
		A. 床、梁貫通スリーブ入れ及び梁貫通スリーブ入れ	○						
		B. 床、梁貫通部補修及び天井点検口	○						
		C. 機械室開閉仕切、基礎防音工事	○						
		D. ステーション部遮蔽用間仕切壁	○						
3	医療機器等関連	(1) 医療機器用アンカーボルト及び架台の取付	○					○	
		(2) 液酸タンク用基礎及び囲い	○						
		(3) 点滴レール、天井吊点滴フック	○						
		(4) 遺体冷蔵庫						○	1次側は電気工事
		(5) 蒸留水製造装置、RO製造装置						○	1次側は本工事
		(6) 滅菌水製造装置			○				
		(7) 手術用消毒手洗装置	○						
		(8) 医療用プレファブ冷蔵室	○						
		(9) 医療コンソールパネル	○						
		(10) 天吊インケアポート、シーリングペンダント（手術室・ＩＣＵ・ＣＣＵ）						○	電源供給は電気工事 天井裏補強金物は建築工事
		(11) 歯科用コンプレッサー及び吸引プロアー及び配管						○	1次側は本工事
		(12) 無影灯						○	支持用アンカーは建築工事
		(13) シャーカステン						○	補強は建築工事
		(14) 便器消毒器						○	1次側は本工事
		(15) 自動現像装置及びミキシングバルブ、流量計、フィルター						○	電源供給は電気工事
		(16) 水治療用特殊浴槽						○	電源供給は電気工事 給排水は衛生工事
		(17) 病棟機械式浴槽及びびろ過装置						○	電源供給は電気工事 給排水は衛生工事
		(18) 各種機能訓練器具						○	
		(19) 各種機能訓練器具補強・取付	○						
		(20) 内視鏡洗浄器具・排気装置						○	1次側は本工事
		(21) 超音波洗浄装置						○	1次側は本工事
		(22) Ｘ線検査撮影装置等						○	支持用アンカーは建築工事、架台は別途工事
		(23) 放射線治療装置						○	支持用アンカーは建築工事、架台は別途工事
		(24) 放射線治療室遮蔽鉄板	○						
		(25) 放射線治療室重量遮蔽扉本体、先物金物	○						
		A. 同上電源供給		○					
		B. 同上リミットスイッチ、二次側 配管・配線、扉制御盤	○						
		(26) RI関係諸室重量遮蔽扉本体	○						
		A. 同上電源供給接続		○					
		B. 同上リミットスイッチ、二次側配管・配線	○						
		(27) 病室床頭ユニット類							
		A. 床頭台						○	
		B. 壁面コンソールユニット	○						
		C. ナースコール子機付属機器取付け 処置灯兼読書灯		○					
		E. テレビ本体						○	電源、アンテナは電気工事
		F. 冷蔵庫						○	電源は電気工事
		(28) 脳波検査室、シールド室	○	○		○		○	詳細図の工事区分表参照
		(29) MRIシールドユニット本体工事	○	○	○			○	詳細図の工事区分表参照
		(30) 手術室内装、機器一式	○						空調ユニットは空調
		A. 同上非常用照明、誘惑、スピーカー		○					手術中灯、使用中灯、一般照明は建築工事
		(31) 薬剤無菌室ユニット	○						
		A. 同上照明、殺菌灯、二次側配線コーキング						○	照明は電気工事
		B. 同上コンセント器具取付二次側配線						○	コンセントは電気工事
		C. 同上動力、非常灯、感知器通信器具配線		○					
		D. 同上空調設備				○			室外のダクトは空調工事
		(32) ペット洗浄機、マットレス消毒機						○	1次側は本工事
		(33) 中材関係洗浄器、滅菌器						○	1次側は本工事
		(34) 中材・抗がん・無菌関係パスボックス主体・取付枠	○						
		(35) 解剖台						○	1次側は本工事
		(36) 解剖用排水処理設備、検査排水処理設備 ホルマリンタンク			○				
		(37) 書尿システム						○	1次側は本工事
		(38) 医用モニター機器用配管工事		○					
		(39) RI監視及びモニター設備			○				
		(40) 液酸タンク本体			○				
		(41) 医療ガス設備			○				
		(42) 外来待合・校業表示システム、霊安室祭壇						○	電源供給・実装は電気工事
		(43) 自動再来受付機・自動会計機						○	電源供給は電気工事
		(44) 透析装置及び配管						○	電源供給は電気工事、ＲＯ水用配管は衛生工事
		(45) 院内ＰＨＳ		○					
		(46) 無菌病室ユニット（クラス100）						○	一次側は本工事
		(47) 別途工事に含まれる医療器具の接続工事						○	

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇

阿瀬 貴裕

藤村 一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）

工事区分表（2）

2023.03.

A1： －

A3： －

RM－004

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 建設工事名　静岡県立こども病院　ハイブリッドオペ室改修工事（機械設備）

2 建設工事場所　静岡市　葵区　漆山860　地内

3 建物概要

建物（棟）名称	構造	階数	延床面積（㎡）	備考
西館	RC造	地上6階	13,597.31	改修工事

4 工事科目（⊙印のあるもの）

⊙空気調和設備，換気設備	⊙給湯設備
・排煙設備	⊙消火設備
・衛生器具設備	・ガス設備
⊙屋内給水設備	・浄化槽設備
・屋外給水設備	・さく井設備
⊙屋内排水設備	⊙撤去工事
・屋外排水設備	・

Ⅱ 仕様

1 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書令和４年版による。
・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
・公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）・公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
・建築物解体工事共通仕様書

2 標準図は以下の令和４年版による。
・建築工事標準詳細図
・公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）
・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）

3 設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
(1) 質問回答書((2)～(5)に対するもの)　(2) 現場説明書　(3) 特記仕様書
(4) 図面　(5) 標準仕様書

4 特記仕様
(1) 項目は全て適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印のない場合は、※印を適用する。　⊙ 印と ⑧ 印の付いた場合は、共に適用する。

科目	項目	特記事項
一般事項	1 法令その他	この工事は、工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。 官公署の検査を必要とする工事にあっては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。
	2 工事実績情報の登録	受注時又は契約変更時に工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ(CORINS)に登録すること。また、契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、すみやかに契約変更前の工事登録を削除すること。なお、契約金額の変更登録は、完成時のみとする。
	3 工事の一時中止	静岡県建設工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	4 施工図等の権利	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	5 工事写真	営繕工事写真撮影要領令和３年版及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示により撮影する。
	6 監理事務所	※ 設けない ・ 設ける（・既存建物内の一部を使用する ・構内に新設する）
	7 工事用水電力等	本工事に必要な工事用電力・水等は受注者の負担とする。
	8 電気保安技術者	※ 要　⊙ 不要
	9 工事用仮設物	敷地内につくることが　※ できる　・ できない
	10 発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの（・　・　） (2) 特別管理産業廃棄物（・　・　） (3) 再資源化を図るもの（・塩ビ管　・塩ビライニング鋼管） （・　・　） 撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。引渡しを要する配管、ダクト等の保温は分離する。 配管、ダクトの支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。
	11 特定建設資材の再資源化等	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)の通知の有無 ・通知を要しない（対象工事でない）　⊙通知を要する（対象工事である） 対象建設工事の場合は、分別解体等、特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う。 (1)分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
⊙新築工事等	建築設備工事 ※有	※手作業 ・手作業・機械作業併用

	12 産業廃棄物管理票	(財)日本産業廃棄物処理振興ｾﾝﾀｰ(http://www.jwnet.or.jp)が運営する「情報処理ｾﾝﾀｰ」への登録（電子ﾏﾆﾌｪｽﾄ）により行うこと。これにより難い場合は監督職員と協議する。
	13 建設副産物情報交換システム	本工事の情報を「建設副産物情報交換システム（ＣＯＲＢＩＳ）」へ登録するものとし、総合施工計画書作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合には、それぞれ速やかにデータ入力を行う。 また、同システムにより、工事着手時に再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書、及び建設副産物情報交換システム工事登録証明書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。
	14 環境性能等	使用する機材はトップランナー基準に適合したものであること。
	15 使用機材の選定	工事に使用する機材は、その工事の着手前に、「使用材料（機器）報告書」を監督職員に提出して承諾を受ける。
	16 地場産品	静岡県中小企業の受注者機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき、地場産品の使用促進を図ることで、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。受注者は工事に使用する建設資材等について、契約図書に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。 「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第２条に掲げるものをいう。「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。
	17 機材（工事材料）の検査等	使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。 ただし、別表１に掲げる機材については監督職員の検査を受ける。 なお、監督職員の検査の結果、合格した機材と同じ種別の機材は以後原則として抽出検査とする。 また、製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督職員の指示による。
	18 技能士	⊙配管施工（建築配管作業）　⊙建築板金施工（ダクト板金作業） ⊙熱絶縁施工（保温保冷工事作業） ・さく井施工（ﾊﾝﾏｰｶｯｼｮﾝ式さく井工事作業又はﾛｰﾀﾘｰ式さく井工事作業） ・冷凍空気調和機器施工(冷凍空気調和機器施工作業) 技能士は一級技能士の資格を有する者とする。
	19 排出ガス対策等	使用する建設機械は排出ｶﾞｽ対策及び低騒音型とする。
	20 検査	中間検査　・対象工事（実施は中間検査実施基準による）　⊙対象外工事 工事施工途中における技術検査の実施回数等は監督職員の指示による。
	21 完成図書	現場説明書による。
	22 電子納品	電子納品特記仕様書による。 貸与する設計図データの有無（　※　有り　・　無し　） 貸与するＣＡＤデータは当該工事のために必要な施工図及び完成図の作成の範囲で使用できる。
	23 公共事業労務費調査に対する協力	受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。 また、工期経過後においても同様とする。 （１）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 （２）調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。 （３）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
	23 地下埋設物の事故防止	**「静岡県地下埋設物の事故防止マニュアル」に基づき、事故防止対策を行うこと。**
	24 石綿含有建材の事前調査	**「石綿障害予防規則の解説（令和2年10月28日厚生労働省労働基準局）」に基づき、対象となる場合は特定建築物石綿含有建材調査者が行う。** なお、建築物の改修」事で請負代金額の合計額が100万円以上であるものについては、原則として「石綿事前調査結果報告システム」を用いて調査結果の報告を行い、内容を監督職員へ提出すること。 ※石綿事前調査結果報告システムには「gBizID（https://gbiz-id.go.jp）」への登録が必要となる。
総合試運転調整等	1 総合試運転調整	※行わない　⊙行う（行う場合は下記４項目を選択）
	風量調整	※行う　・行わない
	水量調整	※行う　・行わない
	室内外空気の温湿度の測定	※行う　⊙行わない
	室内気流及びじんあいの測定	⊙行う　※行わない
	2 騒音の測定	⊙行う　※行わない
	3 飲用水の水質の測定	※行わない　・行う（行う場合は下記３項目を選択） ・水道法施行規則第56条第２項による検査項目（臭気、味、色、色度、濁度、残留塩素） ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律第4条第3項による28項目及び残留塩素 ・水道法施行規則第10条による全項目及び残留塩素
	4 雑用水の水質の測定	・行う（行う場合は下記による）　※行わない ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律に規定される建築物環境衛生管理基準による
	5 化学物質の濃度測定	※ 不要　・ 要 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等については、監督職員の指示による。

共通工事	1 屋外支持金物	配管及びダクトの屋外支持金物 ※ ステンレス製　・ 亜鉛メッキ　・
	2 溶接部の検査	標準仕様書第2編2.5.17の溶接部の非破壊検査の適用 ・ 要（　）　※ 不要 なお、放射線透過検査の判定基準は監督職員との協議による。
	3 地中埋設標	※ 設ける　⊙ 設けない
	4 埋設標識テープ	※ 設ける　⊙ 設けない
	5 管の防食	保温を施さない鋼管類でコンクリート埋込み部及びコンクリート壁等の貫通部は、防食用ビニールテープ巻き1/2重ね1回巻きとする。 ただし外面を樹脂等で被覆された鋼管は除く。
	6 建物導入部配管	変位吸収方法について図面に特記なき場合は、スリークッションにより施工する。（可とう性を有する管種は除く） ポリエチレン管の異種管接続部における点検用桝（※設ける　・設けない）
	7 弁類の開閉表示	配管に設ける弁類には、開閉表示を（ ※ 行う　・ 行わない） （土中埋設の弁類も同様）
	8 保温工事	図面に特記のない場合の保温材は下記によるほか標準仕様書第2編による。 一　般　※ グラスウール 屋外、多湿箇所(給水管)※ ポリスチレンフォーム 〃　(給水管以外)※ グラスウール　・ ロックウール 防火区画貫通部　※ ロックウール 高　温　部　※ ロックウール 図面に特記のない場合の保温箇所は下記によるほか標準仕様書第2編による。 ・保温要（　・消火管　・　）
	9 亜鉛めっき以外の鋲面のさび止め塗装	※鉛・クロムフリーさび止めペイント(JIS K 5674) ・
	10 養生	養生範囲（　）養生方法（　）
	11 足場その他	※別契約の関係工事で定置したものは無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 内部足場の種別　※脚立、足場板等　・ 外部足場の種別　※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 Ａ種：施工箇所面に枠組足場を設ける Ｂ種：施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける Ｃ種：施工箇所面に単管本足場を設ける Ｄ種：仮設ゴンドラを使用する Ｅ種：移動式足場を使用する 設置においては、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)における手すり据置方式又は手すり先行専用足場方式に基づき設置すること。 ・外部足場の防護シートによる養生 （・養生ネット　・養生シート(・Ⅰ類　・Ⅱ類)・ネット状養生シート(・Ⅰ類　・Ⅱ類)） （・防音シート　・防音パネル　・　・　・　・　）
	12 埋戻し土及び盛土	※ 根切り土の中の良質土(ただし、ｺﾝｸﾘｰﾄ管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類
	13 残土処分	※構内敷きならし ・構外搬出　片道運搬距離（　）km、DID区間（　・　有　・　無　） 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出場所の受入を証明する資料を提出する。 搬出場所の名称及び所在地(　) 受入条件(　) 仮置場(　) 受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ・構内指示の場所にたい積
	14 配管施工時の土留め	土留め工法は、（ ※　軽量鋼矢板先行工法　・　）とする。
	15 コンクリート圧縮強度試験	現場での試験（ ※　行わない　・行う ） 工場での試験成績書の提出（ ※　求める　・求めない ）
	16 関連する工事との施工区分	図面に特記なき場合は「工事区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
	17 配管埋設深さ	一般敷地内では管の上端より（ ※300mm　・　mm)以上とし、構内道路は（ ※600mm　・　mm)以上とする。
	18 凍結深度	凍結深度（　mm)以上とする。
	19 非破壊検査	改修工事ではつり作業を行う場合の、非破壊検査による埋設物の事前調査を ⊙ 行う（床　※ 放射線透過検査　・ レーダー探査　／　壁　※ レーダー探査　⊙ 放射線透過検査）　・ 行わない
	20 既存インサート及びアンカー	原則として、再使用しない。やむを得ず再使用する場合は、引張強度の確認試験を行う。
	21 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）から（４）を満たすものとする。 （１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料を使用する。 （２）接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 （３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 （４）（１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	22 ステンレス鋼管継手	呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は下記による。 メカニカル形管継手（ ※ 拡管式　・ プレス式　・　）
	23 鋼管用伸縮管継手	※ ベローズ型　・ スリーブ型
	24 絶縁継手 ・絶縁フランジ	異種金属間の接合箇所に取り付ける。
	25 ポンプ	汚物用水中モーターポンプ電動機の極数は、（ ※ 4極・ 6極 ）とする。
	26 電線保護物類	(1)合成樹脂製可とう電線管(PF管)及び付属品 ※タイプ25を使用するものとする。 (2)金属製露出管路 次の管路は塗装を行う。溶融亜鉛めっき加工された電線管を除く。 （※屋外　※機械室等を除く屋内の見えがかり部　・　）

	27 水槽類	(3)ケーブル配線の保護管は、標準仕様書(電気設備工事編)金属管配線、合成樹脂管配線の項による。 (4) 壁面配管等で人が容易に触れるおそれのある部分（２ｍ以下）の配管支持材には保護キャップ等の安全措置を施すものとする。 水槽類のオーバーフロー管及びドレン管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。
	28 耐震施工	設備機器・配管等の支持、固定は別表２による。 ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議する。 設計用水平地震力は、下記に示す設計用水平震度に、機器の質量を乗じたものとする。 設計用鉛直震度は、下記設計用水平震度の1/2とする。 設計用水平震度は既存建物に合わせ、すべて0.6に読み替える。

設置場所・・・・	設備耐震クラス分類		
	Sクラス	Aクラス	Bクラス
上層階・屋上階及び塔屋	2.0	1.5	1.2
中間階・・・・・・・・	1.5	1.0	0.72
地下階及び１階・・・・	1.0	0.6	0.48
地下階及び１階・・・・に設置する水槽・・・・	1.5	1.0	0.72

＊防振支持する場合は、設備機器の応答倍率を考慮し、Ｂクラスのときは Ａクラスを、Ａクラスのときは Ｓクラスを適用する。

本施設は（　・防災上重要な機能を必要とする防災拠点等⊙ 防災上重要な施設・ 一般の施設 ）とする。

機器等の設備耐震クラスの分類は、次による。

クラス	防災拠点等及び防災上重要な施設	一般の施設・・
Ｓクラス	・ タンク類 ・ 防災機器 ・ ポンプ類 ・ 無線室等の空調機類 ・	・ 防災機器 ・ ・
Ａクラス	・ 熱源機器 （・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 冷温水機 ・） ・ 冷却塔 ・ 空調機 ・ ガス機器 ・ 配管・ダクト ・	・ タンク類 ・ ポンプ類 ・ ガス機器 ・ ・
Ｂクラス	Ｓ、Ａクラス以外の機器等	Ｓ、Ａクラス以外の機器等

※配管、ダクト、機器等の天井吊下げ用として金属拡張アンカーを用いる場合には、締付け方式のアンカーを使用すること。

空気調和設備・換気設備	1 設計条件	

	屋外		屋内（測整目標値、血管造影室2）	
	温　度（DB）	湿　度（RH）	温　度（DB）	湿　度（RH）
夏期・	33.9　℃	59.0　％	22.0 ℃	50　％
冬期・	3.5　℃	36.9　％	22.0 ℃	40　％

	2 ばい煙濃度計	※ 設ける(図示による)　・設けない
	3 ばいじん量測定口	※ 設ける　・設けない (口径80ｍｍ以上でフランジ付とし、機器ごとに煙道の直線部に設ける。)
	4 チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機の吸込側及び吐出側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm以上とする。なお、製作及び取付は共通仕様書のアングルフランジ工法ダクトの当該事項による。図示されたチャンバーには、450×600の点検口を設ける。 (3) 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	5 吹出口・吸込口	※ アルミニウム製　・ 鋼製
	6 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 操作方式　瞬時通電式又は電動式（DC24V 0.7A以下） 復帰方式　・ 遠隔　・　・ 定格入力は DC24V 0.7A以下とする。 (2) ピストンダンパー 復帰方式　・ 遠隔　・
	7 矩形ダクト	低圧ダクト　⊙ コーナーボルト工法 （⊙ 共板フランジ工法　・ スライドオンフランジ工法） ・ アングルフランジ工法 コーナーボルト工法は長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用する。
	8 冷媒ガス	冷媒ガスはメーカー標準とする。
	9 配管材料	冷　媒　管　※ 冷媒用断熱材被覆銅管 ・ 銅管 冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VA） ・ 排　水　管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ⊙ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 排水・通気用耐火二層管（屋内に限る） 油　　管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） 蒸 気 管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 ・ ブライン管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	10 冷媒管保温外装	屋内露出　※ 保温化粧ケース　・ 屋外露出　・ 保温化粧ケース　※ ステンレス鋼板　・ なお、保温化粧ケースは塩化ビニル樹脂製とする。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野　崇

阿瀬 貴裕

藤村 一樹

静岡県立こども病院ハイブリット オペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 005
機械設備　特記仕様書（1）	A1：1/100 A3：1/200	

機械設備工事特記仕様書

排煙設備

1	ダクト	※ 亜鉛鉄板　・ 普通鋼板（板厚　※ 1.6 ㎜　・　　㎜）
2	排煙口の形式	・ 天井取付　（・ スリット形　・ パネル形　）
		・ 壁取付　（・ スリット形　・　）
3	排煙口開放装置	・ 電気式（ 遠隔復帰 ・ 要 ・不要 ）
		・ ワイヤー式
4	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書2016年版（(一財)日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

衛生器具設備

1	隅付ロータンク	※ 防露型　・ 普通型
2	掃除流し	排水口形式　※ 目皿　・ 鎖付き共栓
3	水栓	コマ形式　※ 節水コマ　・ 吊サゴマ　・ 普通コマ
4	洗浄水量	改修工事における大便器の洗浄水量の調整 調整を（※行う　・行わない） 大便器の洗浄水量の調整は次のとおりとする。 新設の場合:6.5リットル、既存利用の場合:便器の仕様に合わせる

屋内給水設備

1	配管材料	屋内一般　※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB） 地中埋設　※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD）
2	配管接合	ねじ接合　※ 100A 以下　・　A 以下 フランジ接合　※ 125A 以上　・　A 以上　（FVB、FVDとする）

屋外給水設備

1	上水道加入金	※ 不要　・ 要（※ 別途　・ 本工事）
2	量水器	※ 貸与品　・ 本工事（水道事業者の認定品）
3	量水器桝	※ 水道事業者の規格　・ 標準図　形
4	配管材料	地中埋設　※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）（40A 以下） ・ 水道用ポリエチレン二層管（40A 以下） ※ 水道配水用ポリエチレン管（50A 以上） 架　空　※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・
5	配管接合	ねじ接合　※ 100A 以下　・　A 以下 フランジ接合　※ 125A 以上　・　A 以上　（FVB、FVDとする）
6	緊急遮断弁装置	駆動方式　※電気式　・機械式
7	水圧試験	水道配水用ポリエチレン管は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会が推奨する試験方法による。

屋内排水設備

1	配管材料	雑排水　※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 排水・通気用耐火二層管 汚水　※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 排水・通気用耐火二層管 通気　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 排水・通気用耐火二層管
2	配管施工	(1)排水横主管に設ける90°曲管は原則として大曲管とする。 (2)排水縦管の下部曲がり管及び排水横枝管の水平曲がり管は大曲管とする。
3	試験	満水試験　・ 行わない　※ 行う 煙試験　※ 行わない　・ 行う 排水の通水試験は、桝への放流を確認し、報告書を作成すること。 （空調ドレン排水を含む）
4	その他	流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可）

屋外排水設備

1	放流納付金	※ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）
2	配管材料	※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）
3	桝類	マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。 蓋の鎖　鉄製蓋　※ 要　・ 不要 塩化ビニル製蓋　・ 要　※ 不要
4	桝の深さ	※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。 ・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合） 汚水桝　小口径桝(150mm(流入口径75mm以下に限る))：深さ1,000mm以下 小口径桝(200mm)：深さ1,500mm以下 小口径桝(300mm)：深さ2,500mm以下 雨水桝(ﾊﾞｽｹｯﾄ付)　小口径桝(150mm)：深さ1,200mm以下 小口径桝(200mm)：深さ1,500mm以下 小口径桝(300mm)：深さ2,500mm以下

給湯設備

1	配管材料	※ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ 鋼管（硬質M） ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 保温付被覆鋼管（保温14mm以上）
2	配管保温外装	屋内露出　※ 合成樹脂製カバー 屋外露出　・ 合成樹脂製カバー ※ ステンレス鋼板

消火設備

1	配管材料	屋内一般　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40） ・ 原則としてハウジング形継手は使用しない。 地中埋設　※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS） ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40） ・
2	屋内消火栓箱	※ 製造者標準仕様　・ 標準図（P －　）による。

ガス設備

1	ガスの種類	・ 都市ガス　Kcal/nm3 ・ 液化石油ガス　24,000Kcal/nm3
2	配管材料	屋内一般　※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 地中埋設　※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP･PLS） ・ ガス用ポリエチレン管（PE）
3	ガスメーター	※ 貸与品　・ 本工事
4	ガス漏れ警報機	外部出力端子（※ 有　・ 無 ）
5	緊急遮断弁	・ 設ける　・ 設けない
6	試験	保持時間は24分以上とし、記録計による測定表を提出する。 ただし、都市ガスの場合はガス事業者の定める方法とする。
7	その他	ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。

浄化槽設備

1	処理方式	合併処理　・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第（　）（　方式）
2	処理能力	処理対象人員　人 処理水量　m3/日
3	本体構造	・ コンクリート製　・ ＦＲＰ製
4	放流水質	BOD　ppm 以下
5	配管材料	・ 一般配管用ステンレス鋼管（　） ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管　（　） ・ 配管用炭素鋼鋼管(白)　（　）
6	土留め工法	・ ・

さく井設備

1	種別	・ 浅井戸　・深井戸
2	掘削方式	・ ロータリー式　・ パーカッション式　・ ダウンザホールハンマ式
3	ケーシング	※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
4	ストレーナー	※ ステンレス製巻線型　・
5	電気検層	※ 連続測定　・ スポット測定
6	水質検査	※ 行う（原水全項目）　・ 行わない

撤去工事

1	冷媒（フロン系）の回収	※ 無　⊙ 有 （1）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。 また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。 （ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等） （2）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。
2	家庭用エアコンの処分	家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、施設管理者へ引き渡しを行う。
3	吸収冷凍機、吸収冷温水機等の臭化リチウム水溶液等	※ 無　・ 有 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。
4	石綿含有建材の除去工事	事前調査　※ 行う　・ 行わない 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。 分析による石綿含有建材の調査　※ 行わない　⊙ 行う（2箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿粉じん濃度測定　※ 行わない　・ 行う（　箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。 石綿含有品　・ フランジ用ガスケット（・ 配管　・ ダクト） ・ 配管用成形保温材 ⊙ 天井材 ・ 外壁（　・塗材　・スレート　・　） 撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。 石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。

その他

1 ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。
2 舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

別表 1

名称・・・

配管類
・給水管
・排水管
・冷温水管
・冷媒管
・

弁類
・仕切弁
・バタフライ弁
・逆止弁
・緊急遮断弁
・

ポンプ類
・給水用ポンプ
・空調用ポンプ
・消火ポンプ
・
・

タンク類
・受水槽
・高架水槽
・貯湯槽
・膨張水槽
・

空気調和設備工事用機材
・パッケージエアコン
・空気調和機（AHU）
・冷却塔
・ヘッダー
・

自動制御機器類
・中央監視盤
・リモート盤
・
・
・

給排水衛生設備工事用機材
・衛生器具
・水栓
・組立てマンホール
・
・

浄化槽
・ＦＲＰ浄化槽
・動力盤、制御盤
・ブロワー
・
・

さく井
・スクリーン
・
・
・
・

その他
・スリーブ（つば付鋼管）
・
・
・
・

⊙ 印の付いたものを適用する。

別表2
設備機器・配管の支持、固定は、以下の図書を適用する。
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成２５年度）
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防災上重要な機能を必要とする防災拠点等	ガイドライン＊	ガイドライン＊
防災上重要な施設	ガイドライン＊	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

＊ガイドラインに記載のない内容は、センター指針及び標準仕様書を適用する。

その他（下記内容は、関連する項目全てに適用する。）

※ 工事中の安全計画について
各工事開始前に、工事中の安全計画書を作成し、消防と協議の上、工事を行うこと。

※ 既存配管、ダクト等にかかる新設区画壁について
既存配管、ダクト等に新設区画壁が干渉する場合は、基本的に新設壁の施工の仕方で調整する。
ただし、区画貫通部の穴埋めは設備工事で行うこと。

※ 改修工事について
工事対象外部分の作業時間は仮設計画図を参照のこと。また、各工事の設備切替、断水等の病院運営に支障をきたす作業を行う場合は、範囲・時間等を病院と綿密に協議・調整を行うこと。

※ 特定施設の届出について
改修工事にあたり、必要な特定施設の届出を行うこと。

※ HEPAフィルターの予備品について
フィルターの予備品は新設の200%見込むこと。

※ 既存調査について
工事前の既存調査費として、配管工20人工を見込むこと。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 006
機械設備　特記仕様書（2）	A1：1/100 A3：1/200	

特記仕様

・別紙の特記仕様書及び本図面中に指定が無い使用材料は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（令和4年版）ものとする。
・パッケージエアコンの冷房能力及び電気特性はJIS B 8616: 2015及びJRA4002: 2016によるものとする。
・設計清浄度はISO規格14644−1（米国連邦規格Fed.2009.D併記）に準拠する。また、評価基準とする測定粒径は0.3～5.0μmとする。
・パッケージエアコンの運転可能温度範囲は下記の通りとする。
冷房運転可能温度範囲：室外　−5℃DB～43℃DB、暖房運転可能温度範囲：室外　−20℃WB～15℃WB
暖房運転可能温度範囲：室外　−20℃WB～15℃WB
・外気条件：建築設備設計基準（令和3年版）に準ずる、外気供給温湿度条件：24℃DB 50%とする。

各室性能条件

室　名	血管撮影室2	前室2	機械室1	機械室2
室面積	50.87m2	5.85m2	9.2m2	10.68m2
天井高	2.92m	2.92m	2.6m	2.6m
室容積	148.5m3	17.1m3	34.9m3	27.8m3
清浄度	ISOｸﾗｽ7(ｸﾗｽ10,000)	ISOｸﾗｽ7(ｸﾗｽ10,000)	−	−
吹出風量	5,200m3/h(SOA含む)	600m3/h	1,200+2,520（既存）m3/h	1,320+3,150（既存）m3/h
循環回数	35.0R/h	35.1R/h	106.6R/h	4,470R/h
外気風量(換気回数)	500m3/h(3.4回/h)	0m3/h	0m3/h	0m3/h
排気量	500m3/h(余剰排気)	0m3/h	0m3/h	0m3/h
温　度	22℃	成行	24℃	24℃
湿　度	20～75%	成行	20～75%	20～75%
空調方式	壁埋込ｴｱｺﾝ ＋ HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	HEPAﾌｧﾝﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	天カセ4方向吹エアコン＋既存空調機	天カセ4方向吹エアコン＋既存空調機

工事区分表

工事項目	機械設備工事		別途工事	備　考
	ユニット工事	空調工事		
01. 手術室空調設備機器工事(下記機器表)	○			
02. 空調機器間の連動工事及び自動制御工事		○		
03. 空調機器間の自動制御工事		○		
04. 手術室ﾃﾞｯﾄ・冷媒配管工事		○		
05. 手術室ドレン配管工事		○		
06. OAﾀﾞｸﾄ工事		○		
07. 機械室内除湿器用ドレン配管立上げ		○	※	※立上げ部～除湿器までのドレンはアンギオ装置メーカ工事
08. 手術室壁、天井、埋込器具等	○			
09. 室外機用コンクリート基礎及び共通架台工事		○		
10. 壁,床等のコア抜き及びレントゲン検査		○		
11. 点検口設置工事			建築工事	
12. 手術室空調設備電源工事		室内機二次側	電気設備工事(内容※)	※室外機及び室内機（親機）、FFU（親機）まで
13. 鉛防護貫通処理工事		○	電気設備工事	※各社
14. 新設配管ﾙｰﾄ、機械室新設機器に伴う天井解体復旧			建築工事	

ｸﾗｽ別粒径毎粒子数

ｸﾘｰﾝﾙｰﾑ ｸﾗｽ別	粒径毎粒子数	
	≧ 0.5μm	≧ 5.0μm
ISOｸﾗｽ7	≦ 352,000 個/m3	≦ 2,930 個/m3
ｸﾗｽ 10,000	≦ 10,000 個/ft3	≦ 70 個/ft3

※ISO規格14644−1に準拠する。
（米国連邦規格Fed 209E併記する。また測定粒径は0.3μm～5μmとする）

性能測定

測定項目	対称室
浮遊微粒子数測定　※詳細は上表参照	血管撮影室2、前室2
空気清浄度回復時間測定（血管撮影室2のみ）	血管撮影室2
HEPAﾌｨﾙﾀｰ走査ﾘｰｸ測定	血管撮影室2、前室2
風量・風速測定	血管撮影室2、前室2
温度・湿度測定	血管撮影室2、機械室1、機械室2
室圧測定	血管撮影室1,2、前室2、操作室、医師操作室
騒音測定	血管撮影室2、前室2、機械室1、機械室2

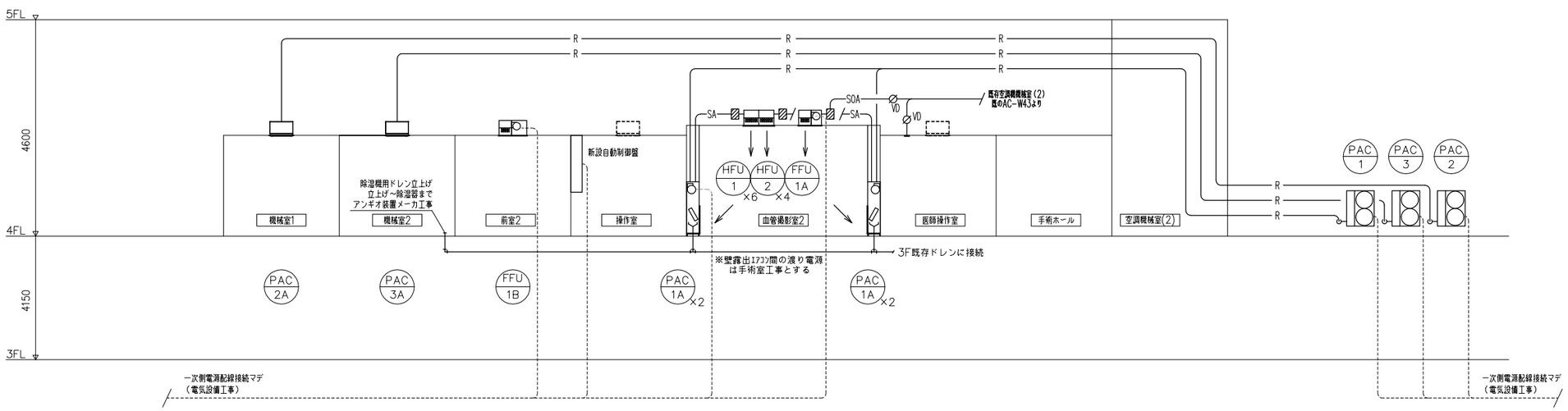
空調設備機器リスト

記号	名称	機器仕様	電源 機器	φ	V	電動機出力 kW	消費電力 kW	台数	設置場所	備考
PAC−1	室外機	型　式：空冷HP式ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ（6馬力冷暖切替型）	送風機	3	200	0.06x2	冷：3.57	1	室外機置場	重　量：122kg(本体)+19kg(防振架台)
	(血管撮影室2系統)	冷房能力：　16.0 kW　暖房能力：　17.0 kW	圧縮機	3	200	3.52	暖：4.07			参考型番：三菱電機PUSY−FP160MH2
		附属品：ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台、渡方端子、分岐管ｾｯﾄ					最大:4.97			※ﾌﾗｯﾄ：日晴金属(株)社SP−BL同等品
		壁面設置用ブラケット（※）								
PAC−1A	室内機	型　式：壁面露出型HP式ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ	送風機	1	200	0.26	0.26	4	血管撮影室2	本体サイズ：850W×500D×2920H
	(血管撮影室2系統)	送風量：　1,175 m3/h　機外静圧：　200 Pa								重　量：115kg/台
		冷房能力：　4.5 kW　暖房能力：　5.0 kW								その他：プレ(重量法60%以上)
		附属品：ﾘﾓｺﾝ,渡方端子,ｴｱﾌｧｯﾄ弁,ﾌﾟﾚﾌｨﾙﾀｰ,化粧ﾊﾟﾈﾙ								718x595x10tx1枚/台
PAC−2,2A	2: 室外機	型　式：天井ｶｾｯﾄ4方向吹出型HP式ｴｱｺﾝ（ｼﾝｸﾞﾙ）	送風機(内)	1	200	0.12	冷：0.67	1式	2：室外機置場	参考ｾｯﾄ型番：三菱電機PLZ−ZRMP112HFG3
	2A: 室内機	送風量：1,200−1,440−1,800−2,160 m3/h	送風機(外)	3	200	0.06x2	暖：0.75		2A：機械室1	室外機重量：約31kg(本体、ﾊﾟﾈﾙ含む)
		冷房能力：10.0(2.7～11.2) kW	圧縮機(外)	3	200	2.1	最大: 4.4			室外機重量：99kg(本体)+19kg(防振架台)
		暖房能力：11.2(2.8～14.2) kW								室内機用電源は室外機からの電源送り
		附属品：ﾘﾓｺﾝ,渡方端子,室外機,ﾌﾟﾚﾌｨﾙﾀｰ								上記配線種：EM−CE3.5sq−3C
PAC−3,3A	3: 室外機	型　式：天井ｶｾｯﾄ4方向吹出型HP式ｴｱｺﾝ（ｼﾝｸﾞﾙ）	送風機(内)	1	200	0.12	冷：3.02	1式	3：室外機置場	参考ｾｯﾄ型番：三菱電機PLZ−ZRMP140HFG3
	3A: 室内機	送風量：1,320−1,460−1,920−2,280 m3/h	送風機(外)	3	200	0.06x2	暖：2.98		3A：機械室2	室外機重量：約31kg(本体、ﾊﾟﾈﾙ含む)
		冷房能力：12.5(3.2～14.0) kW	圧縮機(外)	3	200	2.8	最大:5.35			室外機重量：99kg(本体)+19kg(防振架台)
		暖房能力：14.0(3.5～18.2) kW								室内機用電源は室外機からの電源送り
		附属品：ﾘﾓｺﾝ,渡方端子,室外機,ﾌﾟﾚﾌｨﾙﾀｰ								上記配線種：EM−CE3.5sq−3C

記号	名称	機器仕様	電源 機器	φ	V	電動機出力 kW	消費電力 kW	台数	設置場所	備考
FFU−1A	ﾌｧﾝﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型　式：天カセ型ﾌｧﾝﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ（ダクト接続型）	送風機	1	200	0.25	0.25	1	機械室2	重　量：68kg/台
	(血管撮影室2系統)	送風量：500 m3/h　機外静圧：10 Pa								その他：多風量型HEPA(DOP99.97%)
		附属品：多孔吹出ﾊﾟﾈﾙ,HEPAﾌｨﾙﾀｰ,差圧警報用ﾋﾟﾄｰ管								305x610x150tx1枚
		GW内貼25t（40KG）								
FFU−1B	ﾌｧﾝﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型　式：天カセ型ﾌｧﾝﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ（循環型）	送風機	1	200	0.25	0.25	1	前室2	重　量：78kg/台
	(前室2系統)	送風量：600 m3/h　機外静圧：0 Pa								その他：多風量型HEPA(DOP99.97%)
		附属品：多孔吹出ﾊﾟﾈﾙ,HEPAﾌｨﾙﾀｰ,差圧警報用ﾋﾟﾄｰ管								305x610x150tx1枚
		プレフィルター,GW内貼25t（40KG）								
HFU−1	HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型　式：天カセ型HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ						6	血管撮影室2	重　量：34kg/台　（一部連結）
	(血管撮影室2系統)	送風量：600 m3/h　初期圧損：74 Pa								その他：多風量HEPA(DOP99.97%)
		附属品：多孔吹出ﾊﾟﾈﾙ,HEPAﾌｨﾙﾀｰ,差圧警報用ﾋﾟﾄｰ管（代表）								760x610x150tx1枚
		GW内貼25t（40KG）								終期圧損（148Pa）＝初期圧損×2とする。
HFU−2	HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	型　式：天カセ型HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ						4	血管撮影室2	重　量：19kg/台　（ダクトにて連結）
	(血管撮影室2系統)	送風量：275 m3/h　初期圧損：79 Pa								その他：多風量HEPA(DOP99.97%)
		附属品：多孔吹出ﾊﾟﾈﾙ,HEPAﾌｨﾙﾀｰ								305x610x150tx1枚
		GW内貼25t（40KG）								終期圧損（158Pa）＝初期圧損×2とする。
−	新設自動制御盤2	型　式：壁掛け型	制御機器	1	200	0.5	0.5	1	操作室	
−	新設空調操作盤2	型　式：壁掛け型						1	血管撮影室2	電源は自動制御盤からの電源送りとする。

ダクト及び配管系統図

———— 手術室工事（実線）
····· 別途工事　（破線）



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野　崇

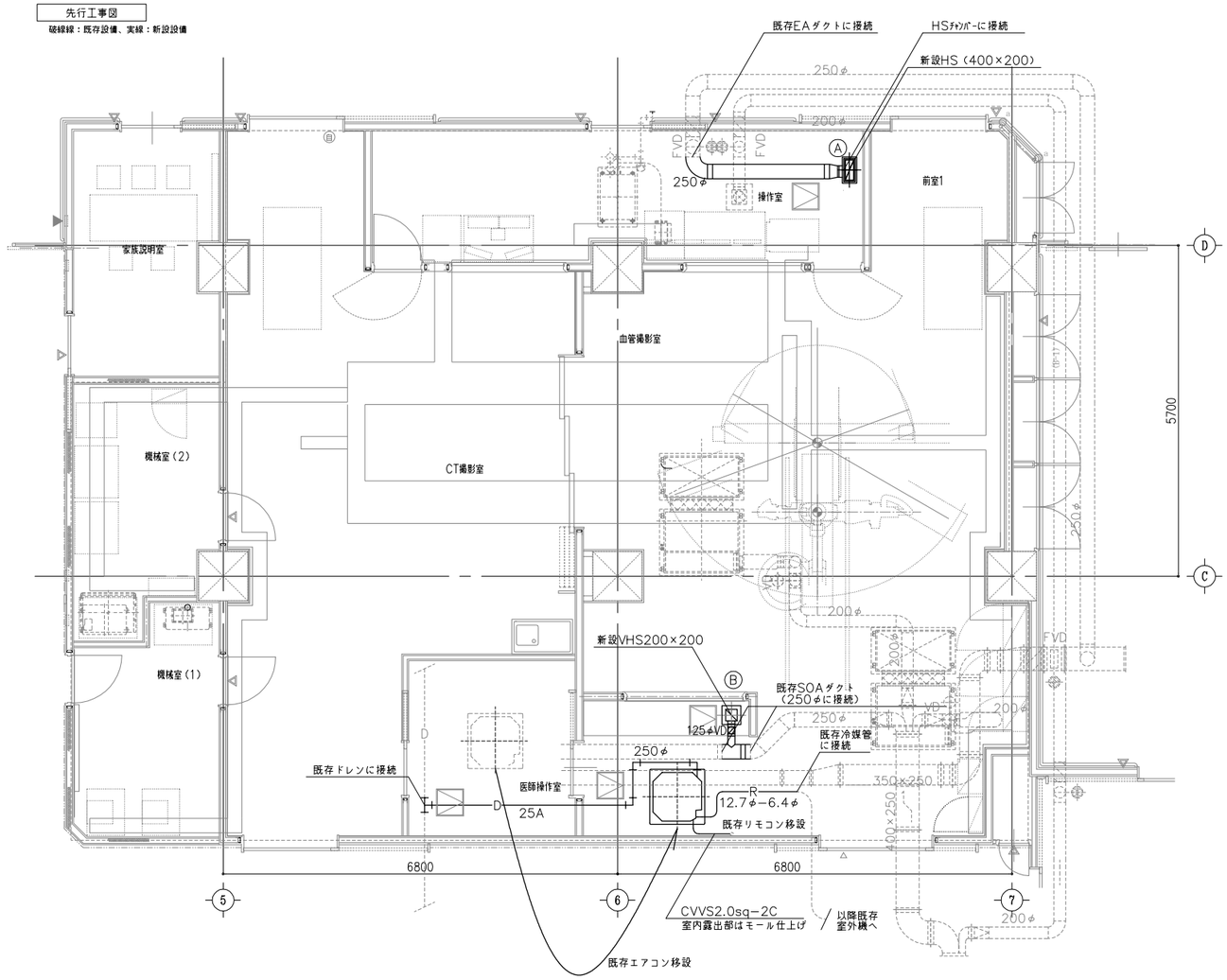
阿瀬貴裕

藤村一樹

静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事(機械設備)	2023. 03.	RM - 101
空調換気設備 機器表、性能条件、工事区分（改修図）	A1:1/50 A3:1/100	

先行工事図

破線線：既存設備、実線：新設設備



チャンバーリスト（新設）

記号	種類	寸法	保温仕様	台数	備考
Ⓐ	ﾁｬﾝﾊﾞ	450 x 250 x 500	−	1	排気系統の為、保温無し
Ⓑ	ﾁｬﾝﾊﾞ	300 x 300 x 500	(2)	1	
保温仕様(2)：GW25t 内貼					

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野　崇

阿瀬 貴裕

藤村 一樹

静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（機械設備）

空調換気設備 4階先行工事詳細図（改修図）

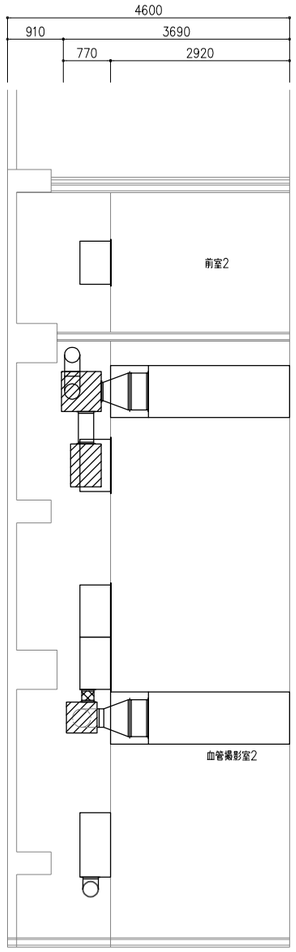
2023.03.

A1：1/50
A3：1/100

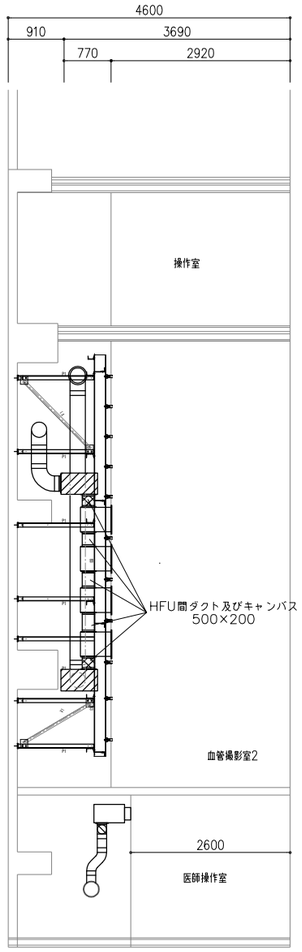
RM - 102

特記1）――――は新設、‥‥‥‥‥ は既設を示す。
特記2）――◎――は鉛貫通処理を示す。

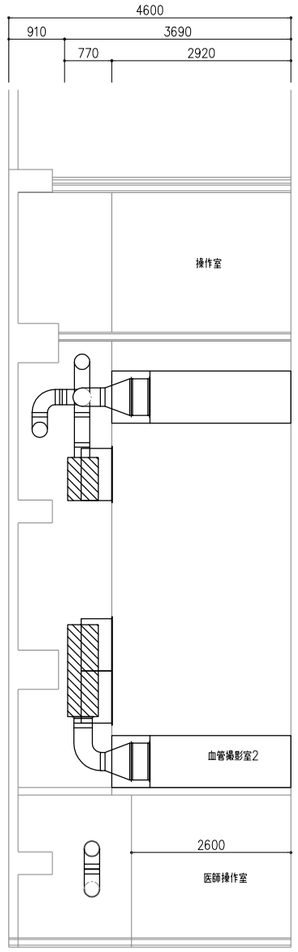
C−C断面図



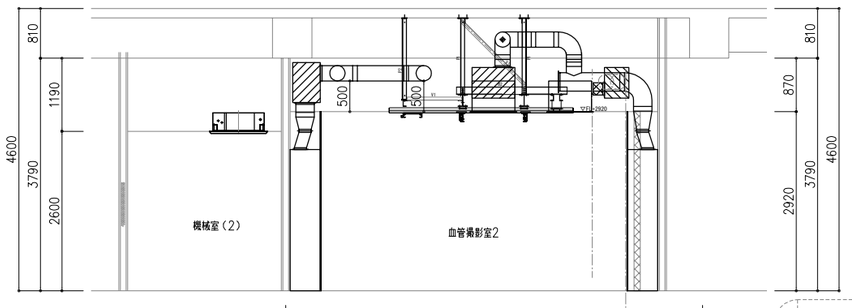
D−D断面図

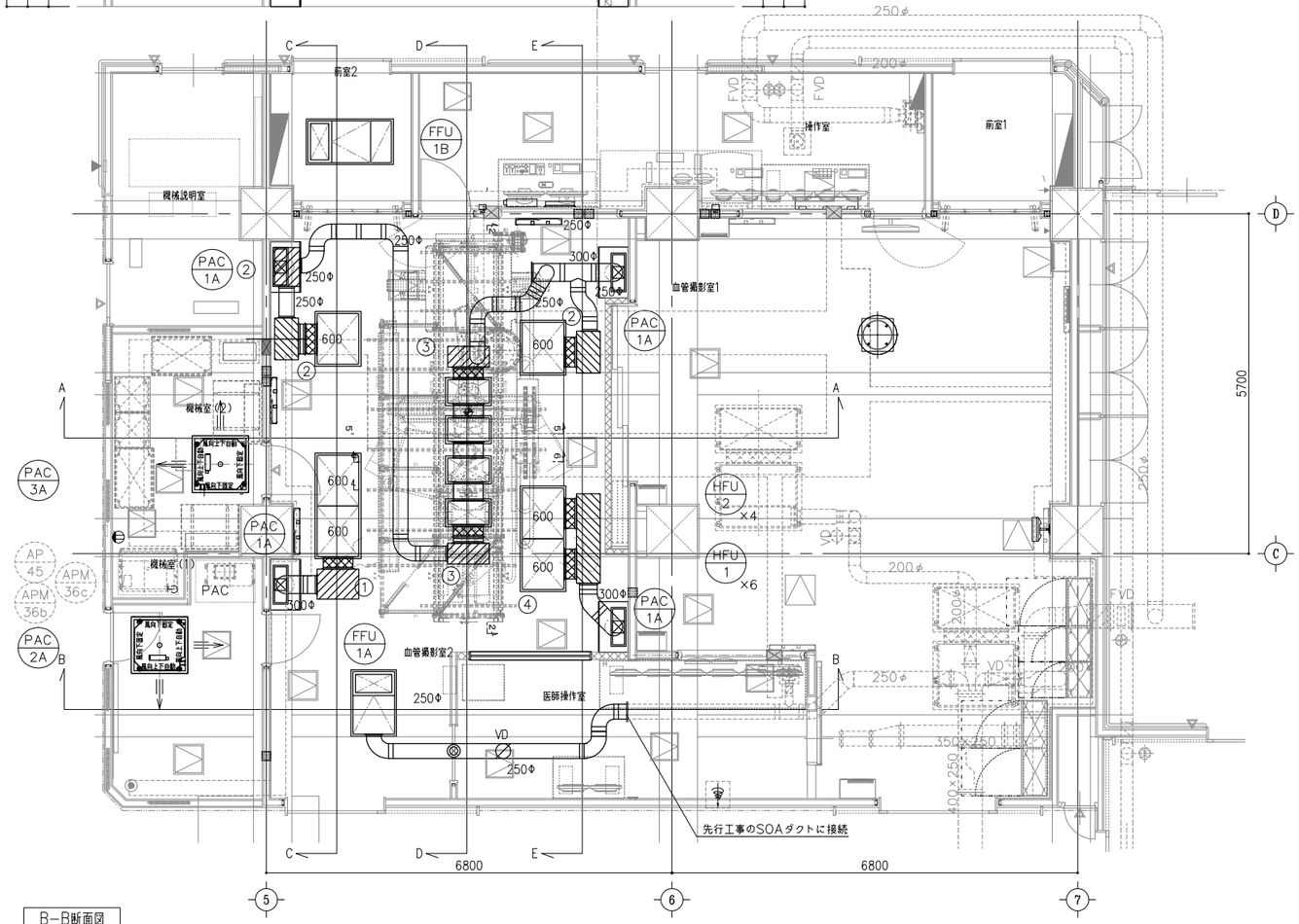


E−E断面図



A−A断面図





制気口リスト（新設）

血管撮影室2		
HFU−1,2		一式
SA ＝4,700 m3/h		
FFU−1A		1
SOA ＝ 500 m3/h		
PAC−1A		4
SA ＝1,175 m3/h		
RA ＝1,175 m3/h		
RP ＝ 500 m3/h		1
(前室2及び手術ホールへ流出)		

RPは扉からの漏れ量を示す。

機械室1		
PAC−2A		
SA ＝1,200 m3/h		1
RA ＝1,200 m3/h		
APM−36C（既存再利用）		
SA ＝1,500 m3/h		1
RA ＝1,500 m3/h		

機械室2		
PAC−3A		
SA ＝1,320 m3/h		1
RA ＝1,320 m3/h		
APM−36B（既存再利用）		
SA ＝2,520 m3/h		1
RA ＝2,520 m3/h		
AP−45（既存再利用）		
SA ＝ 600 m3/h		1
RA ＝ 600 m3/h		

操作室		
APM−43α（既存再利用）		
SA ＝ 540 m3/h		1
RA ＝ 240 m3/h		
SOA ＝ 300 m3/h		
HS（400×200）新設		
EA ＝ 300 m3/h		1

医師操作室		
天カ4方向ｴｱｺﾝ（既存再利用）		
SA ＝ 840 m3/h		1
RA ＝ 840 m3/h		
VHS（200×200）新設		1
SOA ＝ 100 m3/h		
RP ＝ 100 m3/h		1
(血管撮影室1及び2へ流出)		

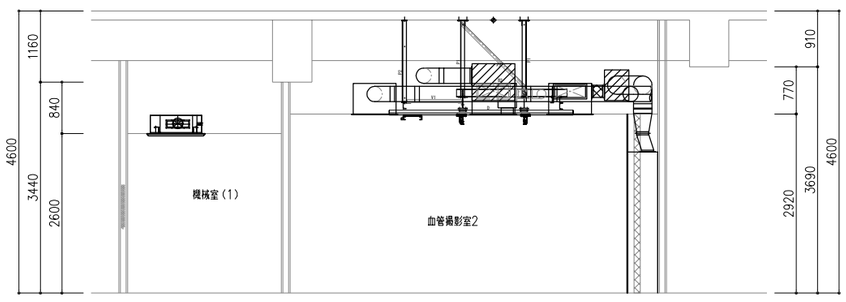
RPは扉からの漏れ量を示す。

チャンバーリスト（新設）

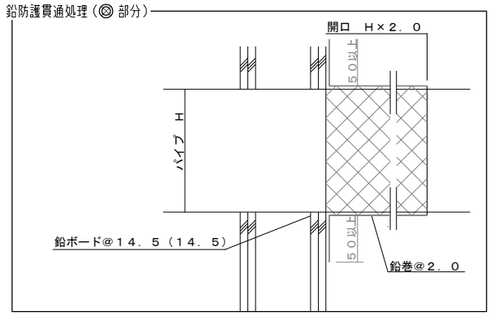
記号	種類	寸法	保温仕様	台数	備考
①	ﾁｬﾝﾊﾞ	700 x 500 x 500	(1)	1	
②	ﾁｬﾝﾊﾞ	700 x 400 x 500	(1)	2	
③	ﾁｬﾝﾊﾞ	700 x 350 x 600	(1)	2	
④	ﾁｬﾝﾊﾞ	1,500 x 400 x 500	(1)	1	
⑤	ﾁｬﾝﾊﾞ	650 x 450 x 500	(1)	1	

保温仕様(1) ：GW50t（40KG）GC布団包みﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ押さえ

B−B断面図



鉛防護貫通処理（◎部分）



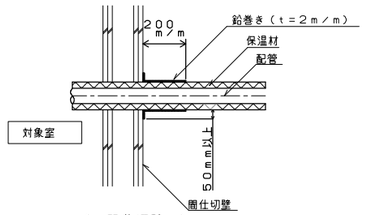
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇
阿瀬 貴裕
藤村 一樹

静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（機械設備）
空調換気設備 4階ダクト詳細図（改修図）
2023. 03.
A1:1/50
A3:1/100
RM - 103

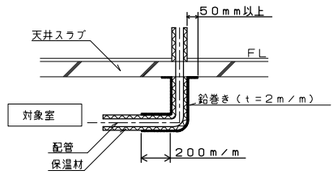
配管平面図（4F詳細） A3=1/100

新設を示す。
既存を示す。

鉛防護貫通処理（※1部分）

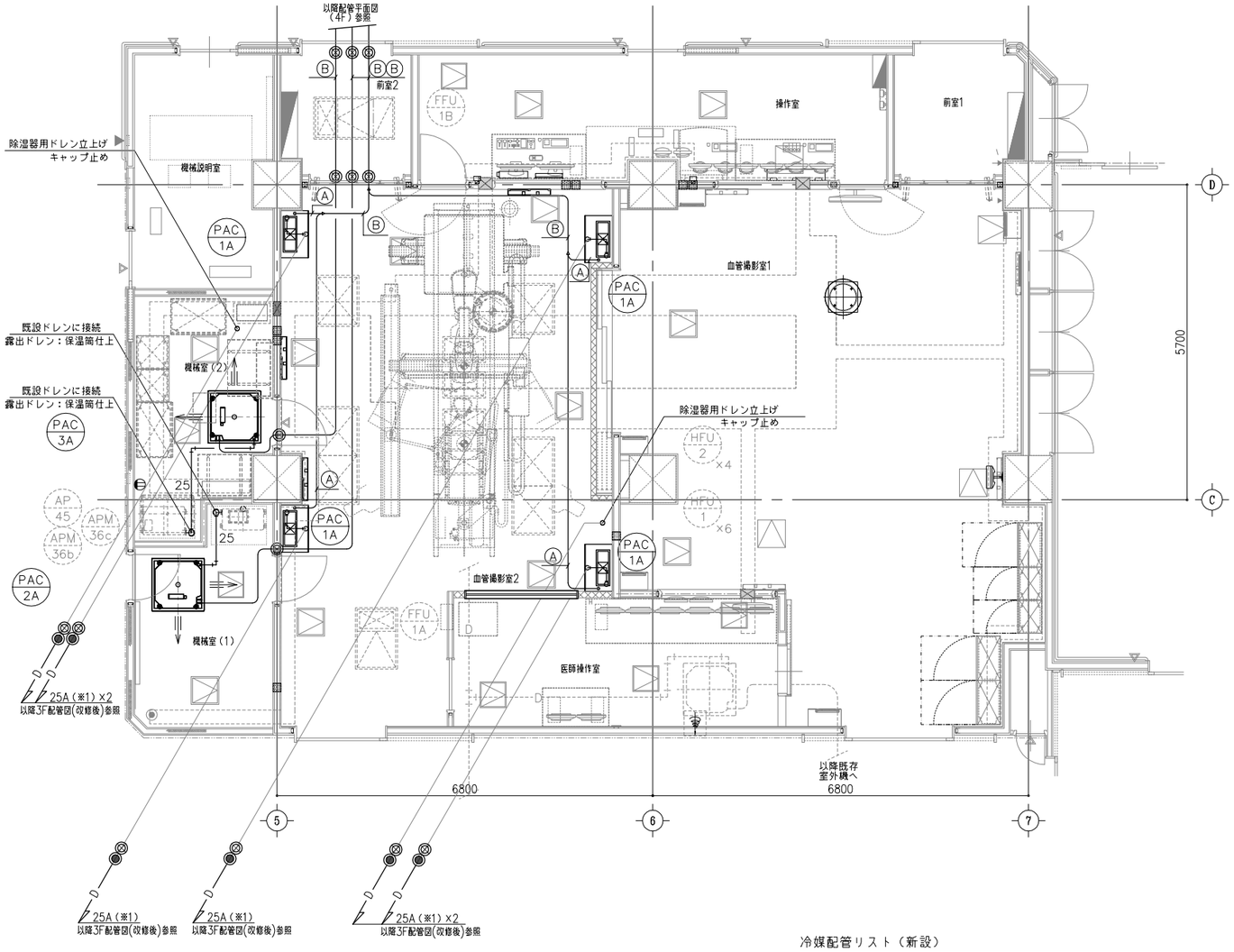


（ 間仕切壁 ）



注 床スラブ貫通後の第1エルボ以後
200mm迄を鉛巻きとする。

（ 天井スラブ ）



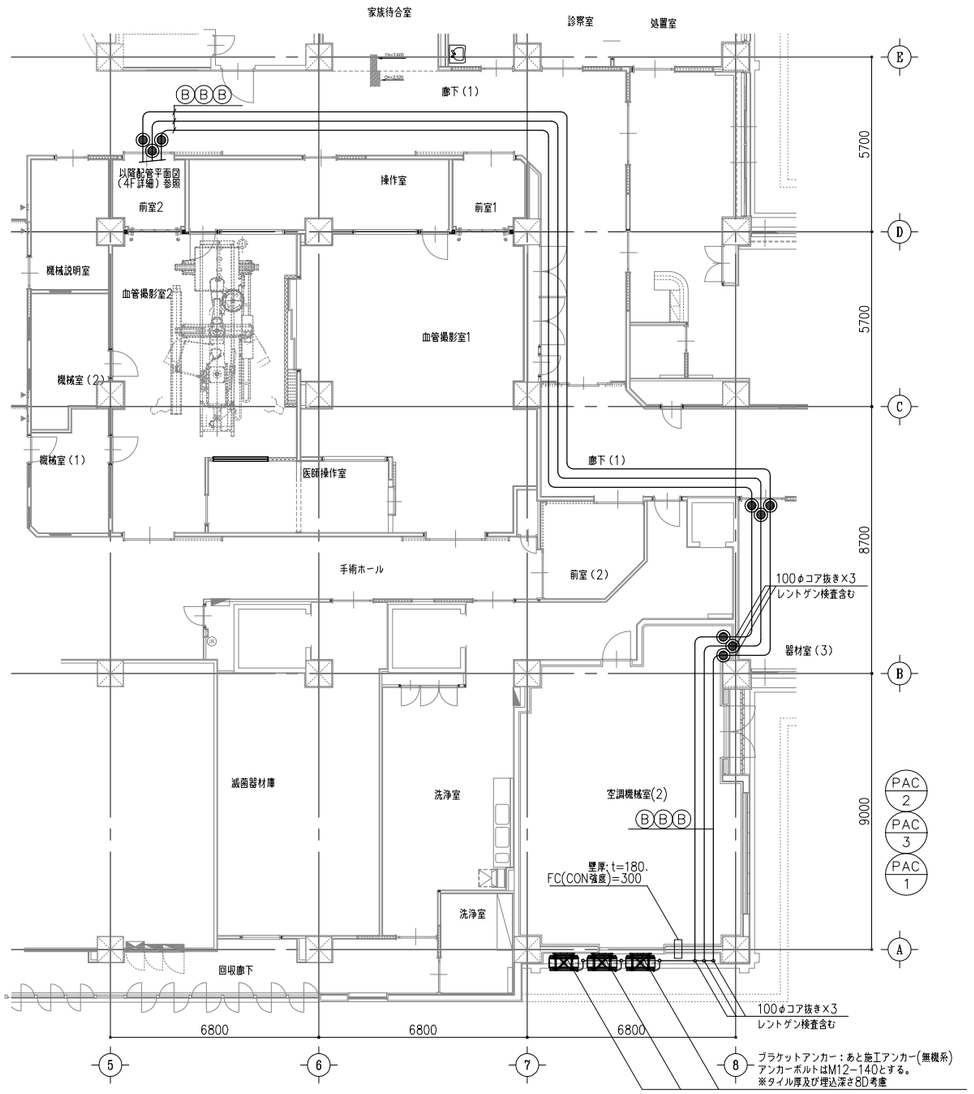
冷媒配管リスト（新設）

記号	ガス管(φ)	液管(φ)	備　考
(A)	12.7	6.35	連絡線は冷媒管共巻、—◉— は区画貫通処理、—㊊— は鉛貫通処理を示す。
(B)	15.88	9.52	屋内隠蔽及び屋内露出仕上：被覆銅管テープ巻
			屋内露出仕上：SUS製ラッキング

＊連絡線：EM−CEES 1.25sq−2C

配管平面図（4F） A3=1/200

新設を示す。
既存を示す。



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡 野 崇

阿 瀬 貴 裕

藤 村 一 樹

静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（機械設備）	2023. 03.	
空調換気設備 4階配管平面図（改修図）	A1:1/50, 1/100 A3:1/100, 1/200	RM - 104

空調換気設備
4階ﾀﾞｸﾄ平面詳細図（撤去図） 参照

<既設ﾀﾞｸﾄ・撤去図 凡例>
- 切断箇所を示す
- 撤去箇所を示す
- 既設ﾀﾞｸﾄを示す

※本工事は改修工事とする。

8,900 / 6,800 / 6,800 / 6,800 / 6,800 / 6,800 / 6,800 / 6,800 / 6,800 / 6,800 / 6,800 / 6,800
70,100

1,700 / 7,200 / 5,700 / 5,700 / 8,700 / 9,000
38,000

空調換気設備　４階ダクト平面図（撤去図）

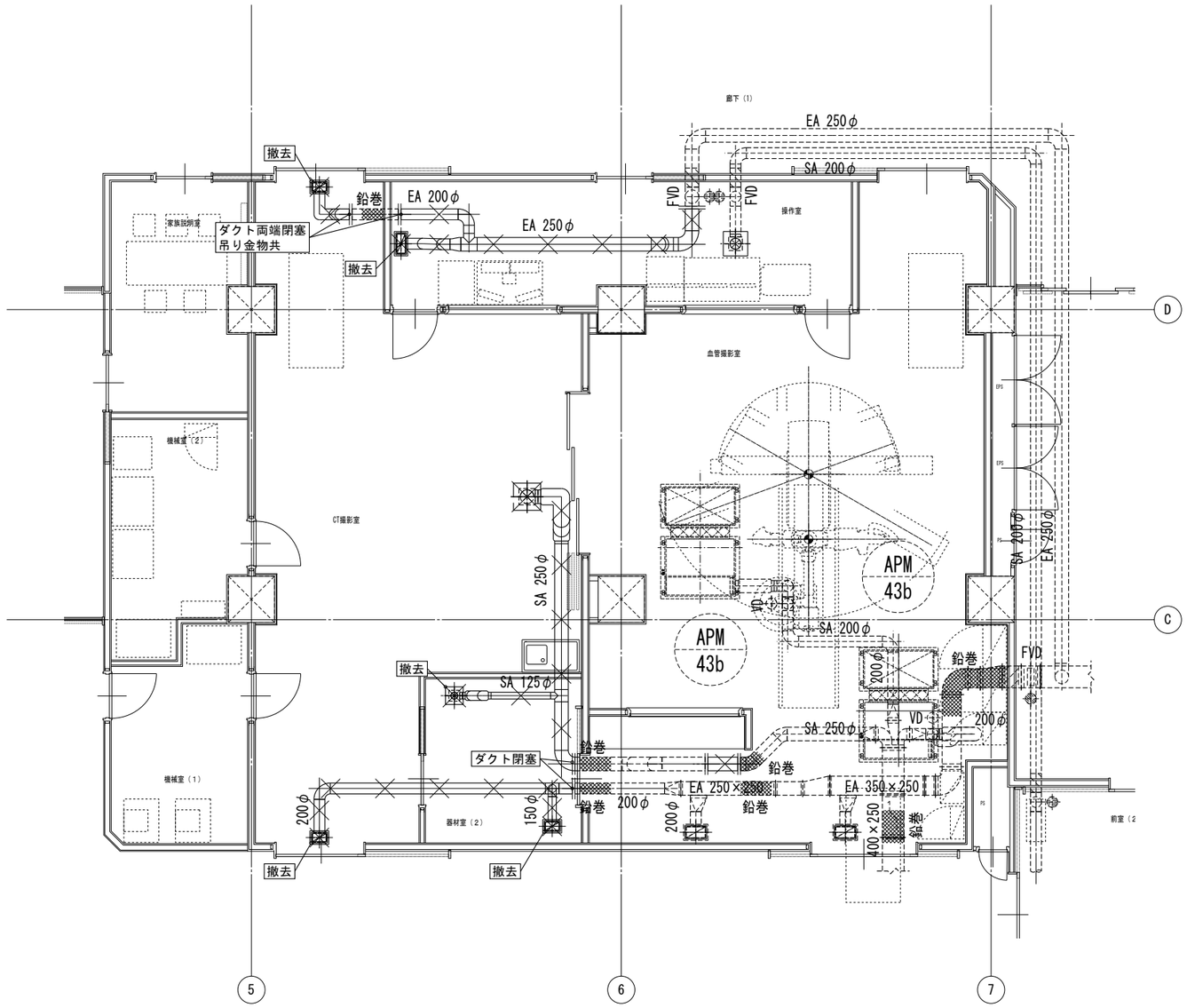
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　　崇

阿 瀬 貴 裕

藤 村 一 樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023. 03.	RM － 105
空調換気設備　４階ダクト平面図（撤去図）	A1：1/100 A3：1/200	



撤去 制気口リスト

CT撮影室	SA	数量
吹出口（風量： 500m3/h）		
PE		1
#25		

器材室(2)	SA	数量
吹出口（風量： 100m3/h）		
PE		1
#12.5		

操作室	EA	数量
吸込口（風量： 300m3/h）		
HS		1
350 x 150		

CT撮影室	EA	数量
吸込口（風量： 200m3/h）		
HS		2
250 x 150		

器材室(2)	EA	数量
吸込口（風量： 200m3/h）		
HS		1
250 x 150		

＜既設ﾀﾞｸﾄ・撤去図 凡例＞
- 切断箇所を示す
- 撤去箇所を示す
- 既設ﾀﾞｸﾄを示す

※本工事は改修工事とする。

空調換気設備　４階ダクト平面詳細図（撤去図）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　　崇

阿 瀬 貴 裕

藤 村 一 樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 106
空調換気設備　４階ダクト平面詳細図（撤去図）	A1：1/ 50 A3：1/100	

	AC- W42	AC- W43
冷水（送）	GV 40	GV 40
冷水（返）	2方弁装置 40×25	2方弁装置 40×25
温水（送）	GV 32	GV 32
温水（返）	2方弁装置 32×15	2方弁装置 32×25
蒸気（加湿）	電動弁装置 20×15	電動弁装置 20×15
排 水	50	50
	AC- W44	AC- W45
冷水（送）	GV 40	GV 50
冷水（返）	2方弁装置 40×25	2方弁装置 50×25
温水（送）	GV 32	GV 40
温水（返）	2方弁装置 32×15	2方弁装置 40×25
蒸気（加湿）	電動弁装置 20×15	電動弁装置 20×15
排 水	50	50
	AC- W46	AC- W49
冷水（送）	GV 40	BV 65
冷水（返）	2方弁装置 40×25	2方弁装置 65×40
温水（送）	GV 32	GV 50
温水（返）	2方弁装置 32×15	2方弁装置 50×40
蒸気（加湿）	電動弁装置 25×15	電動弁装置 25×15
排 水	50	50

減圧弁装置
② 65×40×80（0.7MPa→0.4MPa）

空調換気設備
4階配管平面詳細図（撤去図） 参照

記号	冷媒液管	吐出ガス管	吸入ガス管
RA	6.4φ	9.5φ	12.7φ
RB	9.5φ	12.7φ	15.9φ
RC	9.5φ	15.9φ	19.1φ
RD	9.5φ	19.1φ	22.2φ
RE	9.5φ	19.1φ	25.4φ
RF	12.7φ	19.1φ	28.6φ
RG	12.7φ	22.2φ	25.4φ
RH	12.7φ	22.2φ	28.6φ
RI	15.9φ	22.2φ	28.6φ
RJ	15.9φ	25.4φ	28.6φ
RK	19.1φ	25.4φ	31.8φ
RL	19.1φ	28.6φ	31.8φ

冷媒管口径一覧表		
記号	冷媒液管	冷媒ガス管
R1	6.4φ	12.7φ
R2	9.5φ	15.9φ
R3	9.5φ	19.1φ
R4	9.5φ	22.2φ
R5	12.7φ	25.4φ
R6	12.7φ	28.6φ

<既設配管・撤去図 凡例>
切断箇所を示す
撤去箇所を示す
既設配管を示す

※本工事は改修工事とする。

8,900 6,800 6,800 6,800 6,800 6,800 70,100 6,800 6,800 6,800 6,800 6,800

1,700 7,200 5,700 5,700 8,700 9,000 38,000

空調換気設備　４階配管平面図（撤去図）

記）　特記なき限り天井配管とし、管径は下記による。
1）　マルチ室内機排水横引管は32Aとし、端部は45°上向きエルボプラグ止め。
2）　空調機排水横走管は５０Ａ（床下）。
3）　マルチ室内機接続排水管は、２５Ａ。
4）　—●— 印は防火区画（水平、竪穴、防火上主要な間仕切り（界壁））貫通部大臣認定工法。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野　崇
阿瀬貴裕
藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 107
空調換気設備　４階配管平面図（撤去図）	A1：1/100 A3：1/200	

記号	冷媒液管	吐出ガス管	吸入ガス管
RA	6.4φ	9.5φ	12.7φ
RB	9.5φ	12.7φ	15.9φ
RC	9.5φ	15.9φ	19.1φ
RD	9.5φ	19.1φ	22.2φ
RE	9.5φ	19.1φ	25.4φ
RF	12.7φ	19.1φ	28.6φ
RG	12.7φ	22.2φ	25.4φ
RH	12.7φ	22.2φ	28.6φ
RI	15.9φ	22.2φ	28.6φ
RJ	15.9φ	25.4φ	28.6φ
RK	19.1φ	25.4φ	31.8φ
RL	19.1φ	28.6φ	31.8φ

冷媒管口径一覧表

記号	冷媒液管	冷媒ガス管	
R1	6.4φ	12.7φ	
R2	9.5φ	15.9φ	
R3	9.5φ	19.1φ	
R4	9.5φ	22.2φ	
R5	12.7φ	25.4φ	
R6	12.7φ	28.6φ	

空調設備　撤去機器表

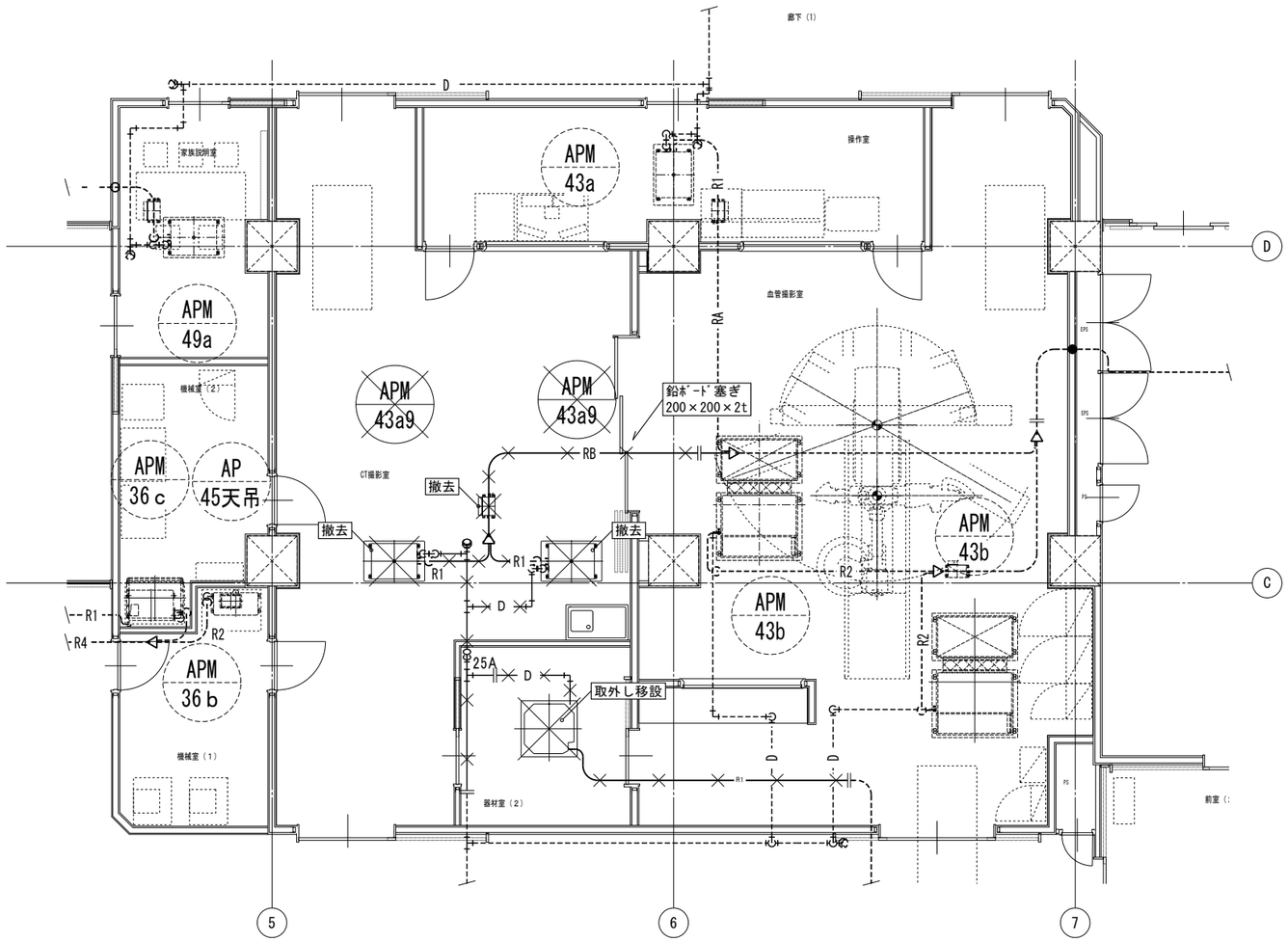
機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
APM-43a9	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：天井ｶｾｯﾄ形(2方向) 冷暖房能力：3.6kW/4.0kW FAN：0.015kW×1 風量：540m3/h	2	1φ200V 冷房：0.083kW 暖房：0.050kW	4	CT撮影室	FXYCP36M	冷媒：回収(処分)・再充填

空調設備　再利用機器表

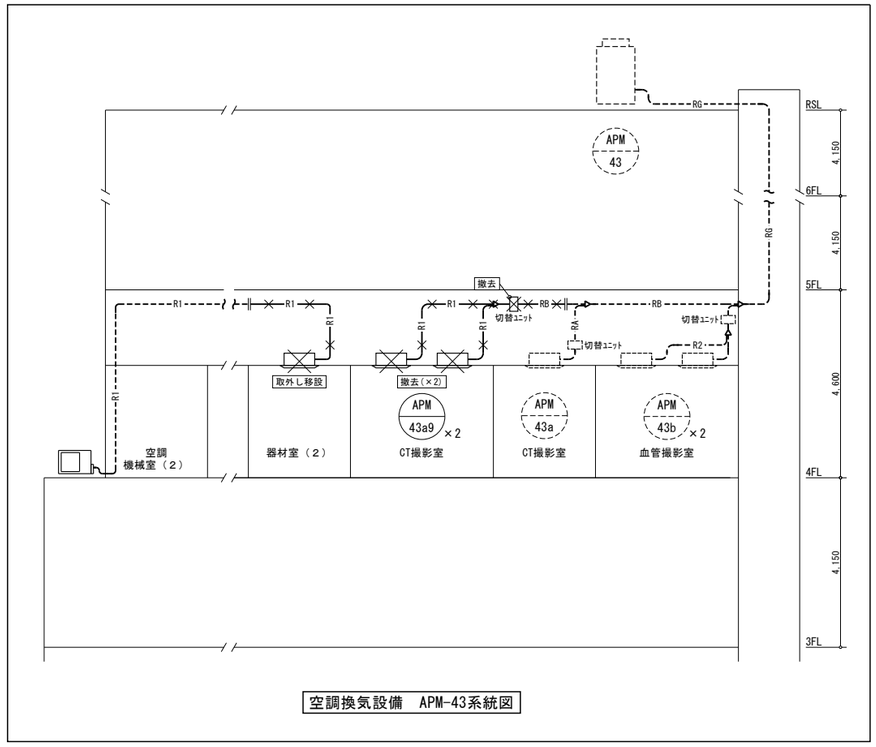
機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	参考品番	備考（付属品共）
APM-43	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁｴｱｺﾝ(室内機)	型式：冷暖ﾌﾘｰ形 冷暖房能力：22.4kW/25.0kW COMP:5.7kW×1 FAN：0.75kW×1	1	3φ200V	R		RSEYP224MR	

空調設備　移設機器表

機器番号	名称	仕様	台数	電気容量	階	設置場所	品番	備考（付属品共）
	空冷HPﾊﾟｯｹｰｼﾞ	型式：天井ｶｾｯﾄ形(4方向)ﾂｲﾝ 冷暖房能力：3.6(1.4～4.0)kW/4.0(1.2～4.5)kW FAN：(内)0.058kW　(外)0.034kW	1	3φ200V 冷房：0.720kW 暖房：0.770kW		器材室(2)	FDTVP404HAG4AG	冷媒ｶﾞｽ：回収(ﾎﾞﾝﾍﾞﾍﾞﾝ)



空調換気設備　４階配管平面詳細図（撤去図）



空調換気設備　APM-43系統図

＜既設配管・撤去図 凡例＞
- 切断箇所を示す
- 撤去箇所を示す
- 既設配管を示す

※本工事は改修工事とする。

特記）切断部は、プラグ止メ・ｷｬｯﾌﾟ止メ・閉止処理とする

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　　崇

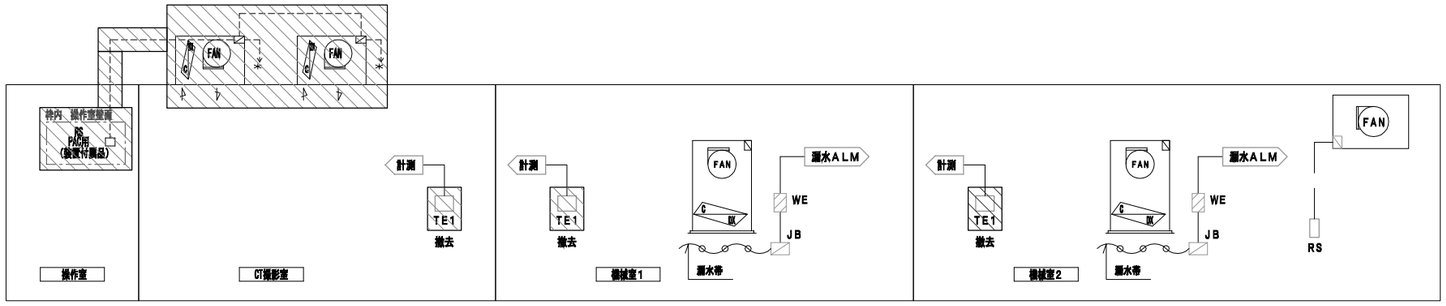
阿 瀬 貴 裕

藤 村 一 樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 108
空調換気設備　４階配管平面詳細図（撤去図）	A1：1/ 50 A3：1/100	

既存制御フロー図　室内空調機（空調機：冷暖房切替型）

▭：撤去範囲



＜運転手順説明＞
1．リモコンスイッチＲＳにより各室のＰＡＣの運転を手動で行う。
2．血管撮影室1の空調操作盤にて外気処理機の運転を行う。

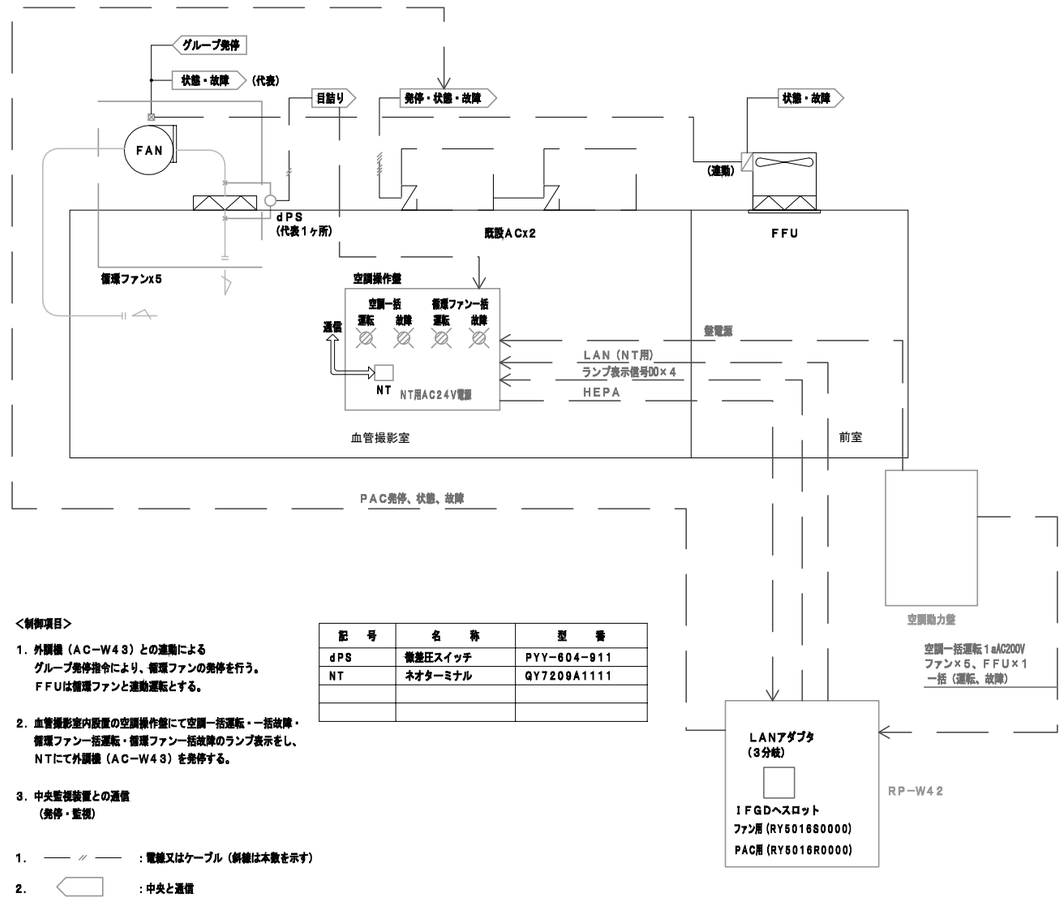
＜制御説明（ＰＡＣ）＞
1．温度制御（ヒートポンプ運転）
　装置付属ボディサーモ（温度センサー）によりヒートポンプの容量制御を行う。
　（ＰＡＣ本体機能）

（注記）
1．ＣＴ撮影室の空調機は血管撮影室１と操作室と同じ冷media系統になっています。
　ＣＴ撮影室の空調機撤去後、血管撮影室２のみで運転できるように試運転を行う。
　（ＣＴ撮影室２の空調機冷房能力能容量：７．２ｋＷ、操作室：３．６ｋＷ、血管撮影室２：１４．２ｋW）
2．機械室１、２の空調機は既存再利用とする。

中央管理点入出力一覧表

管理対象点 記号	管理対象点 名称	リモート盤	動力盤、制御盤等	操作 設定	操作 切換	操作 発停	操作	表示 状態	表示 COS故障	表示 トリップ故障	表示 警報	計測入力 温度	計測入力 湿度	計測入力	計測入力	計量	4F リモートANN	備考
	4階ハイOP　空調機群起動	RP−W42	ファン動力盤			1											1	
	4階ハイOP　循環ファン	RP−W42	ファン動力盤					1		1							1（故障）	代表
	4階ハイOP　HEPAフィルタAL	RP−W42	本体								1						1	代表
FFU	4階ハイOP　FFU	RP−W42	ファン動力盤					1		1							1	循環ファンと連動
	4階ハイOP　PAC−1，2	RP−W42	本体			1		1		1							1（状態・故障）	
	4階ハイOP　空調一括運転（空調操作盤表示用）	RP−W42	空調操作盤			1												イベントプログラム
	4階ハイOP　空調一括故障（空調操作盤表示用）	RP−W42	空調操作盤			1												イベントプログラム
	4階ハイOP　循環ファン一括運転（空調操作盤表示用）	RP−W42	空調操作盤			1												イベントプログラム
	4階ハイOP　循環ファン一括故障（空調操作盤表示用）	RP−W42	空調操作盤			1												イベントプログラム

既存制御フロー図2　（参考）



記号	名称	型番
dPS	微差圧スイッチ	PYY−604−911
NT	ネオターミナル	QY7209A1111

＜制御項目＞

1．外調機（ＡＣ−Ｗ４３）との連動による
　グループ発停指令により、循環ファンの発停を行う。
　ＦＦＵは循環ファンと連動運転とする。

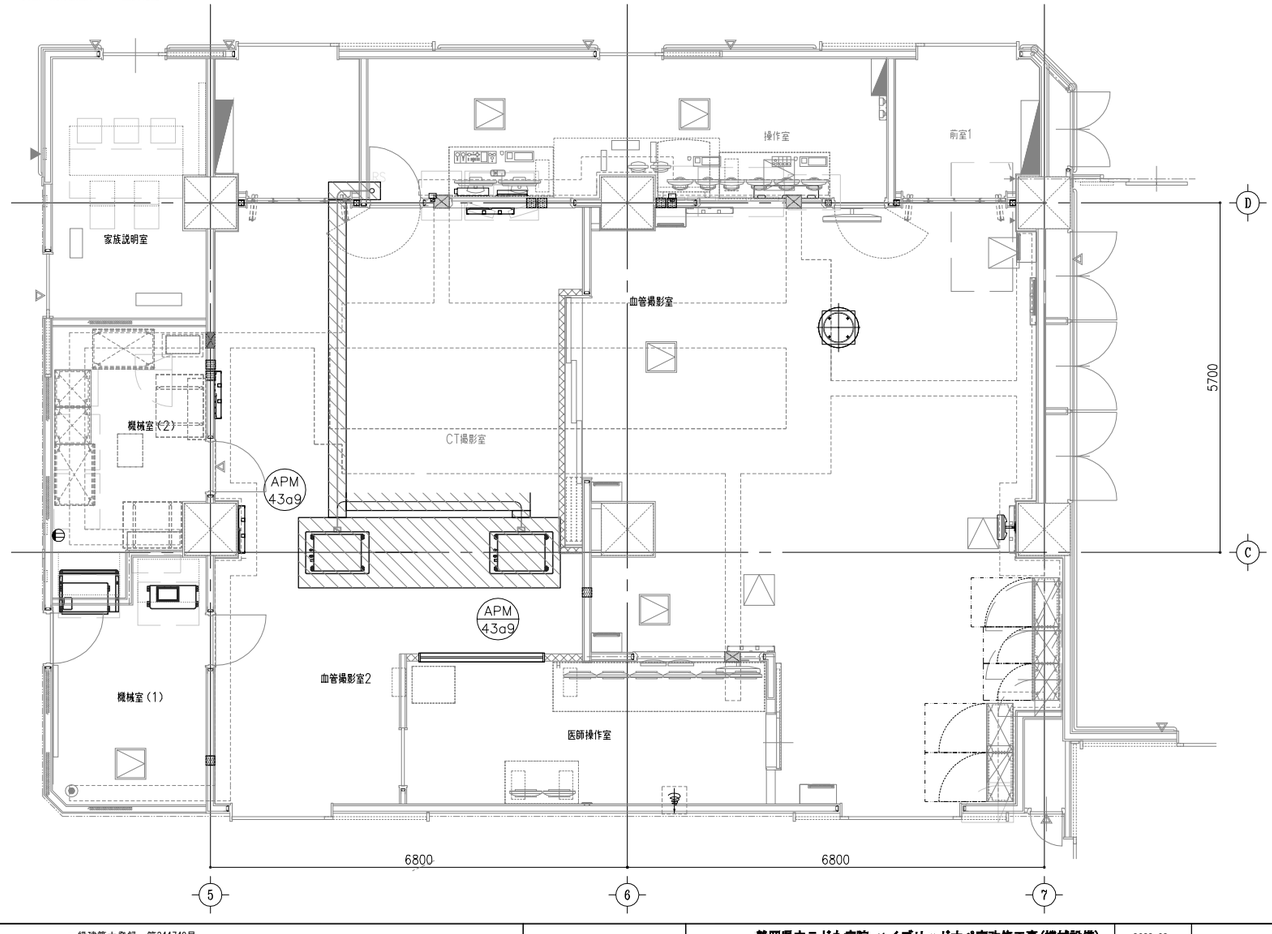
2．血管撮影室内設置の空調操作盤にて空調一括運転・一括故障・
　循環ファン一括運転・循環ファン一括故障のランプ表示をし、
　ＮＴにて外調機（ＡＣ−Ｗ４３）を発停する。

3．中央監視装置との通信
　（発停・監視）

1．——//——　：電線又はケーブル（斜線は本数を示す）
2．⬠　：中央と通信

自動制御撤去図

実線：既存設備、▭：撤去範囲



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡野　崇

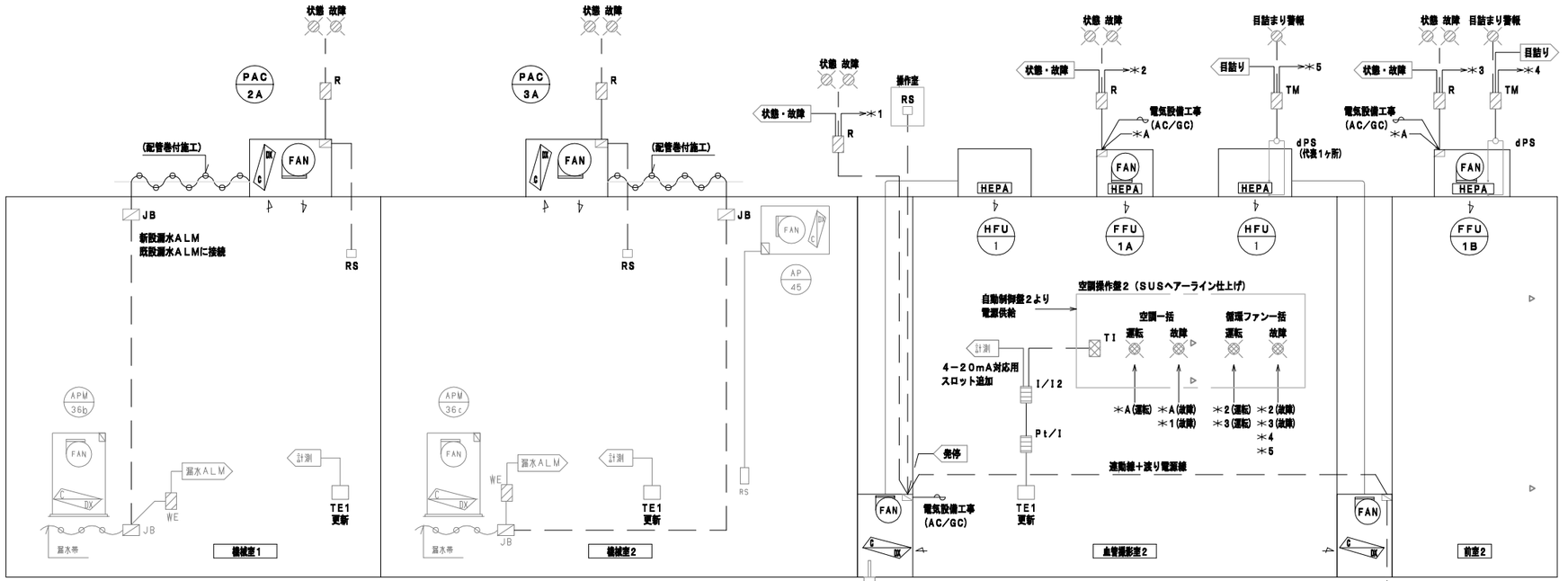
阿瀬　貴裕

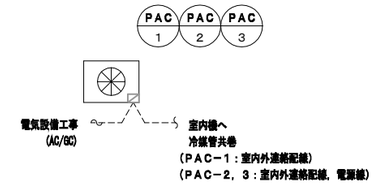
藤村　一樹

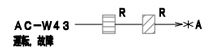
静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（機械設備）	2023. 03.	
自動制御設備　計装図、4階平面図（撤去図）	A1：1/50 A3：1/100	RM - 201

制御フロー図（1）　室内空調機（空調機：冷暖房切替型）

：自動制御盤２
：空調操作盤２
：ＲＰ−Ｗ４２（既設改造）











◀

◀

<運転手順説明>
1．リモコンスイッチＲＳにより各室のＰＡＣの運転を行う。

<制御説明（ＨＦＵ）>
1．中央監視にてフィルター目詰まり警報監視を行う。

（注記）
1．ＰＡＣの室内外機渡り配線は冷媒管共巻とする。
2．更新室内温度センサーにて室内温度監視を中央監視と空調操作盤２（血管撮影室２のみ）で行う。

<制御説明（ＰＡＣ）>
1．温度制御（ヒートポンプ運転）
装置付属ボディサーモ（温度センサー）によりヒートポンプの容量制御を行う。
（ＰＡＣ本体機能）

2．空調操作盤２にて空調一括故障のランプ表示を行う。

3．中央監視にてＰＡＣ−２Ａ，３Ａの漏水警報監視を行う。
（既設ポイントに接続の為、ポイント追加は無し）

<運転手順説明>
1．外気処理機ＡＣ−Ｗ４３と連動してＦＦＵ−１Ａ及びＦＦＵ−１Ｂの運転を行う

<制御説明（ＦＦＵ）>
1．中央監視にてフィルター目詰まり警報監視を行う。

2．空調操作盤２にてＦＦＵ（循環ファン）一括運転及び一括故障のランプ表示を行う。

中央管理点入出力一覧表（血管撮影室１名称変更）

管理対象点 記号	管理対象点 名称	リモート盤	動力盤，制御盤等	操作 設定	操作 切換	操作 発停	操作	表示 状態	表示 COS故障	表示 トリップ故障	表示 警報	計測入力 温度	計測入力 温度	計測入力	計測入力	計量	4F リモートANN	備考
	4階血管撮影室1，2 空調機群起動	RP−W42	ファン動力盤			1											1	ダミー
	4階血管撮影室1 循環ファン	RP−W42	ファン動力盤					1		1							1（故障）	代表
	4階血管撮影室1 ＨＥＰＡフィルタＡＬ	RP−W42	本体								1						1	代表
FFU	4階血管撮影室1 ＦＦＵ	RP−W42	ファン動力盤					1		1							1	循環ファンと連動
	4階血管撮影室1 ＰＡＣ−1，2	RP−W42	本体			1		1		1							1（状態・故障）	
	4階血管撮影室1 空調一括運転（空調操作盤表示用）	RP−W42	ＮＴ操作盤			1												イベントプログラム
	4階血管撮影室1 空調一括故障（空調操作盤表示用）	RP−W42	ＮＴ操作盤			1												イベントプログラム
	4階血管撮影室1 循環ファン一括運転（空調操作盤表示用）	RP−W42	ＮＴ操作盤			1												イベントプログラム
	4階血管撮影室1 循環ファン一括故障（空調操作盤表示用）	RP−W42	ＮＴ操作盤			1												イベントプログラム

中央管理点入出力一覧表（血管撮影室２ポイント追加）

管理対象点 記号	管理対象点 名称	リモート盤	動力盤，制御盤等	操作 設定	操作 切換	操作 発停	操作	表示 状態	表示 COS故障	表示 トリップ故障	表示 警報	計測入力 温度	計測入力 温度	計測入力	計測入力	計量	4F リモートANN	備考
	4階血管撮影室2 ＨＥＰＡフィルタＡＬ	RP−W42	本体								1						1	代表
	4階血管撮影室2 ＦＦＵフィルタＡＬ	RP−W42	本体								1						1	代表
FFU	4階血管撮影室2 ＦＦＵ−1Ａ	RP−W42	本体					1		1							1	ＡＣ−Ｗ４３と連動
FFU	4階血管撮影室2 ＦＦＵ−1Ｂ	RP−W42	本体					1		1							1	ＡＣ−Ｗ４３と連動
	4階血管撮影室2 ＰＡＣ−1Ａx4	RP−W42	本体			1		1		1							1（状態・故障）	

※ＲＰ−Ｗ４２にてスロット追加

自動制御機器表

記号	名称	型番	備考
dPS	差圧スイッチ	PYY−604	
TE1	室内型温度センサ	TY7043Z	
TI	温度指示計	R35	
Pt/I	Ｐｔ／電流変換機		
I/I2	アイソレータ（2出力）		
RS	エアコンリモコン		ＰＡＣ付属品
TED	挿入型温度センサ		ＰＡＣ付属品
R	補助リレー		
TM	タイマー		

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

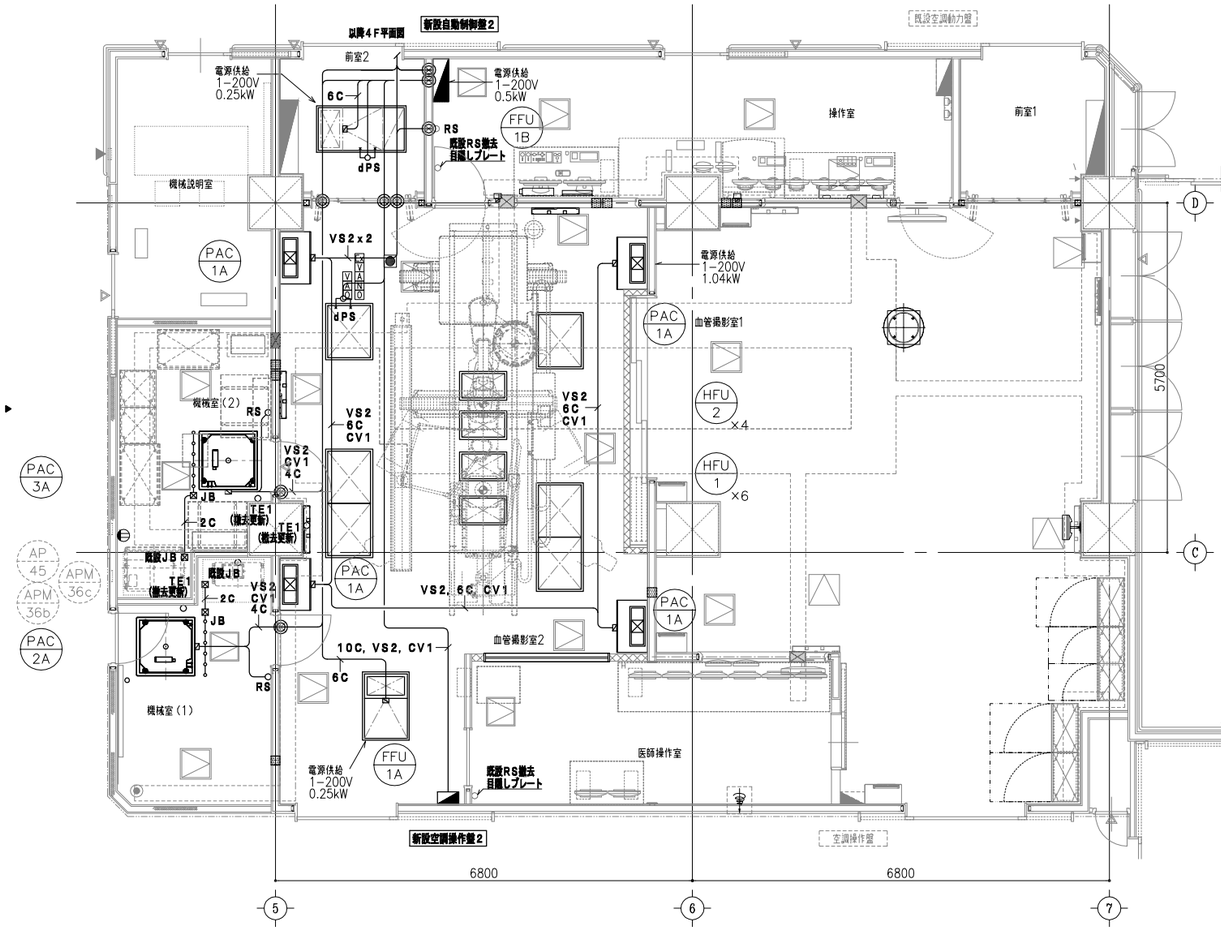
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　　崇

阿瀬貴裕　　藤村一樹

静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（機械設備）	2023. 03.		
自動制御設備　計装図（改修図）	A1:1/50 A3:1/100	RM - 202	

自動制御平面図（4F詳細） A3=1/100

新設配管設備（実線）



平面図凡例

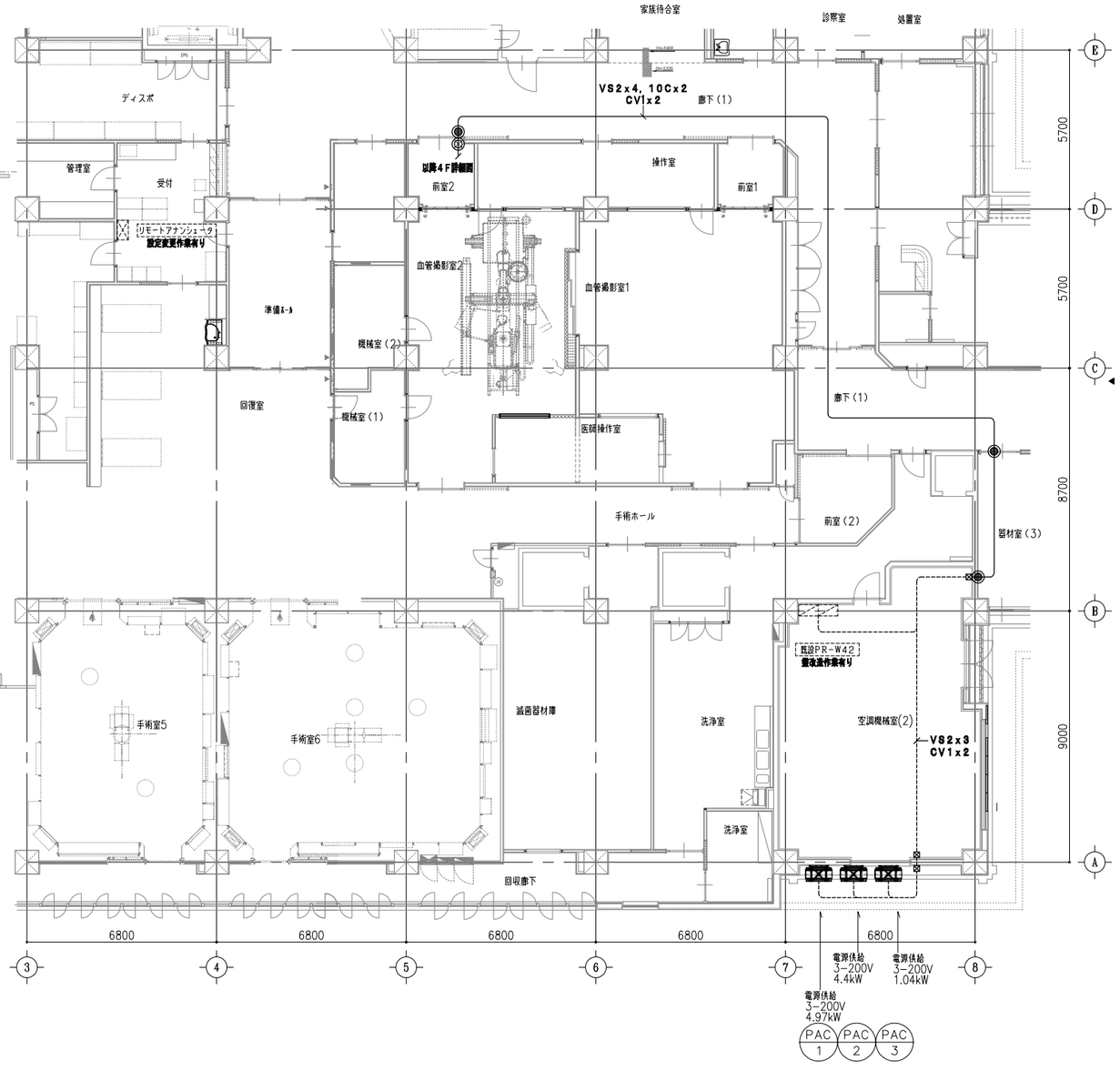
記号	参考配線サイズ（一般ケーブル）	備　考
2C	EM-CEE 2sq- 2C	——— :隠ぺい配管配線
4C	EM-CEE 2sq- 4C	- - - - - :露出部配管配線
6C	EM-CEE 2sq- 6C	◉ :区画貫通処理
10C	EM-CEE 2sq-10C	◎ :船防護貫通処理
VS2	EM-CEES 1.25sq- 2C	
CV1	EM-CE 3.5sq- 3C	

平面図凡例

シンボル	機器名称	配線記号	備　考
○	RS	VS2	
○	TE1	既設配線	
⬠	dPS	2C	
⊠	JB	2C	

自動制御平面図（4F） A3=1/200

新設配管設備（実線）



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士　第4211号
岡　野　　崇

阿 瀬 貴 裕

藤 村 一 樹

静岡県立こども病院 ハイブリッドオペ室改修工事（機械設備）	2023. 03.	RM - 203
自動制御設備　4階平面図（改修図）	A1:1/50, 1/100 A3:1/100, 1/200	

	記号	品名	寸法 W	寸法 H	寸法 D	部屋名 血管撮影室2 ビタールド CH2920 クラス※10,000	部屋名 前室2 CH2925	部屋名 医師操作室 CH2600	備考	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 建築・電気設備 建築工事	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 建築・電気設備 電気設備工事	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 機械設備 空調設備	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 機械設備 血管撮影室2設備工事 衛生設備	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 機械設備 血管撮影室2設備工事 電気設備	工事区分 ハイブリッドオペ室 改修工事 放射線メーカー工事	工事区分 病院工事 備品
内装工事		鉛防護工事				1式				○	○	○	○	○	○	
		ケーブルボックス 切断（旧CT室側）				1式				○						
		ケーブルボックス 撤去（旧CT室側）				1式				○						
		ケーブルボックス 貫通部鉛防護塞ぎ				1式									○	
		ケーブルボックス 血管撮影室1側				1式									残置	
		血管撮影装置（新設）				1式									○	
		血管撮影装置天井架台				1式									○	
		床レール 切断（旧CT室側）				1式				○						
		床レール 撤去（旧CT室側）				1式				○						
		床レール 床改修（旧CT室側）				1式				○						
		床レール 血管撮影室 1側				1式									残置	
		アンギオ装置以降の二次側電気工事				1式			盤製作含む						○	
		装置配線用ルート確保				1式			配管・ラック						○	
		装置下部レベリング工事				1式				○						
		装置ベース部埋め戻し				1式				○						
		装置用電源容量確保				1式			装置用幹線引き込み		○					
		既設天井解体工事				1式				○						
		器材庫2 一部間仕切り撤去				1式				○						
		機械室内装				1式			床仕上げなし,壁 プラスターボード 12.5t 2枚貼り,天井仕上げなし	○						
		操作室間仕切り開口				○				○						
	W4S	操作窓	2,050	1,000	D	1			操作窓 手術室側 SUS−304 1.5t HL仕上げ 鉛ガラス含む	○ A5						
		1次側電気工事				1式			（血管造影室2用盛替え）		○ E1 E3 (AC/GC幹線x2)					
		床				○			耐荷重性長尺塩ビシート 2.0t	○ A6						
		壁ふかし部 巾木				○				○						
		壁ふかし部				○				○						
		天井				○			接着工法（不燃化粧板＋石こうボード＋軽量天井下地）	○ A4						
		廻り縁				○			C型アルミジョイナー	○						
	T	点検口	454	454	−	6			エアータイト型	○						
建具工事	(AD1)Pb	自動ドア（四枚折り戸）	1,300	2,015	−	1			新設：鉛仕様	○				E2		
	(AD2)Pb	自動ドア（片引き）	1,500	2,015	−	1			インターロック改修	○	E2					
	(AD3)Pb	開き戸	800	2,015	−	1			既存撤去、新設	○ A5 A6						
	(AD4)Pb	手動ドア（片引き）	800	2,015	−	1			新設：鉛仕様	○ A5 A6						
医療器具工事	G	医療ガスパネル	1,194	550	55	1			O,N,A,V,N2,Ex,CO2				P1	○ A5		
	CM1	コンセントモジュール	1,050	200	115	3			医用ダブルコンセント×8（過電流警報装置x2付）,接地端子×2 医用接地センター内蔵,ブランクチップ 3連x6					○ E2		
	CM2	コンセントモジュール	1,050	200	115	1			医用ダブルコンセント×4（過電流警報装置x2付）,接地端子×3, 1φ100V30Aコンセント×1口,医用接地センター内蔵,ブランクチップ 3連x6					○ E2		
	IS	アイソレーションユニット自立型	1,200	CH	300		1		絶縁変圧器 7.5kVAx2＋一般電源回路内蔵 （電流監視装置,地絡監視装置付）,医用接地センター,天井照明制御盤内蔵					○ E2		
	OPLED	天井照明器具	1,200	350	20	11			LED照明,ロータリー式調光スイッチx2					○ E2		
	ISM	アイソレーションモニターボックス	360	180	123	1			アイソレーションモニターx2	A5				○ E2		
	PSB	パワーサプライボックス	200	300	100	1			天吊タイプ					○ E2		
		空調システム								手術室空調設備図参照とする						
		空調機	−	−	−	6			プレフィルター（捕集効率72% 重量法）							
	CFU	天井吹出ユニット	−	−	−	1式										
		天吊アウトレット	−	−	−	1式			O,O,N,A,A,V,V,Ex,CO2				P1 P2 P3	A5		
	使用中灯	使用中灯	380	142	48	4			放射線l装置と連動 ON・OFF					○	E2	
	●	非常照明				2			電気設備工事図による		○ E2			A5		
	S	煙感知器				1			電気設備工事図による		○ E2			A5		
		非常放送スピーカー				2			電気設備工事図による		○ E2			A5		

凡例	
A1	前面パネル・取付枠（パネル開口穴開け）
A2	アンカー打ち込み
A3	架台取付
A4	天井インサート既存利用
A5	開口 及び 開口補強
A6	床補修
E1	各種分電盤入力端子台への接続まで
E2	アイソレーションユニット、分電盤から電源用配管・配線
E3	アイソレーションユニット内、A種接地アースセンター接続まで
P1	医療ガスアウトレット及び一次・二次側配管
P2	医療ガス一次側配管 天井内バルブ止め
P3	壁面全麻廃ガス吸引ユニットより 陰圧分岐配管 天井内バルブ止め
H1	映像用端子,情報用端子 入出力用端子取付 及び 配管・配線
S	鉛防護貫通部処理

＜注記＞
血管撮影室2設備工事 とは、血管撮影室2 関係の設備工事を示す。
1．○印は工事区分を示す。
2．記号は凡例により内容を示す。
3．不燃化粧板は、全てノンアスベストとする。
4．コーキングは１成分形シリコンとし、防カビ剤入りとする。
5．等電位接地工事は血管撮影室2設備工事に含み、
壁面に取り付ける医療器具については
医用接地センタと接続し完了時には測定を行い報告書を提出すること。
・固定器具への接地端子は固定器具取り付け工事に含む。
（接地線接続は、ＪＩＳ Ｔ １０２２ ４．１ ｂ）「等電位接地」に準ずる）
6．電気工事はアイソレーションユニット 入力端子台接続まで 1次側、それ以降を二次側とする。
7．医療ガスパネルにおいて、パネル開口は
血管撮影室2設備工事とし、医療ガスアウトレット・医療ガス専用パネル、
及び配管は衛生設備工事とする。

記号	ガス名	ガスの種類
O	酸素	酸素
N	笑気	亜酸化窒素
A	空気	治療用空気
V	吸引	吸引
CO2	炭酸ガス	二酸化炭素
N2	窒素	窒素
Ex	排ガス	麻酔ガス排除

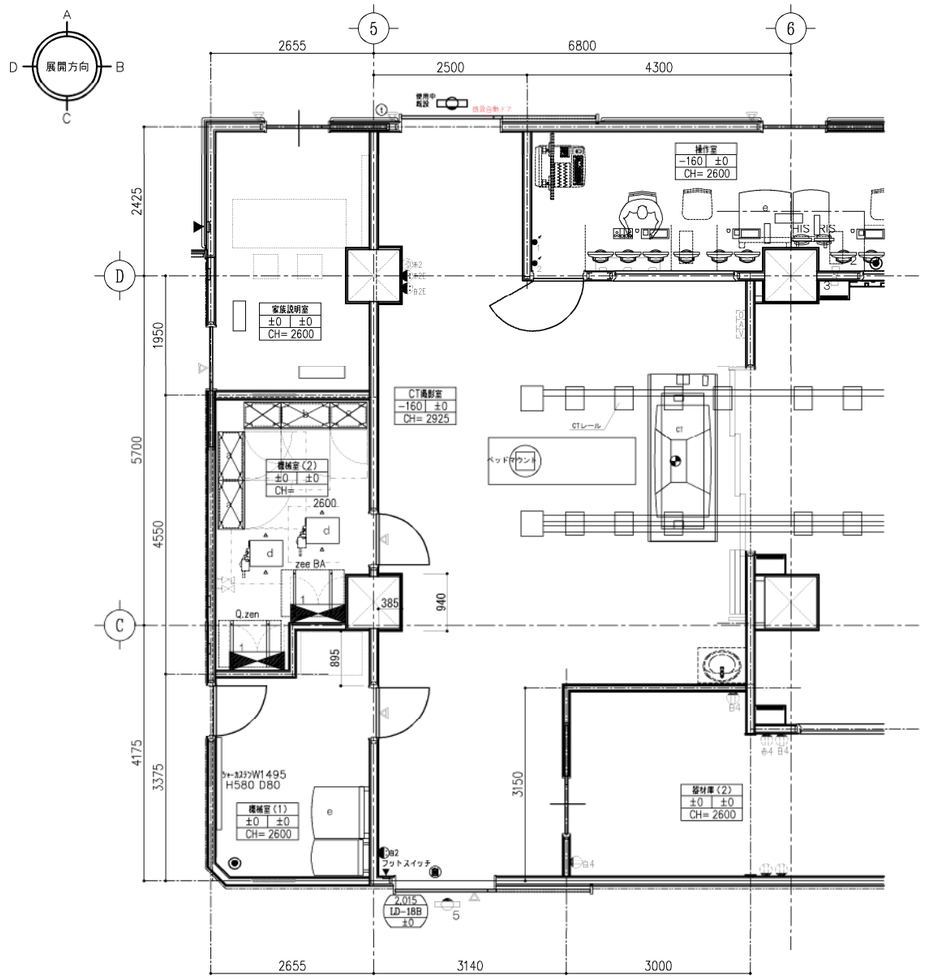
9．血管撮影室2 内の清浄度測定は、吹出口ユニット施工業者が行い報告書を提出すること。
10．自動ドアの W・H寸法は、有効寸法を示す。
11．提出書類等 （検査及び書類作成は各施工業者が行うこと）
1）手術室内装工事に関する書類は、全てＡ４とする。
2）工事中の、中間検査書
（墨出し・壁下地・天井下地・壁仕上げ・天井仕上げ・コーキング等）
3）自主検査書
4）絶縁抵抗測定検査書
5）照度測定検査書
6）電流監視装置、過電流警報装置動作検査書
7）絶縁監視装置動作検査書
8）等電位接地検査書
9）医療器具設置検査書
10）医療器具製品検査書
11）各検査には、必要に応じて写真を提出すること。
全ての施行終了後直ちに、上記試験成績書並びに写真等を監督職員に
提出すること。

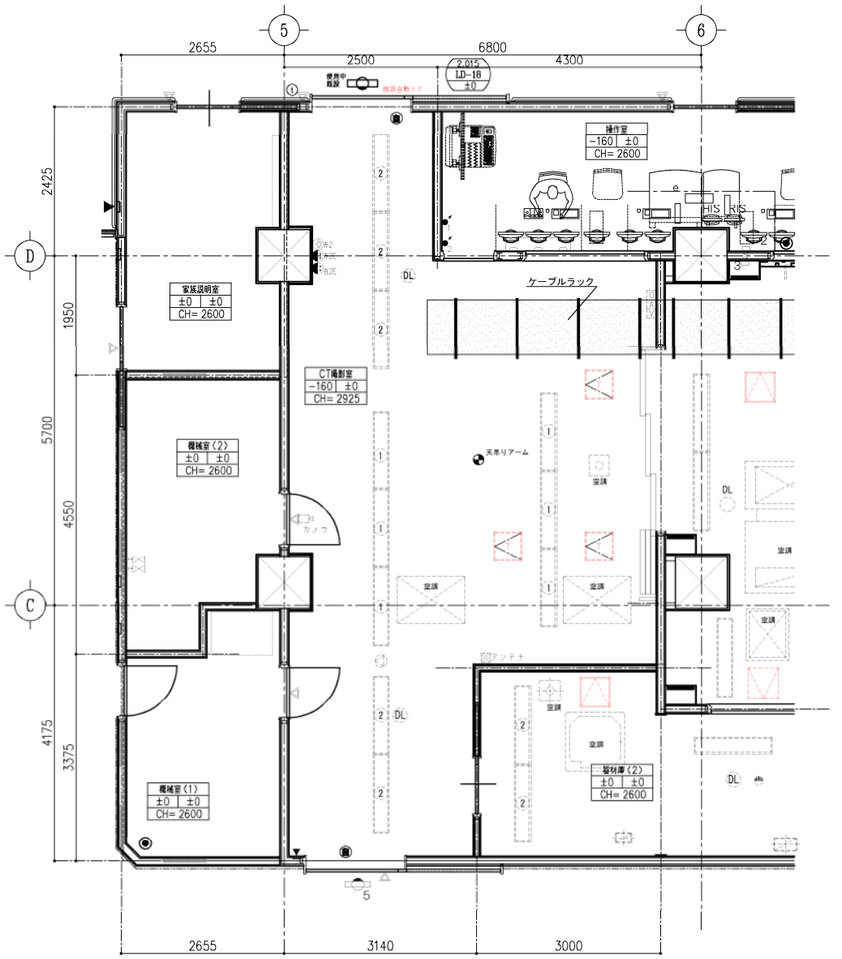
※清浄度クラスはFed−Std209E（米国連邦規格）で表記した。
ISOクラスは次の通り

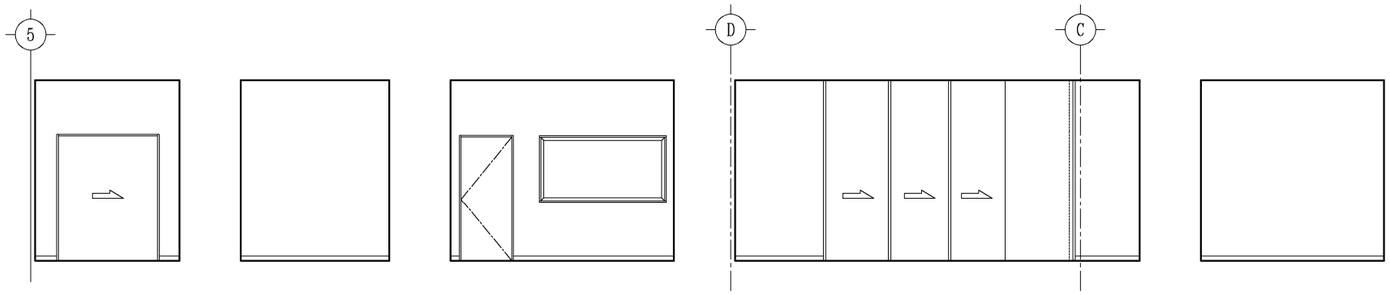
Fed−Std209e	ISO14644−1
クラス10,000	ISOクラス7

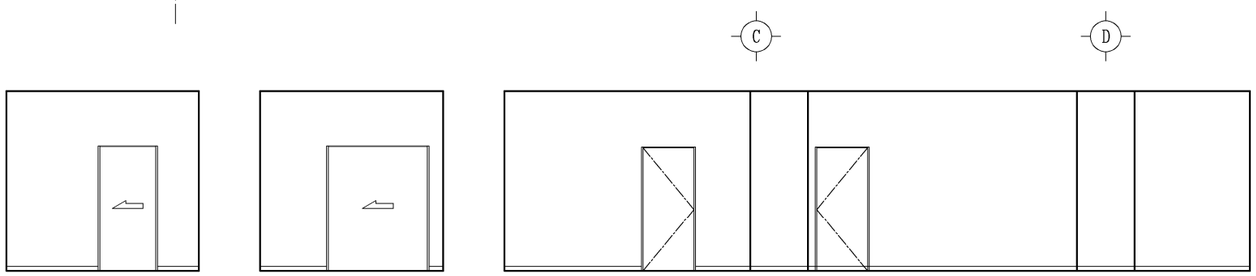
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 県
阿瀬 貴裕
藤村 一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM − 301
ユニット設備 工事区分表	A1：− A3：−	

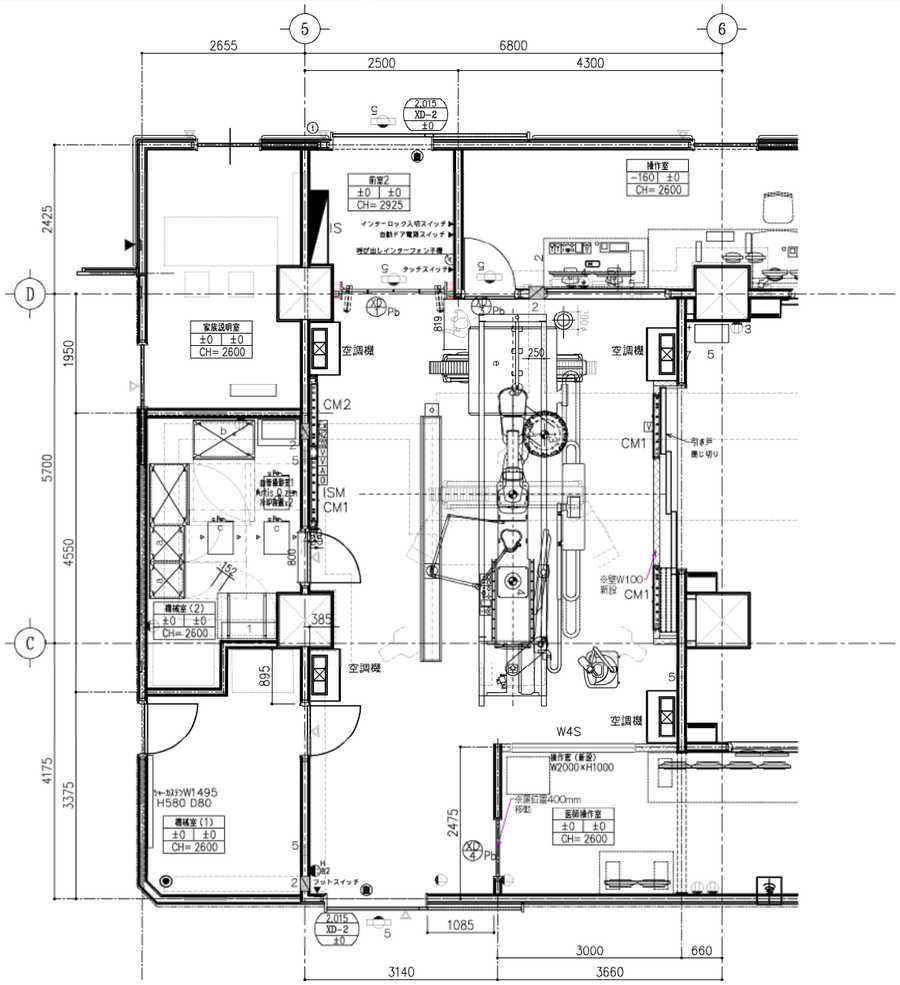


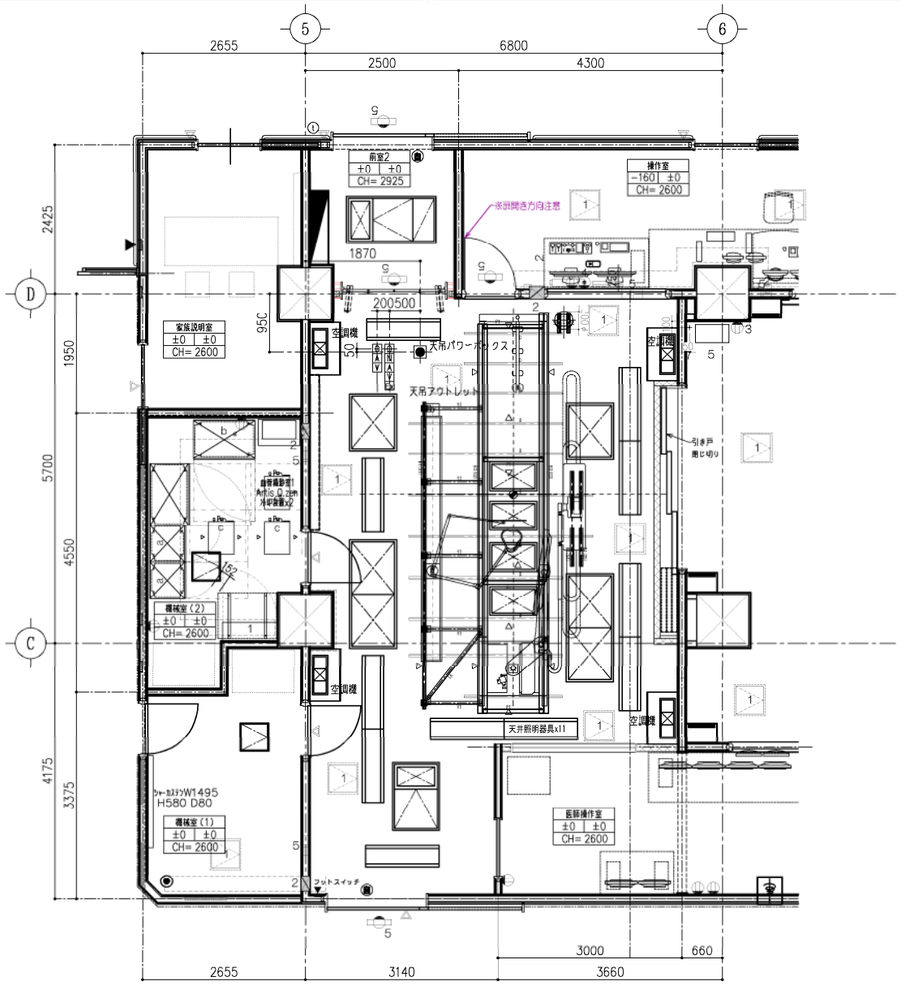


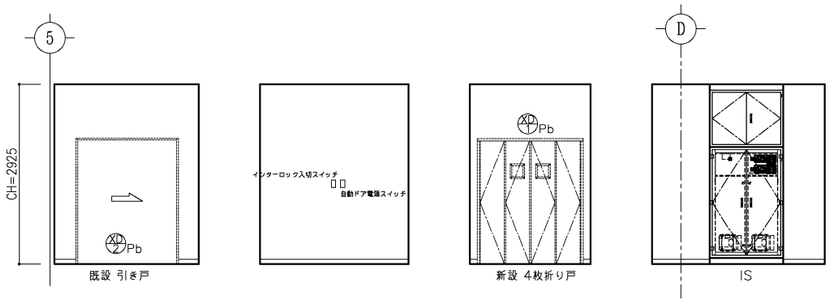


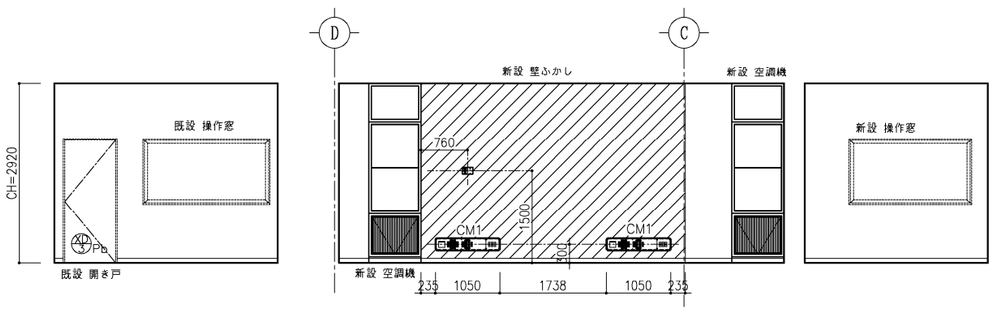


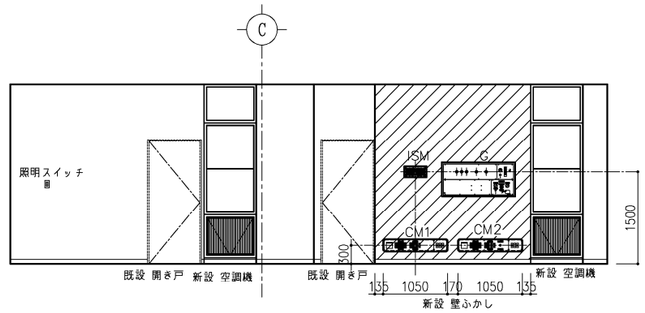
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録 第344749号 設備設計一級建築士 第4211号 岡野 崇	阿瀬 貴裕	藤村 一樹	静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備） ユニット設備 既存平面図、天伏図、展開図（参考図）	2023.03. A1：1/50 A3：1/100	RM － 302











株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野県

阿瀬貴裕

藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）

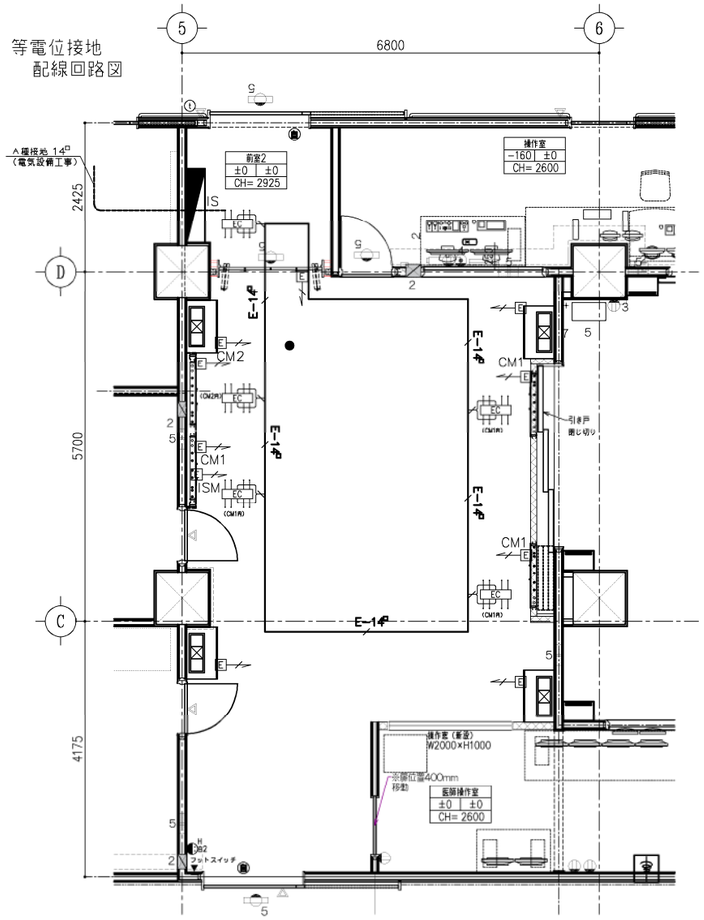
ユニット設備 改修後平面図、天伏図、展開図(参考図)

2023.03.

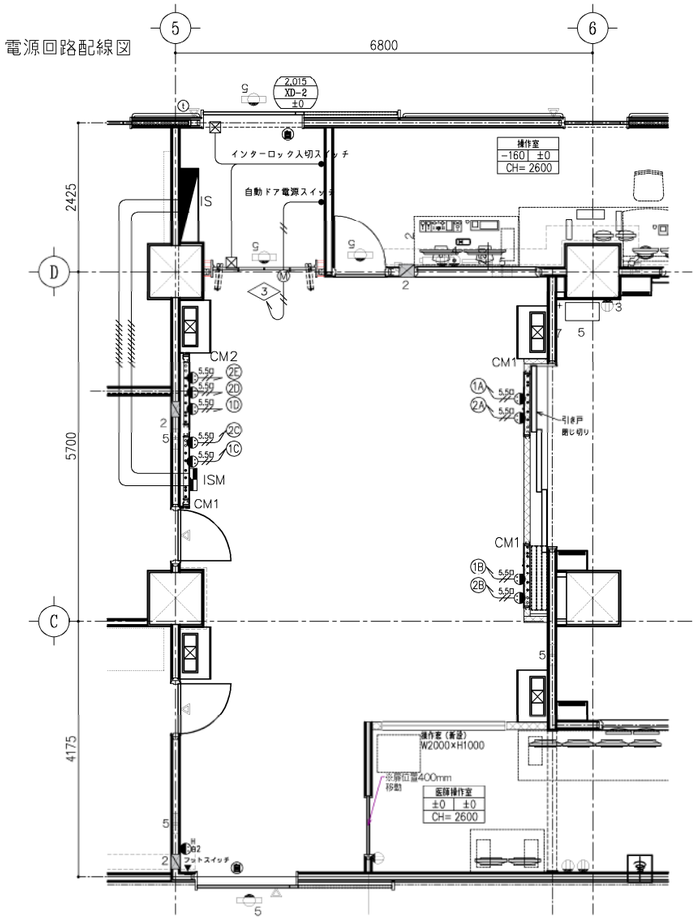
A1：1/50
A3：1/100

RM − 303

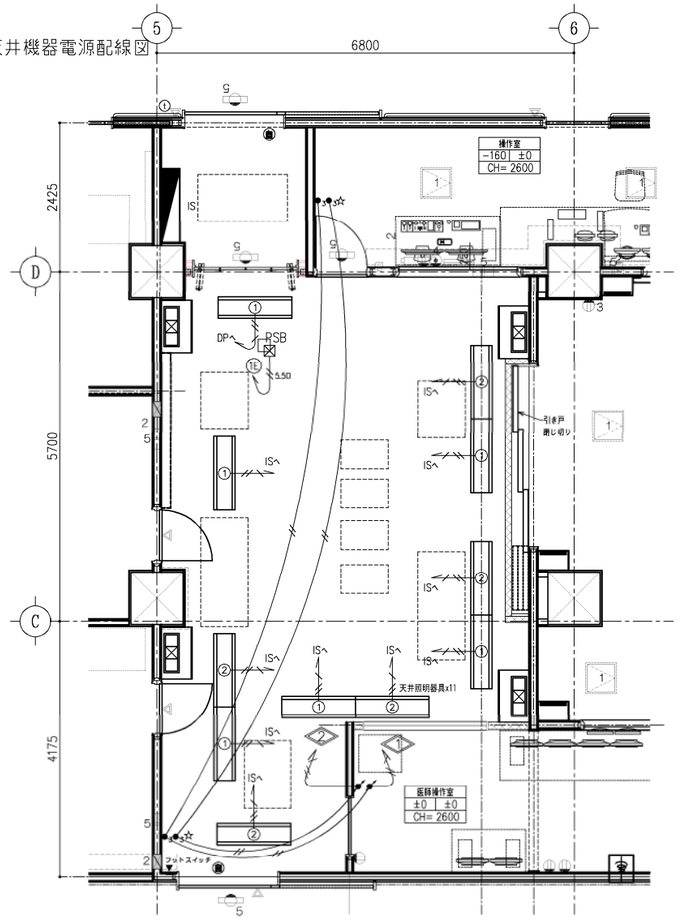
等電位接地 配線回路図



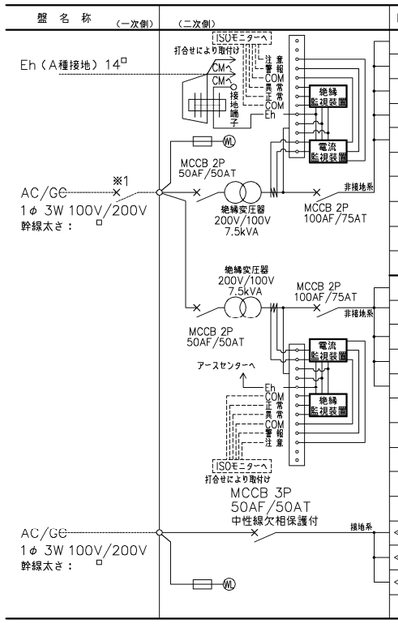
電源回路配線図



天井機器電源配線図



盤結線図（アイソレーション回路 15kVA） 200V入力タイプ



回路	電圧（V）	分岐	負荷名称・回路記号	記号・取付面	負荷容量（kVA）	備考
1A	100	MCCB 2P 50AF/20AT	コンセント 1A	CM1 （B面1）	MAX 7.5	
1B	〃	〃	コンセント 1B	CM1 （B面2）		
1C	〃	〃	コンセント 1C	CM1 （D面1）		
1D	〃	〃	コンセント 1D	CM2 （D面2）		
1E	〃	〃	コンセント 1E	CC （天井面）		
−	──	────	予備スペース			
2A	100	MCCB 2P 50AF/20AT	コンセント 2A	CM1 （B面1）	MAX 7.5	
2B	〃	〃	コンセント 2B	CM1 （B面2）		
2C	〃	〃	コンセント 2C	CM1 （D面1）		
2D	〃	〃	コンセント 2D	CM2 （D面2）		
2E	〃	MCCB 2P 50AF/30AT	コンセント 2E	CM2 （D面2）		エクモ用コンセント
−	──	────	予備スペース			
◇1	100	MCCB 2P 50AF/20AT	照明	OLED	0.66	
◇2	〃	〃	照明	OLED	0.55	
◇3	〃	〃	自動ドア	AD1Pb	1.0	
−	──	────	予備			

等電位接地配線回路図

凡例（特記なき配管配線は、下記による）

- EM−IE5.5□×1（配管無し）
- E-14□ EM−IE14□×1（配管無し）
- EC 医用接地センタ
  - ・アイソレーションユニット内は1ヶ
  - ・コンセントモジュール内は1ヶ
- [E] 接地端子

※ PFは、合成樹脂可とう管（自己消火性有り）

※ 接地線接続は、JIS T 1022 4.1 b)「等電位接地」に準ずる。

電源回路配線図

凡例（特記なき配管配線は、下記による）

- EM−IE3.5□×2（PF16）
- 5.5□ EM−IE5.5□×2（PF16）
- EM−FCPEE−0.9×5P PF（28）
- ● 片切りスイッチ
- Ⓜ 自動ドア動力
- ⊠ 端子台

※ PFは、合成樹脂可とう管（自己消火性有り）

天井機器電源配線図

凡例（特記なき配管配線は、下記による）

- EM−IE3.5□ ×2（PF16）
- FP−C1.6mm−3C（配管無し）
- 調光スイッチ
- $●_3$ 3路スイッチ

※ PFは、合成樹脂可とう管（自己消火性有り）

※☆は メクルモームによる立下げを示す。
（既存壁にスイッチを設置）

＜一次側幹線所要電力＞
- AC/GC回路（アイソレーション用電源）・・・1φ 3W 100V/200V 15kVA
- AC/GC回路（接地系電源） ・・・1φ 3W 100V/200V 1.5kVA/2kVA
- 接地線接続は、JIS T 1022 4.1 b）「等電位接地」に準ずる。

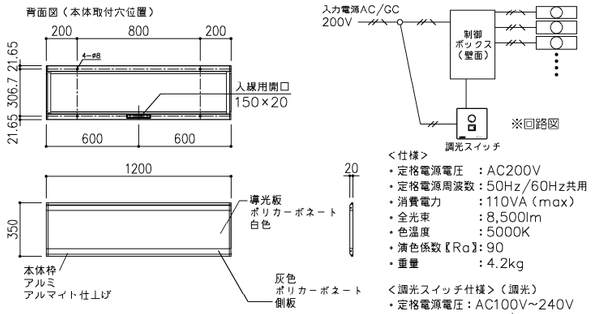
※1 トリップ時迅速な対応が出来るように1次側ブレーカーは1ランク上の値を設定の為、100AT以上のブレーカーを取付とする。（一次側電気工事）

横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野 崇 阿瀬貴裕 藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM − 304
ユニット設備 電気配線図・盤結線図(改修図)	A1：1/50 A3：1/100	

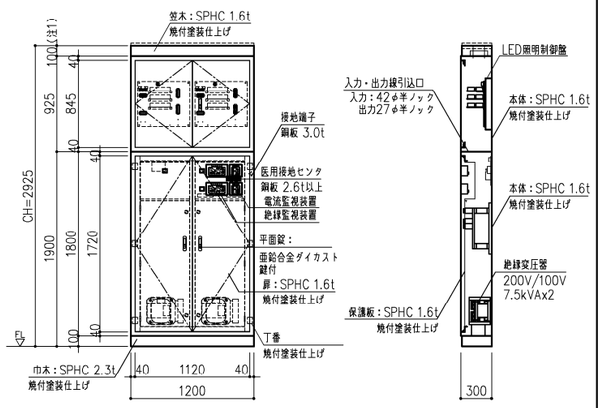
OPLED　天井照明器具（ロータリー式操作パネル）　1/20



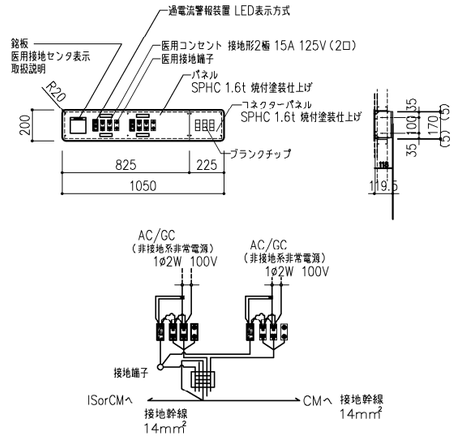
＜仕様＞
- 定格電源電圧　：AC200V
- 定格電源周波数：50Hz/60Hz共用
- 消費電力　　：110VA（max）
- 全光束　　：8,500lm
- 色温度　　：5000K
- 演色係数【Ra】：90
- 重量　　：4.2kg

＜調光スイッチ仕様＞（調光）
- 定格電源電圧：AC100V~240V
- 定格電源周波数：50/60Hz
- 最大消費電力：2VA
- PWM調光方式
- LED天井照明20台まで接続可能

IS　アイソレーションユニット自立型（7.5kVA+7.5kVA）　1/30

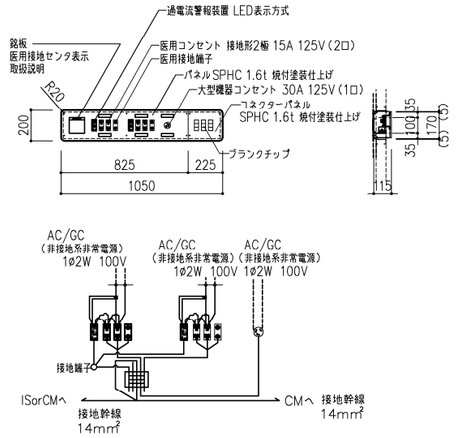


CM1　コンセントモジュール　1/20



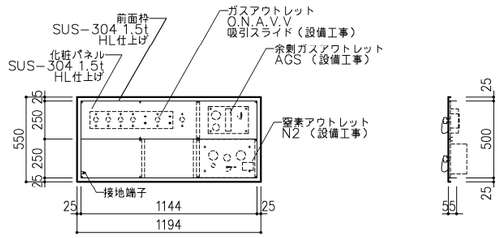
注1　電源種別は盤結線図による。

CM2　コンセントモジュール　1/20



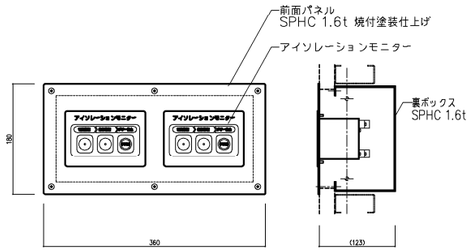
注1　電源種別は盤結線図による。

G　医療ガスパネル　1/20

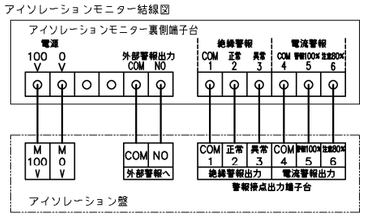


※　医療ガスアウトレットの内容は仕上げリストによる

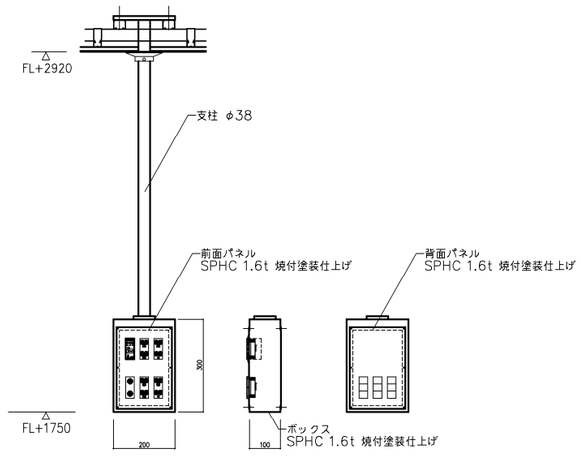
ISM　アイソレーションモニターボックス　1/5



アイソレーションモニター結線図



PSB　パワーサプライボックス　1/10



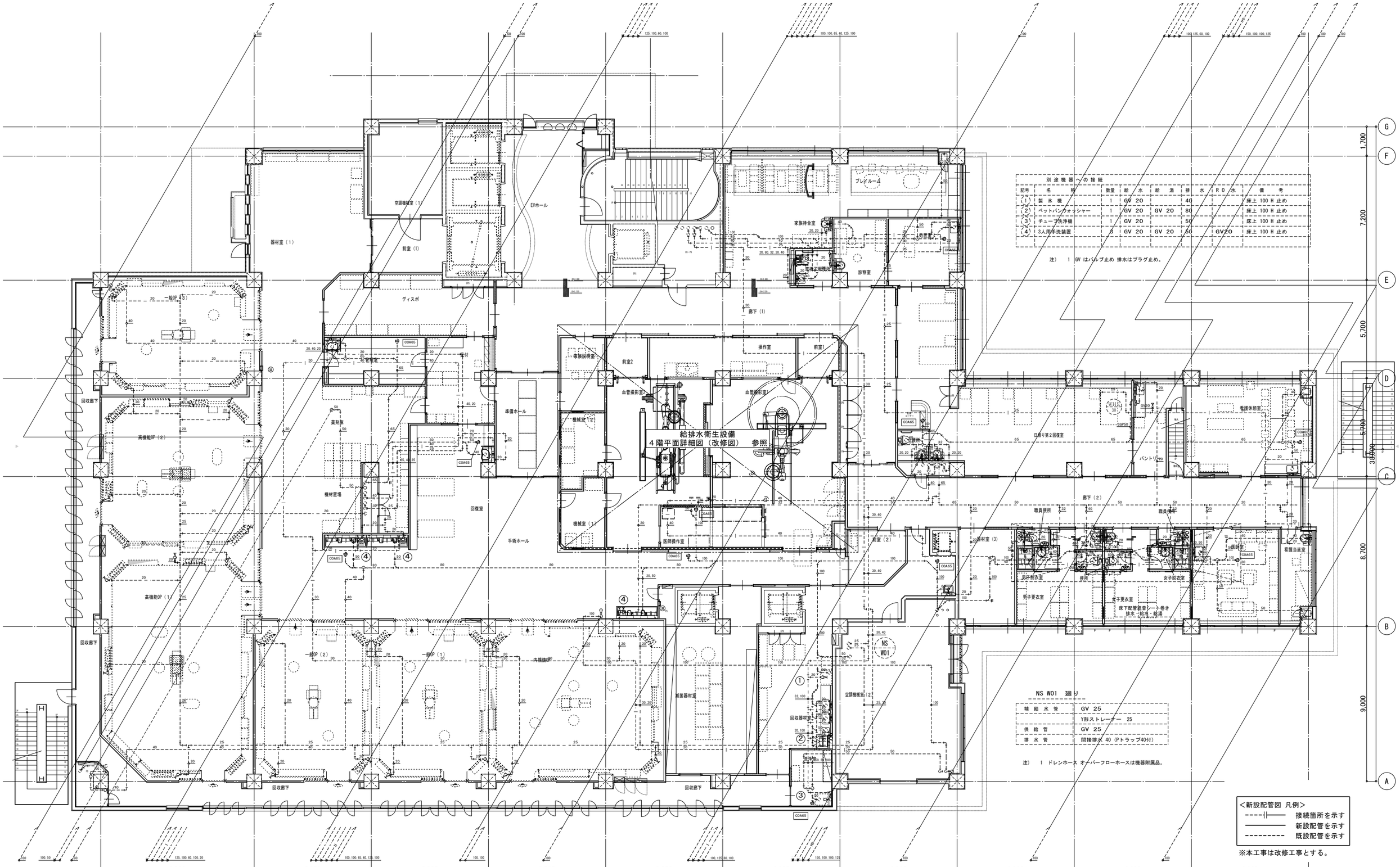
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　　崇

阿 瀬 貴 裕

藤 村 一 樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM − 305
ユニット設備 各種姿図（改修図）	A1：1/20 A3：1/40	

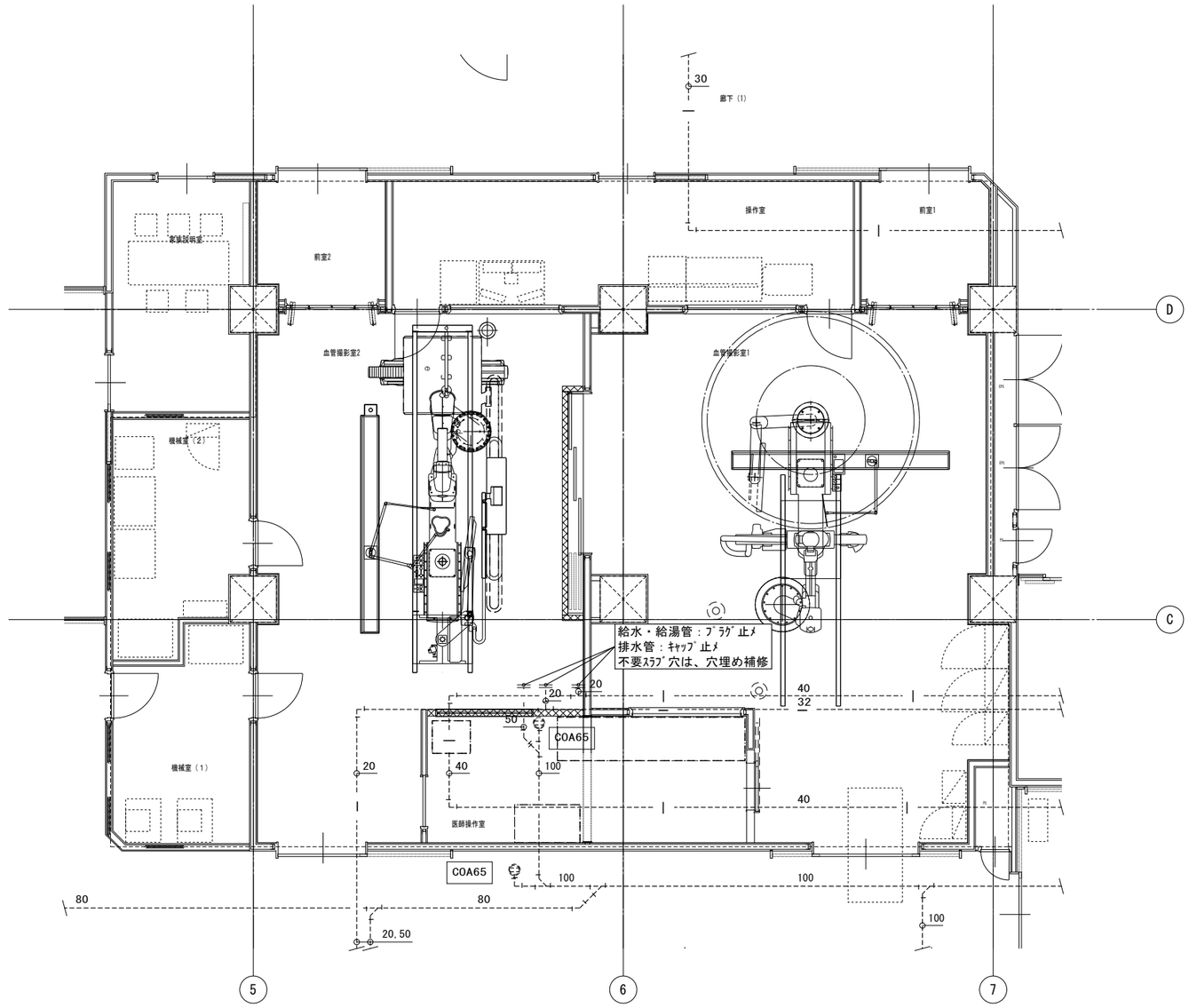


給排水衛生設備　４階平面図（改修図）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野　崇　阿瀬貴裕　藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023. 03.
給排水衛生設備　４階平面図（改修図）	A1：1/100 A3：1/200
	RM － 401



<新設配管図 凡例>
- 接続箇所を示す
- 新設配管を示す
- 既設配管を示す

※本工事は改修工事とする。

給排水衛生設備　４階平面詳細図（改修図）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　　崇

阿 瀬 貴 裕

藤 村 一 樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 402
給排水衛生設備　４階平面詳細図（改修図）	A1：1/ 50 A3：1/100	

別途機器への接続							
記号	名称	数量	給水	給湯	排水	RO水	備考
(1)	製氷機	1	GV 20		40		床上 100 H 止め
(2)	ベットパンウォッシャー	1	GV 20	GV 20	80		床上 100 H 止め
(3)	チューブ洗浄機	1	GV 20		50		床上 100 H 止め
(4)	3人用手洗装置	3	GV 20	GV 20	50	GV20	床上 100 H 止め

注） 1 GV はバルブ止め 排水はプラグ止め。

NS WO1 廻り	
補給水管	GV 25
	Y形ストレーナー 25
供給管	GV 25
排水管	間接排水 40 (Pトラップ40付)

注） 1 ドレンホース オーバーフローホースは機器附属品。

<既設配管・撤去図 凡例>
- 切断箇所を示す
- 撤去箇所を示す
- 既設配管を示す

※本工事は改修工事とする。

給排水衛生設備
4階平面詳細図（撤去図） 参照

8,900 | 6,800 | 6,800 | 6,800 | 6,800 | 6,800 | 6,800 | 6,800 | 6,800 | 6,800 | 6,800
70,100

1,700 | 7,200 | 5,700 | 5,700 | 3,800 | 8,700 | 9,000

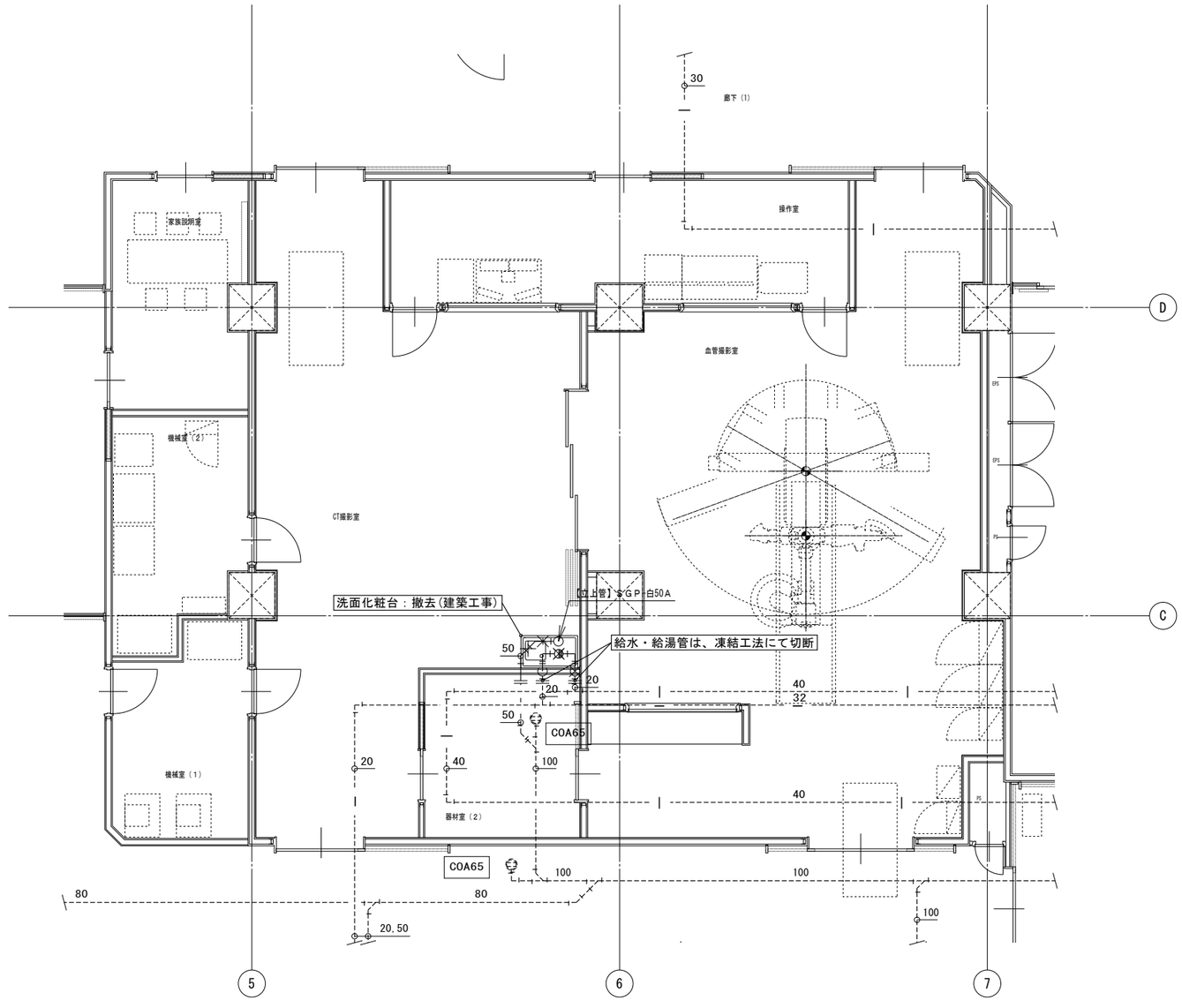
給排水衛生設備　4階平面図（撤去図）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野　崇

阿瀬貴裕　藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023. 03.
給排水衛生設備　4階平面図（撤去図）	A1：1/100 A3：1/200
	RM － 403



＜既設配管・撤去図 凡例＞

——‖—✕	切断箇所を示す
—✕—✕—✕—	撤去箇所を示す
----------	既設配管を示す

※本工事は改修工事とする。

給排水衛生設備　４階平面詳細図（撤去図）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　　崇

阿 瀬 貴 裕

藤 村 一 樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 404
給排水衛生設備　４階平面詳細図（撤去図）	A1：1/ 50 A3：1/100	

医療ガス配管設備仕様書

1．設備概要

1－1　酸素配管設備
酸素の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1－2　笑気配管設備
笑気の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1－3　治療用空気配管設備
空気の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1－4　吸引配管設備
吸引の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へ供給する。
供給源は既設を利用する。

1－5　炭酸ガス配管設備
炭酸ガスの供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1－6　窒素配管設備
窒素の供給は、同一フロア既設主管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。
供給源は既設を利用する。

1－7　麻酔ガス排除設備
排出動力部は、非治療用空気配管より分岐したエアエジェクタ方式とし、麻酔ガスは屋外へ排出する。
非治療用空気の供給は、同一フロア既設主管より分岐する。

1－8　配管端末器（アウトレット）
配管端末器はガスの種別による着色が施されていて、保守点検用バルブ機能付きとする。
また、異なる種類のガスの誤接続を防止するためのガス別特定の構造とする。
配管端末器の種類は、天井吊下型、メディカルユニットがある。

2．配管工事

2－1　配管材料

ガスの種類	配　管	継手仕様	備　考
酸　素	りん脱酸銅継目無管 （JIS H 3300 C1220T Lタイプ） ガスの使用区分に応じた着色熱収縮性チューブを被覆したものとする。	左記銅管による形成品 JIS H 3401 銅及び銅合金の管継手 JIS H 3250 銅及び銅合金棒C1100，C3602，C3712，C3771	支持金具と銅管が直接接触しないよう銅管用吊金具を使用する。
笑　気			
治療用空気			
吸　引			
炭酸ガス			
窒　素			
非治療用空気			
麻酔ガス排除			

2－2　配管の支持間隔

呼称管径（mm）	＜20	20～50	＞50
支持間隔　（m）	1．5　以内	2．0　以内	3．0　以内

曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。

2－3　配管の識別表示
隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被膜銅管を使用する。各識別色は下記による。
機械室露出部分は下記の識別色にて塗装を行う。

配　管	酸　素	笑　気	治療用空気	吸　引	炭酸ガス	窒　素	非治療用空気	麻酔ガス排除
色　別	緑	青	黄	黒	橙	灰	うす黄	マゼンタ

2－4　配管のろう付け
銅管のろう付け作業は、配管内部の酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を送気しながら行うものとする。

2－5　配管方式
配管は、天井内隠蔽壁内埋込配管とする。

2－6　既設配管への接続
既設配管への接続工事については、事前に供給停止区域、閉止するバルブ、仮設供給方法について打ち合わせをすること。

3．検査・試験

3－1　配管系統検査
配管工事完了後、各配管ごとに系統に誤りのないことを確認する。

3－2　配管気密試験
気密試験の圧力及び時間は下表による。
但し既設管との接続部は、吸引を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、
吸引は煙を吸い込ませる漏煙試験とする。

配　管　名	配管気密試験			総合気密試験（排気を除く）		
	圧力 MPa	時間 h	使用ガス	圧力 MPa	時間 h	使用ガス
酸　素	1	24	窒素又は清浄な脱脂空気	0.4	24	窒素又は清浄な脱脂空気又は吸引圧
笑　気	1	24		0.4	24	
治療用空気	1	24		0.4	24	
吸　引	0.5	2		-0.05又は0.1	2	
炭酸ガス	1	24		0.4	24	
窒　素	1.5	24		0.9	24	
非治療用空気	1	24		－	－	
麻酔ガス排除	0.2	2		0.1	1	

3－3　配管内清浄度検査
施工した配管内に微小物質の有無について検査する。但し、吸引及び麻酔ガス排除配管は除く。

4．仮設対応・停止期間

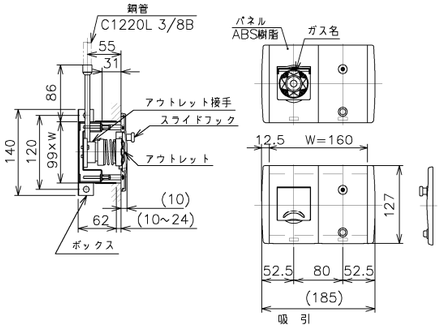
仮設対応	停止期間
酸素ボンベ×1，空気ボンベ×1，ポータブル吸引器×1	各ガス2時間（休日切替）

5．工事区分

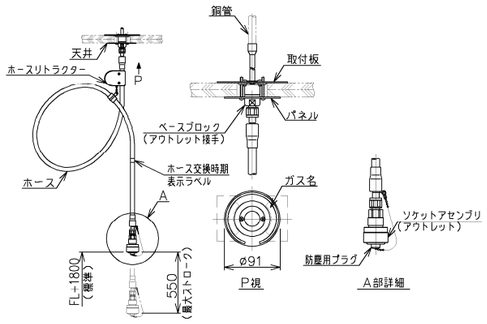
4－1　建築工事
- 点検口
- 天井解体、復旧

器具図

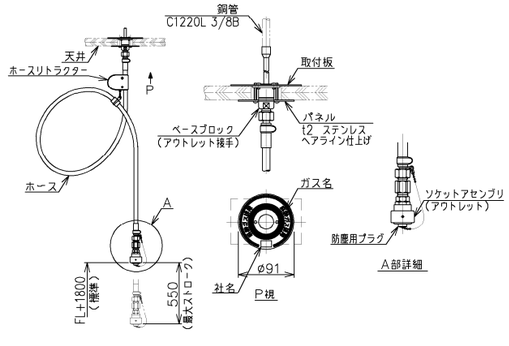
壁埋込型配管端末器



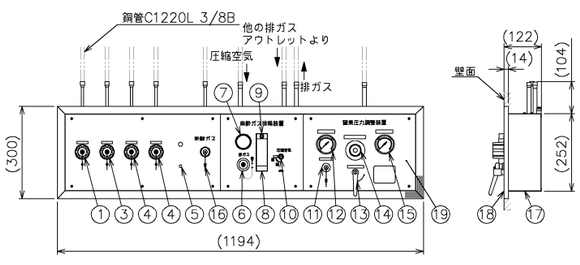
天井吊下型配管端末器（リトラクタ式）



天井吊下型配管端末器（リトラクタ式）（ＥＸ用）



メディカルユニット（Ｏ、Ａ、Ｖ、Ｖ、ＣＯ2、Ｎ2、ＥＸ）



EX　分岐付

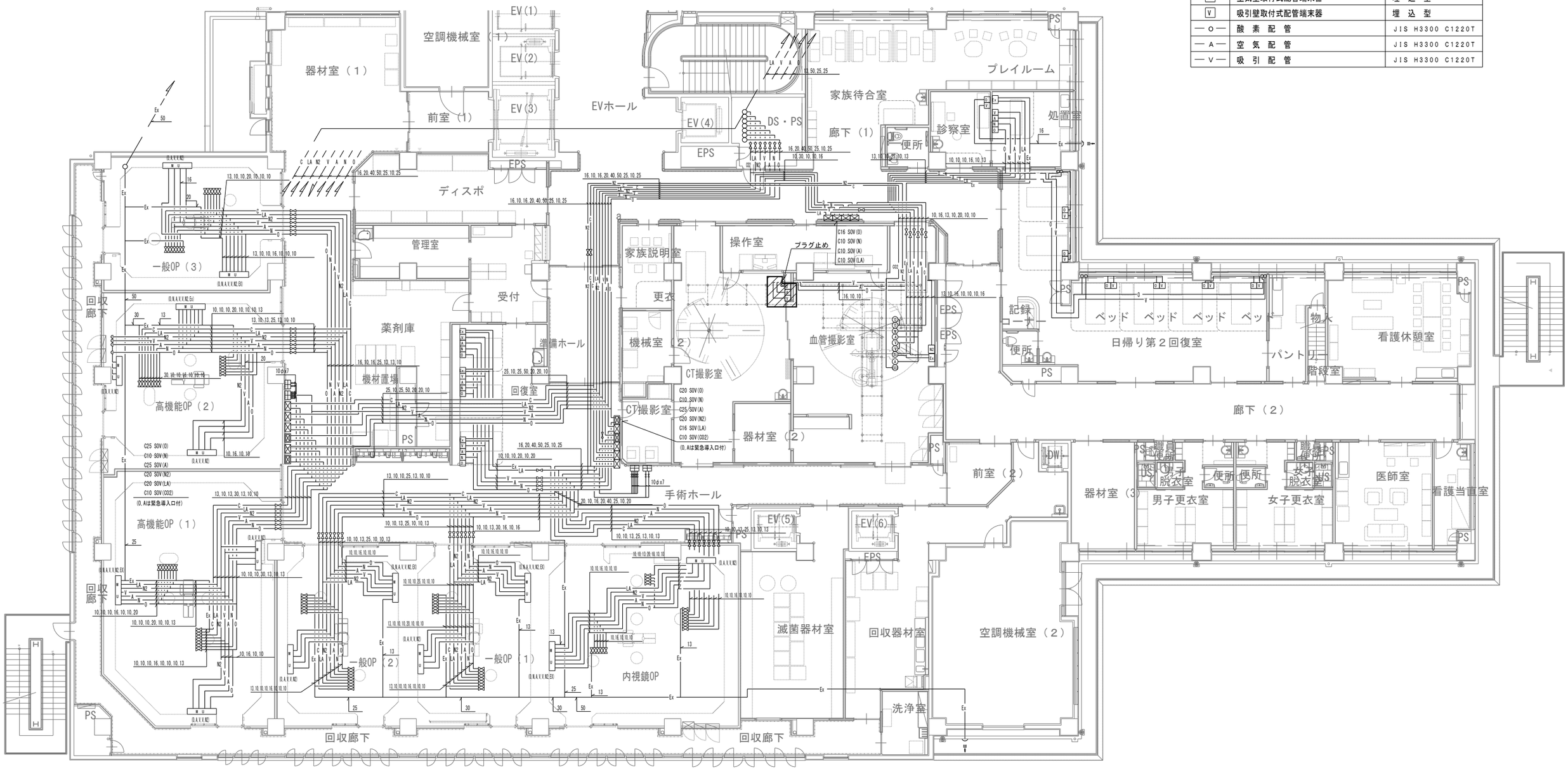
No.	構成部品	仕様
1	酸素アウトレット	ピン方式ガス別特定
2	（欠）	
3	空気アウトレット	
4	吸引アウトレット	
5	スライドフック	
6	排ガスアウトレット	K方式ガス別特定
7	真空計	
8	流量計	15～40L/min
9	流量調整弁	
10	圧縮空気開閉弁	
11	窒素アウトレット	DISSガス別特定
12	調整圧力圧力計	0～1.6MPa
13	供給バルブハンドル	
14	圧力調整器	調整圧力：50～883kPa
15	配管圧力圧力計	0～1.6MPa
16	炭酸ガスアウトレット	DISSガス別特定
17	ボックス	SUS304,t1
18	フレーム	SUS304,t1,ヘアライン仕上
19	パネル	SUS304,t2,ヘアライン仕上

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　崇
阿瀬貴裕
藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 501
医療ガス設備　仕様書・器具図	A1：1/－ A3：1/－	

凡　例

記　号	名　　称	備　　考
O	酸素壁取付式配管端末器	埋　込　型
A	空気壁取付式配管端末器	埋　込　型
V	吸引壁取付式配管端末器	埋　込　型
― O ―	酸　素　配　管	JIS H3300 C1220T
― A ―	空　気　配　管	JIS H3300 C1220T
― V ―	吸　引　配　管	JIS H3300 C1220T



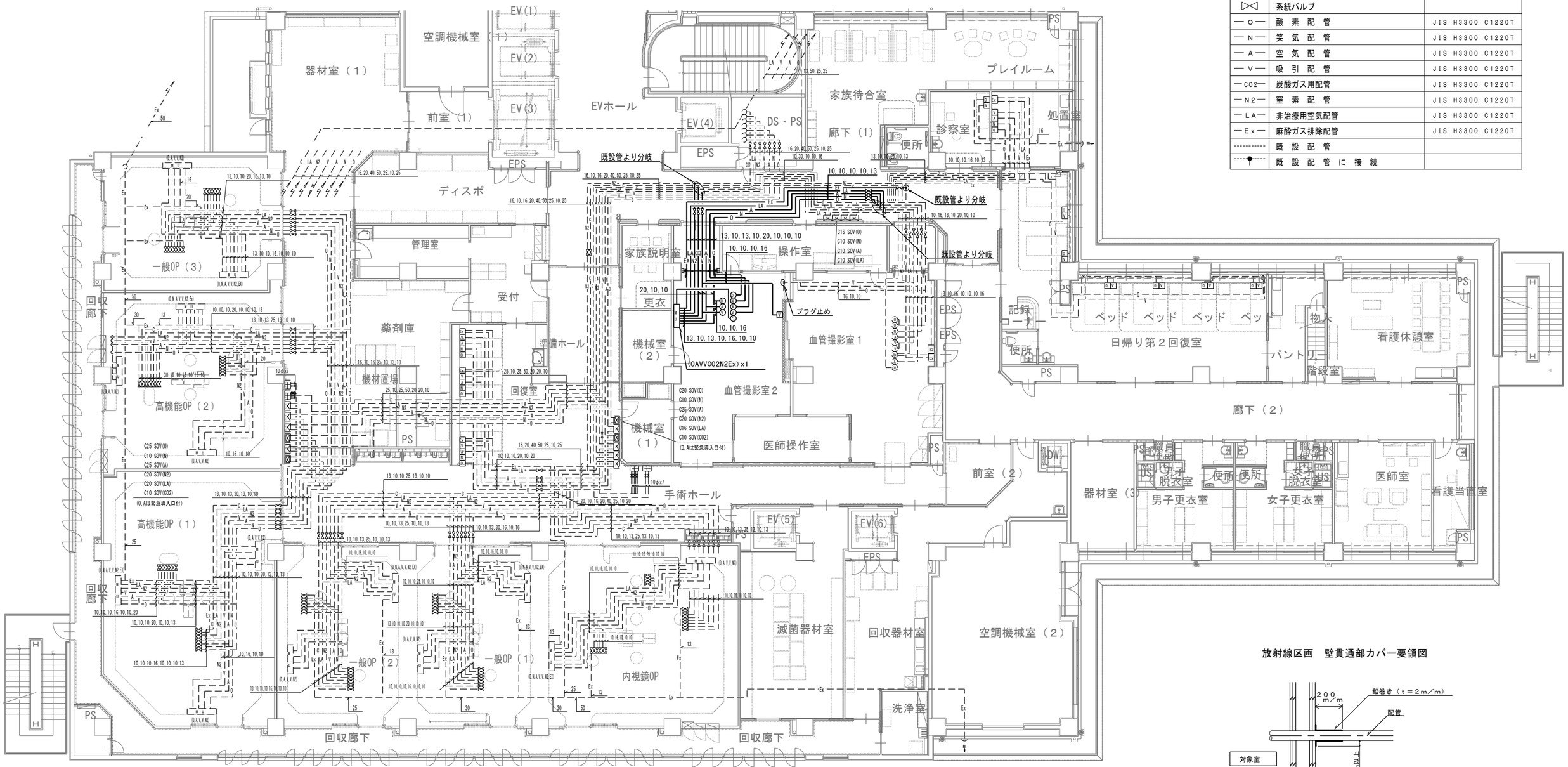
撤去部を示す

※既存医療ガスアウトレット撤去部分は、プレート処理とする

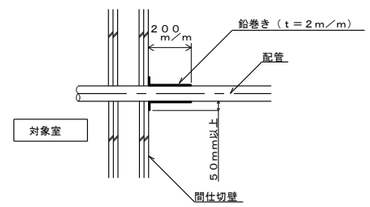
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	一級建築士登録　第344749号 設備設計一級建築士　第4211号 岡　野　崇	阿瀬貴裕	藤村一樹	静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 502
				医療ガス設備　４階平面図（撤去図）	A1：1/100 A3：1/200	

凡 例

記 号	名 称	備 考
ⓞ	酸素天井吊下式配管端末器	
Ⓝ	笑気天井吊下式配管端末器	
Ⓐ	空気天井吊下式配管端末器	
Ⓥ	吸引天井吊下式配管端末器	
Ⓔ	麻酔ガス排除天井吊下式配管端末器	
M U	メディカルユニット	O, A, V, V, CO2, N2, EX
⋈	系統バルブ	
— O —	酸 素 配 管	JIS H3300 C1220T
— N —	笑 気 配 管	JIS H3300 C1220T
— A —	空 気 配 管	JIS H3300 C1220T
— V —	吸 引 配 管	JIS H3300 C1220T
— CO2 —	炭酸ガス用配管	JIS H3300 C1220T
— N2 —	窒 素 配 管	JIS H3300 C1220T
— LA —	非治療用空気配管	JIS H3300 C1220T
— Ex —	麻酔ガス排除配管	JIS H3300 C1220T
----------	既 設 配 管	
----●----	既 設 配 管 に 接 続	



放射線区画　壁貫通部カバー要領図



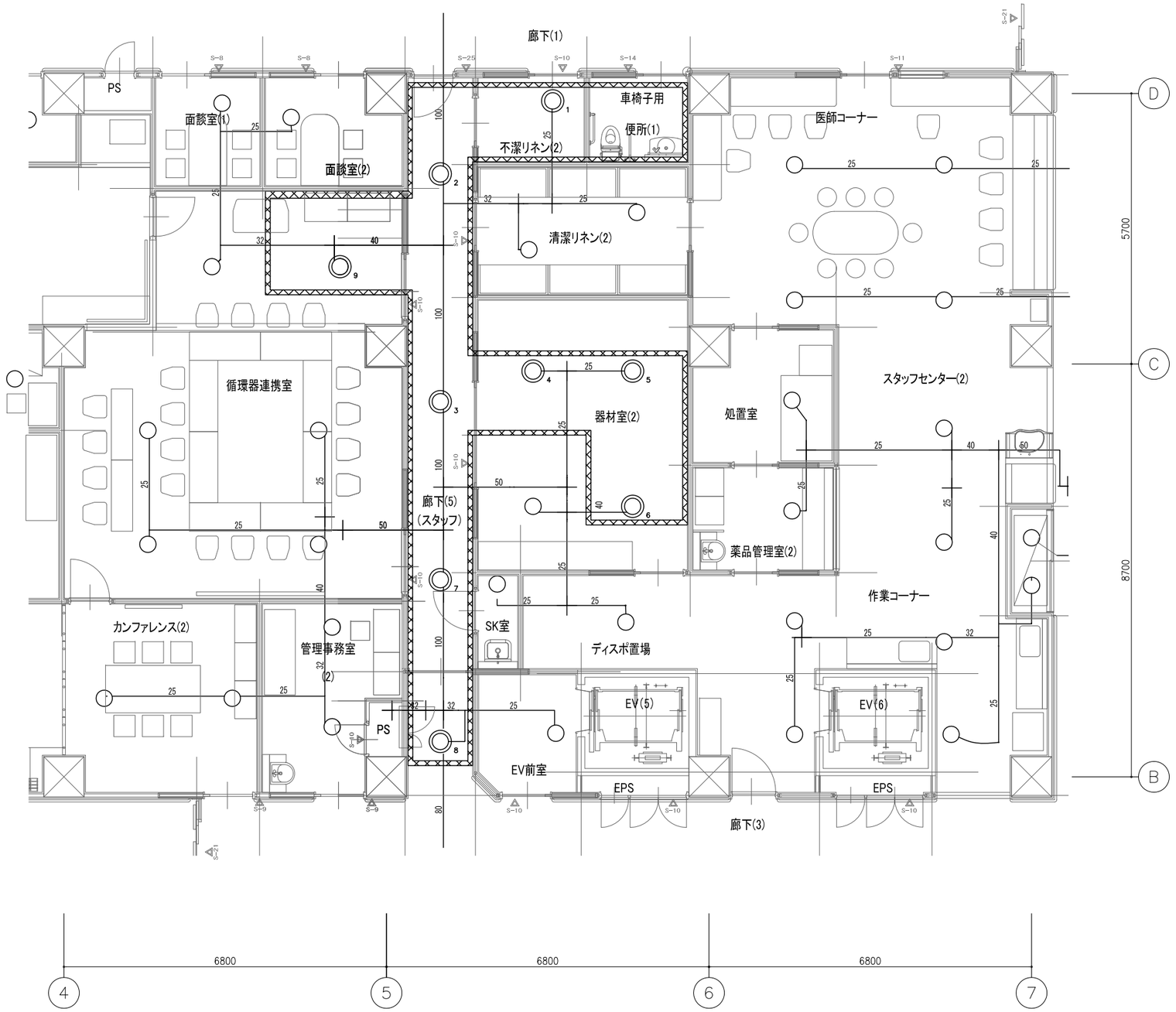
※20φ×16か所該当

（　間仕切壁　）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡　野　崇　　阿瀬貴裕　藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 503
医療ガス設備　４階平面図（改修図）	A1：1/100 A3：1/200	



―― は既存配管　○ は既存SP　◎ 取外し（撤去）のSPを示す.

▭ 部分は天井改修範囲を示す。工事期間中、範囲内のスプリンクラーは取り外し（撤去）、更新とする。（9か所）

※凍結工法により、SPの取り外し・新設を行う。
凍結工法の回数は、100A：4セット、40A：3セット、25A：2セットとする。（取り外し時及び新設時、計2回を合わせて1セットとする）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第344749号
設備設計一級建築士 第4211号
岡野　崇
阿瀬貴裕
藤村一樹

静岡県立こども病院ハイブリットオペ室改修工事（機械設備）	2023.03.	RM － 601
消火設備　本館　３階配管平面図（撤去・改修図）	A1：1/50 A3：1/100	